

bizhub 501/421/361

ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編



はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドには、bizhub 501/421/361 のネットワークスキャン、ファクス、ネットワークファクスの操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処置方法などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、必要に応じてこのユーザーズガイドをお読みください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず別冊の「安全にお使いいただくために」をお読みください。

商標およびライセンスについては、別冊の「商標／ライセンスについて」をごらんください。

ユーザーズガイド内で使用しているイラストなどは、実際の装置とは異なる場合があります。

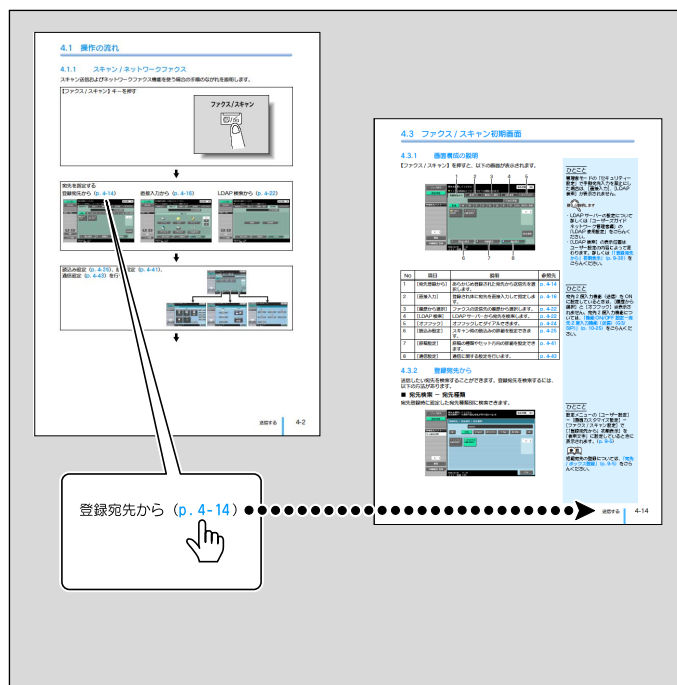
使いたい機能を調べるには

本書では、機能の設定方法や詳細について、以下のように紹介しています。

「操作の流れ」を理解する

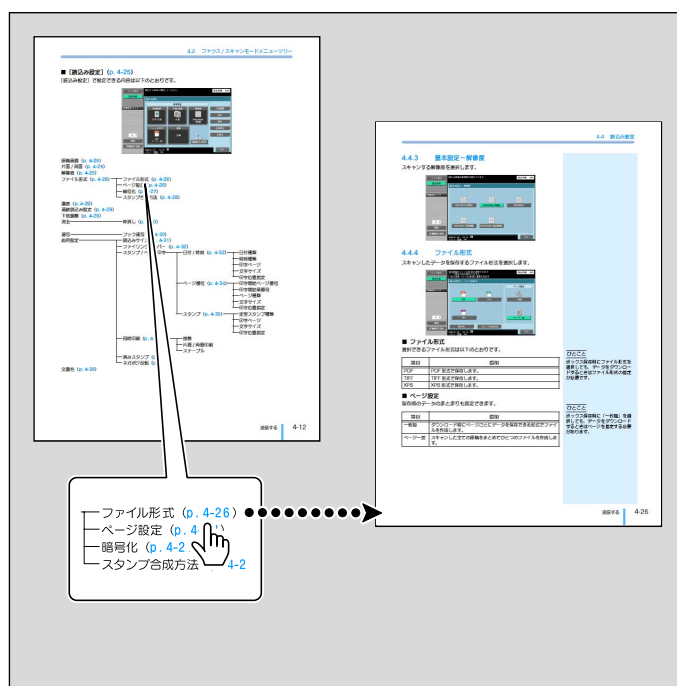
本書で説明するおもな機能の使いかたについて、「操作の流れ」という章を設けています。このページでスキャンやファクス送信のしかたなど、大まかな操作の流れをフロー図で理解してください。

フロー図のリンクをクリックすると、該当する機能設定のページへジャンプして詳細を調べることができます。



「メニューツリー」からさらに詳しく知る

本機では多くの機能を設定できます。設定したい項目がどのボタンの下にあるのかを知りたいときや設定できる項目の一覧を確認したいときは、「メニューツリー」のページをぜひご覧ください。メニューツリーのページは、ひとつのボタンの下が階層に分かれていて、メニューツリーのリンクをクリックすると、該当する機能設定のページへジャンプして詳細を調べることができます。



はじめに	1
使いたい機能を調べるには	2
「操作の流れ」を理解する	2
「メニューツリー」からさらに詳しく知る	2
目次	3
本書について	10
本書の構成	10
本書で説明している機能	11
表記について	11
ページの見かた	12
マニュアル体系について	13
印刷物のユーザズガイド	13
ユーザズガイド CD 収録のユーザズガイド	13

第 1 章 ネットワークスキャン / ファクス / ネットワークファクス機能を使用する前に

1.1 知っておいていただきたいこと	1-2
1.1.1 送信機能について	1-2
1.1.2 ユーザーの認証	1-4
1.1.3 ファイル名の制限	1-5
1.2 概要	1-6
1.2.1 ネットワークスキャン機能でできること	1-6
1.2.2 ファクス機能でできること	1-9
1.2.3 ネットワークファクス機能でできること	1-10

第 2 章 操作パネル / 液晶画面

2.1 操作パネル	2-2
2.2 タッチパネル	2-4
2.2.1 全体の画面構成	2-4
2.2.2 オプションの有無による表示の違い	2-5
2.2.3 左エリアの表示と操作	2-6

第 3 章 基本情報の登録

3.1 はじめて使用する場合	3-2
3.1.1 必要な環境と設備	3-2
3.1.2 ネットワークの接続と設定	3-2
3.1.3 SIP-FAX アダプターの接続	3-3
3.1.4 モジュラーケーブルの接続	3-3
3.2 宛先登録	3-4
3.2.1 短縮宛先	3-4
3.2.2 グループ宛先	3-4
3.3 その他必要に応じて行う設定	3-5
3.4 Web サービスを使用する場合	3-6
3.4.1 Web サービスを使用するために必要な設定	3-6
3.4.2 コンピューターに本機をインストールする	3-6

第 4 章 送信する

4.1 操作の流れ	4-2
4.1.1 スキャン / ネットワークファクス	4-2
4.1.2 ファクス (G3)	4-4
4.1.3 プログラムの呼び出し	4-6

4.1.4	同報送信	4-8
4.2	仕上りプレビューを使う	4-10
4.2.1	プレビュー詳細画面	4-10
4.2.2	仕上りプレビューを使った送信	4-12
4.3	ファクス / スキャンモードメニューツリー	4-14
4.4	ファクス / スキャン初期画面	4-18
4.4.1	画面構成の説明	4-18
4.4.2	登録宛先から	4-19
4.4.3	直接入力	4-21
4.4.4	直接入力ーファクス	4-21
4.4.5	直接入力ー SIP ファクス	4-22
4.4.6	直接入力ー E-mail	4-22
4.4.7	直接入力ーボックス	4-22
4.4.8	直接入力ーインターネットファクス	4-23
4.4.9	直接入力ー IP アドレスファクス	4-23
4.4.10	直接入力ーファイル送信 (SMB)	4-24
4.4.11	直接入力ーファイル送信 (FTP)	4-24
4.4.12	直接入力ーファイル送信 (WebDAV)	4-26
4.4.13	直接入力ー Web サービス	4-27
4.4.14	履歴から選択 (G3)	4-27
4.4.15	LDAP 検索ー単検索	4-27
4.4.16	LDAP 検索ー複合検索	4-28
4.4.17	オフフック (G3)	4-29
4.5	読み込み設定	4-30
4.5.1	基本設定ー原稿画質	4-30
4.5.2	基本設定ー片面／両面	4-30
4.5.3	基本設定ー解像度	4-31
4.5.4	ファイル形式	4-31
4.5.5	基本設定ー濃度	4-34
4.5.6	基本設定ー連続読み込み設定	4-34
4.5.7	下地調整	4-34
4.5.8	消去ー枠消し	4-35
4.5.9	連写ーブック連写	4-35
4.5.10	応用設定ー読み込みサイズ	4-36
4.5.11	応用設定ーファイリングナンバー	4-37
4.5.12	応用設定ースタンプ／ページ印字ー日付／時刻	4-37
4.5.13	応用設定ースタンプ／ページ印字ーページ番号	4-39
4.5.14	応用設定ースタンプ／ページ印字ースタンプ	4-40
4.5.15	応用設定ースタンプ／ページ印字ーヘッダー / フッター	4-41
4.5.16	応用設定ー同時印刷	4-44
4.5.17	応用設定ー済みスタンプ (G3/IP/SIP/I-FAX)	4-45
4.5.18	応用設定ーネガポジ反転	4-46
4.5.19	文書名 (E-mail/BOX/SMB/FTP/WebDAV/I-FAX)	4-46
4.6	原稿設定	4-47
4.6.1	原稿指定ー混載原稿	4-47
4.6.2	原稿指定ー Z 折れ原稿	4-47
4.6.3	原稿指定ー長尺原稿	4-47
4.6.4	方向指定ー原稿セット方向	4-47
4.6.5	方向指定ー原稿のとじしろ	4-48
4.7	通信設定	4-49
4.7.1	回線設定 (G3)	4-49

4.7.2	E-mail 設定 (E-mail/I-FAX)	4-50
4.7.3	URL 通知先設定 (BOX/FTP/SMB/WebDAV)	4-52
4.7.4	送受信方法設定 (G3)	4-53
4.7.5	メールの暗号化 (E-mail)	4-56
4.7.6	デジタル署名 (E-mail)	4-56
4.7.7	ファクス発信元設定 (G3/SIP/IP/I-FAX)	4-57
4.8	リダイヤル (G3/IP/SIP) について	4-58
4.8.1	オートリダイヤル	4-58
4.8.2	手動リダイヤル	4-58
4.8.3	再送信 (G3)	4-58

第 5 章 受信する (G3/IP/SIP/I-FAX)

5.1	受信する (G3: 外部電話を接続しない)	5-2
5.1.1	自動受信 (ファクス専用)	5-2
5.2	受信する (G3: 外部電話を接続する)	5-3
5.2.1	自動受信 (TEL/FAX 自動切換え)	5-3
5.2.2	外部電話機の留守番電話機能を設定するときは	5-4
5.2.3	手動受信 (電話専用)	5-4
5.3	受信する (I-FAX)	5-6
5.4	受信する (IP/SIP)	5-7
5.5	メモリー代行受信	5-8
5.5.1	メモリー代行受信とは	5-8
5.5.2	メモリー代行受信したジョブの転送 (G3)	5-8
5.6	受信時の記録	5-9
5.6.1	縮小して記録するとき	5-9
5.6.2	用紙におさまるように縮小して記録するとき	5-9
5.6.3	等倍で記録するとき	5-12
5.6.4	受信時の記録方法	5-13
5.7	受信情報	5-14

第 6 章 電話をかける / 受ける (G3)

6.1	電話をかける	6-2
6.2	電話を受ける	6-3

第 7 章 便利な機能 (G3/IP/SIP/I-FAX)

7.1	強制メモリー受信 (G3/IP/SIP/I-FAX)	7-2
7.2	PC-FAX 受信 (G3)	7-3
7.3	TSI 受信振分け (G3)	7-4
7.4	親展通信 (G3)	7-5
7.5	中継配信 (G3)	7-6
7.5.1	中継配信とは	7-6
7.5.2	中継配信を行うには	7-6
7.5.3	中継配信局にファクスを送る	7-7
7.6	ポーリング送信 / 受信 (G3)	7-8
7.6.1	ポーリング送信	7-8
7.6.2	ポーリング受信	7-8
7.7	掲示板 (G3)	7-9
7.8	増設回線を使用した送受信 (G3)	7-10

7.9	ファクス転送 (G3)	7-11
-----	-------------------	------

第8章 レポート / リストの見かた

8.1	レポート / リストの種類	8-2
8.1.1	レポート	8-2
8.1.2	リスト	8-3
8.2	共通のリスト	8-4
8.2.1	短縮宛先リスト	8-4
8.2.2	グループ宛先リスト	8-6
8.2.3	プログラム宛先リスト	8-7
8.3	G3/IP/SIP/I-FAX 共通のレポート / リスト	8-9
8.3.1	通信管理レポート	8-9
8.3.2	送信結果レポート	8-11
8.3.3	同報送信結果レポート	8-11
8.3.4	設定値リスト	8-11
8.4	G3 ファクスで出力されるレポート	8-15
8.4.1	ポーリング送信結果レポート	8-15
8.4.2	ポーリング受信結果レポート	8-15
8.4.3	順次ポーリング受信結果レポート	8-15
8.4.4	通信予約レポート	8-16
8.4.5	ポーリング送信予約レポート	8-16
8.4.6	同報送信予約レポート	8-16
8.4.7	1 宛先ポーリング受信予約レポート	8-17
8.4.8	順次ポーリング受信予約レポート	8-17
8.4.9	親展受信レポート	8-17
8.4.10	掲示板送信結果レポート	8-18
8.4.11	中継結果レポート	8-18
8.4.12	中継依頼受付レポート	8-19
8.4.13	PC-FAX 送信エラーレポート	8-19
8.5	インターネットファクスで出力されるレポート	8-20
8.5.1	ネットワークファクス受信エラーレポート	8-20
8.5.2	MDN メッセージ印刷	8-20
8.5.3	DSN メッセージ印刷	8-21
8.5.4	正常受信メール本文	8-21
8.5.5	件名 / 本文リスト	8-22
8.6	IP/SIP で出力されるレポート	8-23
8.6.1	ネットワークファクス受信エラーレポート	8-23

第9章 ユーザーモード設定

9.1	ユーザーモードのメニューツリー	9-2
9.1.1	宛先 / ボックス登録	9-2
9.1.2	ユーザー設定	9-4
9.1.3	プログラム呼び出し / 登録	9-4
9.2	宛先 / ボックス登録	9-5
9.2.1	宛先 / ボックス登録画面を表示させる	9-5
9.2.2	短縮宛先登録 - E-mail 送信	9-5
9.2.3	短縮宛先登録 - ボックス保存	9-7
9.2.4	短縮宛先登録 - ファクス送信	9-8
9.2.5	短縮宛先登録 - SIP ファクス送信	9-11
9.2.6	短縮宛先登録 - ファイル送信 (SMB)	9-13

9.2.7	短縮宛先登録－ファイル送信（FTP）	9-16
9.2.8	短縮宛先登録－ファイル送信（WebDAV）	9-18
9.2.9	短縮宛先登録－IP アドレスファクス送信	9-20
9.2.10	短縮宛先登録－インターネットファクス送信	9-22
9.2.11	グループ宛先登録	9-24
9.2.12	E-mail ー件名（E-mail/I-FAX）	9-26
9.2.13	E-mail ー本文（E-mail/I-FAX）	9-27
9.2.14	ファクス / スキャンプログラム	9-28
9.2.15	着信拒否宛先登録（G3）	9-32
9.2.16	ボックス登録－親展ボックス（G3）	9-33
9.2.17	ボックス登録－掲示板ボックス（G3）	9-33
9.2.18	ボックス登録－中継ボックス（G3）	9-33
9.2.19	参照許可設定－宛先レベル設定	9-34
9.3	ユーザー設定	9-35
9.3.1	ユーザー設定画面を表示させる	9-35
9.3.2	画面カスタマイズ設定－ファクス / スキャン設定	9-35
9.3.3	画面カスタマイズ設定－ファクス動作中画面（G3/IP/SIP/I-FAX）	9-37
9.3.4	画面カスタマイズ設定－検索オプション設定（E-mail/Box/SMB/FTP/WebDAV/ G3/IP/SIP/I-FAX）	9-38
9.3.5	ファクス / スキャン設定	9-38

第 10 章 管理者モード設定

10.1	はじめに設定してください	10-2
10.1.1	E-mail	10-2
10.1.2	ボックス	10-2
10.1.3	SMB 送信	10-2
10.1.4	FTP 送信	10-2
10.1.5	G3 ファクス	10-2
10.1.6	インターネットファクス	10-3
10.1.7	IP アドレスファクス	10-3
10.1.8	SIP ファクス	10-3
10.2	管理者モードのメニューツリー	10-4
10.2.1	環境設定	10-4
10.2.2	ネットワーク設定（2/2）	10-4
10.2.3	ファクス設定	10-5
10.2.4	セキュリティー設定	10-6
10.3	管理者設定（E-mail/Box/SMB/FTP/WebDAV）	10-7
10.3.1	管理者設定画面を表示させる	10-7
10.3.2	環境設定－ユーザー操作禁止設定	10-7
10.3.3	環境設定－リセット設定－モドリセットー次ジョブー送信後設定解除	10-8
10.3.4	環境設定－スタンプ設定－ヘッダー / フッター設定	10-8
10.3.5	セキュリティー設定－セキュリティ詳細	10-10
10.4	管理者設定（G3）	10-11
10.4.1	環境設定－パワーセーブ設定－パワーセーブ移行	10-11
10.4.2	環境設定－出力設定	10-11
10.4.3	環境設定－ユーザー操作禁止設定	10-12
10.4.4	環境設定－スタンプ設定－ファクス送信設定	10-12
10.4.5	環境設定－リセット設定－モドリセットー次ジョブー送信後設定解除	10-13
10.4.6	環境設定－ジョブ飛越し動作設定－ファクス	10-13
10.4.7	ファクス設定－発信元 / ファクス ID 登録	10-14
10.4.8	ファクス設定－発信元 / 受信情報	10-15

10.4.9	ファクス設定－回線パラメーター設定	10-17
10.4.10	ファクス設定－送信 / 受信設定	10-21
10.4.11	ファクス設定－機能設定	10-25
10.4.12	ファクス設定－PBX 接続設定	10-31
10.4.13	ファクス設定－レポート出力設定	10-32
10.4.14	ファクス設定－設定値リスト	10-35
10.4.15	ファクス設定－増設回線設定	10-36
10.4.16	セキュリティ設定－セキュリティ詳細	10-39
10.4.17	セキュリティ設定－スタンプ設定	10-40
10.5	管理者設定 (IP/SIP/I-FAX)	10-41
10.5.1	環境設定－パワーセーブ設定－パワーセーブ移行	10-41
10.5.2	環境設定－ユーザー操作禁止設定	10-41
10.5.3	環境設定－スタンプ設定－ファクス送信設定	10-41
10.5.4	ネットワーク設定－ネットワークファクス設定	10-41
10.5.5	ファクス設定－発信元 / ファクス ID 登録	10-41
10.5.6	ファクス設定－発信元 / 受信情報	10-41
10.5.7	ファクス設定－回線パラメーター設定 (IP/SIP)	10-42
10.5.8	ファクス設定－送信 / 受信設定	10-42
10.5.9	ファクス設定－機能設定	10-42
10.5.10	ファクス設定－レポート出力設定	10-42
10.5.11	ファクス設定－設定値リスト	10-44
10.5.12	ファクス設定－ネットワークファクス設定	10-44
10.5.13	セキュリティ設定－セキュリティ詳細	10-45

第 11 章 PageScope Web Connection

11.1	PageScope Web Connection の使いかた	11-2
11.1.1	動作環境	11-2
11.1.2	アクセス方法	11-2
11.1.3	Web ブラウザーのキャッシュ機能について	11-3
11.1.4	画面の構成	11-4
11.2	ログインとログアウト	11-6
11.2.1	ログインとログアウトのながれ	11-6
11.2.2	ログアウト	11-8
11.2.3	ログイン	11-8
11.3	ユーザーモードの概要	11-11
11.3.1	情報表示	11-11
11.3.2	ジョブ確認	11-12
11.3.3	ボックス	11-12
11.3.4	ダイレクトプリント	11-13
11.3.5	宛先登録	11-13
11.4	管理者モードの概要	11-14
11.4.1	メンテナンス	11-14
11.4.2	セキュリティ	11-15
11.4.3	ボックス	11-16
11.4.4	プリンター設定	11-17
11.4.5	宛先登録	11-18
11.4.6	ネットワーク	11-19

第 12 章 ファクス / スキャン機能で困ったとき

12.1	送信できない	12-2
------	--------	------

12.1.1	G3 ファクス	12-2
12.1.2	インターネットファクス /SIP ファクス /IP アドレスファクス / ネットワークスキャン送信 (E-mail/SMB/FTP/WebDAV/Web サービス)	12-2
12.2	受信できない	12-4
12.2.1	G3 ファクス	12-4
12.2.2	インターネットファクス /SIP ファクス /IP アドレスファクス	12-5
12.3	エラーメッセージが表示された	12-6
12.3.1	G3 ファクス	12-6
12.3.2	HDD Ready 表示が HDD 異常の場合	12-6
12.3.3	ネットワークファクスエラーコード表	12-7
12.4	「サービスに連絡してください」と表示されたら (サービスコール)	12-10

第 13 章 付録

13.1	製品仕様	13-2
13.1.1	スキャナー機能	13-2
13.1.2	ファクス機能	13-2
13.2	こんなときには	13-3
13.2.1	ファクス情報サービスを利用する	13-3
13.2.2	メモリーへの蓄積枚数について	13-3
13.2.3	コンピューターからスキャンの指示をする (Web サービス)	13-4
13.3	文字を入力するには	13-6
13.3.1	キーボードの拡大表示	13-6
13.3.2	英数字を入力する	13-7
13.3.3	ひらがなを入力する	13-7
13.3.4	カタカナを入力する	13-8
13.3.5	漢字を入力する	13-8
13.3.6	文字コードで入力する	13-10
13.4	入力文字一覧	13-11
13.5	スキャン用語集	13-18
13.6	インターネットファクス用語集	13-23
13.7	ファクス用語集	13-24

第 14 章 索引

14.1	使用別索引	14-2
14.2	項目別索引	14-4

本書について

本書は、bizhub 501/421/361 のネットワークスキャン、ファクス、ネットワークファクスに関するユーザーズガイドです。

ここでは、本書の構成や製品名などの表記について説明します。

本書はコンピュータの基本操作、および本機の基本操作を理解しているお客様を対象としています。Windows または Macintosh の各オペレーティングシステムの操作方法や、アプリケーションの操作方法は、それぞれの操作説明書をごらんください。

本書の構成

本書は、以下の章から構成されています。

第 1 章 ネットワークスキャン / ファクス / ネットワークファクス機能を使用する前に
本機のファクス / スキャン機能を使用する前に知っておいていただきたい項目を説明しています。

第 2 章 操作パネル / 液晶画面

操作パネルのキーのはたらきや、タッチパネルの使い方について説明しています。

第 3 章 基本情報の登録

本機のファクス / スキャン機能を使用する前に必要な登録作業について説明しています。

第 4 章 送信する

ネットワークスキャン、G3 ファクス、ネットワークファクスを送信する操作の流れと、設定できる項目を説明しています。おもな操作はフロー図で説明しています。各種操作の流れはフロー図を参考にしてください。また、ファクス / スキャン機能を使うときに設定できる項目のメニューツリーも紹介しています。メニューツリーのリンクをクリックすると設定画面の内容を説明したページが表示されます。

第 5 章 受信する (G3/IP/SIP/I-FAX)

G3 ファクス、ネットワークファクスの受信の概要について説明しています。

第 6 章 電話をかける / 受ける (G3)

本機に外部電話機を接続した場合、電話のかけかた、受けかたを説明しています。

第 7 章 便利な機能 (G3/IP/SIP/I-FAX)

G3 ファクス、ネットワークファクスの便利な機能について説明しています。

第 8 章 レポート / リストの見かた

ファクス / スキャン機能を使うと自動的に印刷されるレポートや、設定メニューで印刷できるリストを紹介しています。

第 9 章 ユーザーモード設定

ファクス / スキャン機能に関係のある設定メニューの「ユーザーモード」の項目を説明しています。ユーザーモードでは宛先の登録などを設定できます。章のはじめに記載されているメニューツリーのリンクをクリックすると設定画面の内容を説明したページが表示されます。

第 10 章 管理者モード設定

ファクス / スキャン機能に関係のある設定メニューの「管理者モード」の項目を説明しています。管理者モードでは回線パラメーターなどを設定できます。章のはじめに記載されているメニューツリーのリンクをクリックすると設定画面の内容を説明したページが表示されます。

第 11 章 PageScope Web Connection

ネットワーク上のコンピュータから Web ブラウザを使って本機の設定を行えるユーティリティソフトウェアの概要を説明しています。

第 12 章 ファクス / スキャン機能で困ったとき

エラーメッセージが表示されたときや、うまく送受信できないときの対処方法が記載されています。

第 13 章 付録

文字の入力方法、用語集が掲載されています。

第 14 章 索引

製品仕様や、操作パネルで入力できる文字について説明します。

本書で説明している機能

■ ネットワークスキャン機能

本機でスキャンしたイメージデータを、ネットワークを経由して送信する機能です。ネットワークスキャンには、以下の送信方法があります。

- E-mail 送信
- ファイル送信 (SMB)
- ファイル送信 (FTP)
- ファイル送信 (WebDAV)
- ボックス保存
- Web サービス

■ G3 ファクス機能

本機でスキャンしたイメージを、電話回線を経由して送信する機能です。

■ ネットワークファクス機能

本機でスキャンしたイメージデータを、ネットワークを経由して送信する機能です。G3 ファクス機能のように、主に対応している機器の間で送受信を行います。ネットワークを経由することで通信コストをかけずに類似した機能を実現できます。ネットワークファクスには、以下の送信方法があります。

- インターネットファクス
- SIP ファクス
- IP アドレスファクス

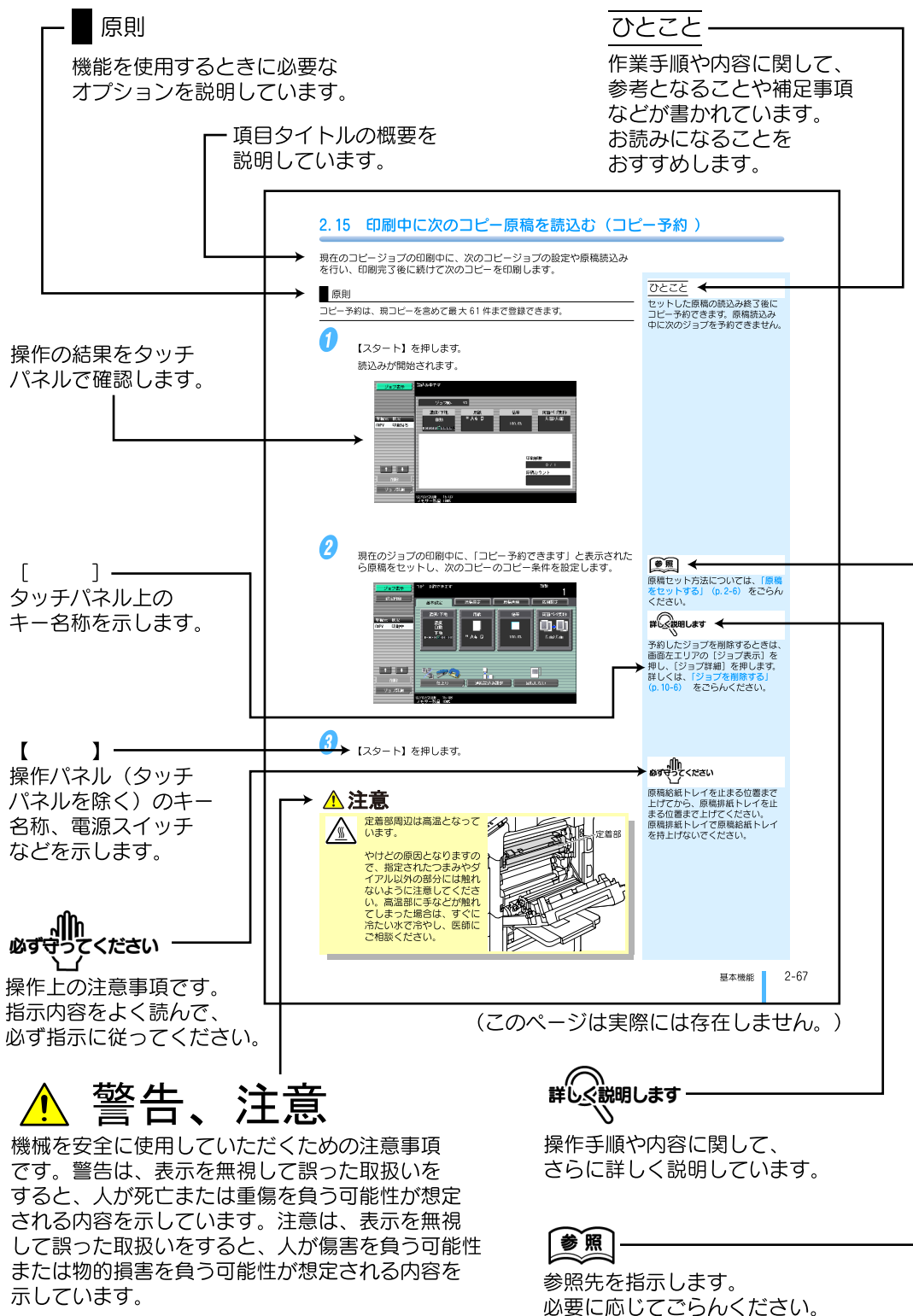
表記について

製品名	本書の表記
bizhub 501/421/361	本機、本製品、501/421/361
Microsoft Windows NT 4.0	Windows NT 4.0
Microsoft Windows 2000	Windows 2000
Microsoft Windows XP	Windows XP
Microsoft Windows Vista	Windows Vista
上記 OS を組み合わせて併記する場合	Windows NT 4.0/2000/XP

本書では、機能名の見出しのあとに、該当する送信方法を略称で記載しています。

送信方法	略称
G3 ファクス	G3
インターネットファクス	I-FAX
SIP ファクス	SIP
IP アドレスファクス	IP
E-mail 送信	E-mail
ファイル送信 (FTP)	FTP
ファイル送信 (SMB)	SMB
ファイル送信 (WebDAV)	WebDAV
ボックス保存	BOX
G3 ファクス、SIP ファクス、インターネットファクスを組み合わせて併記する場合	G3/SIP/I-FAX

ページの見かた



マニュアル体系について

本製品のユーザーズガイドには、印刷物の冊子でご提供するユーザーズガイドと、ユーザーズガイド CD に収められた PDF のユーザーズガイドがあります。

印刷物のユーザーズガイド

●すぐに使える操作ガイド

すぐに本製品をご利用いただけるよう使用頻度の高い機能や操作方法を紹介しています。

本製品をはじめてお使いになる場合や機能の概要を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド

●ユーザーズガイド（コピー機能編）

本製品のコピー機能およびメンテナンス方法について記載しています。

用紙と原稿について、便利な応用コピーのとりかた、消耗品の交換方法、紙づまりなどのトラブル対処方法を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（拡大表示機能編）

拡大表示機能の操作について記載しています。

拡大表示画面でのコピー機能、スキャナー機能、G3 ファクス機能、ネットワークファクス機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（プリンター機能編（IC-207））

オプションのイメージコントローラーで設定できるプリンター機能について記載しています。

プリンター機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（ボックス機能編）

オプションのハードディスクを利用したボックス機能について記載しています。

ボックスへのデータ保存、ボックスからのデータ取出し、データ転送方法を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編）＜本書＞

ネットワークスキャン機能、G3 ファクス機能、ネットワークファクス機能について記載しています。

E メールや FTP などによるネットワークスキャン機能や G3 ファクス、インターネットファクス、IP アドレスファクス、SIP ファクスの使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ファクス機能をご利用になるには、別途オプションの FAX キットを購入していただく必要があります。

●ユーザーズガイド（ファクスドライバー機能編）

コンピューターから直接ファクス送信を行うファクスドライバーの機能について記載しています。

PC-FAX の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ファクス機能をご利用になるには、別途オプションの FAX キットを購入していただく必要があります。

●ユーザーズガイド（ネットワーク管理者編）

ネットワークを利用した各機能について、おもに PageScope Web Connection を使用した設定方法を記載しています。

ネットワーク機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（拡張機能編）

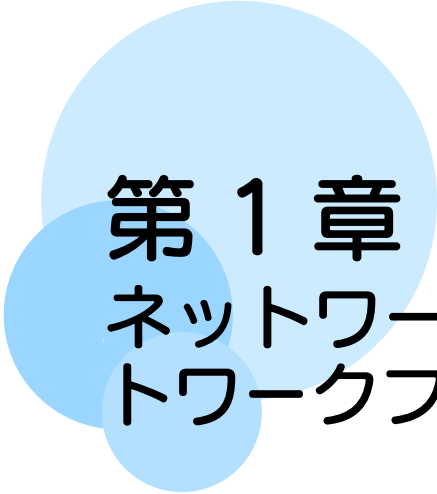
オプションのライセンスキットを登録することで有効化して利用できる各機能と、アプリケーションと連携させることで利用できる各機能の概要と使い方について記載しています。

各機能を効果的にご使用いただくために、このユーザーズガイドをごらんください。

●商標／ライセンスについて

商標およびライセンスについて記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。



第 1 章

ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能を使用する前に

本機のファクス、スキャン機能を使用する前に知っておいていただきたいことを説明します。

1.1	知っておいていただきたいこと	1-2
1.2	概要	1-6

1.1 知っておいていただきたいこと

1.1.1 送信機能について

■ 機能の種類

本機では、スキャンした画像をネットワークや電話回線を通じて送受信できます。このユーザーズガイドで紹介している機能は以下のとおりです。

ネットワークスキャン機能	・ E-mail 送信 ・ FTP 送信 ・ SMB 送信 ・ ボックス保存 ・ WebDAV 送信 ・ Web サービス
ファクス機能	・ G3 ファクスの送受信 ・ ポーリング
ネットワークファクス機能	・ インターネットファクス (I-FAX) ・ SIP ファクス (SIP-FAX) ・ IP アドレスファクス

■ ファクス機能 (G3) 使用時の注意

本機を接続することのできる電話回線は以下のとおりです。

- 加入電話回線 (ファクス通信網を含む)
- PBX (構内交換機 2 線式)

使用する電話回線について以下の項目を確認してください。

- 外部電話としてビジネスホンを接続することはできません。
- キャッチホンとの併用はできません。
- お客様のお使いの社内ネットワークなどで、デジタル専用線を多重化している場合は、ファクス通信の伝送速度が制限されたり、SuperG3 による通信ができなくなる可能性があります。

ごくまれに、工場出荷時の設定で通信エラーが発生する場合があります。これらの制約は、多重化装置が音声使用を前提に回線の使用帯域をぎりぎりまで制限しているためです。なお、ネットワークを構成する装置によってもこれらの制約は異なります。詳しくは、お客様がお使いのネットワーク管理者にお問い合わせください。

■ ネットワークファクス使用時の注意

ネットワークファクス機能を使用するためには、以下の環境が必要です。

- 本機がネットワークに接続されている<必須>

TCP/IP ネットワークの環境下で使用できます。はじめにネットワークに接続するためのケーブルを接続します。

詳しくは、「[ネットワークの接続と設定](#)」(p. 3-2) をごらんください。また、ネットワーク上で使用するためには本機の IP アドレスなどの設定が必要です。詳しくは、「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をごらんください。



必ず守ってください

【主電源スイッチ】を OFF/ON する場合は、主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあげないと正常に機能しないことがあります。

ひとこと

ファクス機能を使用するには、オプションの FAX キットを装着する必要があります。

■ インターネットファクス使用時の注意

- インターネットファクス機能を使用できる環境および設備は以下のとおりです。
 - 本機がネットワークに接続され、電子メールの送受信ができる
 - 管理者設定の「ネットワークファクス機能設定」でインターネットファクス機能が「ON」に設定されている
- 電子メールの送信を行った場合、ネットワークの状況などにより添付ファイルが破損する場合があります。送信文書の添付ファイルが破損していないか必ず確認してください。
- 送信結果画面や通信管理レポートの結果欄に「----」と表示されても、インターネット網の途中経路の問題により、受信側に電子メールが到着しない場合があります。「----」はサーバーまでは通常に通信できたことを示しています。受信確認（MDN）を受信すると送信結果画面や通信管理レポートの結果欄に「OK」が表示されます。重要な内容を送受信する場合は、G3 ファクスを使用してください。

■ SIP ファクス /IP アドレスファクス使用時の注意

- SIP ファクス、IP アドレスファクス機能を使用する場合、増設回線は使用できません。
- SIPファクスとIPアドレスファクスを同時に使用することはできません。
- SIPファクスを使用するには、SIPサーバーおよびSIP-FAXアダプターが必要です。
- SIPファクスおよびIPアドレスファクスは、弊社製の対応機種間でのみ動作します。対応機種以外での動作は保証できません。

ひとこと

インターネットファクス機能を使用するには、オプションのIC-207およびハードディスクを装着する必要があります。



インターネットファクス機能を使用する場合は、サービス技術者による設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。



「ネットワークファクス機能設定」については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

SIP ファクス /IP アドレスファクス機能を使用するには、オプションのFAX キット、IC-207 およびハードディスクを装着する必要があります。



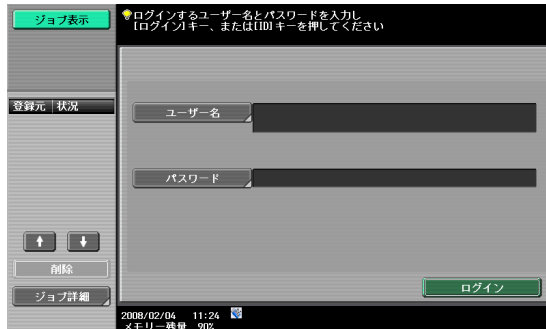
SIP ファクス、IP アドレスファクス機能を使用する場合は、サービス技術者による設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

1.1.2 ユーザーの認証

本機の使用にあたって、部門名やユーザー名、パスワードを入力するよう設定されている機器があります。使用できる部門名やユーザー名は管理者に確認してください。

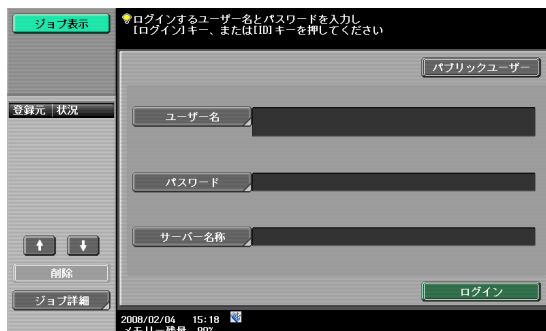
■ 本体装置認証

ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] または【ID】を押します。



■ 外部サーバー認証

ユーザー名、パスワード、認証するサーバーを指定し、[ログイン] または【ID】を押します。



■ 部門認証

部門名とパスワードを入力し、[ログイン] または【ID】を押します。



ひとこと

- ・ 管理者設定の「認証操作禁止機能」でモード 2 が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、そのユーザーがロックされて使用できなくなります。操作禁止状態の解除については管理者にお問い合わせください。
- ・ PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、ログインについてはサーバーの管理者におたずねください。

1.1.3 ファイル名の制限

- 保存する文書のデータに名前を付けることができます。
- 名称の長さは半角で 30 文字までです。
- 名称は保存したあとから変更することもできます。
- 名称は保存時に指定できますが、指定せずに保存したときはあらかじめ設定された名称が付けられます。
- 名称は以下の内容を組み合わせて付けられます。
「CKMBT_50108102315230」を例に説明します。

項目	説明
C	保存したときのモードを表しています。 C：コピー S：ファクス / スキャン P：プリンター
KMBT_501	データを読み込んだデバイス（機器）の名称です。出荷時の設定は「KMBT_（製品名）」となっています。この名称は管理者設定の「管理者 / 本体登録」－「本体アドレス登録」の「装置名」で変更できます。10 文字以内で設定します。
08102315230	読み込みを行った年（西暦の下 2 桁）、月日、時間、分を続けて表示します。最後の 1 桁は分の中で続けて読み込みした場合に連番がつきます。
_0001	複数ページのデータを読み込んだとき、ページを表します。この数字は「文書名」の画面では表示されませんが、送信時に自動的にファイル名の一部として付けられます。FTP 送信時などにサーバーのファイル名受付の条件がある場合、この部分も考慮して名称を付けてください。
.TIF	指定したデータ形式の拡張子です。この文字は「文書名」の画面では表示されませんが、送信時に自動的にファイル名の一部として付けられます。

ひとこと

ファクス / スキャン画面、ボックス画面で保存した文書はすべて「S」となります。

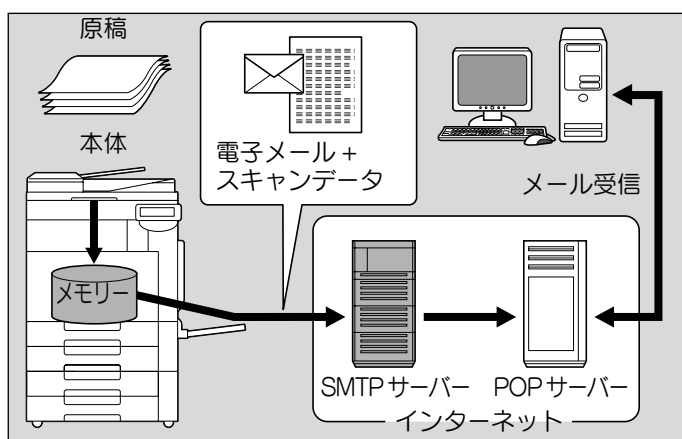
1.2 概要

1.2.1 ネットワークスキャン機能でできること

本機の ADF または原稿ガラスから原稿の画像を読み取することを「スキャンする」といいます。スキャン機能ではデータを一時的に本体内部のメモリーに保存することで、ネットワークを通じた送信が可能です。

■ E-mail 送信

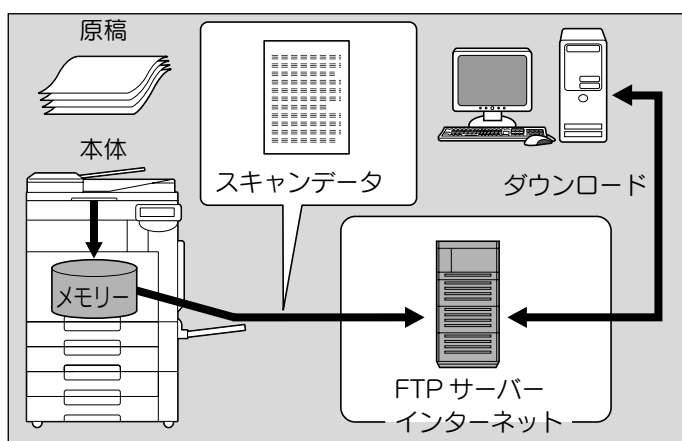
スキャンしたデータを指定した電子メールアドレスに送信できます。本機のタッチパネルで宛先を指定し、スキャンしたデータを添付ファイルとして送信します。



■ FTP 送信

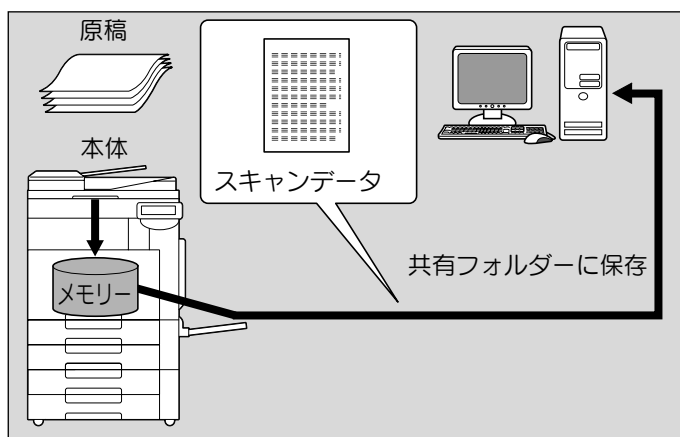
スキャンしたデータを指定した FTP サーバーにアップロードします。本機のタッチパネルで FTP サーバーのアドレスやログインパスワードを入力します。

FTP サーバーにアップロードしたデータはネットワーク上のコンピューターからダウンロードできます。



■ SMB 送信

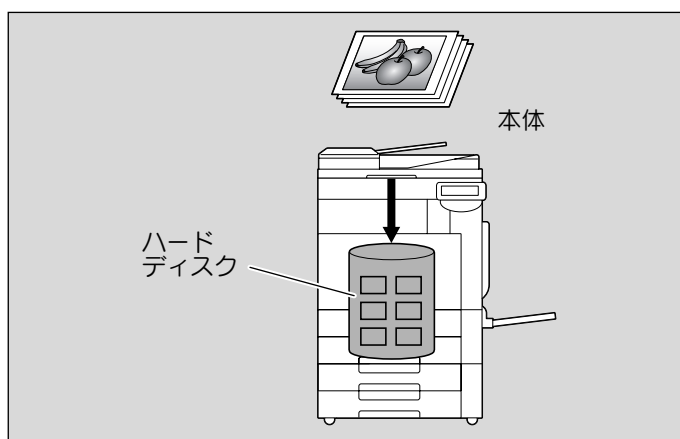
スキャンしたデータを指定したコンピューターの共有フォルダーに送信できます。本機のタッチパネルで対象となるホスト名やファイルパスなどを入力します。



■ ボックス保存

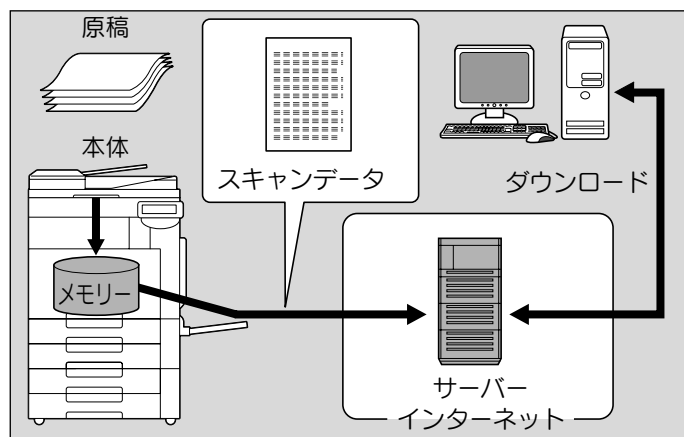
スキャンしたデータを、オプションのハードディスクに作成したボックスに保存し、データの再利用ができます。保存時に本機のタッチパネルで文書名を入力できます。

ボックスには他にもファクス受信したデータを保存することもできます。詳しくは、「ユーザズガイド ボックス機能編」をごらんください。



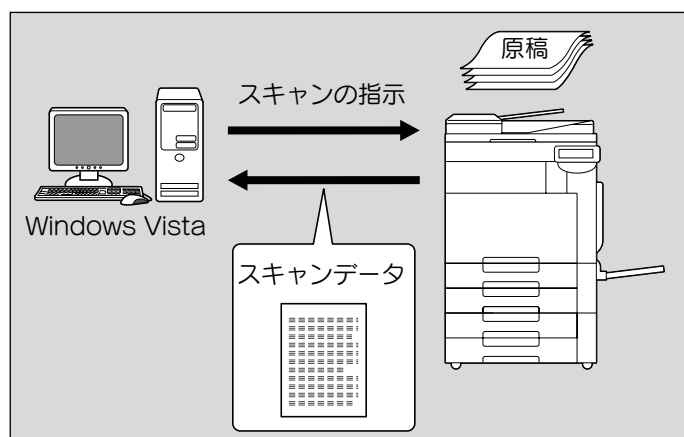
■ WebDAV 送信

スキャンしたデータを指定したサーバーにアップロードします。本機のタッチパネルでサーバーのアドレスやログインパスワードを入力します。サーバーにアップロードしたデータはネットワーク上のコンピューターからダウンロードできます。



■ Web サービス

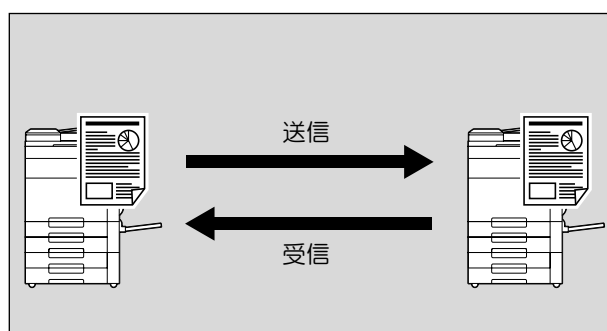
ネットワーク上のコンピューター（Windows Vista）が本機を認識した状態でドライバをインストールすると、コンピューターからスキャンの指示をしたり、本機から目的別にスキャンを行い、コンピューターに送信できます。



1.2.2 ファクス機能でできること

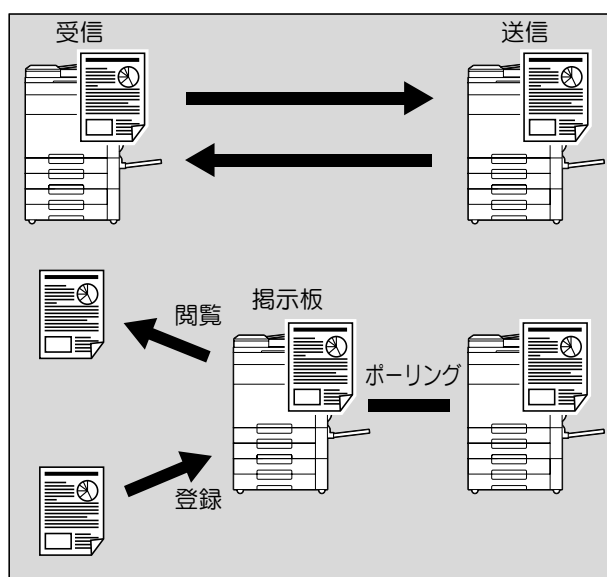
■ G3 ファクスの送受信

G3 ファクスの送受信ができます。本機のタッチパネルで宛先を指定し、同報で送信すること以外に、スキャン送信で使用できる編集機能の一部を付加して送信できます。



■ ポーリング

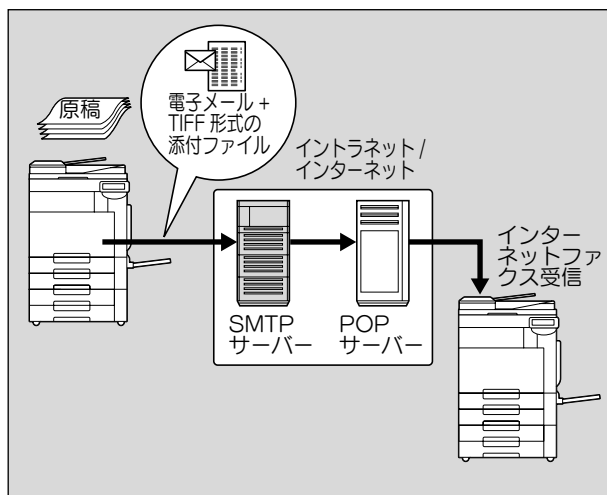
ポーリング指示を送ることで相手先ファクスから原稿を受信したり（ポーリング受信）、相手先からの指示で送信される原稿をあらかじめ登録する（ポーリング送信）ことができます。ポーリング送信ではポーリング送信ボックスを使う方法と、掲示板ボックスを使う方法があります。



1.2.3 ネットワークファクス機能でできること

■ インターネットファクス

イントラネット（企業内ネットワーク）やインターネットを経由して、読取った原稿を、電子メールの添付ファイル（TIFF 形式）として送受信します。イントラネット / インターネット経由で通信するため、一般のファクス通信に比べて通信コストを大幅に削減できます。相手先の E-mail アドレスを指定して送信します。

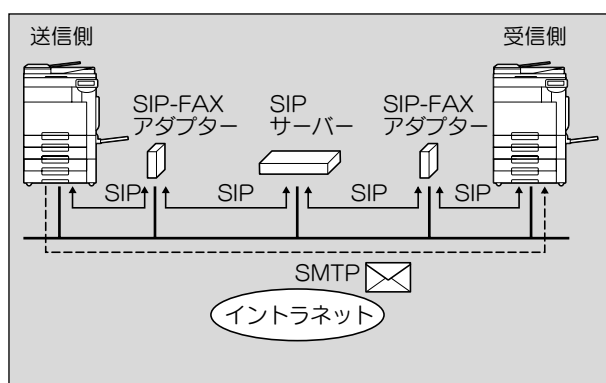


■ SIP ファクス

IP ネットワーク上で通信できるファクスで、SIP（Session Initiation Protocol）を用いて相手先とピアツーピア通信を行います。相手先の SIP ファクス番号を指定して送信します。

G3 ファクスやインターネットファクスとの違いは以下のとおりです。

- イメージデータ送受信のプロトコルには SMTP を使用します。
- イントラネット（企業内ネットワーク）でのみ使用できます。
- インターネットファクスのようにメールサーバーは必要ありません。



ひとこと

SIP ファクスを使用するには、オプションの SIP-FAX アダプターが必要です。

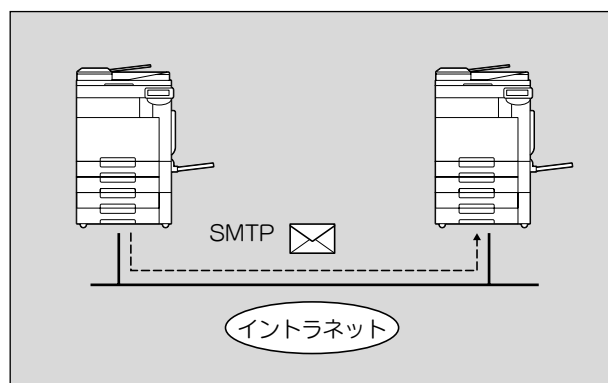
■ IP アドレスファクス

IP ネットワーク上で通信できるファクスで、相手先ファクスの IP アドレスまたはホスト名を指定して送信します。

G3 ファクスやインターネットファクスとの違いは以下のとおりです。

- イメージデータ送受信のプロトコルには SMTP を使用します。
- イン트라ネット（企業内ネットワーク）でのみ使用できます。
- インターネットファクスのようにメールサーバーは必要ありません。

・ 相手先の IP アドレスまたはホスト名を指定して送信する





第 2 章

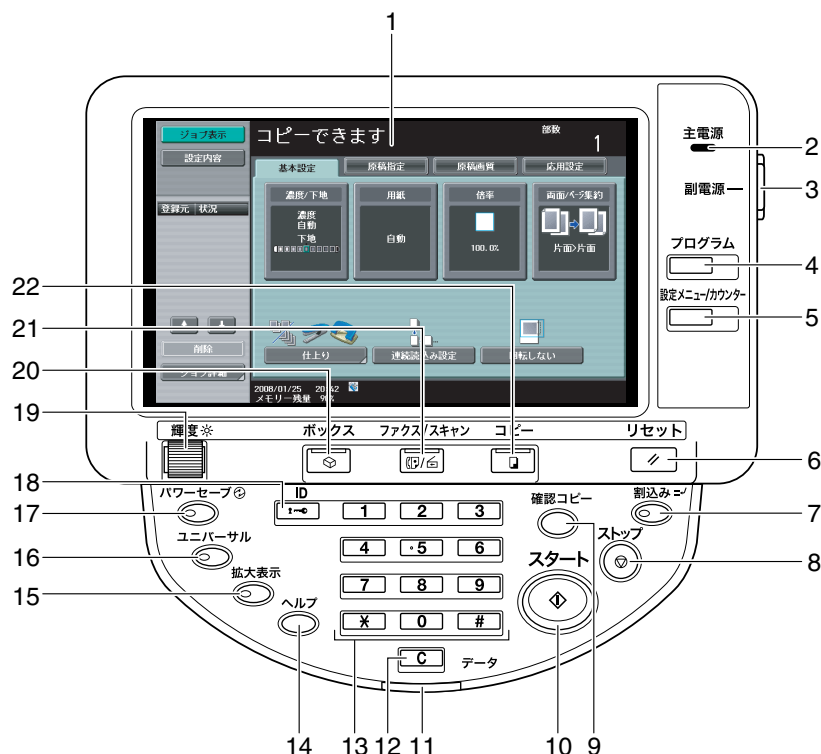
操作パネル / 液晶画面

本機を操作するパネルと液晶画面（タッチパネル）のはたらきについて説明します。

2.1	操作パネル	2-2
2.2	タッチパネル	2-4

2.1 操作パネル

ファクス / スキャンの操作は操作パネルから行います。操作パネルのキーやスイッチについて説明します。



No	名称	説明
1	タッチパネル	各設定画面やメッセージが表示されます。パネルに直接タッチして設定を行います。
2	主電源ランプ	主電源が ON のときに緑色に点灯します。
3	【副電源スイッチ】	コピー、プリント、スキャンなど本機の動作を ON/OFF します。OFF のときは節電状態となります。
4	【プログラム】キー	目的のコピー / スキャン条件を登録（書込み）したり、登録したコピー / スキャン条件を呼出します。
5	【設定メニュー / カウンター】キー	設定メニュー画面、セールスカウンター画面を表示します。
6	【リセット】キー	操作パネル、またはタッチパネルで入力したすべての設定（登録した設定は除く）がクリアされます。
7	【割込み】キー	割込み機能に切り替わります。割込み機能中は【割込み】が緑色に点灯し、タッチパネルに「割込み中です」と表示されます。割込み機能中に【割込み】を押すと割込み機能は解除されます。
8	【ストップ】キー	スキャン中に【ストップ】を押すと、スキャンが一時停止します。
9	【確認コピー】キー	複数部数のコピーを行うときに、先に 1 部だけプリントして仕上りを確認できます。スキャンやコピーの前に押すと、タッチパネル上で仕上り表示を確認できます。
10	【スタート】キー	スキャンを開始します。本機がスキャンを開始できる状態のときは【スタート】が青色に点灯します。【スタート】がオレンジ色に点灯しているときはスキャンを開始できません。一時停止中のジョブが再開します。

No	名称	説明
11	データランプ	プリントジョブを受信中は、青色に点滅します。 データをプリントするときは、青色に点灯します。
12	【C】キー	テンキーで入力した数値（コピー部数、倍率、サイズなど）がクリアされます。
13	テンキー	部数を設定します。 倍率を入力します。 各種の設定値を入力します。
14	【ヘルプ】キー	ヘルプ画面に切り替わります。各機能の説明や操作方法を画面上で表示できます。
15	【拡大表示】キー	拡大表示機能に切り替わります。PageScope Authentication Manager にて認証を行っている場合、拡大表示画面に切り替わりません。
16	【ユニバーサル】キー	ユニバーサル機能の設定画面に切り替わります。
17	【パワーセーブ】キー	パワーセーブ機能に切り替わります。パワーセーブ機能中は【パワーセーブ】が緑色に点灯し、タッチパネルの表示が消えます。パワーセーブ機能中に【パワーセーブ】を押すとパワーセーブ機能は解除されます。
18	【ID】キー	ユーザー認証および部門管理を設定している場合、ユーザー名とパスワード（ユーザー認証）、部門名とパスワード（部門管理）を入力したあとにこのキーを押すと本機が使用できるようになります。ログオフ時にも使用します。
19	コントラスト調整ダイヤル	タッチパネルのコントラストを調整します。
20	【ボックス】キー	ボックスモードに切り替わります。ボックスモード中は【ボックス】が緑色に点灯します。ボックス機能について詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
21	【ファクス / スキャン】キー	ファクス / スキャン機能に切り替わります。ファクス / スキャン機能中は【ファクス / スキャン】が緑色に点灯します。
22	【コピー】キー	コピー機能に切り替わります。（初期設定ではコピー機能が選択されています。） コピー機能中は【コピー】が緑色に点灯します。詳しくは、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

注意

タッチパネルに強い力を加えると、タッチパネルに傷が付いて破損の原因となります。タッチパネルを強く押したり、先のとがったシャープペンシルなどで押さないでください。

2.2 タッチパネル

2.2.1 全体の画面構成



No	名称	説明
1	メッセージ表示エリア	本機の状態や操作手順などを表示します。
2	機能表示エリア	機能を選択するキーが表示されています。このエリアで各種機能を設定します。キーを押すことにより、画面が各機能の設定画面に切り替わります。
3	アイコン表示エリア	ジョブの状態、装置の状態を表すアイコンを表示します。
4	左エリア	実行中 / 待機中のジョブを表示する [ジョブ表示]、設定中の仕上り状態を表示する [設定内容] などのキーが表示されます。 左エリアの表示と内容については、「 左エリアの表示と操作 」(p. 2-6) をごらんください。

■ タッチパネルに表示されるアイコン

アイコン表示エリアには、本機の状態を示すアイコンが表示されることがあります。表示されるアイコンの種類は以下のとおりです。

アイコン	説明
	機能に関係なく、本機からデータを送信していることを示します。
	機能に関係なく、本機がデータを受信していることを示します。
	警告発生中に警告表示画面を閉じた場合に、このアイコンを押すと再び警告表示画面に切り替わります。
	消耗品の交換や装置の点検に関するメッセージがあるときに表示されます。キーを押してメッセージを確認し、交換や点検を行ってください。
	POP サーバーへの接続エラー時に表示されます。
	給紙トレイに用紙がセットされていないことを示します。
	給紙トレイにセットされている用紙が残り少ないことを示します。
	セキュリティ強化設定が適用されていることを示します。
	外部メモリーが装着されていることを表示します。

2.2.2 オプションの有無による表示の違い

オプションのFAXキットを装着しているかどうかで、表示される項目が異なります。

■ FAX キットを装着していない場合



ファクス宛先やファクスに関する機能は表示されません。

■ FAX キットを装着している場合



ファクスの送信履歴から選択できる「履歴から選択」タブ、オフフックからダイアルできる「オフフック」が表示されます。また、「直接入力」タブや送信設定では、ファクス送信に関する設定ができます。

2.2.3 左エリアの表示と操作

タッチパネルの左エリアには、ジョブの状態や設定内容を確認できるキーが表示されます。ファクス / スキャンモードで表示される左エリアのキーは以下のとおりです。



No	名称	説明
1	[ジョブ表示]	本機が実行中のジョブやジョブの履歴を確認できます。
2	[設定内容]	選択したボックスの情報や、読み込み、印刷、送信の各種設定内容を確認できます。

■ ジョブ表示

ボックスへの保存や、保存した文書の印刷 / 送信などの動作の指示をジョブと呼びます。[ジョブ表示]を選択すると、現在動作中のジョブが表示されます。



■ ジョブ表示－削除

実行中のジョブを削除し、動作を中止することができます。ジョブ表示の一覧から削除するジョブを選択し、[削除]を押します。表示されるメッセージを確認して削除してください。



■ ジョブ表示－ジョブ詳細

〔ジョブ詳細〕を押すと右側のエリアにジョブの実行中リストと履歴リストが表示され、確認できます。ジョブには以下の4種類があります。



項目	説明
〔印刷〕	コピー、コンピューターからの印刷、受信ファクスの印刷のジョブリストです。
〔送信〕	スキャナー送信、ファクス送信のジョブリストです。
〔ファクス受信〕	受信ファクスのジョブリストです。
〔保存〕	ボックスへ文書を保存したジョブリストです。

< 〔印刷〕の実行中リスト >

項目	説明
リスト項目	No. : ジョブの登録時に付けられる識別番号です。 登録元 : 登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 状態 : ジョブの状態（受信中 / 印刷待ち / 印刷中 / 印刷停止 / 印刷エラー / 蓄積中）です。 文書名 : 印刷時のファイル名です。 登録時間 : ジョブの登録時間です。 原稿 : 原稿枚数です。 部数 : 印刷部数をカウント表示します。
〔↑〕〔↓〕	ジョブの件数が一度に表示できる件数（7件）を超えた場合に押し、ページを切替えます。
〔削除〕	選択したジョブを削除します。
〔優先出力〕	印刷するジョブの優先度を変更できます。
〔蓄積解除〕	蓄積されたジョブの設定変更、印刷、削除ができます。
〔設定内容〕	選択したジョブの設定内容を確認できます。〔←前画面〕または〔次画面→〕を押して確認します。
〔詳細〕	選択したジョブの状態、登録元 / ユーザー名、文書名、排出先、登録時間、原稿枚数、印刷部数を確認できます。ジョブを削除するときは〔削除〕を押します。

ひとこと

- ・ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。
- ・機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。

ひとこと

- ・管理者設定のジョブ優先順位変更を「禁止」に設定している場合は、優先出力は設定できません。
- ・印刷中のジョブが割り込み可能な設定の場合は、印刷を中断して優先出力ジョブを印刷します。中断されたジョブは、割り込んだジョブの印刷が完了したあと自動的に印刷されます。

< [印刷] の履歴リスト >

印刷されたジョブの履歴が表示されます。

項目	説明
リスト項目	No.: ジョブの登録時に付けられる識別番号です。 登録元: 登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 文書名: 印刷時のファイル名です。 登録時間: ジョブの登録時間です。 原稿: 原稿枚数です。 部数: 印刷部数をカウント表示します。 実行結果: ジョブの実行結果 (正常終了 / エラー消去 / ユーザー消去 / 一部のモード解除) を表示します。
[↑] [↓]	ジョブの件数が一度に表示できる件数 (7 件) を超えた場合に押し、ページを切換えます。
[消去ジョブ] / [終了ジョブ] / [全ジョブ]	ジョブの種類を切換えて表示します。
[詳細]	選択したジョブの実行結果、エラー詳細、登録元 / ユーザー名、文書名、排出先、登録時間、終了時間、原稿枚数、印刷部数を確認できます。

ひとこと

- ・ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。
- ・機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。

< [送信] の実行中リスト >

項目	説明
リスト項目	No.: ジョブの登録時に付けられる識別番号です。 宛先種類: 宛先の種別 (ファクス、E-mail、ファイル FTP、ファイル SMB、WebDAV、TWAIN、その他) です。 状態: ジョブの状態 (送信中 / 送信待ち / ダイアル中 / リダイアル待ち) です。 宛先: 相手のファクス番号、E-mail アドレス、ボックス名などを表示します。 登録時間: ジョブの登録時間です。 原稿: 原稿枚数です。
[↑] [↓]	ジョブの件数が一度に表示できる件数 (7 件) を超えた場合に押し、ページを切換えます。
[タイマー通信ジョブ]	メモリーに蓄積されている送信予約状態を表示します。ジョブを削除するときは [削除] を押します。
[L1] [L2]	オプションの回線拡張キットを装着している場合に表示されます。選択した回線別のリストを表示します。
[削除]	選択したジョブを削除します。
[リダイアル]	状態が「リダイアル待ち」のジョブを選択し、リダイアルを実行します。
[設定内容]	選択したジョブの設定内容を確認できます。[←前画面] または [次画面→] を押して確認します。
[詳細]	選択したジョブの状態、登録元 / ユーザー名、文書名、宛先種類、宛先、登録時間、通信時間、原稿枚数、外部サーバー情報を確認できます。ジョブを削除するときは [削除] を押します。

ひとこと

- ・ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。
- ・機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。
- ・[詳細] の外部サーバー情報は、外部サーバー認証時に表示されます。
- ・Web サービスで送信したジョブは「TWAIN」と表示されます。

< [送信] の履歴リスト >

ファクスの送信またはスキャン送信されたジョブの履歴が表示されます。

項目	説明
リスト項目	No. : ジョブの登録時に付けられる識別番号です。 宛先種類 : 宛先の種別 (ファクス、E-mail、ファイル FTP、ファイル SMB、WebDAV、TWAIN、その他) です。 宛先 : 相手のファクス番号、E-mail アドレス、ボックス名などを表示します。 登録時間 : ジョブの登録時間です。 原稿 : 原稿枚数です。 実行結果 : ジョブの実行結果 (正常終了 / エラー消去 / ユーザー消去) を表示します。
[↑] [↓]	ジョブの件数が一度に表示できる件数 (7 件) を超えた場合に押し、ページを切替えます。
[消去ジョブ] / [終了ジョブ] / [全ジョブ]	ジョブの種類を切替えて表示します。
[通信リスト]	スキャン送信リスト、ファクス送信リスト、ファクス受信リストを表示します。それぞれのリスト画面で通信管理レポート、送信管理レポート、受信管理レポートを出力できます。
[詳細]	選択したジョブの実行結果、エラー詳細、登録元 / ユーザー名、文書名、宛先種類、登録時間、通信時間、原稿枚数、外部サーバー情報を確認できます。

ひとこと

- ・ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。
- ・機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。
- ・[詳細] の外部サーバー情報は、外部サーバー認証時に表示されます。
- ・Web サービスで送信したジョブは「TWAIN」と表示されます。
- ・ファクスの受信後に転送または中継送信された場合にも、[送信] の履歴リストに表示されません。

< [ファクス受信] の実行中リスト >

項目	説明
リスト項目	No. : ジョブの登録時に付けられる識別番号です。 登録元 : 登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 状態 : ジョブの状態 (受信 / ダイアル中 (ポーリング受信時) / 印刷待ち / 印刷中 / 印刷停止 / 印刷エラー / メモリ保存中) です。 文書名 : 受信または保存した文書名を表示します。 登録時間 : ジョブの登録時間です。 原稿 : 受信した原稿枚数です。
[↑] [↓]	ジョブの件数が一度に表示できる件数 (7 件) を超えた場合に押し、ページを切替えます。
[削除]	選択したジョブを削除します。
[リダイヤル]	状態が「リダイヤル待ち」のジョブを選択し、リダイヤルを実行します。
[転送]	メモリー代行受信したファクスを転送します。転送する宛先は登録宛先または直接入力で指定します。
[詳細]	選択したジョブの状態、登録元 / ユーザー名、文書名、排出先、登録時間、通信時間、原稿枚数を確認できます。ジョブを削除するときは [削除] を押します。

ひとこと

- ・ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。
- ・機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。

< [ファクス受信] の履歴リスト >

ファクスを受信、転送、中継送信されたジョブの履歴が表示されます。

項目	説明
リスト項目	No.: ジョブの登録時に付けられる識別番号です。 登録元: 登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 文書名: 受信または保存した文書名を表示します。 登録時間: ジョブの登録時間です。 原稿: 原稿枚数です。 実行結果: ジョブの実行結果 (正常終了 / エラー消去 / ユーザー消去 / モード解除) を表示します。
[↑] [↓]	ジョブの件数が一度に表示できる件数 (7 件) を超えた場合に押し、ページを切替えます。
[消去ジョブ] / [終了ジョブ] / [全ジョブ]	ジョブの種類を切替えて表示します。
[通信リスト]	スキャン送信リスト、ファクス送信リスト、ファクス受信リストを表示します。それぞれのリスト画面で通信管理レポート、送信管理レポート、受信管理レポートを出力できます。
[詳細]	選択したジョブの実行結果、エラー詳細、登録元 / ユーザー名、文書名、排出先、登録時間、通信時間、原稿枚数を確認できます。

ひとこと

- ・ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。
- ・機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。
- ・ファクスの受信後にプリントされた場合は、[ファクス受信] の履歴リストには表示されず、[印刷] の履歴リストに表示されます。

< [保存] の実行中リスト >

項目	説明
リスト項目	No.: ジョブの登録時に付けられる識別番号です。 登録元: 登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 状態: ジョブの状態 (受信中、メモリー保存中) です。 文書名: 保存した文書名を表示します。 登録時間: ジョブの登録時間です。 原稿: 原稿枚数です。
[↑] [↓]	ジョブの件数が一度に表示できる件数 (7 件) を超えた場合に押し、ページを切替えます。
[削除]	選択したジョブを削除します。
[詳細]	選択したジョブの状態、登録元 / ユーザー名、文書名、保存先ボックス、登録時間、原稿枚数を確認できます。 ジョブを削除するときは [削除] を押します。

ひとこと

- ・ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。
- ・機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。

< [保存] の履歴リスト >

ボックスに保存されたジョブの履歴が表示されます。

項目	説明
リスト項目	No.: ジョブの登録時に付けられる識別番号です。 登録元: 登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 文書名: 保存した文書名を表示します。 登録時間: ジョブの登録時間です。 原稿: 原稿枚数です。 実行結果: ジョブの実行結果 (正常終了 / エラー消去 / ユーザー消去 / モード解除) を表示します。
[↑] [↓]	ジョブの件数が一度に表示できる件数 (7 件) を超えた場合に押し、ページを切替えます。
[消去ジョブ] / [終了ジョブ] / [全ジョブ]	ジョブの種類を切替えて表示します。

ひとこと

- ・ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。
- ・機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。
- ・ファクスを強制メモリー受信や親展受信した場合は、[保存] の履歴リストに表示されます。

項目	説明
[通信リスト]	スキャン送信リスト、ファクス送信リスト、ファクス受信リストを表示します。それぞれのリスト画面で通信管理レポート、送信管理レポート、受信管理レポートを出力できます。
[詳細]	選択したジョブの実行結果、エラー詳細、登録元 / ユーザー名、文書名、保存先ボックス、登録時間、原稿枚数を確認できます。

■ 設定内容－詳細確認 / 登録

[設定内容] を押すと [詳細確認 / 登録] が表示されます。

[詳細確認 / 登録] を押すと以下の設定を確認できます。

- 宛先確認 / 登録
- 読み込み設定内容
- 原稿設定内容
- 通信設定内容
- E-mail 設定内容

■ 設定内容－詳細確認 / 登録－宛先確認 / 登録

送信先として登録されている宛先の一覧を表示します。

- 宛先を新しく追加する場合は、[宛先登録] を押します。
- 表示されている宛先の情報を知りたい場合は、宛先を選択して [宛先詳細] を押します。
- 宛先を削除する場合は、宛先を選択して [削除] を押します。



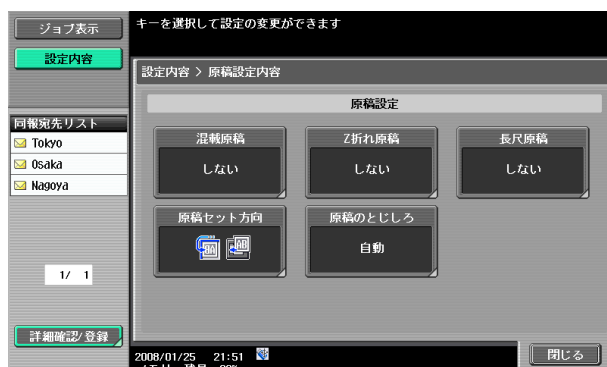
■ 設定内容－詳細確認 / 登録－読み込み設定内容

読み込みの基本設定、読み込み指定、応用設定の内容が確認できます。[←前画面] または [次画面→] を押して確認します。



■ 設定内容－詳細確認 / 登録－原稿設定内容

原稿設定の内容が確認できます。



■ 設定内容－詳細確認 / 登録－通信設定内容

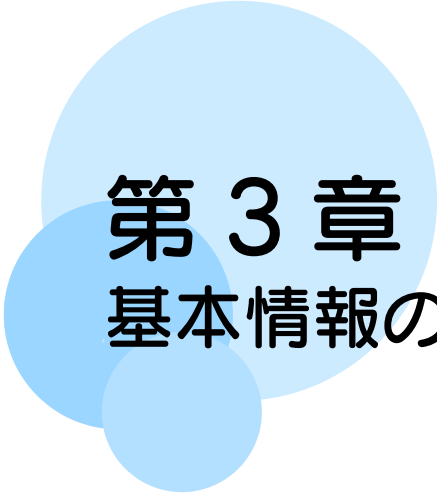
回線設定、送受信方設定の内容を確認できます。[←前画面] または [次画面→] を押して確認します。



■ 設定内容－詳細確認 / 登録－E-mail 設定内容

E-mail 送信を行う場合の文書名、件名、From アドレス、本文内容を確認できます。





第 3 章

基本情報の登録

スキャン、ファクス機能を使用する前に必要な設定や登録について説明します。

3.1	はじめて使用する場合	3-2
3.2	宛先登録	3-4
3.3	その他必要に応じて行う設定	3-5
3.4	Web サービスを使用する場合	3-6

3.1 はじめて使用する場合

初めて使用するときは、以下の登録が必要です。

3.1.1 必要な環境と設備

各種機能を使用するために必要な環境と設備は以下のとおりです。

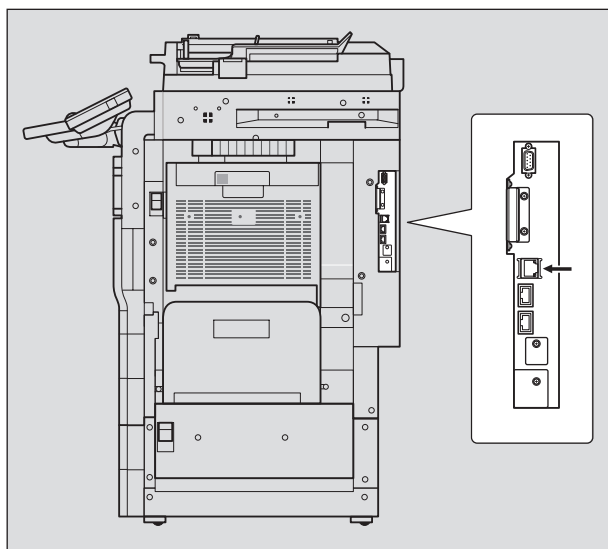
機能		環境と設備
ネットワークスキャン機能		・ ネットワークの接続 ・ ネットワークの設定
G3 ファクス機能		・ FAX キット（オプション）の装着 ・ モジュラーケーブルの接続
ネットワーク ファクス機能	インターネット ファクス	・ IC-207（オプション）、ハードディスク （オプション）の装着 ・ ネットワークの接続 ・ ネットワークの設定
	SIP ファクス	・ FAX キット（オプション）の装着 ・ IC-207（オプション）、ハードディスク （オプション）の装着 ・ SIP-FAX アダプター（オプション）の 装着 ・ ネットワークの接続 ・ ネットワークの設定
	IP アドレス ファクス	・ FAX キット（オプション）の装着 ・ IC-207（オプション）、ハードディスク （オプション）の装着 ・ ネットワークの接続 ・ ネットワークの設定

3.1.2 ネットワークの接続と設定

ネットワークスキャン機能、ネットワークファクス機能のようにイメージデータをネットワーク経由で送信する機能を使用する場合、ネットワークへの接続と設定が必要です。

■ ネットワークの接続

本機の Ethernet コネクタに、ネットワークに接続された UTP ケーブル（カテゴリー 5 以上推奨）を接続します。



■ ネットワークの設定

IP アドレスの割り当てや SMTP サーバーの設定などが必要です。詳しい操作の手順は「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

■ 本機の E-mail アドレスの設定

スキャンしたデータを E-mail 送信したり、インターネットファクスを使用する場合は、本体に E-mail アドレスを登録する必要があります。この E-mail アドレスはデータを送受信するときに使用します。通常は管理者登録の E-mail アドレスを使用することをおすすめします。

管理者登録の E-mail アドレスが設定されていない場合は E-mail 送信ごとに発信元の E-mail アドレスを入力する必要があります。アドレスの入力がないときは E-mail 送信はできません。

ひとこと

ユーザー認証を設定しているときは、ユーザーごとに設定した E-mail アドレスが発信元アドレスとなります。



本機の E-mail アドレスの設定は、「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

3.1.3 SIP-FAX アダプターの接続

SIP ファクスを使用する場合は、オプションの SIP-FAX アダプターを装着する必要があります。SIP ファクス機能を使用すると、IP アドレスファクスは使用できません。

3.1.4 モジュラーケーブルの接続

電話回線を使用するファクスを送受信する場合に接続します。G3 ファクスを使用する場合は、オプションの FAX キットを装着する必要があります。また、2 回線を使用する場合はさらにオプションの回線拡張キットを装着する必要があります。

電話回線に接続したモジュラーケーブルを所定のコネクタに接続してください。接続するコネクタの位置は「ユーザズガイド コピー機能編」をごらんください。

3.2 宛先登録

ファクス、スキャンしたデータの送信先（宛先）を登録します。登録方法は以下の種類があります。

- 本機のタッチパネルから設定する
- ネットワーク上のコンピューターから PageScope Web Connection を使う

3.2.1 短縮宛先

短縮宛先には以下の種類があります。短縮宛先の登録方法は、「[宛先 / ボックス登録](#)」(p. 9-5) をご覧ください。

- E-mail 送信
- ボックス保存
- ファクス送信
- SIP ファクス送信
- ファイル送信 (SMB)
- ファイル送信 (FTP)
- ファイル送信 (WebDAV)
- IP アドレスファクス送信
- インターネットファクス送信

3.2.2 グループ宛先

短縮宛先を組み合わせるグループ宛先として登録できます。複数の宛先に同時に送信するときなどに便利です。

ひとこと

Web サービスでは短縮宛先は登録できません。直接入力で宛先を指定してください。

3.3 その他必要に応じて行う設定

使い方に応じて以下の設定もできます。

■ ファクス / スキャンプログラム

送信先や読込みの設定などをまとめてひとつのプログラムとして設定します。いつも同じ条件でスキャン、送信する場合などに便利です。設定は本機のタッチパネルで行います。

■ 画面表示の設定

操作パネルの【ファクス / スキャン】を押したときに表示される画面の内容を設定します。



詳しくは、「[ファクス / スキャンプログラム](#)」(p. 9-28) をごらんください。



詳しくは、「[画面カスタマイズ設定ーファクス / スキャン設定](#)」(p. 9-35) をごらんください。

3.4 Web サービスを使用する場合

ネットワーク上のコンピューター（Windows Vista）からスキャンの指示をしたり、本機から目的別にスキャンを行い、コンピューターに送信できます。ここでは、コンピューター側で事前に必要となる設定について説明します。

3.4.1 Web サービスを使用するために必要な設定

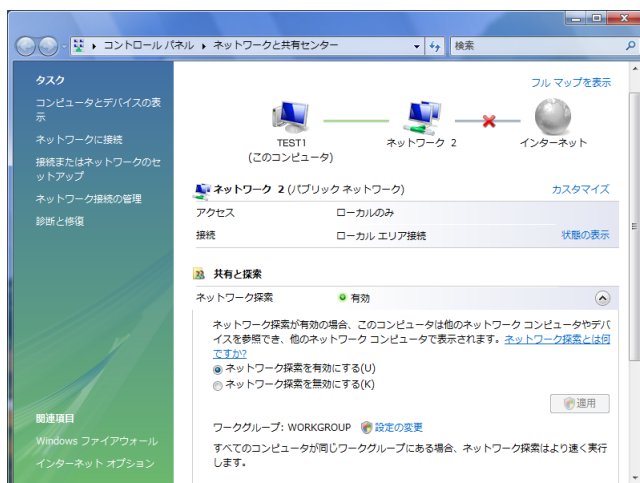
Web サービスを使用するために必要な設定は以下のとおりです。

- コンピューターに本機をインストールする
- 本機で Web サービスを行うための設定をする

3.4.2 コンピューターに本機をインストールする

■ インストール前の確認

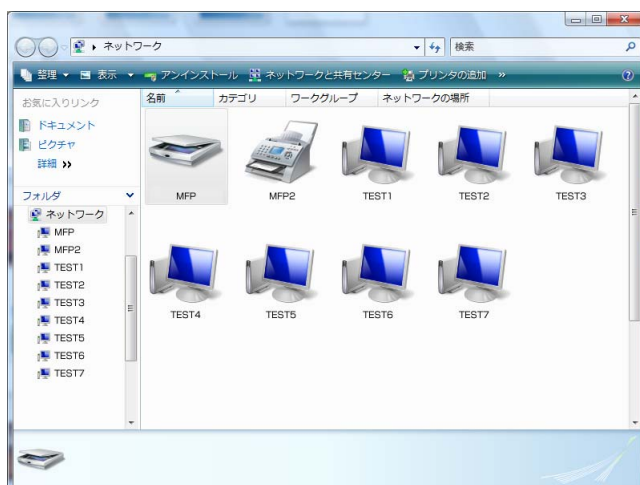
インストールの前に、[コントロールパネル] - [ネットワークと共有センター] で、「ネットワーク探索」が有効に設定されていることを確認してください。



■ インストールの手順

1

[スタート] ボタンから [ネットワーク] を選択します。
ネットワークに接続されている機器が表示されます。

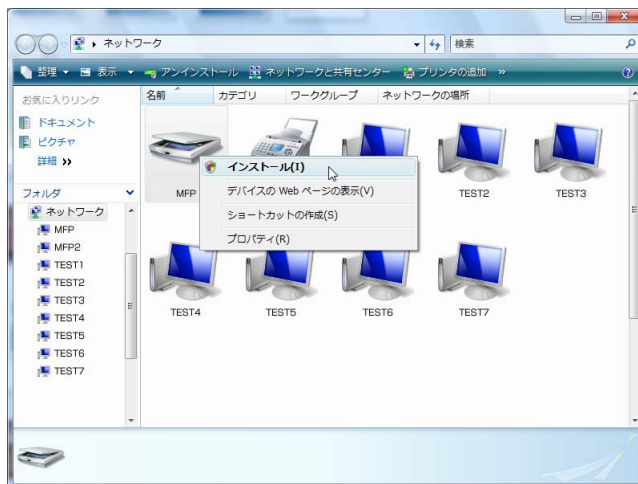


詳しく説明します

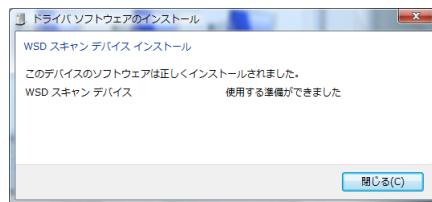
本機での Web サービスの設定は、管理者設定で行います。詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク 管理者編」をごらんください。

2

本機のスキャナーアイコンを右クリックし、[インストール] を選択します。



○ ドライバソフトウェアが自動的にインストールされます。確認画面が表示されたら [閉じる] をクリックします。



3

本機の操作パネルで [Web サービス] を選択し、接続先が表示されていることを確認します。

ひとこと

- ・ コンピューター側の設定によっては、UAC (User Account Control) 画面が表示されることがあります。内容を確認し、続行してください。
- ・ 本機で Web サービスのスキャン機能とプリンター機能の両方が有効に設定されている場合、本機はプリンターアイコンで表示されます。



第 4 章

送信する

ファクス、スキャンしたデータを送信する方法と設定できる機能について説明しています。

4.1	操作の流れ	4-2
4.2	仕上りプレビューを使う	4-10
4.3	ファクス / スキャンモードメニューツリー	4-14
4.4	ファクス / スキャン初期画面	4-18
4.5	読み込み設定	4-30
4.6	原稿設定	4-47
4.7	通信設定	4-49
4.8	リダイヤル（G3/IP/SIP）について	4-58

4.1 操作の流れ

4.1.1 スキャン/ネットワークファクス

スキャン送信およびネットワークファクス機能を使う場合の手順のながれを説明します。

【ファクス/スキャン】キーを押す



宛先を指定する

登録宛先から (p. 4-19)



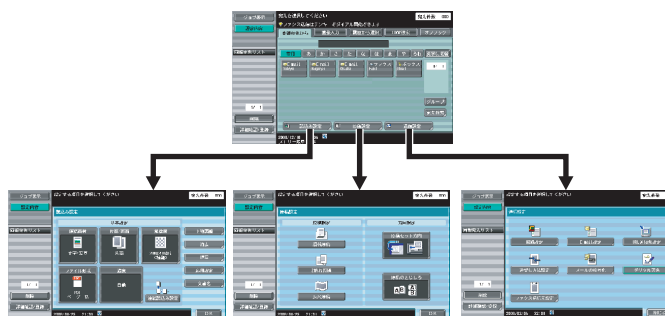
直接入力から (p. 4-21)



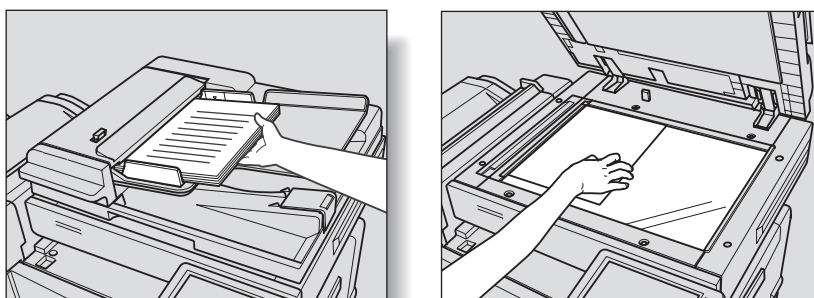
LDAP 検索から (p. 4-27)



読み込み設定 (p. 4-30)、原稿設定 (p. 4-47)、
通信設定 (p. 4-49) を行う



原稿をセットする



仕上がりプレビューを確認する場合は、【確認コピー】
キーを押す (p. 4-10)



【スタート】キーを押す



4.1.2 ファクス (G3)

G3 ファクスを使う場合の手順のながれを説明します。

【ファクス/スキャン】キーを押す

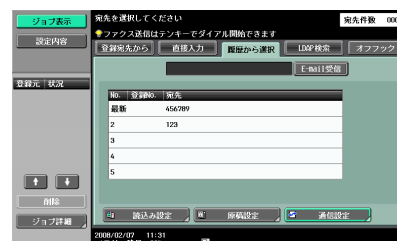
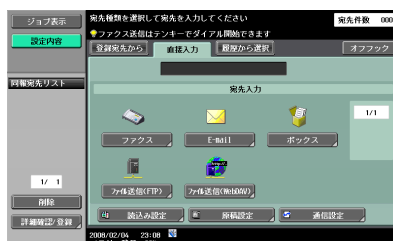


宛先を指定する

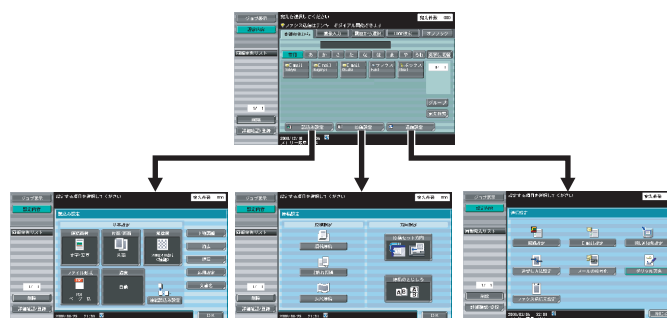
登録宛先から (p. 4-19)

直接入力から (p. 4-21)

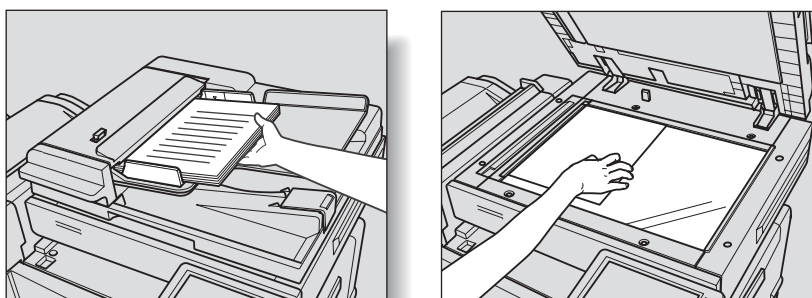
履歴から選択 (p. 4-27)



読み込み設定 (p. 4-30)、原稿設定 (p. 4-47)、
通信設定 (p. 4-49) を行う



原稿をセットする



仕上がりプレビューを確認する場合は、【確認コピー】
キーを押す (p. 4-10)



【スタート】キーを押す



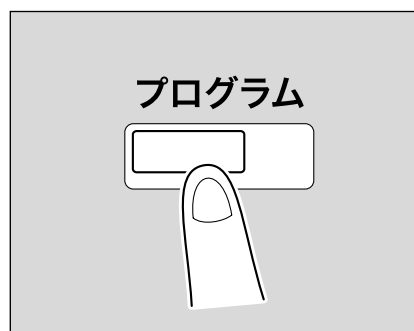
4.1.3 プログラムの呼び出し

登録したファクス / スキャンプログラムを呼び出すながれを説明します。

【ファクス / スキャン】キーを押す



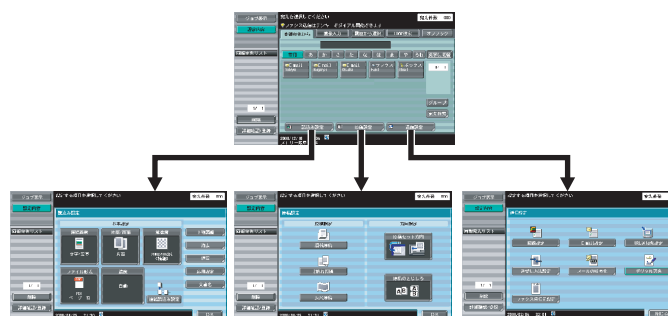
【プログラム】キーを押す



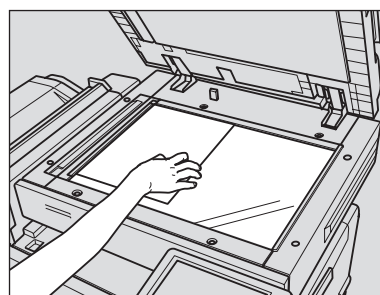
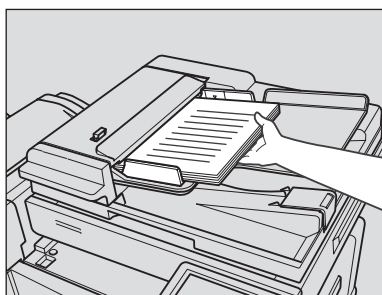
プログラムを選択し、[OK] を押す



読み込み設定 (p. 4-30)、原稿設定 (p. 4-47)、
通信設定 (p. 4-49) を行う



原稿をセットする



仕上がりプレビューを確認する場合は、【確認コピー】
キーを押す (p. 4-10)



【スタート】キーを押す



プログラム登録の内容と手順は「ファクス/スキャンプログラム」(p. 9-28) をご覧ください。

4.1.4 同報送信

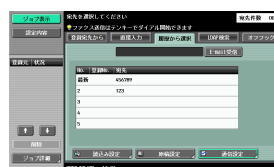
同時に複数の宛先に送信する手順を説明します。

【ファクス / スキャン】キーを押す

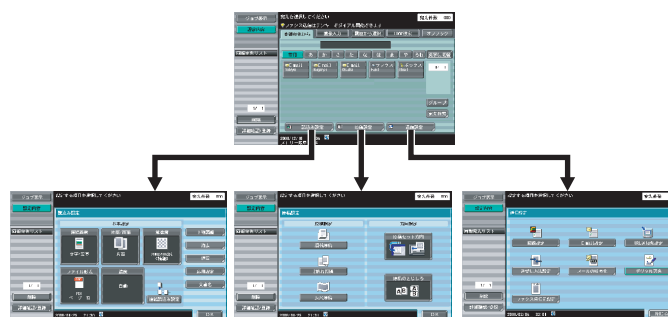


宛先を複数指定する

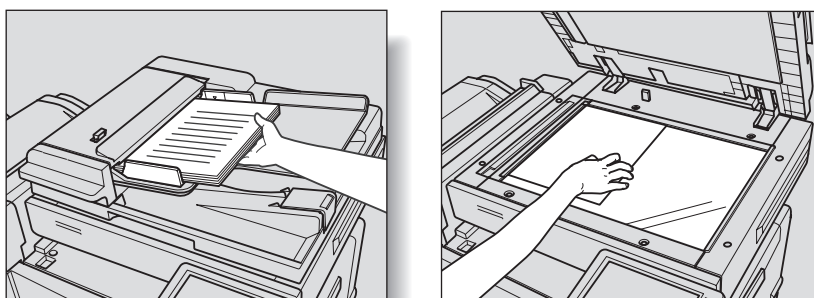
登録宛先から (p. 4-19) 直接入力から (p. 4-21) 送信履歴から (p. 4-27) LDAP 検索から (p. 4-27)



読み込み設定 (p. 4-30)、原稿設定 (p. 4-47)、
通信設定 (p. 4-49) を行う



原稿をセットする



仕上りプレビューを確認する場合は、【確認コピー】
キーを押す (p. 4-10)



【スタート】キーを押す



4.2 仕上りプレビューを使う

ファクス、スキャン送信で原稿をセットしたあと、操作パネルの【確認コピー】キーを押すと仕上り状態を操作パネル上にプレビュー表示できます。プレビュー詳細画面では、読み込んだ原稿の向きを確認したり、設定内容を変更することができます。

4.2.1 プレビュー詳細画面

■ プレビュー詳細－確認表示

読み込んだ画像を表示します。



項目	説明
[前ページ] / [次ページ]	保存されている文書が複数ページある場合、ページを切り替えて表示できます。
表示サイズ変更	全体表示 / 2 倍 / 4 倍 / 8 倍の大きさを文書の詳細を確認できます。表示サイズを選択し、画像の右側と下側のスクロールバーで表示箇所を移動させます。
表示画像回転	[現在表示中のページ]：現在表示されているページを 180 度回転して表示します。 [読み込みページ一覧から選択]：保存されている文書が複数ページある場合に表示されます。読み込みページの一覧画面が表示され、指定したページの表示を 180 度回転します。 読み込みページの一覧画面の操作は以下のとおりです。 [奇数ページ]：奇数ページの画像を 180 度回転します。 [偶数ページ]：偶数ページの画像を 180 度回転します。 [全ページ]：すべてのページの画像を 180 度回転します。
[仕上り表示]	設定した内容が、プレビュー画像の中にアイコンや文字で表示されます。[仕上り表示] を解除すると、アイコンや文字が消え、画像だけが表示されます。
[設定変更]	原稿を読み込む前に行った設定の一部を変更できます。詳しくは、「 プレビュー詳細－確認表示－設定変更 」(p. 4-11) をご覧ください。

ひとこと

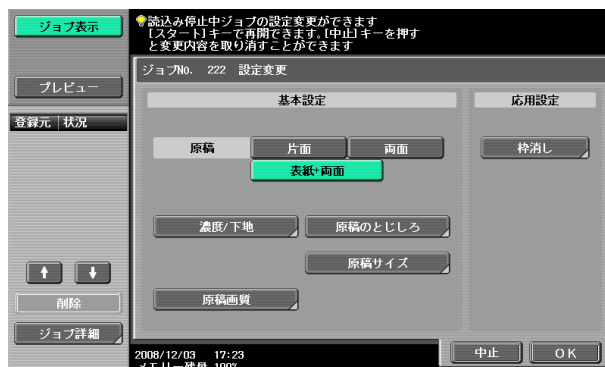
仕上りプレビュー機能を利用するには、オプションのハードディスクが必要です。

ひとこと

ページを直接選択すると、選択したページの画像が 180 度回転します。

■ プレビュー詳細－確認表示－設定変更

原稿を読み込む前に行った設定のうち、以下の内容を変更できます。
変更した内容は追加して読み込んだ原稿で反映されます。



項目	説明
基本設定－原稿	片面または両面を選択できます。「表紙＋両面」が設定されている場合は、「表紙＋両面」も表示されます。
基本設定－濃度 / 下地	濃度 / 下地を調整できます。
基本設定－原稿のとじしろ	E-mail、ボックス、ファイル送信 (FTP)、ファイル送信 (SMB)、ファイル送信 (WebDAV) のいずれかの宛先を指定して、ブック連写を選択していないときに選択できます。
基本設定－原稿サイズ	混載原稿が設定されているときに選択できます。
基本設定－原稿画質	原稿画質を設定できます。
応用設定－枠消し	枠消しを設定できます。

■ プレビュー詳細－状態表示

読みみをさらに続けるかどうかを設定できます。



項目	説明
「読み込み終了」	現在表示されている原稿に続き、読みみを続ける場合は「読み込み終了」が選択されていない状態にします。

4.2.2 仕上りプレビューを使った送信

原稿をセットしたあとの手順を説明します。ファクス、スキャン送信の流れは、「[操作の流れ](#)」(p. 4-2)をごらんください。

1

原稿をセットします。

2

【確認コピー】を押します。

3

原稿セット方向を選択します。

＜原稿ガラスにセットした場合＞



＜ADF にセットした場合＞



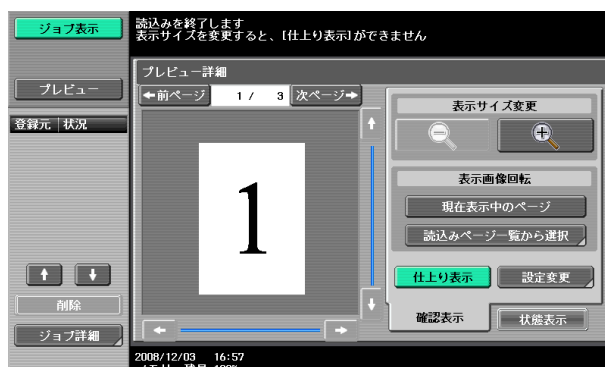
4

【スタート】を押します。

原稿が読みまれ、プレビュー詳細画面が表示されます。

5

プレビュー画像を確認し、必要に応じて画像の回転や設定の変更を行います。



- 引き続き原稿を読み込む場合は、[状態表示] タブを押して [読み込み終了] の選択を解除し、原稿をセットします。



6

- 【スタート】を押します。
送信が開始されます。

4.3 ファクス / スキャンモードメニューツリー

ファクス / スキャンモードで操作できる機能の構成や設定項目は以下のようになっています。

■ 「登録宛先から」タブ (p. 4-19)

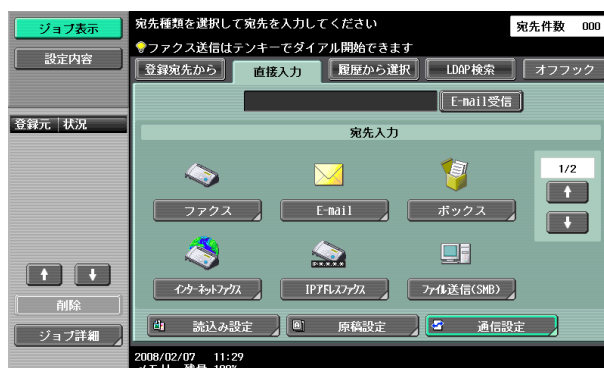
「登録宛先から」で操作できる内容は以下のとおりです。



- グループ (p. 4-19)
- 宛先検索 (p. 4-19)
- 読み込み設定 (p. 4-30)
- 原稿設定 (p. 4-47)
- 通信設定 (p. 4-49)

■ 「直接入力」タブ (p. 4-21)

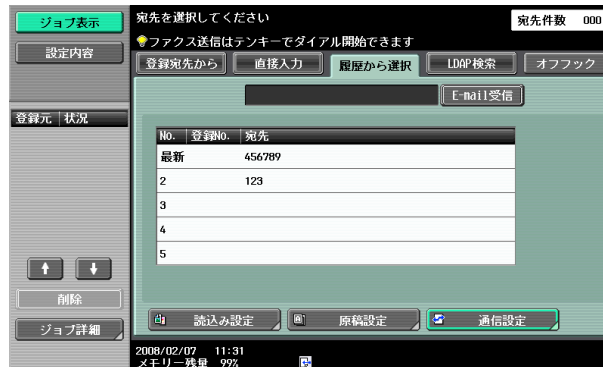
「直接入力」で操作できる内容は以下のとおりです。



- ファクス (p. 4-21)
- SIP ファクス (p. 4-22)
- E-mail (p. 4-22)
- ボックス (p. 4-22)
- インターネットファクス (p. 4-23)
- IP アドレスファクス (p. 4-23)
- ファイル送信 (SMB) (p. 4-24)
- ファイル送信 (FTP) (p. 4-24)
- ファイル送信 (WebDAV) (p. 4-26)
- ファイル送信 (Web サービス) (p. 4-27)
- 読み込み設定 (p. 4-30)
- 原稿設定 (p. 4-47)
- 通信設定 (p. 4-49)

■ [履歴から選択] タブ (p. 4-27)

[履歴から選択] で操作できる内容は以下のとおりです。



履歴

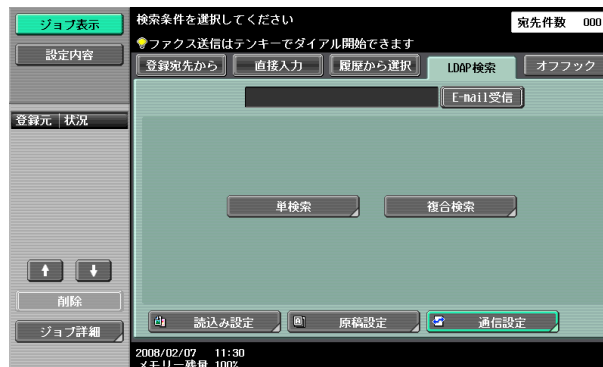
読み込み設定 (p. 4-30)

原稿設定 (p. 4-47)

通信設定 (p. 4-49)

■ [LDAP 検索] タブ (p. 4-27)

[LDAP 検索] で操作できる内容は以下のとおりです。



単検索 (p. 4-27)

複合検索 (p. 4-28)

読み込み設定 (p. 4-30)

原稿設定 (p. 4-47)

通信設定 (p. 4-49)

■ オフフック (p. 4-29)

■ [読み込み設定] (p. 4-30)

〔読み込み設定〕で設定できる内容は以下のとおりです。



原稿画質 (p. 4-30)

片面 / 両面 (p. 4-30)

解像度 (p. 4-30)

- ファイル形式 (p. 4-31)
 - ファイル形式 (p. 4-31)
 - ページ設定 (p. 4-31)
 - 暗号化 (p. 4-32)
 - スタンプ合成方法 (p. 4-33)

濃度 (p. 4-34)

連続読込み設定 (p. 4-34)

下地調整 (p. 4-34)

消去——[榨消し](#) (p. 4-35)

連写————ブック連写 (p. 4-35)

応用設定 ———— 読み込みサイズ (p. 4-36)

—ファイリングナンバー (p. 4-37)

- スタンプ / ページ印字
 - 日付 / 時刻 (p. 4-37)
 - 日付種類
 - 時刻種類
 - 印字ページ
 - 文字サイズ
 - 印字位置指定
 - ページ番号 (p. 4-39)
 - 印字開始ページ番号
 - 印字開始章番号
 - ページ種類
 - 文字サイズ
 - 印字位置指定
 - スタンプ (p. 4-40)
 - 定型スタンプ種類
 - 印字ページ
 - 文字サイズ
 - 印字位置指定
 - ヘッダー / フッター (p. 4-41)
 - ヘッダー / フッター呼出し
 - 確認 / 一時変更

- 同時印刷 (p. 4-44) —
 - 部数
 - 片面 / 両面印刷
 - ステープル

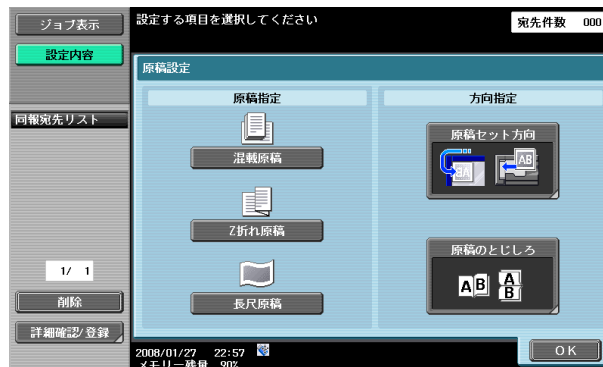
— 済みスタンプ (p. 4-45)

└ネガポジ反転 (p. 4-46)

文書名 (p. 4-46)

■ [原稿設定] (p. 4-47)

[原稿設定] で設定できる内容は以下のとおりです。



- 原稿指定 (p. 4-47)
 - 混載原稿 (p. 4-47)
 - Z折れ原稿 (p. 4-47)
 - 長尺原稿 (p. 4-47)
- 方向指定 (p. 4-47)
 - 原稿セット方向 (p. 4-47)
 - 原稿の向き (p. 4-48)

■ [通信設定] (p. 4-49)

[通信設定] で設定できる内容は以下のとおりです。

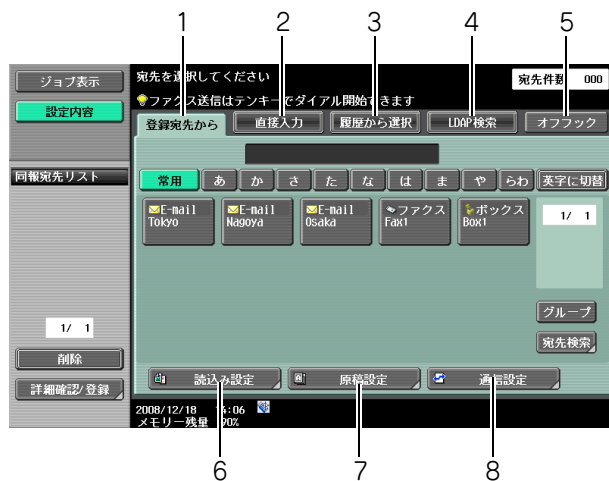


- 回線設定 (p. 4-49)
 - 海外通信モード (p. 4-49)
 - ECM OFF (p. 4-49)
 - V34 OFF (p. 4-50)
 - 宛先確認送信 (p. 4-50)
 - 回線指定 (p. 4-50)
- E-mail 設定 (p. 4-50)
 - 文書名 (p. 4-50)
 - 件名 (p. 4-51)
 - From (p. 4-51)
 - 本文 (p. 4-51)
- URL 通知先設定 (p. 4-52)
- 送受信方法設定 (p. 4-53)
 - タイマー通信 (p. 4-53)
 - ポーリング受信
 - 通常 (p. 4-53)
 - 掲示板 (p. 4-54)
 - Fコード送信 (p. 4-54)
 - SUB アドレス
 - 送信 ID
 - パスワード送信 (p. 4-55)
 - ポーリング送信
 - 通常 (p. 4-55)
 - 掲示板 (p. 4-56)
- メールの暗号化 (p. 4-56)
- デジタル署名 (p. 4-56)
- ファクス発信元設定 (p. 4-57)

4.4 ファクス / スキャン初期画面

4.4.1 画面構成の説明

【ファクス / スキャン】を押すと、以下の画面が表示されます。



No	項目	説明	参照先
1	[登録宛先から]	あらかじめ登録された宛先から送信先を選択します。	p. 4-19
2	[直接入力]	登録されていない宛先を直接入力して指定します。	p. 4-21
3	[履歴から選択]	ファクスの送信履歴から選択します。	p. 4-27
4	[LDAP 検索]	LDAP サーバーから宛先を検索します。	p. 4-27
5	[オフフック]	オフフックしてダイヤルできます。	p. 4-29
6	[読み込み設定]	スキャン時の読み込みの詳細を設定できます。	p. 4-30
7	[原稿設定]	原稿の種類やセット方向の詳細を設定できます。	p. 4-47
8	[通信設定]	通信に関する設定を行います。	p. 4-49

ひとこと

管理者モードの「セキュリティ設定」で手動宛先入力を禁止にした場合は、[直接入力]が表示されません。

詳しく説明します

- ・ LDAP サーバーの設定について詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」の「LDAP 使用設定」をごらんください。
- ・ [LDAP 検索] の表示位置はユーザー設定の内容によって変わります。詳しくは「宛先種類初期表示」(p. 9-37)をごらんください。

ひとこと

宛先 2 度入力機能 (送信) を ON に設定しているときは、[履歴から選択] と [オフフック] は表示されません。宛先 2 度入力機能については、「機能 ON/OFF 設定 - 宛先 2 度入力機能 (送信) (G3/SIP)」(p. 10-26)をごらんください。

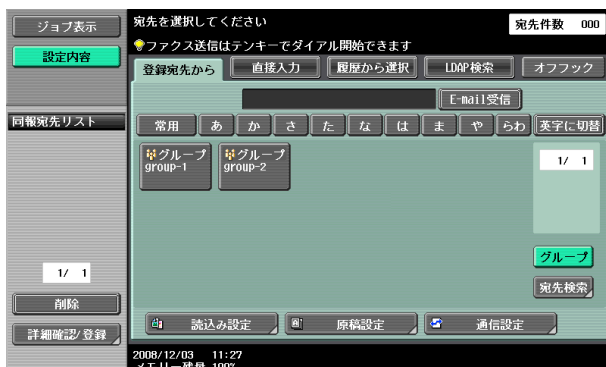
4.4.2 登録宛先から

登録されている宛先を選択できます。



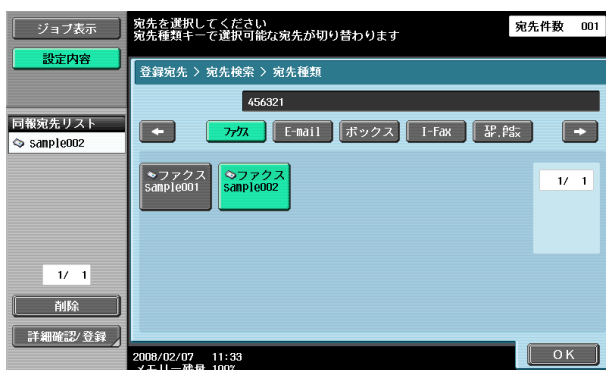
■ グループ

登録されているグループ宛先が表示されます。



■ 宛先検索 — 宛先種類

宛先登録時に設定した宛先種類別に検索できます。



ひとこと

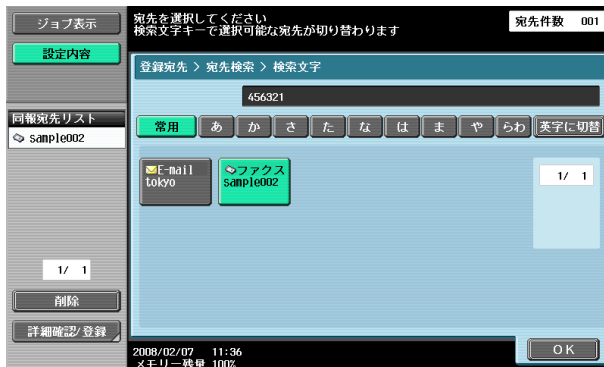
設定メニューの「ユーザー設定」
－「画面カスタマイズ設定」－
「ファクス / スキャン設定」で
「登録宛先から」初期表示」を
「検索文字」に設定しているときに
表示されます。(p. 9-37)

参照

短縮宛先の登録については、「宛先 / ボックス登録」(p. 9-5) をご覧ください。

■ 宛先検索－検索文字

宛先登録時に設定した検索文字別に表示されます。



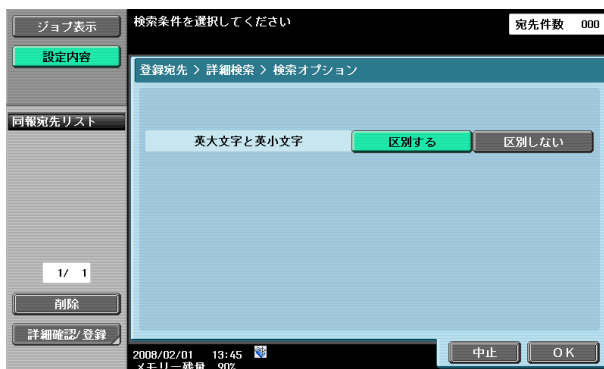
■ 宛先検索－詳細検索

アドレスの名称や内容の一部を入力して、該当するアドレスを検索します。[名称] または [宛先] を選択し、検索文字を入力してください。



■ 詳細検索－検索オプション

詳細検索で、条件を選択すると検索時のオプション項目が表示されます。検索時に追加したい内容を選択し、[OK] を押します。



ひとこと

設定メニューの [ユーザー設定] - [画面カスタマイズ設定] - [ファクス/スキャン設定] で [「登録宛先から」初期表示] を「宛先種類」に設定しているときに表示されます。(p. 9-37)



短縮宛先の登録については、「宛先/ボックス登録」(p. 9-5) をご覧ください。

ひとこと

検索オプション画面の表示や、表示される項目の内容は設定メニューの「検索オプション設定」で設定します。詳しくは、「画面カスタマイズ設定－検索オプション設定 (E-mail/Box/SMB/FTP/WebDAV/G3/IP/SIP/I-FAX)」(p. 9-38) をご覧ください。

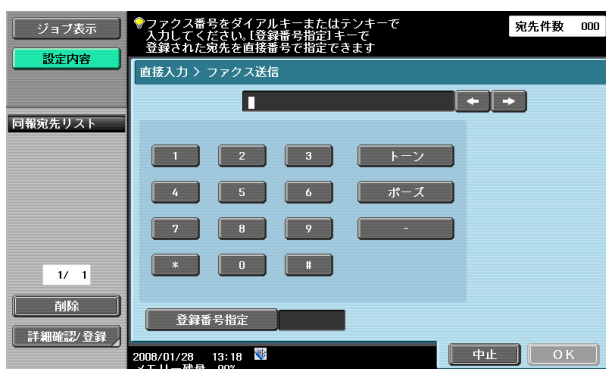
4.4.3 直接入力

登録されていない送信先を直接入力することで指定できます。

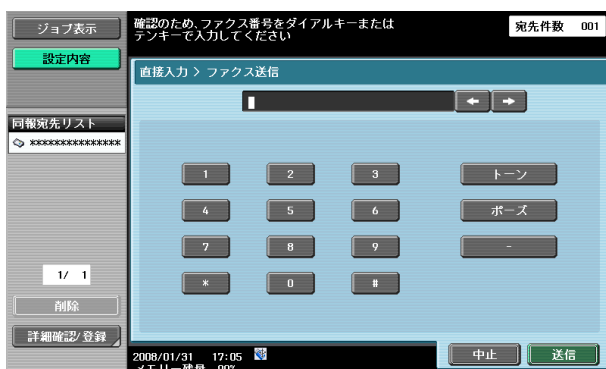


4.4.4 直接入力カーファクス

テンキーまたはパネルのキーを使ってファクス番号を入力します。



「宛先2度入力機能（送信）」が設定されている場合は、[OK] を押したあとにもう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。ファクス番号を入力し、[送信] を押します。



ひとこと

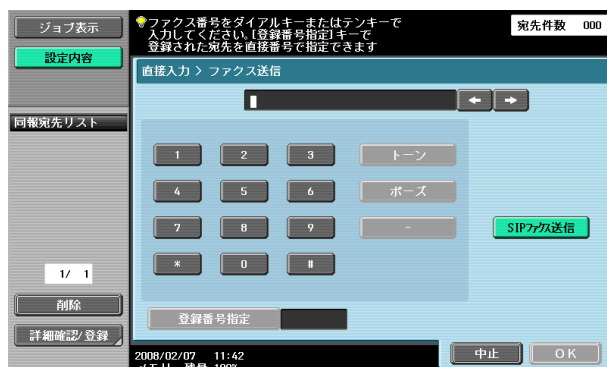
管理者モードの「セキュリティ設定」で手動宛先入力を禁止にした場合は、[直接入力] は表示されません。手動宛先入力の設定については、「[手動宛先入力](#)」(p. 10-10) をご覧ください。

ひとこと

宛先2度入力機能については、「[機能 ON/OFF 設定－宛先2度入力機能（送信）（G3/SIP）](#)」(p. 10-26) をご覧ください。

4.4.5 直接入力ー SIP ファクス

SIP ファクスが指定できるように設定されている場合は、ファクスの宛先指定画面で SIP ファクスの宛先を入力できます。

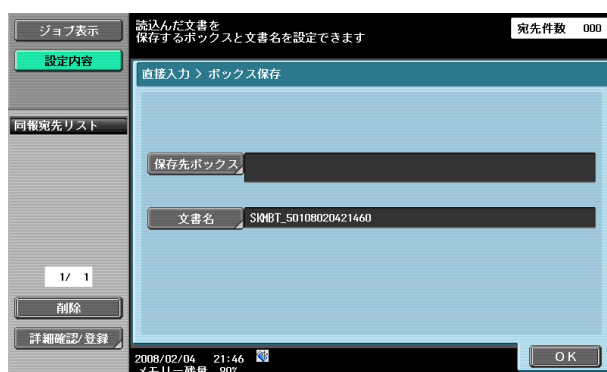


4.4.6 直接入力ー E-mail

パネルから E-mail アドレスを入力します。

4.4.7 直接入力ーボックス

ボックスの種類を選択し、保存先のボックスを指定します。



ひとこと

- ・ SIP ファクスと IP アドレスファクスは同時に使用できません。
- ・ 「宛先 2 度入力機能 (宛先)」が設定されている場合は、[OK] を押したあとにもう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。ファクス番号を入力し、[送信] を押します。



ボックスに保存したデータの操作方法については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

4.4.8 直接入力インターネットファクス

パネルからインターネットファクス宛先を入力します。

■ 相手機受信能力

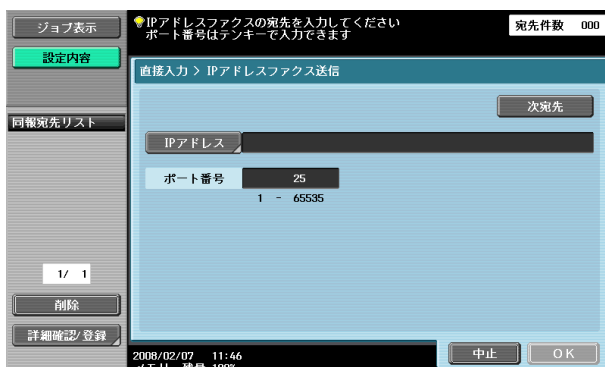
インターネットファクスの宛先で受信可能な設定を選択します。受信可能な設定を複数選択できます。



項目	説明
圧縮形式	MMR、MR、MH を選択できます。
用紙サイズ	A3、B4、A4 を選択できます。
解像度	600 × 600 dpi (超高精細)、400 × 400 dpi (高精細)、200 × 200 dpi (精細)、200 × 100 dpi (普通) を選択できます。

4.4.9 直接入力 IP アドレスファクス

IP アドレスファクスの宛先を設定します。



項目	説明
IP アドレス	宛先の IP アドレスまたはホスト名を入力します。
ポート番号	送信に使用するポート番号をテンキーで入力します (入力範囲: 1 ~ 65535)。
[次宛先]	続けて他の宛先を指定するときに押します。

4.4.10 直接入カーファイル送信 (SMB)

ファイル送信 (SMB) の宛先を直接指定します。

■ ホスト名

パネルから送信先のホスト名（大文字で入力）または IP アドレスを指定します。

■ ファイルパス

パネルから送信先のフォルダーのパスを大文字で入力します。

■ ユーザー名

パネルからログインするユーザー名を入力します。

■ パスワード

パネルからログインパスワードを入力します。

■ 参照

接続先のコンピューターのフォルダー構成を確認できます。送信先のフォルダーを直接指定することもできます。

■ 次宛先

続けて他の宛先を指定するときに押します。

4.4.11 直接入カーファイル送信 (FTP)

ファイル送信 (FTP) の宛先を直接指定します。

■ ホスト名

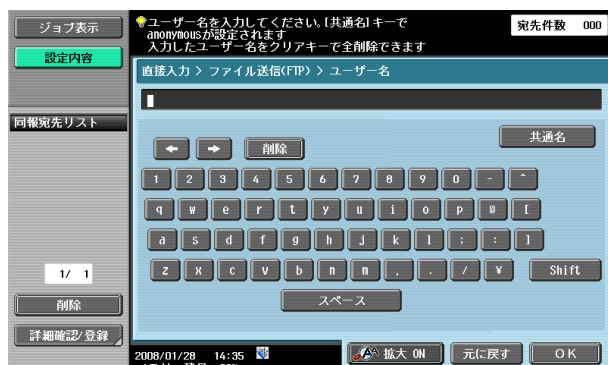
パネルから送信先のホスト名または IP アドレスを指定します。

■ ファイルパス

パネルから送信先のフォルダーのパスを指定します。

■ ユーザー名

パネルからログインするユーザー名を入力します。[共通名] を押すと「anonymous」が入力されます。

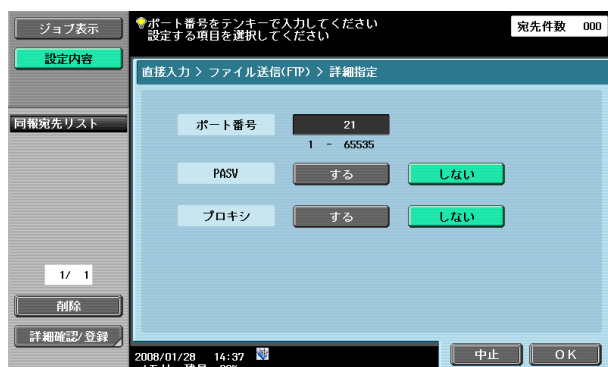


■ パスワード

パネルからログインパスワードを入力します。

■ 詳細指定

さらに詳細な設定を行います。



項目	説明
ポート番号	ポート番号を入力します。
PASV	PASV モードを使用するかどうかを設定します。
プロキシ	プロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。

■ 次宛先

続けて他の宛先を指定するときに押します。

4.4.12 直接入力ファイル送信 (WebDAV)

ファイル送信 (WebDAV) の宛先を直接指定します。

■ ホスト名

パネルから送信先のホスト名または IP アドレスを指定します。

■ ファイルパス

パネルから送信先のフォルダーのパスを指定します。

■ ユーザー名

パネルからログインするユーザー名を入力します。

■ パスワード

パネルからログインパスワードを入力します。

■ 詳細指定

さらに詳細な設定を行います。

項目	説明
ポート番号	ポート番号を入力します。
プロキシ	プロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。
SSL 設定	送信に SSL を使用するかどうかを設定します。

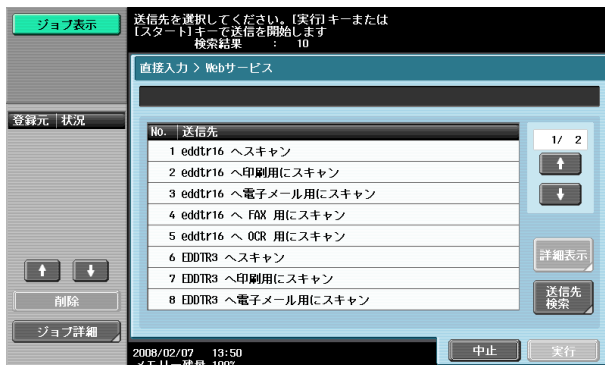
■ 次宛先

続けて他の宛先を指定するときに押します。

4.4.13 直接入力 Web サービス

あらかじめ登録したネットワーク上のコンピューターにスキャンしたデータを送信します。

本機を Web サービススキャナーとして登録しているネットワーク上のコンピューターが送信先として表示されます。宛先を選択してください。



■ 詳細表示

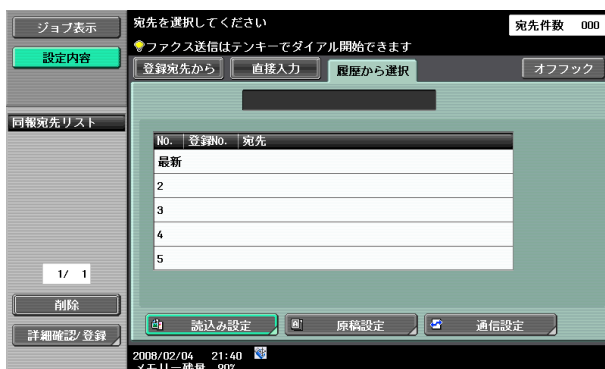
送信先の名称と URL が表示されます。

■ 送信先検索

送信先の名称に含まれるキーワードをパネルから入力し、送信先を検索します。

4.4.14 履歴から選択 (G3)

過去に送信したファクス宛先から、最新の 5 件が表示されています。この履歴から宛先を選択できます。



4.4.15 LDAP 検索－単検索

検索するキーワードを入力し、[検索開始] を押すと、指定した LDAP サーバー内で該当するアドレスが検索されます。



- ・事前に必要な設定については、「[Web サービスを使用する場合](#)」(p. 3-6) をごらんください。
- ・コンピューターからスキャンを本機に指示して、データを保存することもできます。詳しい手順は「[コンピューターからスキャンの指示をする \(Web サービス\)](#)」(p. 13-4) をごらんください。

4.4.16 LDAP 検索－複合検索

複数の検索条件を設定し、目的のアドレスを検索します。

■ 名称

パネルから名称を入力します。

■ E-mail

パネルから E-mail アドレスを入力します。

■ ファクス番号

パネルからファクス番号を入力します。

■ 姓

パネルから姓を入力します。

■ 名

パネルから名を入力します。

■ 都市名

パネルから都市名を入力します。

■ 会社名

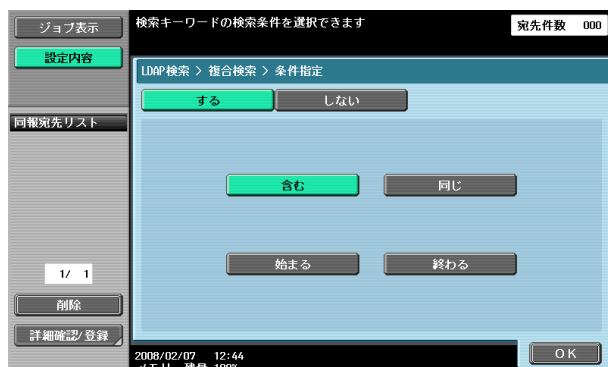
パネルから会社名を入力します。

■ 組織名

パネルから組織名を入力します。

■ 含む／同じ／始まる／終わる

入力した検索条件の設定を含む / 同じ / 始まる / 終わるから選択できます。

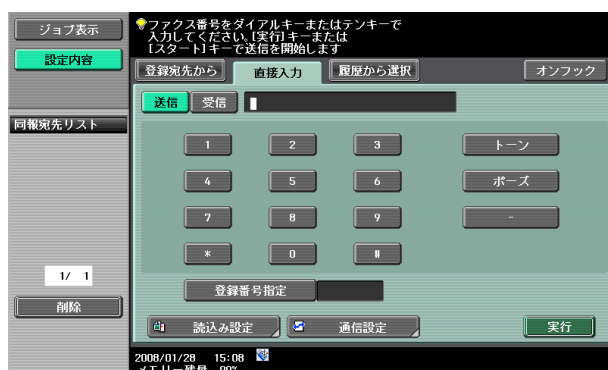


4.4.17 オフフック (G3)

手でファクス送信するときに使用します。

■ 手動送信

原稿をセットし、必要に応じて読み込みの設定を行います。[オフフック]を押すと相手先を指定する画面が表示されます。



[送信] を押し、相手先を指定して [実行] を押します。

ひとこと

宛先 2 度入力機能 (送信) を ON に設定しているときは、オフフックは使用できません。



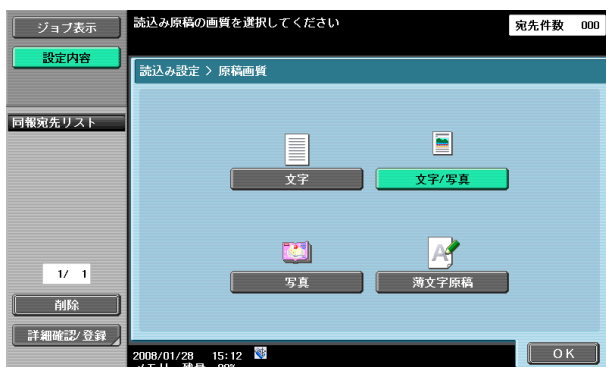
宛先の設定方法は、登録宛先から / 直接入力 / 履歴から選択 / プログラム宛先から選択できます。

4.5 読み込み設定

「読み込み設定」を押すと、スキャン時の詳しい内容を設定できます。

4.5.1 基本設定－原稿画質

原稿の内容に合わせて選択します。選択できる画質は以下のとおりです。



■ 文字

文字だけで構成されている原稿です。

■ 文字 / 写真

文字と写真（ハーフトーン）が混ざっている原稿です。

■ 写真

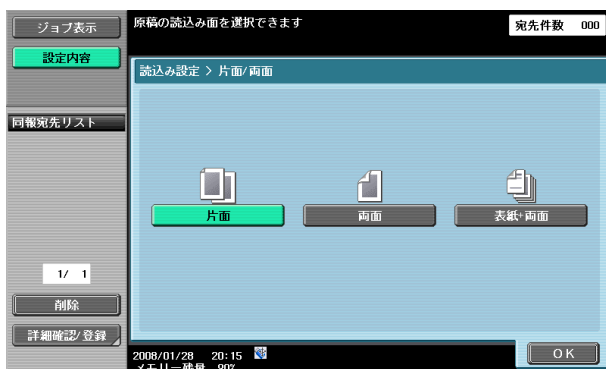
写真（ハーフトーン）だけの原稿です。

■ 薄文字原稿

文字が全体的に薄い原稿です。

4.5.2 基本設定－片面／両面

原稿の片面をスキャンするか両面をスキャンするか選択します。



■ 片面

原稿の片面をスキャンします。

■ 両面

原稿の両面をスキャンします。

■ 表紙 + 両面

原稿の最初のページを表紙として片面だけスキャンし、残りのページを両面スキャンします。

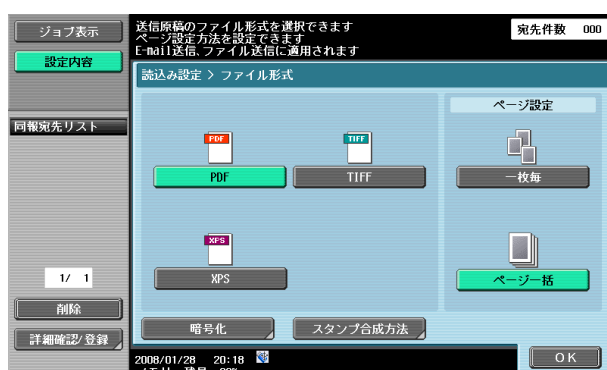
4.5.3 基本設定－解像度

■ スキャンする解像度を選択します。



4.5.4 ファイル形式

スキャンしたデータを保存するファイル形式を選択します。



■ ファイル形式

選択できるファイル形式は以下のとおりです。

項目	説明
PDF	PDF 形式で保存します。
TIFF	TIFF 形式で保存します。
XPS	XPS 形式で保存します。XPS 形式で保存するには、オプションのハードディスクが必要です。

■ ページ設定

保存時のデータのまとまりも指定できます。

項目	説明
一枚毎	ダウンロード時にページごとにデータを保存できる形式でファイルを作成します。
ページ一括	スキャンした全ての原稿をまとめてひとつのファイルを作成します。

ひとこと

G3 ファクス /SIP ファクス /IP アドレスファクス / インターネットファクス送信時に [300 ×300dpi] を選択したときは、自動的に [200 ×200dpi] に変換されて送信されます。

ひとこと

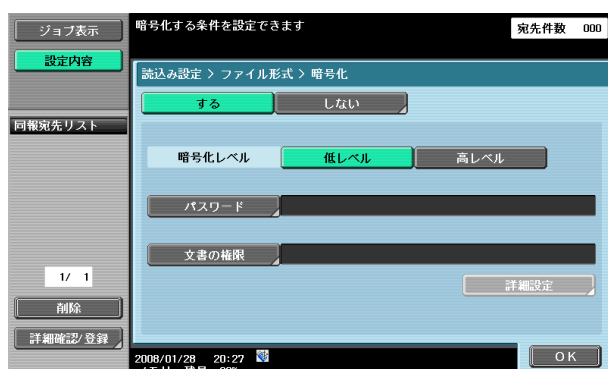
ボックス保存時にファイル形式を選択しても、データをダウンロードするときはファイル形式の指定が必要です。

ひとこと

ボックス保存時に「一枚毎」を選択しても、データをダウンロードするときはページを指定する必要があります。

■ 暗号化－暗号化レベル、パスワード、文書の権限、詳細設定

ファイル形式で「PDF」を選択したときは暗号化のレベルを設定できます。



■ 暗号化－パスワード

暗号化されたデータを開くときに必要なパスワードを入力します（入力範囲：32 文字以内）。パスワードは確認のため 2 回入力してください。

■ 暗号化－文書の権限

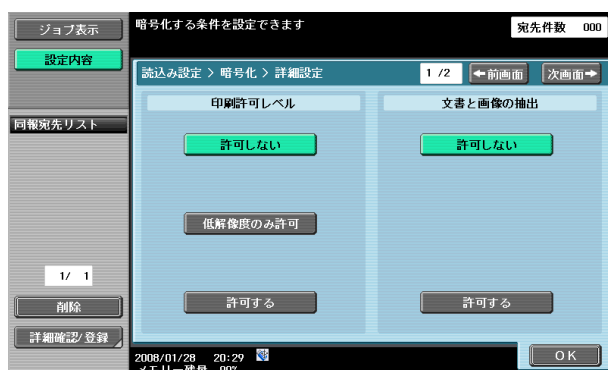
文書の権限を変更するために必要なパスワードを入力します（入力範囲：32 文字以内）。パスワードは確認のため 2 回入力してください。

■ 暗号化－詳細設定-印刷許可レベル / 文書と画像の抽出

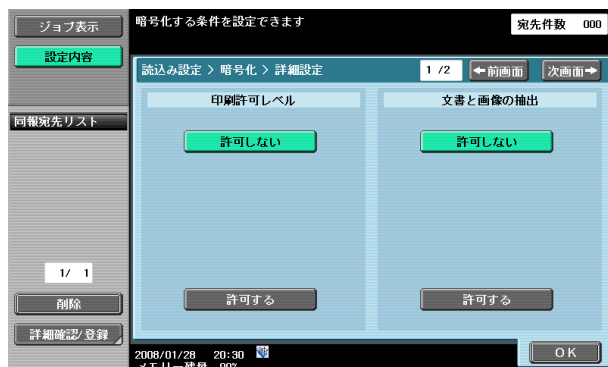
「暗号化」で文書の権限を設定した場合は、権限の詳細を設定できます。[印刷許可レベル] ではデータの印刷を許可する / 許可しないを選択します。暗号化レベルを「高レベル」に設定した場合は、[低解像度のみ許可] が表示されます。

[文書と画像の抽出] では、文書（テキスト）や画像の抽出を許可する / 許可しないを選択します。

<「高レベル」を選択した場合>



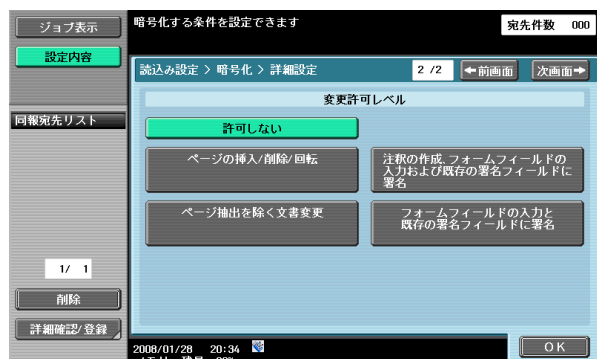
<「低レベル」を選択した場合>



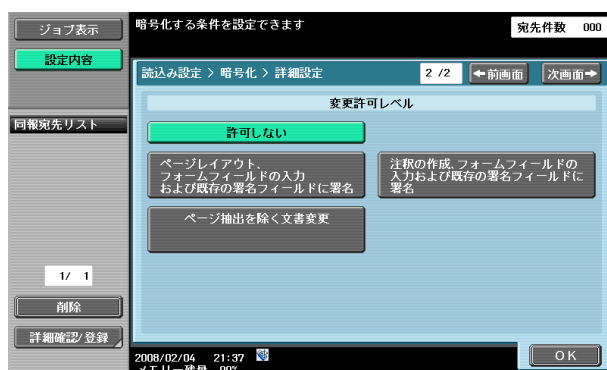
■ 暗号化－詳細設定－変更許可レベル

詳細設定画面で「次画面→」を押すと変更許可レベルの詳細を選択できます。「変更許可レベル」ではデータの署名、入力、注釈などの文書変更に関する許可レベルを選択します。

<「高レベル」を選択した場合>

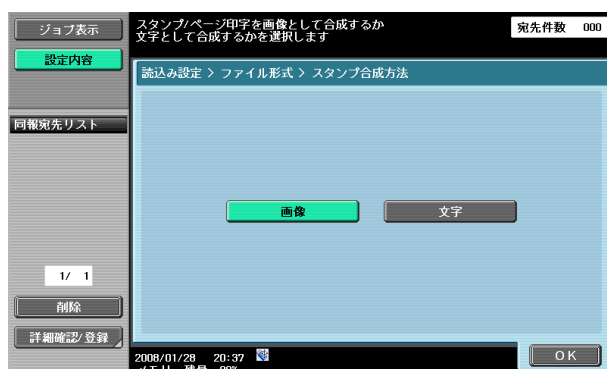


<「低レベル」を選択した場合>



■ スタンプ合成方法

スタンプ / ページ印字で追加される内容の合成方法を選択できます。



ひとこと

- ・ 文字として合成できるのは日付 / 時刻、ページ番号、ヘッダー / フッターです。
- ・ スタンプは画像として合成されます。

項目	説明
画像	文字列を画像として挿入します。
文字	文字列をテキストとして挿入します。

4.5.5 基本設定－濃度

スキャン時の濃さを調整します。

- 濃さを調整するときは「うすく」または「こく」を押します。
- 「ふつう」を押すと設定が初期値に戻ります。
- 自動で調整するときは、「自動」を押します。



4.5.6 基本設定－連続読み込み設定

原稿の枚数が多く ADF にセットしきれない場合や、原稿ガラス上にセットする場合、片面原稿や両面原稿が混在している場合など原稿の種類ごとに読み込みを数回に分割することができます。「連続読み込み設定」を押し、表示を反転させると設定できます。



4.5.7 下地調整

スキャン時に原稿の下地の濃さを調整します。スキャンする原稿が色の付いた用紙の場合、下地の色をスキャンして画像全体が濃くなる場合があります。そのときに下地の濃さを調整できます。



4.5.8 消去－枠消し

原稿の周囲を消去する枠消しを設定する場合に選択します。

- すべて同じ幅で消去する場合は、[枠全体] を押して数値を指定します（入力範囲：0.1 ～ 50.0 mm）。
- 上、左、右、下と個別に指定する場合は、該当するキーを押して数値を指定します。
- 消去しないときは [消去しない] を押します。

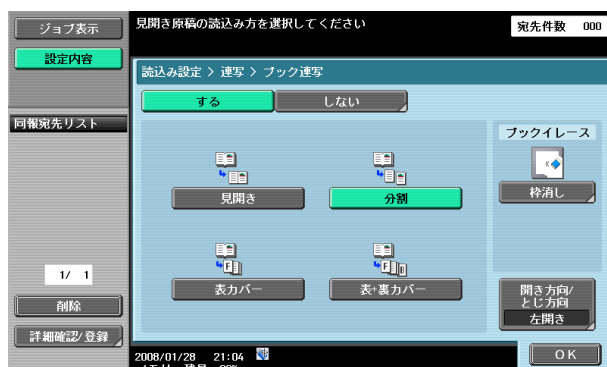


ひとこと

ブック連写の「枠消し」で枠の消去幅を設定すると、消去の「枠消し」でも同じ数値が設定されています。

4.5.9 連写－ブック連写

見開きの原稿をスキャンするときに選択します。スキャンの方法のほかに、とじ方向や不要部分の消去などを設定できます。



ひとこと

原稿のサイズは見開きの大きさを指定してください。

■ 見開き

見開きを 1 ページとしてスキャンします。

■ 分割

見開きを左右 2 ページとしてスキャンします。

■ 表カバー

1 ページ目を表紙としてスキャンします。

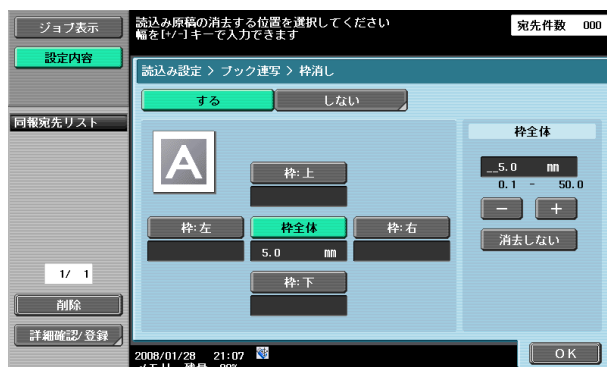
■ 表 + 裏カバー

1 ページ目を表紙、2 ページ目を裏表紙、3 ページ目以降を本文としてスキャンします。

■ ブックイレース - 枠消し

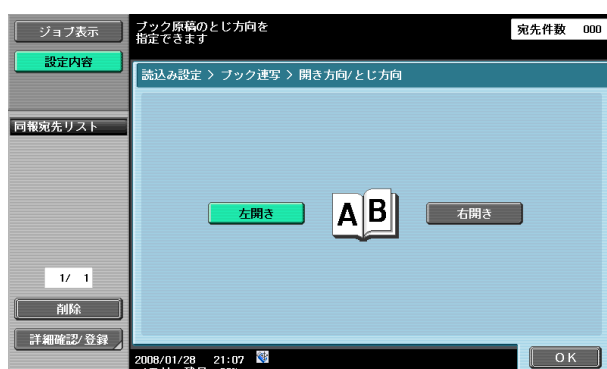
見開き原稿で枠消しを設定したい場合に選択します。

- すべて同じ幅で消去する場合は、[枠全体] を押して数値を指定します（入力範囲：0.1 ～ 50.0 mm）。
- 上、左、右、下と個別に指定する場合は、該当するキーを押して数値を指定します。
- 消去しないときは [消去しない] を押します。



■ 開き方向／とじ方向

分割 / 表力バー / 表 + 裏力バーを選択した場合は [開き方向 / とじ方向] を押してとじ方向を選択します。



4.5.10 応用設定－読み込みサイズ

スキャンする用紙サイズを設定します。

■ 定型

スキャン時に 1 枚目の原稿サイズを自動的に検知する場合は [自動] を押します。A4、B5 など決まったサイズでスキャンする場合はサイズを選択します。



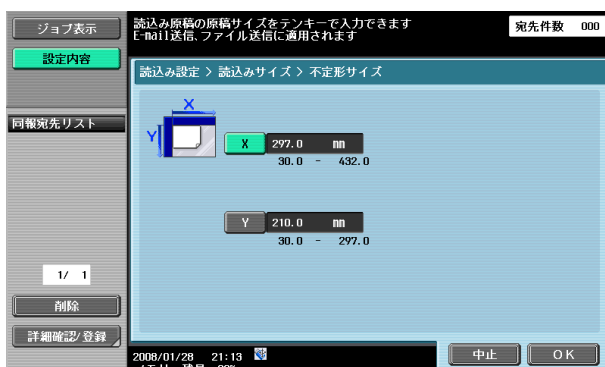
ひとこと

ブック連写の「枠消し」で枠の消去幅を設定すると、消去の「枠消し」でも同じ数値が設定されています。

■ 不定形サイズ

規格サイズにはない不定形サイズの寸法を入力して設定します。

- X方向：30.0 ～ 432.0 mm の範囲で設定します。
- Y方向：30.0 ～ 297.0 mm の範囲で設定します。

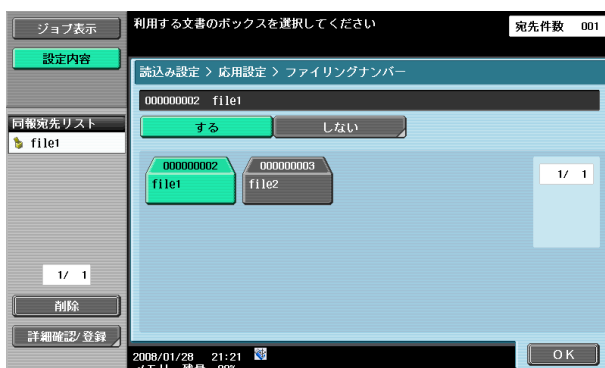


4.5.11 応用設定－ファイリングナンバー

スキャンして保存した文書データに日付 / 時刻やファイリング番号の画像を付加して印刷、送信できます。

■ ファイリングナンバーボックス選択

ファイリングナンバーを利用するには、スキャンしたデータを一度ファイリングナンバーボックスに保存する必要があります。ファイリングナンバーはボックスごとに設定されているため、保存先のボックスを選択してください。

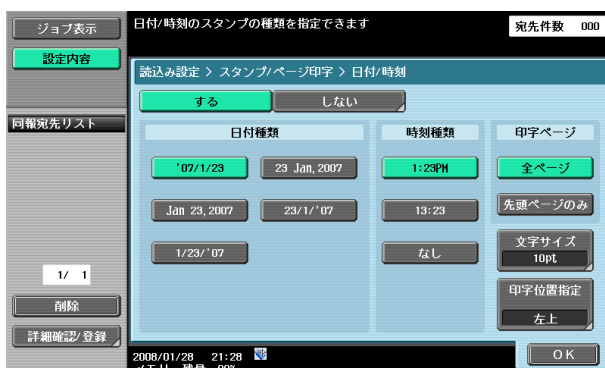


ひとこと

ファイリングナンバー機能を使用する場合は、オプションのハードディスクが必要です。また、ファイリングナンバーボックスはあらかじめ登録が必要です。詳しくは「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

4.5.12 応用設定－スタンプ／ページ印字－日付／時刻

ページに印刷した日付と時刻を印刷します。



■ 日付種類

日付の表示方法を選択します。

■ 時刻種類

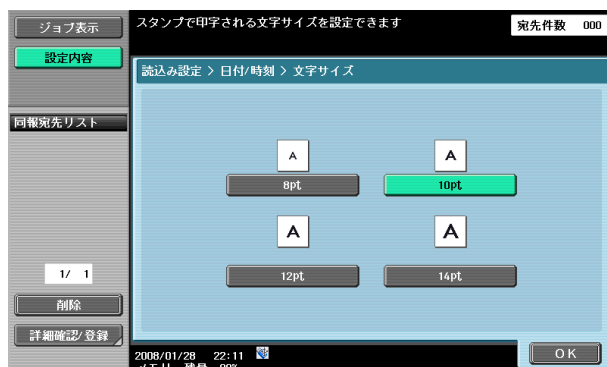
時刻追加のあり / なし、表示方法を選択します。

■ 印字ページ

印字するページを全ページ / 先頭ページのみから指定します。

■ 文字サイズ

印刷する文字のサイズを 8pt/10pt/12pt/14pt から選択します。



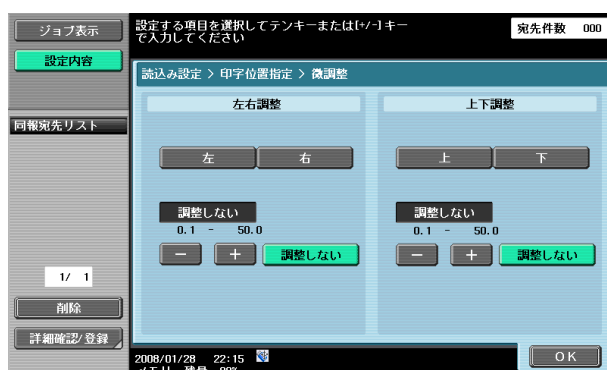
■ 印字位置指定－印字位置

印字位置を選択します。

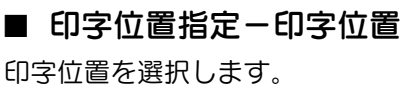
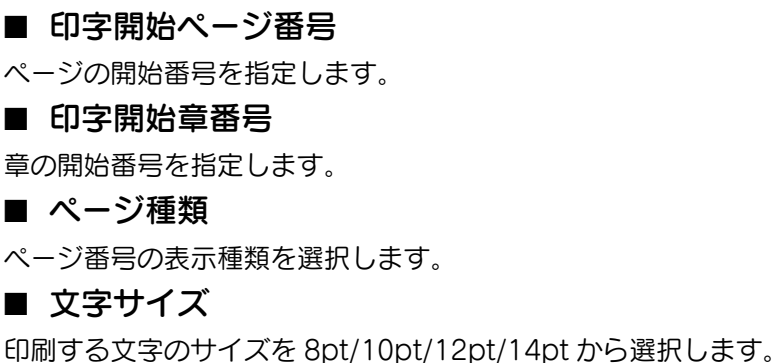


■ 印字位置指定－微調整－位置調整

印字位置の微調整を行う場合は、[位置調整] を押します。印字の左右、上下の位置調整を 0.1 ～ 50.0 mm の範囲で指定します。

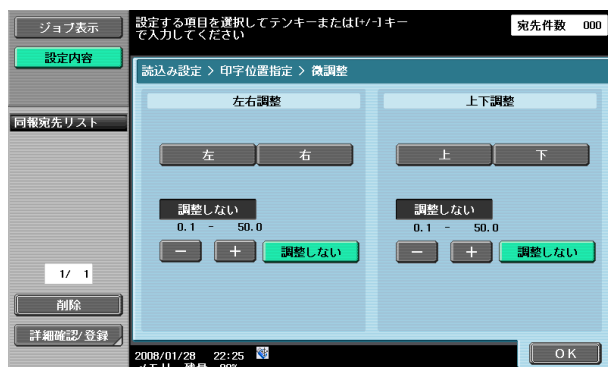


文書のすべてのページにページ番号を追加します。



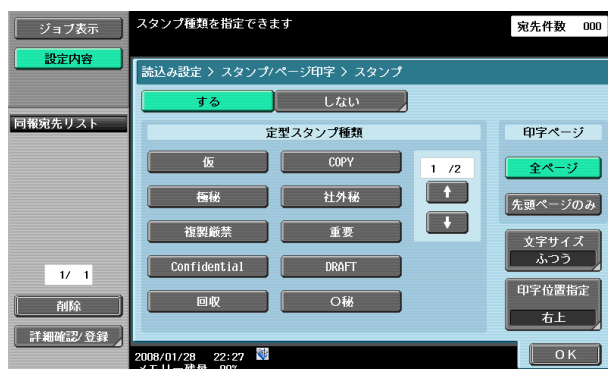
■ 印字位置指定－微調整－位置調整

印字位置の微調整を行う場合は、[位置調整] を押します。印字の左右、上下の位置調整を 0.1 ～ 50.0 mm の範囲で指定します。



4.5.14 応用設定－スタンプ／ページ印字－スタンプ

ページに「至急」など決まった文字列を印刷します。



■ 定型スタンプ種類

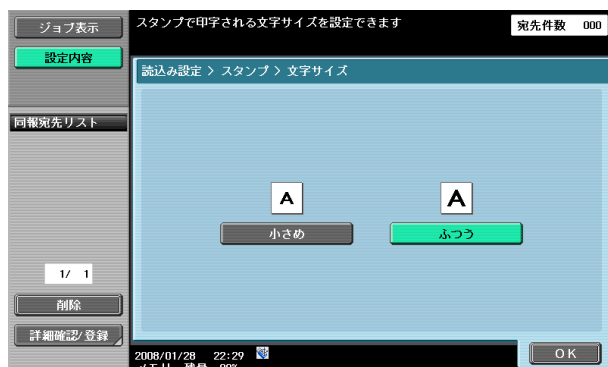
至急、回覧、複製厳禁などスタンプを選択します。

■ 印字ページ

印字するページを全ページ / 先頭ページのみから選択します。

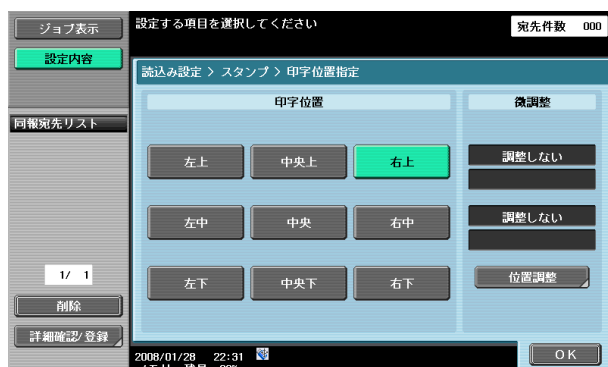
■ 文字サイズ

印刷する文字のサイズを小さめ / ふつうから選択します。



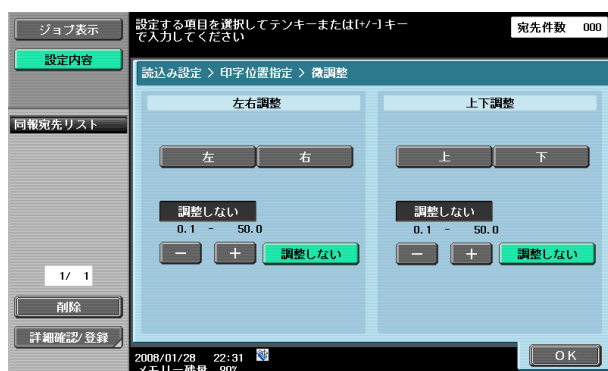
■ 印字位置指定－印字位置

印字位置を選択します。



■ 印字位置指定－微調整－位置調整

印字位置の微調整を行う場合は、[位置調整] を押します。印字の左右、上下の位置調整を 0.1 ～ 50.0 mm の範囲で指定します。



4.5.15 応用設定－スタンプ／ページ印字－ヘッダー／フッター

出力ページにヘッダーまたはフッターを挿入できます。ヘッダー、フッターの印字内容は、あらかじめ管理者設定で登録が必要です。[確認 / 一時変更] を押すと、登録した設定内容を変更して印字できます。

■ ヘッダー / フッター呼出し

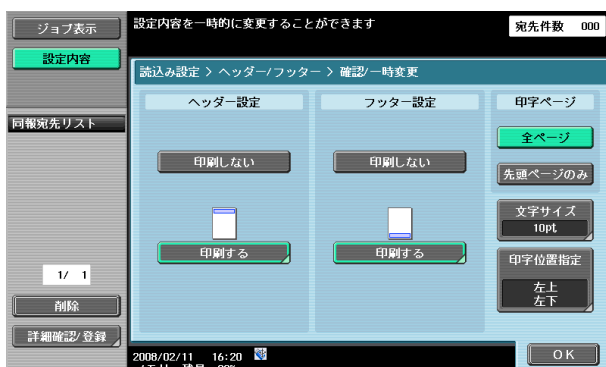
登録した内容から、印字したいヘッダー / フッターを選択します。



ヘッダー / フッターの登録については、「環境設定－スタンプ設定－ヘッダー / フッター設定」(p. 10-8) をごらんください。

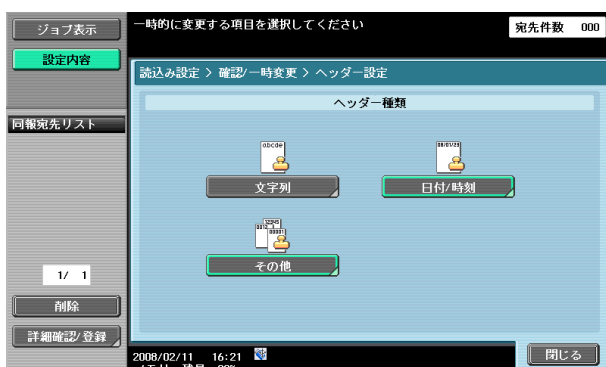
■ 確認 / 一時変更

確認 / 一時変更できる内容が表示されます。



■ 確認 / 一時変更－ヘッダー設定、フッター設定

ヘッダー / フッターの印刷を行うかどうかを設定します。[印刷する] を押すと、文字列、日付 / 時刻、その他（部数管理番号、ジョブ番号、シリアル番号）の設定ができます。



■ 確認 / 一時変更－ヘッダー設定、フッター設定－文字列

パネルからヘッダー / フッターの文字列を設定します。

■ 確認 / 一時変更－ヘッダー設定、フッター設定－日付 / 時刻

ヘッダー / フッターの日付 / 時刻を設定します。



- 確認 / 一時変更－ヘッダー設定、フッター設定－その他
ヘッダー / フッターの部数管理番号、ジョブ番号、シリアル番号を設定します。

- 確認 / 一時変更－印字ページ
印字するページを全ページ / 先頭ページのみから選択します。

- 確認 / 一時変更－文字サイズ
印字する文字サイズを 6pt/8pt/10pt/12pt/14pt/18pt から選択します。

- 確認 / 一時変更－印字位置指定
印字する位置を選択します。

ひとこと

シリアル番号は本機につけられているシリアル番号を指しています。設定についてはサービス実施店にお問い合わせください。

4.5.16 応用設定－同時印刷

■ 同時印刷とは

送信と同時に印刷を行うかどうかを設定します。また、印刷時の各種設定を行います。



■ 部数

印刷部数をテンキーで入力します。入力できる範囲は1～999です。

■ 片面 / 両面印刷

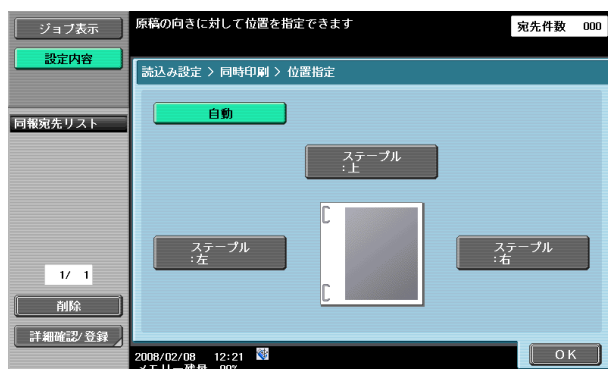
片面または両面を選択します。

■ ステープル

ステープルのあり / なしを選択します。

■ ステープルー位置指定

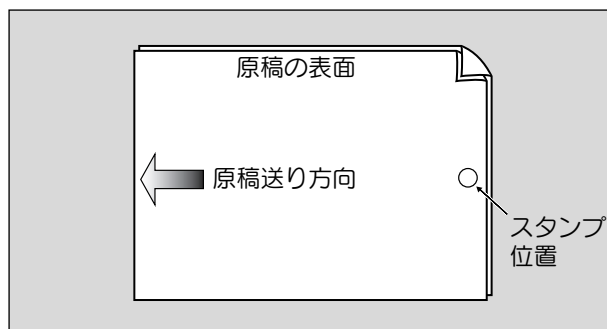
ステープルの種類を選択すると、位置を指定できます。



4.5.17 応用設定－済みスタンプ（G3/IP/SIP/I-FAX）

■ 済みスタンプとは

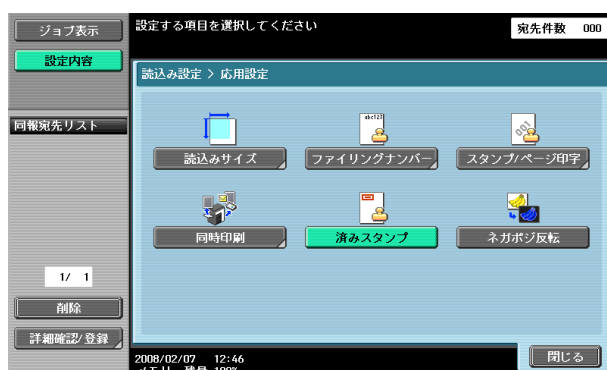
ADF を使用して送信する場合、読取った原稿に済みスタンプを押して 1 枚ずつ読取られたかどうかを確認できます。両面原稿を送信した場合はおもて面だけに済みスタンプが付けられます。



- 済みスタンプを設定すると、直径 4 mm のピンク色の印が図の位置に付きます。
- 済みスタンプを使用するには、オプションのファクス済みスタンプユニットが必要です。
- スタンプのインクは消耗品です。スタンプが薄くなった場合はサービス実施店にお問い合わせください。
- 混載原稿を選択している場合は図の位置に済みスタンプが押されない場合があります。
- 原稿が正しく送られているかどうかは、送信結果レポートや設定確認画面の送信結果で確認してください。

■ 済みスタンプをつける

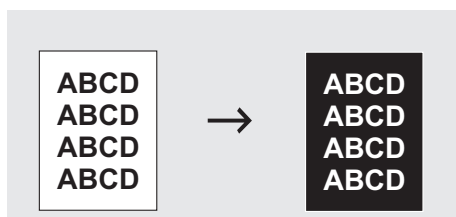
応用設定画面で「済みスタンプ」を選択します。



4.5.18 応用設定－ネガポジ反転

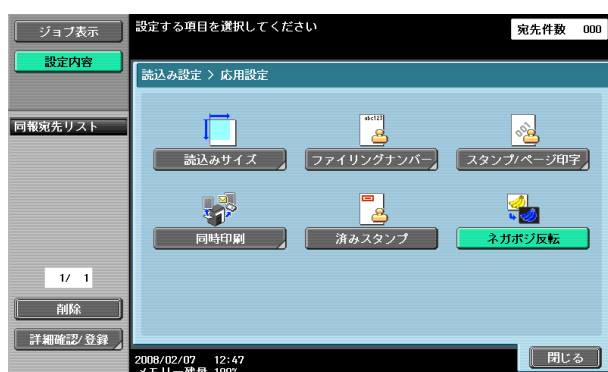
■ ネガポジ反転とは

原稿の濃淡および白黒（階調）を反転させて送信できます。



■ ネガポジ反転する

応用設定画面で「ネガポジ反転」を選択します。

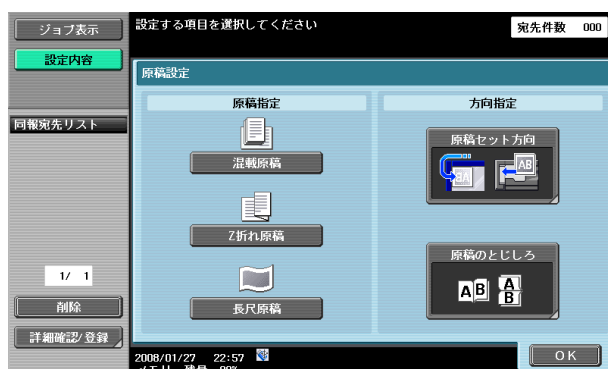


4.5.19 文書名（E-mail/BOX/SMB/FTP/ WebDAV/I-FAX）

パネルから文書名を入力します。

4.6 原稿設定

異なるサイズの原稿の混載や、Z 折れ原稿など、原稿のセットの種類を設定します。



ひとこと

原稿指定と方向指定の機能は同時に組み合わせて設定できます。

4.6.1 原稿指定－混載原稿

異なるサイズの原稿を同時に ADF にセットするときを選択します。1枚ずつサイズを検知しながらスキャンするため、スキャンする速度は遅くなります。

4.6.2 原稿指定－Z 折れ原稿

Z 折れした原稿のサイズを ADF に通した長さで検知します。

4.6.3 原稿指定－長尺原稿

規格サイズよりも長辺が長い原稿のときに設定します。

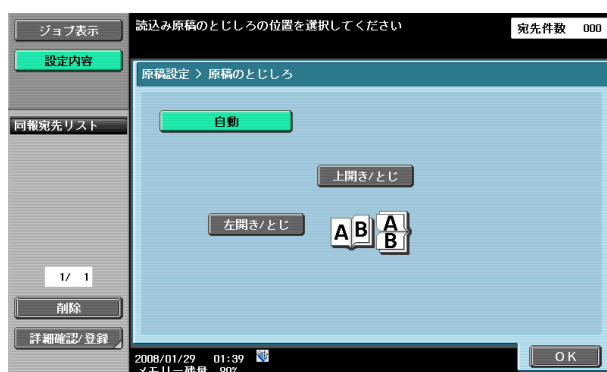
4.6.4 方向指定－原稿セット方向

原稿の天地の位置を選択します。スキャンしたあとに天地が正しくなるよう、データを処理します。



4.6.5 方向指定－原稿のとししろ

原稿についているパンチ穴あけやステープルドめなどのとししろの位置を指定します。また、両面原稿をスキャンするとき、とししろの位置が逆にならないよう補正します。

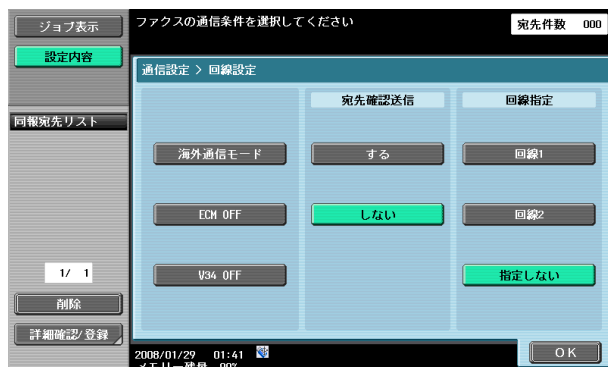


項目	説明
自動	297 mm 以下のサイズは長辺をとじる、297 mm を超えるサイズは短辺をとじる、と判断します。
上開き / とじ	原稿の上側にとじしろがある原稿
左開き / とじ	原稿の左側にとじしろがある原稿

4.7 通信設定

4.7.1 回線設定（G3）

ファクス送信の回線に関する設定を行います。



■ 海外通信モード

通信状態の悪いところへ通信する場合、情報を送る速さ（伝送速度）をゆっくりとしたスピードに設定して送信します。

原則

以下の機能とは併用できません。

- ・ ポーリング送信
- ・ ポーリング受信
- ・ 掲示板登録
- ・ 掲示板ポーリング受信

■ ECM OFF

ECM モードを解除して送信します。

ECM モードは、ITU-T（国際電気通信連合）で定められた誤り再送方式の通信です。ECM モードをもつファクス間の通信では、送信したデータに誤りがないことを確認しながら通信するため、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防止できます。雑音が多い場合は ECM OFF 時に比べて通信時間が若干長くなることがあります。送信が終了すると自動的に ECM ON の状態に戻ります。

原則

以下の機能とは併用できません。

- ・ ポーリング受信
- ・ ポーリング送信
- ・ V34 OFF
- ・ 掲示板登録
- ・ 掲示板ポーリング受信

ひとこと

本機では ECM OFF を設定しない限り、ECM モードで送信されます。

■ V34 OFF

V34 とは、スーパー G3 のファクス通信時に使われる通信方式です。相手機または本機が内線交換機経由で回線に接続されているなどの場合、回線の状況によってはスーパー G3 モードで通信できない場合があります。

このような場合は V34 を OFF に設定して送信することをおすすめします。送信が完了すると本機は自動的に V34 モードに戻ります。

原則

以下の機能とは併用できません。

- ・ ポーリング受信
- ・ ポーリング送信
- ・ 掲示板登録
- ・ 掲示板ポーリング受信
- ・ ECM OFF

■ 宛先確認送信

送信時に、指定したファクス番号と相手先のファクス番号情報 (CSI) を比較して、一致した場合にだけ送信します。不一致の場合は通信エラーとなるため、誤送信を防止できます。

■ 回線指定

回線拡張キットを装着している場合、[回線 1] または [回線 2] を指定して送信できます。送信する回線を指定してください。

「指定しない」を選択した場合は、回線 1、回線 2 のうちから、その時空いている回線を使って送信します。回線 1、回線 2 共に空いている場合は、回線 1 を優先的に使用して送信します。

ひとこと

宛先確認送信は、相手先に自局のファクス番号の登録が必要です。

ひとこと

- ・ 「複数回線使用設定」の「回線 2 通信設定」が「受信専用」となっている場合は回線が指定できません。
- ・ 2 つの回線を外線と内線で使い分ける場合は、使用する回線を必ず指定してください。「指定しない」を選択すると、正しく送信されない場合があります。

4.7.2 E-mail 設定 (E-mail/I-FAX)

■ E-mail 設定について

E-mail 送信時の文書名、件名、From アドレス、本文内容を設定します。



■ 文書名

保存されるファイルの名称が表示されます。この文書名は「文書整理」でも設定でき、あとに設定したほうの文書名が反映されます。入力できるのは半角 30 文字 (全角 15 文字) までです。

■ 件名

設定メニューで指定した内容が自動的に表示されます。[直接入力]を押すと内容を変更できます。入力できるのは半角 64 文字（全角 32 文字）までです。



■ From

設定メニューで指定した管理者の E-mail アドレスが表示されます。[直接入力]を押すと内容を変更できます。



■ 本文

設定メニューで指定した本文が表示されます。[直接入力]を押すと内容を変更できます。入力できるのは半角 256 文字（全角 128 文字）までです。



ひとこと

- ・ インターネットファックスの場合は装置 E-mail アドレスが使用されます。
- ・ 管理者設定の「環境設定」－「ユーザー操作禁止設定」－「変更禁止設定」で「From アドレス変更」を禁止に設定すると、直接入力ができなくなります。

4.7.3 URL 通知先設定 (BOX/FTP/SMB/ WebDAV)

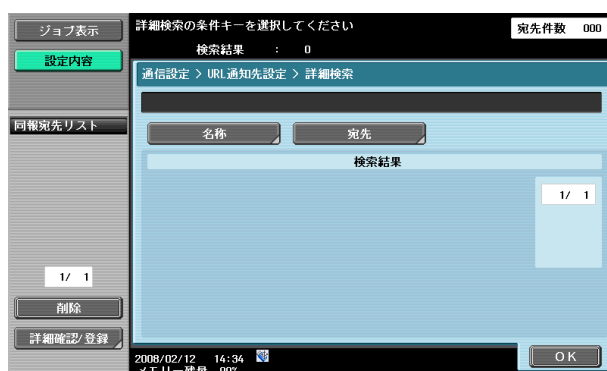
■ URL 通知とは

ジョブの終了を通知する E-mail アドレスを設定します。



■ 詳細検索

通知先の E-mail アドレスを登録先から検索できます。アドレスの名称や内容の一部を入力して、該当するアドレスを検索します。[名称] または [宛先] を選択し、検索文字を入力してください。



■ 直接入力

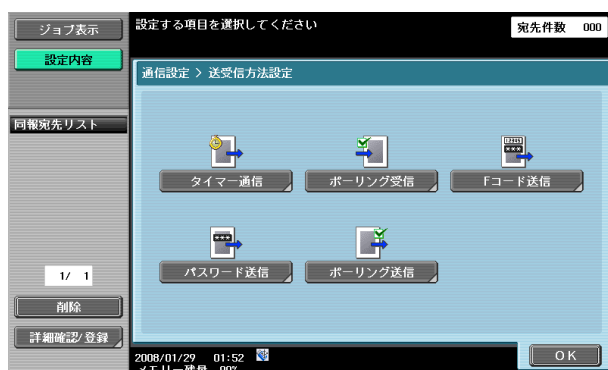
パネルから E-mail アドレスを入力します。



- ・ URL 通知先設定で有効な送信先は、ファイル送信 (FTP)、ファイル送信 (SMB)、ファイル送信 (WebDAV) です。
- ・ E-mail 送信、インターネットファクス、G3 ファクス時には設定しても機能しません。

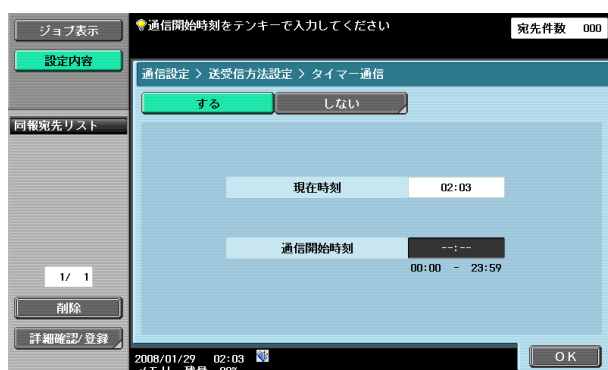
4.7.4 送受信方法設定 (G3)

送受信の方法を設定できます。



■ タイマー通信

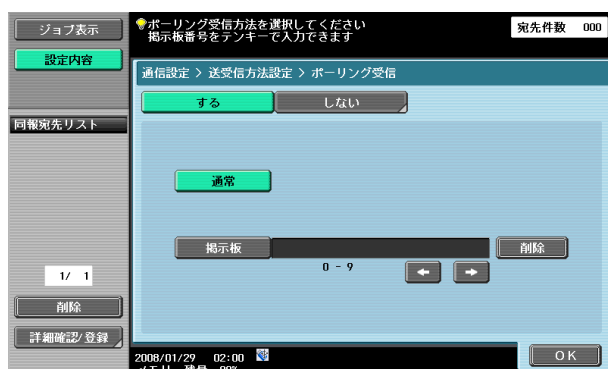
送信の時刻を指定できます。早朝や深夜などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。通信の開始時刻をテンキーで指定します。



■ ボーリング受信ー通常

送信側にセットされている文書や、ボーリング送信予約された文書を受信側からの指示で送信させる機能です。通信料金を受信側で負担したいときなどに便利です。

[通常] を選択したあと相手先を選択します。



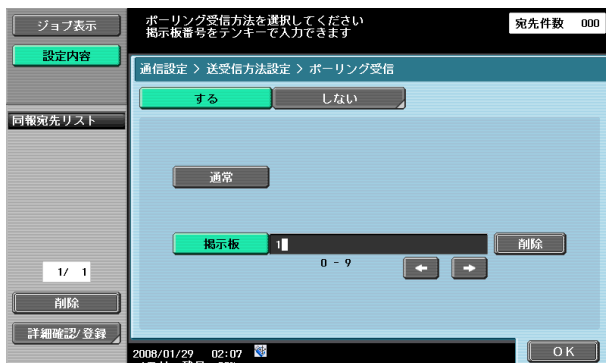
詳しく説明します

- ・時刻の指定だけが可能です。時、分単位で設定します。
- ・日付の指定はできません。

■ ポーリング受信－掲示板

送信側にセットされている掲示板の文書を受信側からの指示で送信させる機能です。

掲示板の文書を受信する場合は「掲示板」を選択したあとテンキーで掲示板番号を入力し、相手先を選択します。



原則

以下の機能とは併用できません。

- ・ 枠消し
- ・ 読み込みサイズ
- ・ 連続読み込み設定
- ・ 混載原稿
- ・ Z折れ原稿
- ・ 長尺原稿
- ・ 原稿のとじしろ
- ・ Fコード送信
- ・ ポーリング送信
- ・ 海外通信モード
- ・ ECM OFF
- ・ パスワード送信
- ・ V34 OFF

■ Fコード送信

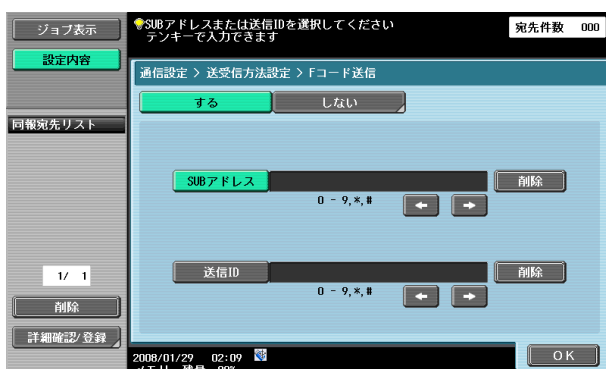
SUB アドレスや送信 ID を入力することで、相手先の特定のボックス宛に送信します。特定のボックスには、以下の種類があります。

● 親展送信

相手機の親展送信ボックスに送信します。SUB アドレスにボックス番号、送信 ID に親展送信パスワードを入力します。

● 中継送信

相手機に中継配信機能を持っている場合に、中継配信ボックスに送信します。SUB アドレスに中継ボックス番号、送信 ID に中継送信のパスワードを入力します。



ひとこと

掲示板番号には、20桁までの数字を入力できます。

詳しく説明します

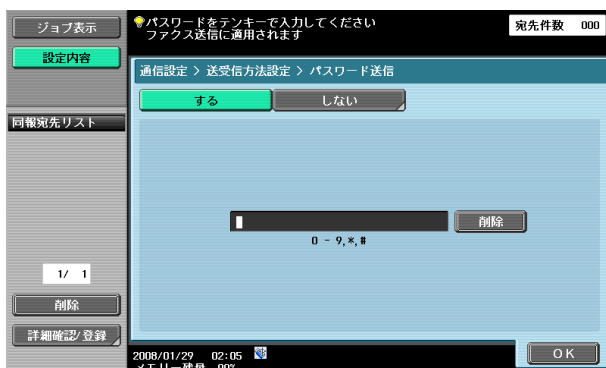
Fコードを使用するためには、相手先がFコード機能を持っている必要があります。

■ パスワード送信

パスワードをつけて送信します。相手先が閉域受信を設定している場合、送信側からは閉域受信パスワードと同じパスワードを送る必要があります。

この機能は、相手先が閉域受信（パスワード）機能をもつ弊社機種のと
きだけ使用できます。

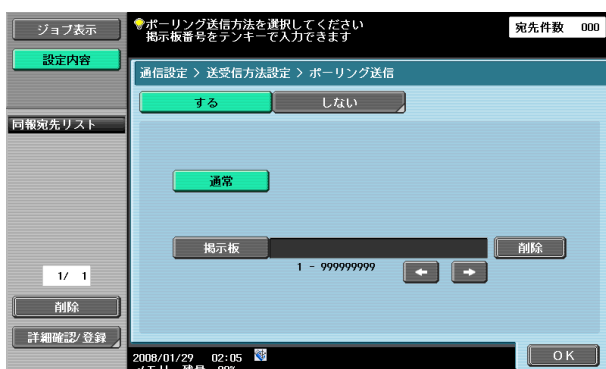
テンキーでパスワードを入力してください。



■ ポーリング送信－通常

ポーリング送信予約された文書を受信側からの指示で送信させるための文書を保存します。

「通常」を選択して原稿を読み込むと、ポーリング送信ボックスに自動的に保存されます。



ポーリング送信ボックスの文書の削除、確認方法は「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

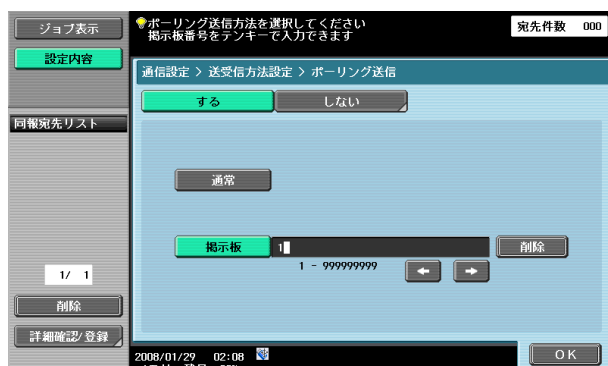
ひとこと

ユーザー認証を設定している場合、蓄積文書の操作を禁止されているユーザーがログインするとポーリング送信を行うことはできません。

■ ポーリング送信－掲示板

掲示板の文書を受信側からの指示で送信させるため、掲示板に文書を登録します。

「掲示板」を選択したあとテンキーで掲示板番号を入力し、原稿を読み込みます。あらかじめ作成した掲示板ボックスに自動的に保存されます。



原則

以下の機能とは併用できません。

- ・ メモリー送信
- ・ ポーリング送信
- ・ タイマー送信
- ・ 海外通信モード
- ・ ECM OFF
- ・ パスワード送信
- ・ Fコード送信
- ・ V34 OFF

ひとこと

- ・ 掲示板番号には、1 ～ 999999999 までの数字を入力できます。
- ・ ひとつの掲示板に登録できる文書は 1 文書だけです。
- ・ 本機では掲示板を 10 個まで登録できます。



掲示板ボックスの文書の削除、確認方法は「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

4.7.5 メール暗号化 (E-mail)

管理者設定の「ネットワーク設定」－「E-mail 設定」の「S/MIME 通信設定」で「使用する」を設定しているときに表示されます。送信する E-mail の暗号化を行うかどうかを設定します。



S/MIME 通信設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク 管理者編」をごらんください。

4.7.6 デジタル署名 (E-mail)

管理者設定の「ネットワーク設定」－「E-mail 設定」の「S/MIME 通信設定」で「使用する」を設定しているときに表示されます。送信する E-mail にデジタル署名を付加するかどうかを設定します。



詳しく説明します

S/MIME 通信設定の内容によって、選択できない場合や常に署名するように設定されている場合があります。



S/MIME 通信設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク 管理者編」をごらんください。

4.7.7 ファクス発信元設定 (G3/SIP/IP/I-FAX)

送信時につける発信元情報を選択します。発信元名のリストから選択してください。初期状態では、初期値として設定されている発信元名が付加されます。

ジョブ表示

設定内容

同報宛先リスト

1 / 1

削除

詳細確認 / 登録

ファクス発信元を初期値以外に変更できます

宛先件数 000

通信設定 > ファクス発信元設定

する しらない

No.	発信元名	初期値設定
01	test:006	初期値
02		
03		
04		
05		
06		
07		

1 / 3

↑

↓

2008/02/12 15:53

メモリー残量 90%

OK

詳しく説明します

- ・発信元の情報として原稿に付加される内容は、管理者設定の「発信元 / ファクス ID 登録」で登録します。詳しくは、「[ファクス設定－発信元 / ファクス ID 登録](#)」(p. 10-14) をごらんください。
- ・発信元情報のつけかたは、管理者設定の「発信元 / 受信情報」で登録します。詳しくは、「[ファクス設定－発信元 / 受信情報](#)」(p. 10-15) をごらんください。

4.8 リダイアル（G3/IP/SIP）について

同じ宛先にもう一度ダイアルする動作をリダイアルといいます。

受信側が話し中などで送信できない場合、一定時間が経過してから再度ダイアルします。

4.8.1 オートリダイアル

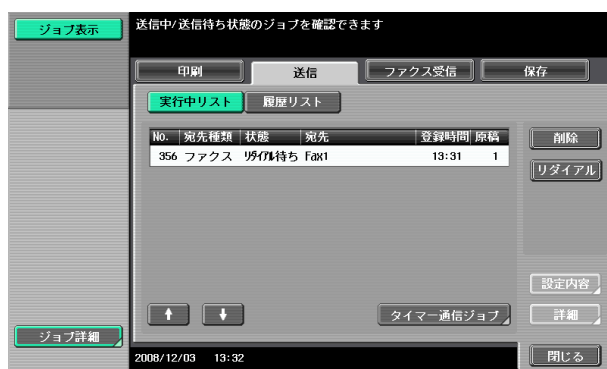
受信側が話し中などで送信ができなかった場合は、回線パラメーター設定で設定されているオートリダイアル回数にしたがって自動的にオートリダイアルされます。

リダイアルされるまで、送信のジョブはリダイアル待機の予約ジョブとして扱われます。

4.8.2 手動リダイアル

リダイアル待ちのジョブをジョブ詳細画面からリダイアルできます。

[ジョブ表示] - [ジョブ詳細] から [送信] タブを押し、「リダイアル待ち」のジョブを選択し、[リダイアル] を押します。



4.8.3 再送信（G3）

回線パラメーター設定で設定されたオートリダイアル回数を過ぎても送信できないジョブは、再送信ボックスに保存されます。再送信ボックスを開き、手動でリダイアルすることができます。

再送信したいジョブを選択して [ファクス送信] を押します。

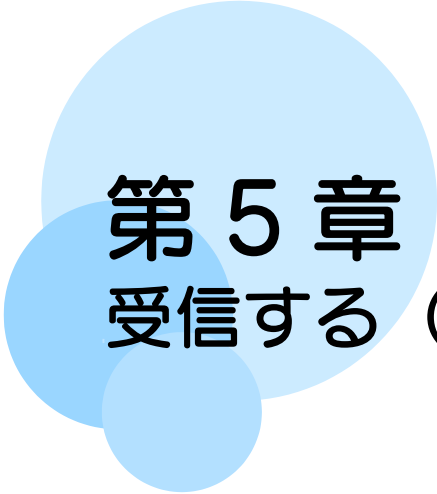


詳しく説明します

オートリダイアルの回数は出荷時に3分おきに3回行われるように設定されています。オートリダイアル回数の設定については、「[ファクス設定-回線パラメーター設定](#)」(p. 10-17) をごらんください。

ひとこと

- ・ジョブを再送信ボックスに保存するには、あらかじめ管理者設定で再送信設定を行う必要があります。再送信設定については「[再送信設定](#)」(p. 10-29) をごらんください。
- ・再送信ボックスについて詳しくは「[ユーザーズガイド ボックス機能編](#)」をごらんください。



第 5 章

受信する (G3/IP/SIP/I-FAX)

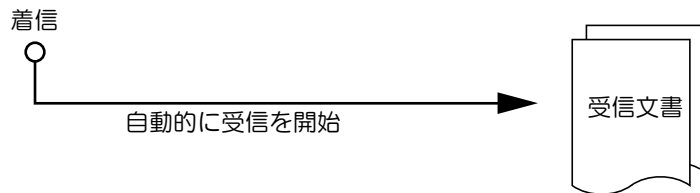
ファクス受信の種類やそれぞれの操作について説明しています。

5.1	受信する (G3：外部電話を接続しない)	5-2
5.2	受信する (G3: 外部電話を接続する)	5-3
5.3	受信する (I-FAX)	5-6
5.4	受信する (IP/SIP)	5-7
5.5	メモリー代行受信	5-8
5.6	受信時の記録	5-9
5.7	受信情報	5-14

5.1 受信する（G3：外部電話を接続しない）

5.1.1 自動受信（ファクス専用）

電話回線をファクス専用として使う場合に設定します。設定されている回数分のリング信号を検知すると、自動的に受信を開始します。受信中は画面のメッセージ表示部に「受信中です」と表示されます。



ファクス専用で使用する場合、以下の設定をしていることを想定しています。

- 外部電話：接続していない
- 回線パラメーター設定－受信方式：[自動受信] に設定
- 回線パラメーター設定－TEL/FAX 自動切換え：[OFF] に設定
- 回線パラメーター設定－留守番電話接続設定：[OFF] に設定

ひとこと

自動受信で使用するには、設定メニューの「回線パラメーター設定」で、受信方式を「自動受信」に設定する必要があります。



回線パラメーター設定については、「[ファクス設定－回線パラメーター設定](#)」(p. 10-17) をご覧ください。

5.2 受信する（G3: 外部電話を接続する）

5.2.1 自動受信（TEL/FAX 自動切換え）

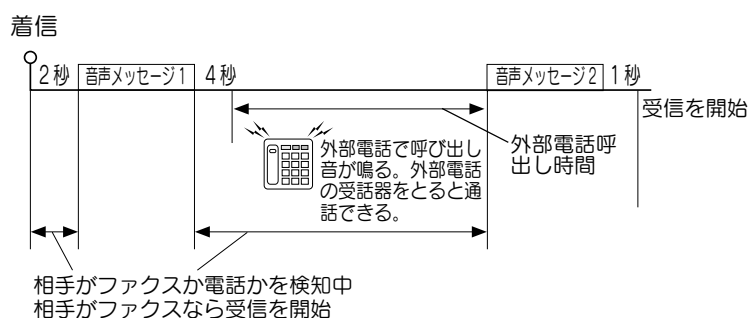
外部電話機を本機に接続して電話としても使う場合に設定します。ファクス優先で使うことが多い場合はこのモードに設定しておく便利です。着信後、相手がファクスなのか電話なのかを自動的に検知して送信側に対して音声メッセージを流します。

■ 相手がファクスのとき

受信を開始します。送信側には音声メッセージが流れます。

■ 相手が電話のとき

外部電話から呼び出し音が鳴ります。受話器をとると通話できます。送信側では音声メッセージが流れます。



音声メッセージ 1：「電話の方はしばらくお待ちください。ファクスの方はスタートボタンを押してください。」

音声メッセージ 2：「ただいま近くにおりません。ファクスに切換えます。」

自動受信で使用する場合、以下の設定をしていることを想定しています。

- 外部電話：接続している（留守番機能 OFF）
- 回線パラメーター設定－受信方式：[自動受信] に設定
- 回線パラメーター設定－TEL/FAX 自動切換え：[ON] に設定
- 回線パラメーター設定－留守番電話接続設定：[OFF] に設定

■ 自動受信の状態で留守番電話機能設定を使う場合

外出時などに外部電話機の留守番電話機能を ON にする場合、外部電話機側の呼出音設定回数が、[回線パラメーター設定]－[外部 TEL 呼出時間] よりも多く設定されている場合、本機がファクス受信を開始してしまい、留守番電話機能が正しく機能しません。「外部 TEL 呼出時間」の設定が、外部電話機の呼出音設定回数より多くなるように設定してください。

ひとこと

TEL/FAX 自動切換えで使用するには、設定メニューの「回線パラメーター設定」で、「TEL/FAX 自動切換え」を ON に設定する必要があります。



外部電話の受話器を上げたとき、「ピー」という音が聞こえたり、無音のときはファクスからの送信です。受話器を上げたまま、[スタート] キーを押すと受信できます。



回線パラメーター設定については、「[ファクス設定－回線パラメーター設定](#)」(p. 10-17) をごらんください。

ひとこと

外部電話機の呼出音設定回数を変更するには、外部電話機のマニュアルをごらんください。

5.2.2 外部電話機の留守番電話機能を設定するときは

外部電話機を本機に接続している場合に設定します。ファクス優先で使用している場合で、常に外部電話の留守番機能を設定している場合は、このモードに設定しておくとう便利です。

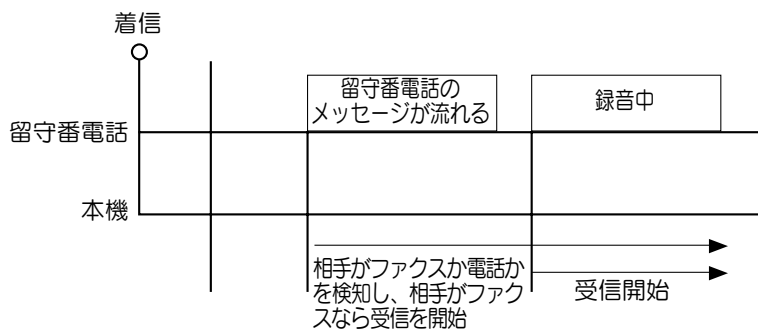
着信すると外部電話機の留守番電話メッセージが流れ、相手先がファクスであれば自動的に受信を開始します。

■ 相手がファクスのとき

留守番電話から本機に自動的に切替わり、受信を開始します。

■ 相手が電話のとき

送信側に留守番電話のメッセージが流れます。

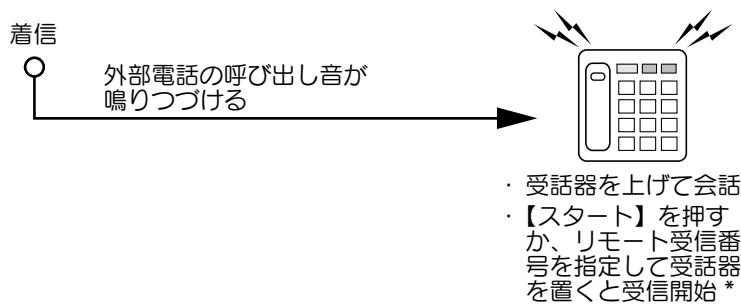


留守番電話機能を使用する場合、以下の設定をしていることを想定しています。

- 外部電話：接続している（留守番機能 ON）
- 回線パラメーター設定－受信方式：[自動受信] に設定
- 回線パラメーター設定－TEL/FAX 自動切換え：[OFF] に設定
- 回線パラメーター設定－留守番電話接続設定：[ON] に設定

5.2.3 手動受信（電話専用）

外部電話機を本機に接続している場合で、電話として使用することが多い場合はこのモードに設定しておくとう便利です。



* 設定メニューの [リモート受信設定] のリモート受信番号が設定されているときに有効です。



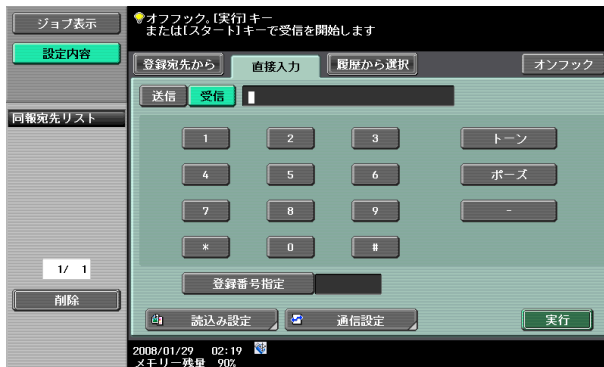
詳しく説明します

- ・留守番設定がされていないなど、留守番電話が応答しない場合は約 20 秒後に受信を開始します。
- ・留守番電話機能を設定するには、設定メニューの「回線パラメーター設定」で、「留守番電話接続機能」を ON に設定する必要があります。

ひとこと

電話専用で使用するには、設定メニューの「回線パラメーター設定」で、「受信方式」を手動受信に設定する必要があります。

本機のパネルで手動受信する場合は、外部電話機のベルが鳴ったらファクス/スキャン画面の「オフフック」を押し、「受信」になっていることを確認します。オフフック画面で「実行」を押してください。

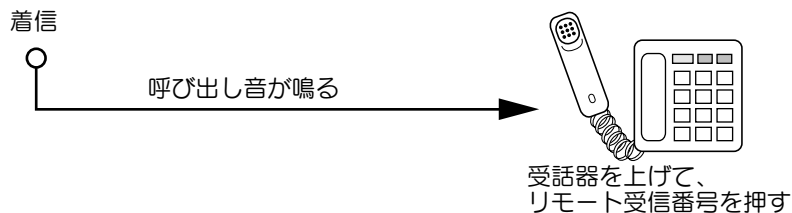


手動受信で使用する場合は、以下の設定をしていることを想定しています。

- 外部電話：接続している（留守番機能 OFF）
- 回線パラメーター設定－受信方式：「手動受信」に設定
- 回線パラメーター設定－TEL/FAX 自動切換え：「OFF」に設定
- 回線パラメーター設定－留守番電話接続設定：「OFF」に設定

■ リモート受信

外部電話機でリモート受信番号を入力することで、外部電話機から本機に受信の指示をすることができる機能です。リモート受信を行うには、あらかじめ設定メニューの「回線パラメーター設定」で、「受信方式」を手動受信に設定し、リモート受信するためのリモート受信番号（2桁）を設定する必要があります。



外部電話機の呼び出し音が鳴ったら、受話器を上げて相手がファクスであることを確認します。続けて2桁のリモート受信番号をダイヤルし、受話器を戻します。



リモート受信設定については、「[リモート受信設定](#)」(p. 10-29)を
ご覧ください。

ひとこと

- ・ リモート受信番号はテンキーの0～9、*、#を使って入力します。
- ・ ダイヤル（パルス）回線でリモート受信をしたいときは、外部電話でトーンに切換える必要があります。この機能を持たない外部電話ではリモート受信ができません。詳しくは、電話機のマニュアルをご覧ください。

5.3 受信する (I-FAX)

電子メールの受信には、自動取得と手動取得の2種類があります。本機が電子メールを受信すると、メールの本文と添付ファイルが自動的に印刷されます。

設定メニューで「強制メモリー受信設定」を有効にしている場合は強制メモリー受信ボックスに保存されます。保存した文書は必要に応じて印刷することができます。

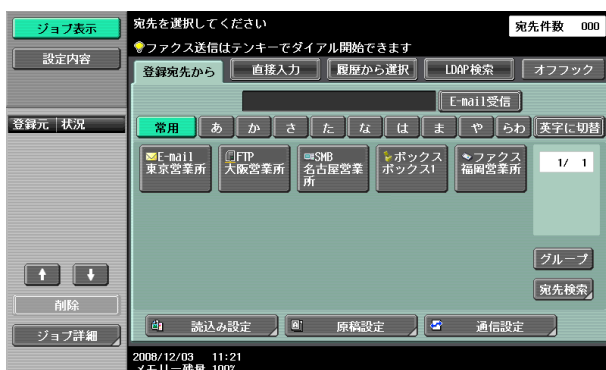
■ 自動取得

POP サーバーに対して、一定の間隔で電子メールが届いているかを確認します。

■ 手動取得

POP サーバーに対して、本機のキーを押して電子メールが届いているかを確認します。

ファクス / スキャン画面で [E-mail 受信] を押してください。



強制メモリー受信ボックスからの印刷については、「ユーザズガイド ボックス機能編」をごらんください。



詳しく説明します

添付ファイルの最大ページ数は 3000 ページ、本文は最大 20KByte まで受信できます。



詳しく説明します

- ・電子メールを確認する間隔を 1 ～ 60 分の範囲で変更できます。設定方法については「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・お買い上げ時の時間は 15 分に設定されています。

5.4 受信する (IP/SIP)

本機が SIP ファクス、IP アドレスファクスを受信すると、自動的に印刷されます。

設定メニューで「強制メモリー受信設定」を有効にしている場合は強制メモリー受信ボックスに保存されます。保存した文書は必要に応じて印刷することができます。



強制メモリー受信ボックスからの印刷については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

5.5 メモリー代行受信

5.5.1 メモリー代行受信とは

用紙づまりや消耗品切れなどで受信した文書を印刷できない場合は、印刷できる状態になるまで受信した文書がメモリーに保存されています。この機能をメモリー代行受信といいます。

- 用紙づまりなどのトラブル処理が終了すると、保存されていた受信文書が自動的に印刷されます。
- メモリーがいっぱいになっているときは代行受信できない場合があります。

5.5.2 メモリー代行受信したジョブの転送（G3）

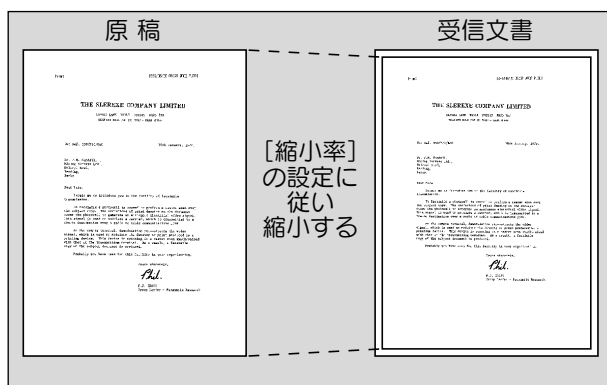
トラブル処置ができない場合など、メモリー代行受信したジョブを別の宛先に転送することができます。[ジョブ表示]－[ジョブ詳細]画面から[ファクス受信]タブを押します。転送したいジョブを選択して[転送]を押してください。宛先を指定して[実行]を押すと転送できます。

5.6 受信時の記録

受信文書を記録する場合は、受信した文書の用紙サイズと、用紙トレイにセットされている用紙サイズを比較し、設定された縮小率で縮小して記録する、用紙におさまるように縮小して記録するのいずれかで記録されます。なお、等倍で記録するように設定している場合は、受信した文書の用紙サイズにかかわらず、等倍で記録されます。

5.6.1 縮小して記録するとき

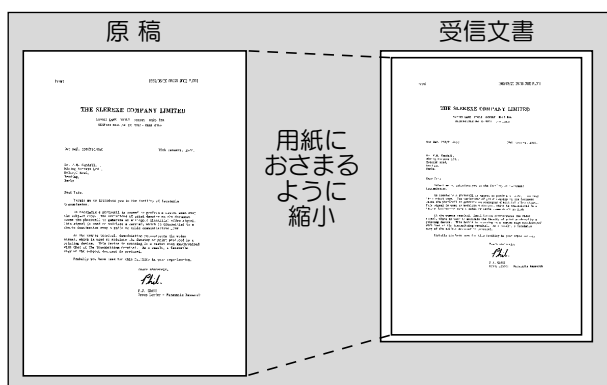
定形サイズの文書を受信した場合は、そのサイズの用紙に設定された縮小率で縮小して記録されます。（初期値は 96%）



縮小率の設定については、「**縮小率**」(p. 10-23)をごらんください。

5.6.2 用紙におさまるように縮小して記録するとき

定形サイズより長い文書を受信した場合は、受信文書の幅と長さから最適な用紙サイズを決定し、そのサイズの用紙に記録されます。最適な用紙サイズが用紙トレイにセットされていない場合は、近いサイズの用紙に縮小して記録されます。



最適な用紙サイズの決定と、用紙選択の基準は次のとおりです。

■ Step 1: 最適な用紙を選択する

- 受信文書の幅と長さから、最適な用紙サイズを次の原則で決定されます。

受信原稿の幅	受信情報の記録位置	受信文書の長さ			
A4 幅	[OFF] または [原稿内]	0 ~ 154	155 ~ 314	315 ~ 386	387 ~
	[原稿外]	0 ~ 146	147 ~ 306	307 ~ 378	379 ~
選択される用紙サイズ		A5 ☐	A4 ☐	B4 ☐	A3 ☐
B4 幅	[OFF] または [原稿内]	0 ~ 195	196 ~ 395	396 ~	
	[原稿外]	0 ~ 186	187 ~ 386	387 ~	
選択される用紙サイズ		B5 ☐	B4 ☐	A3 ☐	
A3 幅	[OFF] または [原稿内]	0 ~ 226	227 ~		
	[原稿外]	0 ~ 217	218 ~		
選択される用紙サイズ		A4 ☐	A3 ☐		

■ Step 2: 実際にプリントする用紙を選択する

- Step 1 で決定した最適な用紙サイズが、本機にセットされているかがチェックされます。
 - 最適な用紙がセットされている：記録が開始されます。
 - 最適な用紙がセットされていない、または該当する用紙トレイの [ATS 許可] (自動トレイ切換え機能) が [許可しない] になっている：次に最適な用紙を表の上から順にチェックされます。このとき、設定メニューの [ページ分割記録] が [ON] に設定されている場合は、ページ分割をして記録するように用紙がチェックされます。
 - [ページ分割記録] が [OFF] のとき：上段から順に記録紙が選択されます。

最適記録用紙	A5 ☐	A4 ☐	B5 ☐	B4 ☐	A4 ☐	A3 ☐
記録紙選択順序 (上段から下段)	A5 ☐	A4 ☐	B5 ☐	B4 ☐	A4 ☐	A3 ☐
	A5 ☐	A4 ☐	B5 ☐	A3 ☐	A4 ☐	B4 ☐
	A4 ☐	B4 ☐	B4 ☐	A4 ☐	B4 ☐	A4 ☐
	A4 ☐	A3 ☐	A4 ☐	A4 ☐	A3 ☐	
	B5 ☐		A4 ☐			
	B5 ☐		A3 ☐			
	B4 ☐					
	A3 ☐					



[ATS 許可] については、「ユーザズガイド コピー機能編」をご覧ください。



詳しく説明します

[ページ分割記録] が [OFF] のときでも長尺原稿または高解像度で受信した場合は、ページ分割記録される場合があります。

- [ページ分割記録] が [ON] のとき：
上段から順に記録紙が選択されます。

最適記録用紙	A5 □	A4 □	B5 □	B4 □	A4 □	A3 □
記録紙選択順序 (上段から下段)	A5 □	A4 □	B5 □	B4 □	A4 □	A3 □
	A5 □	B4 □	B5 □	B5 □	A4 □	A4 □
	A4 □	A3 □	B4 □	B5 □	B4 □	A4 □
	A4 □		A4 □	A3 □	A3 □	
	B5 □		A4 □	A4 □		
	B5 □		A3 □	A4 □		
	B4 □					
	A3 □					

* B5 □、B5 □、A4 □、A4 □ の場合にはページを分割して記録されます。

■ プリント時の制約

- 実際にプリントする用紙が、Step 1 で決定された用紙より小さい場合は、縮小してプリントされます。
- [ページ分割記録] が [OFF] の場合は、実際にプリントする用紙の方向と、Step 1 で決定された用紙の方向が一致しない場合は、自動的に 90 度回転してプリントされます。
- 異なるサイズが混在した文書をプリントする場合は、1 ページごとにこれらの処理が行われます。
- Step 1、Step 2 で決定された用紙サイズが、複数の用紙トレイにセットされている場合は、[給紙トレイ自動選択] で設定された設定に従い、用紙トレイが選択されます。
- 必要な用紙サイズが手差しトレイのみにセットされている場合は、手差しトレイから給紙してプリントされます。ただし手差しトレイが、[給紙トレイ自動選択] で「自動選択トレイ」に設定されていない場合は、手差しトレイからは給紙されません。
- [ページ分割記録] が [ON] の場合、設定メニューの [送信 / 受信設定] が次のように設定されているときはページ分割されません。
 - [給紙トレイ固定] でトレイが設定されている
 - [縮小率] が [等倍] のとき
 - [記録用紙優先選択] が [サイズ固定] または [サイズ優先] のとき
 - [受信原稿両面印刷] が [ON] のとき
- プリントできる用紙がセットされていない場合は、用紙をセットするようにメッセージが表示されます。
 - [記録用紙優先選択] が [サイズ優先] に設定されているとき、最適な用紙サイズとして A4、B4、A3 のいずれか 1 種類が選択されます。そのサイズがない場合は、通常用の紙選択を行い記録されます。
 - [記録用紙優先選択] が [サイズ固定] に設定されているとき、最適な用紙サイズとして A4、B4、A3 のいずれか 1 種類が選択されます。そのサイズがない場合は、用紙が補給されるまでメッセージが表示されます。



詳しく説明します

[ページ分割記録] が [ON] のときでも受信文書の画像幅より選択された記録紙の幅が短い場合には用紙幅に合わせて縮小されます。



[ページ分割記録] については、[「ページ分割記録」\(p. 10-24\)](#) をごらんください。



[給紙トレイ自動選択] については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

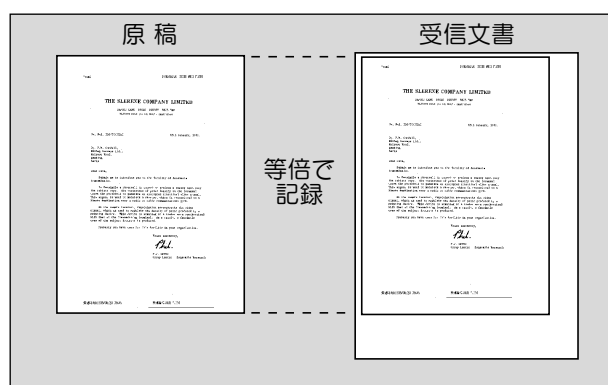


[給紙トレイ固定]、[縮小率]、[記録用紙優先選択]、[受信原稿両面印刷] については、[「ファクス設定 - 送信 / 受信設定」\(p. 10-21\)](#) をごらんください。

- [給紙トレイ固定] が [自動] 以外に設定されているとき、[給紙トレイ固定] で指定されている用紙トレイ（手差しトレイを除く）の用紙に記録されます。受信文書よりサイズが小さい場合は、縮小して記録されます。設定されている用紙トレイに用紙がない場合は、用紙が補給されるまでメッセージが表示されます。
- [記録用紙優先選択] が [自動選択] 以外に、[給紙トレイ固定] も [自動] 以外に設定されているとき、[給紙トレイ固定] の設定が優先されます。

5.6.3 等倍で記録するとき

設定メニューで [縮小率] が「等倍」に設定されている場合は、同じサイズ of 用紙に等倍で記録されます。同じサイズの用紙がセットされていない場合は、大きいサイズの用紙に記録されます。

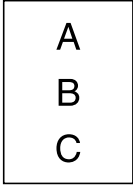
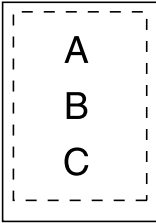
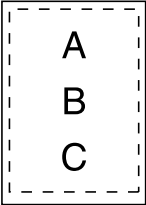
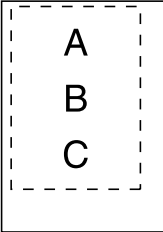
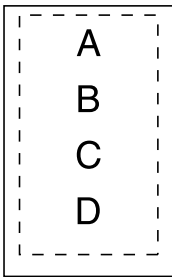
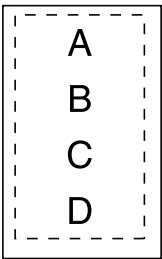
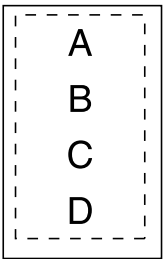
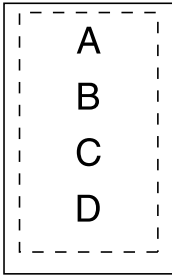
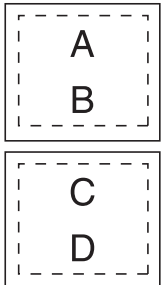
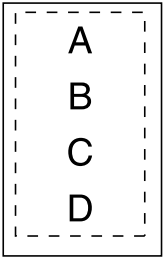


詳しく説明します

- ・ ページ分割をすることはできません。
- ・ A3 サイズより大きな画像は記録できません。
- ・ 最適なサイズの用紙がない場合は、用紙が補給されるまでメッセージが表示されます。

5.6.4 受信時の記録方法

受信文書の用紙サイズと実際に記録される文書の関係は次のとおりです。

受信した用紙の サイズ		[縮小率] の設定		[給紙トレイ 固定] で トレイを指定
		等倍	96 ~ 87 %	
定形サイズ (A3 ~ A5)		 大きめの用紙に等倍で記録	 同じサイズ of 用紙に縮小して記録	 指定されている用紙トレイの用紙に縮小して記録
		 大きめの用紙に等倍で記録	 最適なサイズの用紙に縮小して記録	 指定されている用紙トレイの用紙に縮小して記録
		 大きめの用紙に等倍で記録	 用紙によっては分割して記録	 指定されている用紙トレイの用紙に縮小して記録

ひとこと

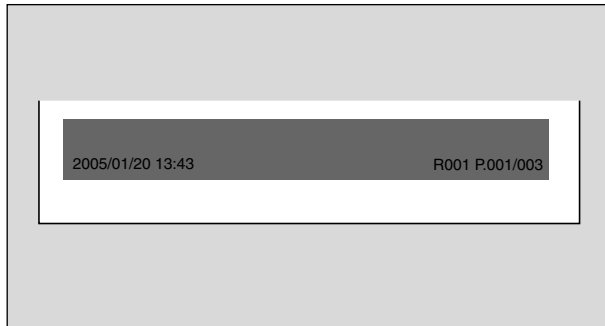
[受信原稿両面印刷] が [ON] の場合、用紙の両面に記録することができます。詳しくは、「[受信原稿両面印刷](#)」(p. 10-21) をご覧ください。

5.7 受信情報

受信した日付、時刻、受信番号、ページ番号が受信した文書に自動的に印刷されます。受信した情報は設定メニューの「発信元 / 受信情報」で設定した内容にしたがって以下の場所に印刷されます。

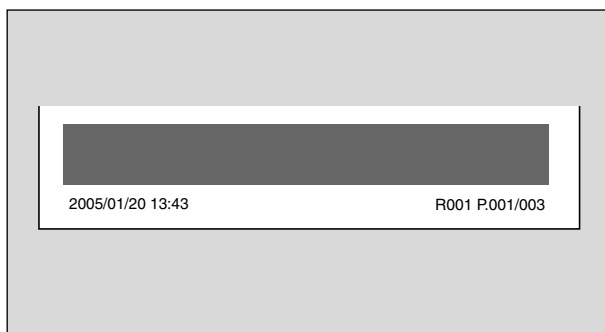
■ 原稿内に印刷

画像の一部にかかるように受信情報が印刷されます。



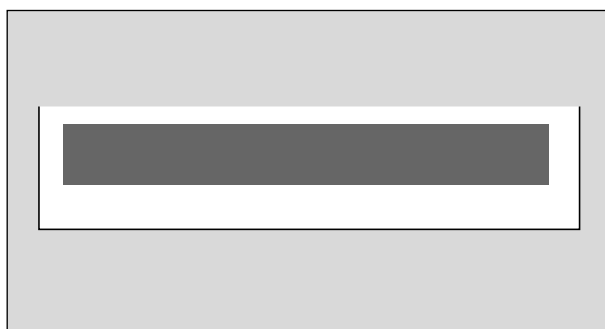
■ 原稿外に印刷

画像の外側に受信情報が印刷されます。

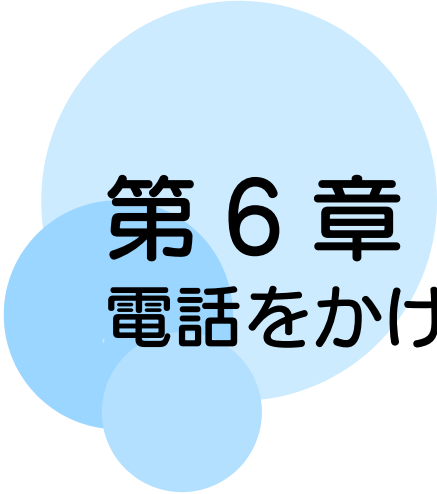


■ 印刷されない

[OFF] に設定すると、受信情報は印刷されません。



受信情報の設定については「[受信情報](#)」(p. 10-17) をごらんください。



第 6 章

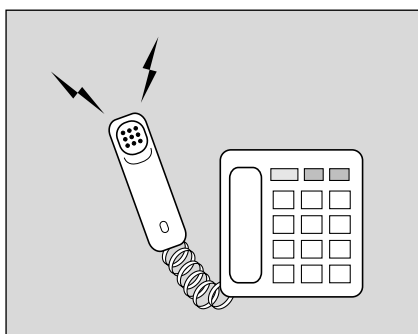
電話をかける / 受ける (G3)

本機に外部電話機を接続している場合のかけかた、受けかたを説明します。

6.1	電話をかける	6-2
6.2	電話を受ける	6-3

6.1 電話をかける

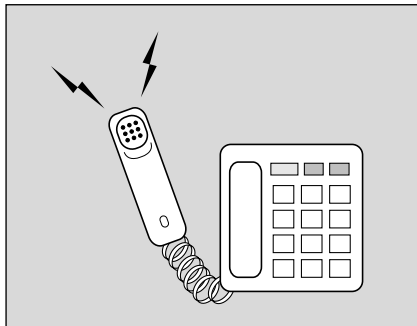
外部電話機の手話器を上げ、相手先を指定します。通話が終了したら手話器を戻します。



6.2 電話を受ける

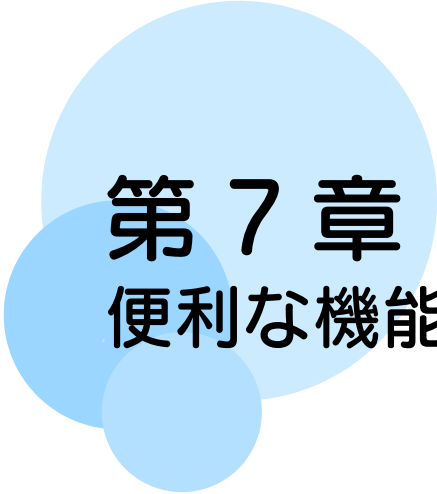
電話の呼び出し音が鳴ったら、受話器を上げて通話します。通話が終了したら受話器を戻します。

- 「ポー、ポー」、または「ピー」という音がするか、無音の場合は、相手がファクスです。【スタート】を押すか外部電話でリモート受信番号（2桁）を指定すると受信できます。ファクスが受信を開始したら受話器を元に戻してください。



詳しく説明します

- ・ダイアル（パルス）回線でリモート受信をしたいときは、外部電話でパルスをトーンに切り替える必要があります。この機能を持たない外部電話ではリモート受信ができません。詳しくは、電話機のマニュアルをご覧ください。
- ・リモート受信については、「リモート受信」(p. 5-5) をご覧ください。



第 7 章

便利な機能（G3/IP/SIP/I-FAX）

便利なファクスの送受信機能について説明します。

7.1	強制メモリー受信（G3/IP/SIP/I-FAX）	7-2
7.2	PC-FAX 受信（G3）	7-3
7.3	TSI 受信振分け（G3）	7-4
7.4	親展通信（G3）	7-5
7.5	中継配信（G3）	7-6
7.6	ポーリング送信 / 受信（G3）	7-8
7.7	掲示板（G3）	7-9
7.8	増設回線を使用した送受信（G3）	7-10
7.9	ファクス転送（G3）	7-11

7.1 強制メモリー受信 (G3/IP/SIP/I-FAX)

受信した文書をメモリーに蓄積し、必要に応じて印刷することができます。この機能を強制メモリー受信といいます。

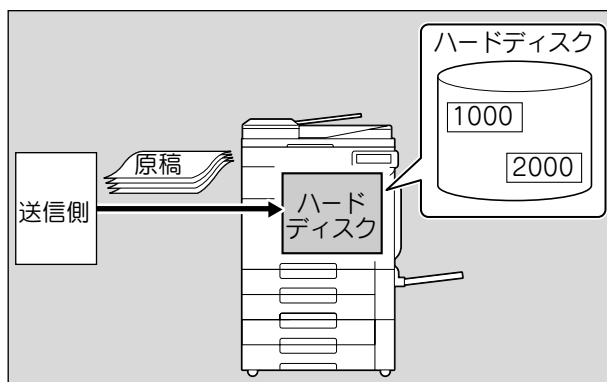
受信した文書は強制メモリー受信ボックスに保存されます。ボックスを参照して印刷の操作をしてください。不要な文書は削除することもできます。



- ・ボックス内の文書の印刷 / 削除については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
- ・強制メモリー受信設定については、「強制メモリー受信設定」(p. 10-27)をごらんください。

7.2 PC-FAX 受信 (G3)

ファクスとして受信した文書のデータをオプションのハードディスクのボックスに保存する機能です。保存したデータは印刷、送信ができます。保存先のボックスは強制メモリー受信ボックスまたは指定した任意のボックスとなります。



原則

PC-FAX 受信を行うと、以下の機能は使用できません。

- ・ 強制メモリー受信
- ・ 転送ファクス
- ・ TSI 受信振分け

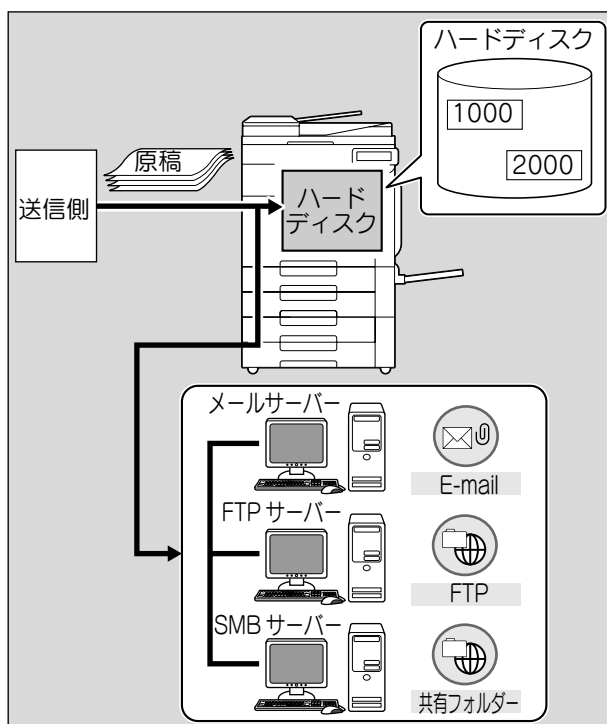


- ・ ボックス内の文書の印刷 / 送信 / 削除については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
- ・ PC-FAX 受信設定については、「[PC-FAX 受信設定](#)」(p. 10-30)をごらんください。

7.3 TSI 受信振分け (G3)

オプションのハードディスクを装着している場合、送信者のファクス ID (TSI) で受信した文書を、送信者ごとに用意した振分け先に自動的に配信します。振分け先には以下の宛先を指定できます。

- ボックス宛先
- E-mail 宛先
- FTP 宛先
- SMB 宛先



詳しく説明します

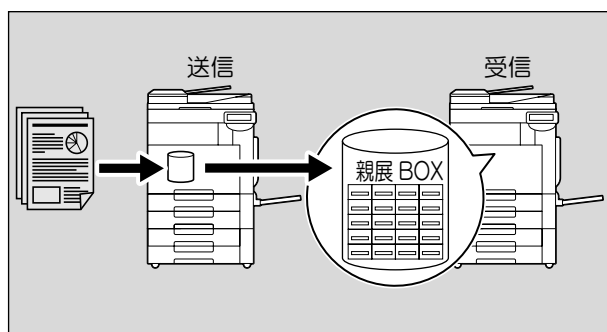
- ・ 正常に配信が終了しなかった場合、受信文書はプリントされます。
- ・ 振り分け先の TSI は 128 か所まで登録できます。

参照

TSI 受信振分け設定については、[「TSI 受信振分け設定」\(p. 10-30\)](#) をご覧ください。

7.4 親展通信 (G3)

特定の人との間で送受信したい原稿を親展ボックスを使って通信する機能です。相手の親展ボックス宛に原稿を送ることを親展送信、自局の親展ボックスに原稿を受信することを親展受信といいます。この機能は相手先がFコード機能を持つ機種の場合に使用できます。



■ 親展受信に必要な設定

親展受信を行うには、本機に親展受信用のボックスを作成します。

■ 親展受信する

親展受信をすると、親展ボックスに文書が保存されます。ボックスを参照して印刷の操作をしてください。不要な文書は削除することもできます。

■ 親展送信する

相手先の親展送信ボックスの番号とパスワードを入力し、送信します。



親展受信用のボックス作成については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

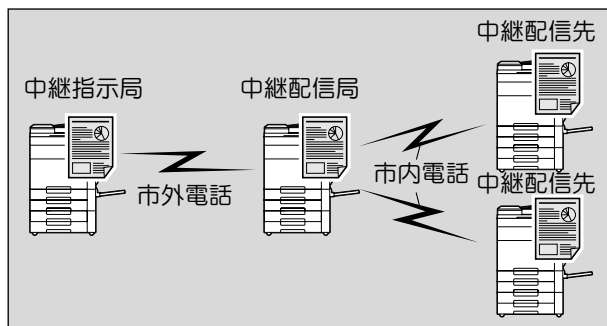


ボックス内の文書の印刷 / 削除については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

7.5 中継配信 (G3)

7.5.1 中継配信とは

送信するファクス文書をいったん中継配信局に保存し、中継局からさらに送信先に送信する機能です。遠方の相手先への同報が頻繁に発生する場合、中継配信局と配信先を地域別にグループ化しておけば、個別に送信するよりも全体の通信コストを削減することができます。



- 中継依頼をして文書を送信するファクスを「中継指示局」といいます。
- 中継指示局からファクスを受け取り、中継を行うファクスを「中継配信局」といいます。
- 中継配信機能は、中継配信局がFコード機能をもつ機種の場合にだけ使用できます。

原則

以下の機能とは併用できません。

- ・ ポーリング送信
- ・ ポーリング受信
- ・ 掲示板登録
- ・ 掲示板ポーリング受信
- ・ パスワード送信

7.5.2 中継配信を行うには

本機は、中継指示局として使用することも、中継配信局としても使用することができます。

本機を中継指示局としてファクスを送る場合は、「**中継配信局にファクスを送る**」(p. 7-7)をごらんください。

本機を中継配信局として使用するには、中継配信を行うための文書を保存する中継ボックスと、配信先の設定が必要です。

配信先の設定は、グループ宛先をあらかじめ設定しておきます。



- ・ 中継ボックスの作成については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
- ・ 本機を中継配信局とするためには、中継受信機能を ON に設定する必要があります。中継受信機能の設定については、「**機能 ON/OFF 設定－中継受信機能**」(p. 10-25)をごらんください。

7.5.3 中継配信局にファクスを送る

〔通信設定〕－〔送受信方法設定〕で〔Fコード送信〕を選択し、以下の内容を入力します。

SUB アドレス：中継配信局の中継ボックス番号をテンキーで入力します。

送信 ID：中継パスワードを入力します。

7.6 ポーリング送信 / 受信 (G3)

7.6.1 ポーリング送信

受信側のポーリング指示で原稿を送信するために、あらかじめ本機のメモリーに文書を保存しておく機能です。ポーリング送信ボックスへの文書保存方法は、「[ポーリング送信－通常](#)」(p. 4-55)をごらんください。

- ポーリング送信を指示した文書は、システムボックスのポーリング送信ボックスに保存されます。
- ポーリング送信は 1 文書のみ登録できます。
- 自動的にメモリー送信が設定されます。

原則

以下の機能とは併用できません。

- ・ ポーリング受信
- ・ タイマー通信
- ・ 海外通信モード
- ・ ECM OFF
- ・ Fコード送信
- ・ パスワード送信
- ・ V34 OFF
- ・ 掲示板登録
- ・ 掲示板ポーリング受信

ひとこと

初期状態では、ポーリング送信終了後、保存した文書は削除されます。ポーリング送信終了後、文書を保存したままにすることもできます。設定については、「[ポーリング送信後文書](#)」(p. 10-24)をごらんください。

7.6.2 ポーリング受信

送信側に保存されている文書や、ポーリング送信予約された文書を受信側からの指示で送信させる機能です。電話料金を受信側で負担したいときなどに便利です。ポーリング受信の方法は、「[ポーリング受信－通常](#)」(p. 4-53)をごらんください。

原則

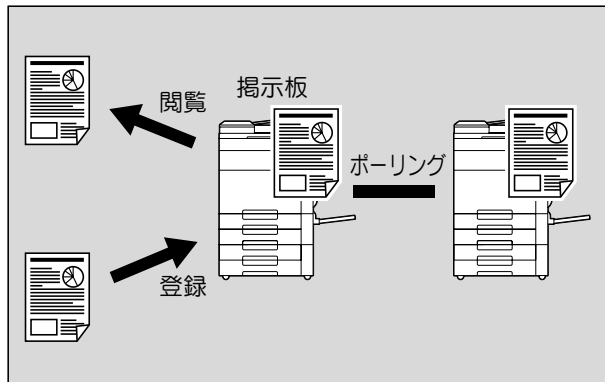
以下の機能とは併用できません。

- ・ 枠消し
- ・ 読み込みサイズ
- ・ 連続読み込み設定
- ・ 混載原稿
- ・ Z折れ原稿
- ・ 長尺原稿
- ・ 原稿のとじしろ
- ・ 親展送信
- ・ 中継依頼
- ・ ポーリング送信
- ・ 海外通信モード
- ・ ECM OFF
- ・ パスワード送信
- ・ V34 OFF
- ・ 掲示板登録
- ・ 掲示板ポーリング受信

7.7 掲示板 (G3)

本機に掲示板を登録し、閲覧したい文書を掲示するように登録しておくことができます。掲示板を登録するには、掲示板ボックスを登録し、ボックスモードで文書を保存します。

掲示板から文書を取り出したり、プリントするときには掲示板ボックスにアクセスしてプリント、削除などの操作ができます。



掲示板ボックスの登録、操作については「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

7.8 増設回線を使用した送受信（G3）

オプションの回線拡張キットを装着している場合、増設した回線に個別の設定をすることができます。設定できる機能は以下のとおりです。

- 回線パラメーター設定：ダイヤル方式、着信回数、回線モニター音を設定できます。
- 機能設定：PC-FAX 送信、ナンバーディスプレイ、ネームディスプレイ、発信者情報の表示を設定できます。
- 複数回線使用設定：送信専用、受信専用など役割を割り振ることができます。
- ファクス ID：増設回線に個別のファクス ID を割り当てることができます。

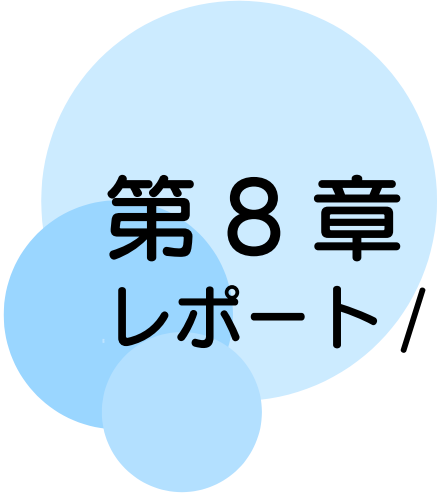
これらの機能は管理者設定の「ファクス設定」－「増設回線設定」で設定できます。詳しくは、「[ファクス設定－増設回線設定](#)」(p. 10-36) をご覧ください。

7.9 ファクス転送（G3）

受信した文書を、あらかじめ設定しておいた宛先に転送することができます。設定できる機能は以下のとおりです。

- 転送も行い、本機でも受信したファクス文書をプリントするように設定できます。
- 回線拡張キットを装着している場合は、転送を行う回線を指定できます。

これらの機能は管理者設定の「ファクス設定」－「機能設定」－「転送ファクス設定」で設定できます。詳しくは、「[転送ファクス設定](#)」(p. 10-28) をご覧ください。



第 8 章

レポート / リストの見かた

レポート / リストのプリント方法と見かたについて説明します。

8.1	レポート / リストの種類	8-2
8.2	共通のリスト	8-4
8.3	G3/IP/SIP/I-FAX 共通のレポート / リスト	8-9
8.4	G3 ファクスで出力されるレポート	8-15
8.5	インターネットファクスで出力されるレポート	8-20
8.6	IP/SIP で出力されるレポート	8-23

8.1 レポート / リストの種類

本機から印刷されるレポート、リストには以下の種類があります。

8.1.1 レポート

自動的に印刷されるレポート、印刷方法を設定できるレポート、必要に応じて印刷の指示をするレポートがあります。

レポート名	説明
通信管理レポート [G3] [I-FAX] [SIP] [IP]	送信や受信の記録が記載されたレポートです。送受信を合わせて 700 通信分が送信、受信それぞれ別のページに記録されます。 通信管理レポートは自動的にプリントされるだけでなく、必要に応じて送信だけの記録、受信だけの記録、送受信の記録それぞれをプリントすることができます。 設定メニューの管理者設定で、プリントする間隔を毎日 / 100 通信毎 / 100 / 毎日から選択できます。 通信管理レポートの出力設定を「毎日」または「100 / 毎日」に設定した場合は、レポートを出力する時刻を設定できます。 [ジョブ表示] > [ジョブ詳細] > [送信] > [履歴リスト] > [通信リスト] の順に押すと、次の内容を選択してプリントできます。 ・送信管理レポート ・受信管理レポート ・通信管理レポート 出力時に出力件数を 100 件 / 全件から選択できます。 100 件：最新の 100 件分をプリントします。 全件：本機に記憶された通信を最大 700 件までプリントします。
送信結果レポート [G3] [I-FAX] [SIP] [IP]	送信結果が自動的にプリントされます。設定メニューの管理者設定で、プリントするタイミングを、常時 / エラー時のみ / OFF から選択できます。
ポーリング送信結果レポート [G3]	設定メニューの「レポート出力設定」で、「送信結果レポート」が「常時」または「エラー時のみ」に設定されている場合、ポーリング送信の結果が自動的にプリントされます。
ポーリング受信結果レポート [G3]	設定メニューの「レポート出力設定」で、「送信結果レポート」が「常時」または「エラー時のみ」に設定されている場合に、ポーリング受信の結果が自動的にプリントされます。
順次ポーリング受信結果レポート [G3]	設定メニューの「レポート出力設定」で、「順次通信結果レポート」が「ON」に設定されている場合に、複数の宛先へのポーリングの結果が自動的にプリントされます。
同報送信結果レポート [G3] [I-FAX] [SIP] [IP]	設定メニューの「レポート出力設定」で、「順次通信結果レポート」が「ON」に設定されている場合に、同報送信が終了したときに自動的にプリントされます。
通信予約レポート [G3]	設定メニューの「レポート出力設定」で、「予約レポート」が「ON」に設定されている場合に、送信予約をしたときに自動的にプリントされます。
ポーリング送信予約レポート [G3]	設定メニューの「レポート出力設定」で、「予約レポート」が「ON」に設定されている場合に、ポーリング送信予約をしたときに自動的にプリントされます。
同報送信予約レポート [G3]	設定メニューの「レポート出力設定」で、「予約レポート」が「ON」に設定されている場合に、同報送信を予約したときに自動的にプリントされます。
1 宛先ポーリング受信予約レポート [G3]	設定メニューの「レポート出力設定」で、「予約レポート」が「ON」に設定されている場合に、一つの宛先にポーリングを予約したときに自動的にプリントされます。

レポート名	説明
順次ポーリング受信予約レポート [G3]	設定メニューの「レポート出力設定」で、「予約レポート」が「ON」に設定されている場合に、複数の宛先にポーリングを予約したときに自動的にプリントされます。
親展受信レポート [G3]	設定メニューの「レポート出力設定」で、「親展受信レポート」が「ON」に設定されている場合に、親展受信をしたときに自動的にプリントされます。
掲示板送信結果レポート [G3]	設定メニューの「レポート出力設定」で、「掲示板送信結果レポート」が「ON」に設定されている場合に、掲示板送信の結果が自動的にプリントされます。
中継結果レポート [G3]	設定メニューの「レポート出力設定」で、「中継結果レポート」が「ON」に設定されている場合に、中継配信の結果が自動的にプリントされます。
中継依頼受付レポート [G3]	設定メニューの「レポート出力設定」で、「中継依頼受付レポート」が「ON」に設定されている場合に、中継受信の結果が自動的にプリントされます。
PC-FAX 送信エラーレポート [G3]	設定メニューの「レポート出力設定」で、「PC-FAX 送信エラーレポート」が「ON」に設定されている場合に、PC-FAX 送信でエラーがおきた場合に自動的にプリントされます。
ネットワークファクス受信エラーレポート [I-FAX] [SIP] [IP]	設定メニューの「レポート出力設定」で、「ネットワークファクス受信エラーレポート」が「ON」に設定されている場合、ネットワークファクスを正常に受信できなかったときにプリントされます。
MDN メッセージ印刷 [I-FAX]	設定メニューの「レポート出力設定」で、「MDN メッセージ」が「ON」に設定されている場合、送信した開封確認に相手機が応答した時に、相手機から受信した MDN メッセージが自動的にプリントされます。 (MDN=MessageDisposition Notifications の略)
DSN メッセージ印刷 [I-FAX]	設定メニューの「レポート出力設定」で、「DSN メッセージ」が「ON」に設定されている場合、受信側のメールサーバーに電子メールが到着した時に送信側に送られる DSN メッセージを受信すると、自動的にプリントされます。(DSN =Delivery StatusNotifications の略)
正常受信メール本文 [I-FAX]	設定メニューの「レポート出力設定」で、「正常受信メール本文印刷」が「ON」に設定されている場合、受信した電子メールの本文がプリントされます。

8.1.2 リスト

リストは、必要に応じてプリントの指示をします。

リスト名	説明
短縮宛先リスト	短縮宛先の登録内容をプリントできます。
グループ宛先リスト	グループ宛先の登録内容をプリントできます。
プログラム宛先リスト	プログラム宛先の登録内容をプリントできます。
設定値リスト	設定メニューのファクス設定の内容をプリントできます。

8.2 共通のリスト

8.2.1 短縮宛先リスト

登録した短縮宛先のリストをプリントできます。

■ プリントのしかた

1

管理者設定の「宛先 / ボックス登録」－「宛先登録リスト」から「短縮宛先リスト」を選択し、出力する開始番号、出力件数、宛先の種類を設定して「印刷」を押します。



2

出力する用紙トレイ、片面 / 両面を設定して「実行」を押します。



■ 出力例

短縮宛先リスト			
		2007/04/24 14:30	8/1
		Serial No. 6020109010004	
		12	24
E-mail			
No.	検索文字	名称	E-mail宛先
0002	TEL	Telero	telero@telst.local
	参照可能レベル		回線設定
			-
No.	検索文字	名称	E-mail宛先
0003	PHD	Osaka	osaka@telst.local
	参照可能レベル		回線設定
			-
No.	検索文字	名称	E-mail宛先
0007	PHD	Osaka	osaka@telst.local
	参照可能レベル		回線設定
			-
No.	検索文字	名称	E-mail宛先
0008	TEL	Fukushima	fukushima@telst.local
	参照可能レベル		回線設定
			-
No.	検索文字	名称	E-mail宛先
0009	PHD	Manager	manager@telst.local
	参照可能レベル		回線設定
			-

■ プリントされる項目

項目	説明
No.	短縮番号です。
検索文字	登録されている検索文字です。
名称	登録されている宛先名です。
宛先	選択した宛先種類の宛先が表示されます。
回線設定	回線設定が指定されている場合に * が記載されます。
ポート番号	登録されているポート番号です。
SIP ファクス送信	SIP ファクス宛先として登録されているかいないかが表示されます。
参照可能レベル	登録されている参照可能レベルです。

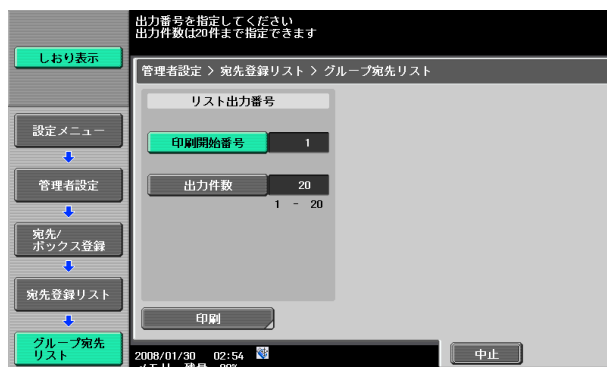
8.2.2 グループ宛先リスト

登録したグループ宛先のリストをプリントできます。

■ プリントのしかた

1

管理者設定の「宛先 / ボックス登録」－「宛先登録リスト」から「グループ宛先リスト」を選択し、出力する開始番号、出力件数を設定して「印刷」を押します。



2

出力する用紙トレイ、片面 / 両面を設定して「実行」を押します。



■ 出力例

グループ宛先リスト				
			2007/04/26 14:34	P 1
			Serial No. 000100000000	
			TC: 25	
No.	名称	宛先No.	宛先可能/否	登録件数
001	grp01	0002 0003 0000	レベル0	000
No.	名称	宛先No.	宛先可能/否	登録件数
002	grp02	0002 0003 0000	レベル0	000

■ プリントされる項目

項目	説明
No.	グループ番号です。
名称	登録されているグループ名です。
短縮 No	グループに登録されている短縮 No. です。
参照可能レベル	登録されている参照可能レベルです。
登録件数	グループに登録されている短縮 No. の数です。

8.2.3 プログラム宛先リスト

登録したプログラム宛先のリストをプリントできます。

1

管理者設定の「宛先 / ボックス登録」－「宛先登録リスト」から「プログラム宛先リスト」を選択し、出力する開始番号、出力件数、宛先の種類を設定して「印刷」を押します。



2

出力する用紙トレイ、片面 / 両面を設定して「実行」を押します。



出力例

プログラム宛先リスト

P 12008/02/20 11:31Serial No. 8807021901002TV563

短縮宛先

No.	名称	短縮宛先
001	PROGRAM1	0001
	項目	設定
	映像可能/4	レベル0
	スプリング形式	11FF
	ペーパー切	ペーパー切
	片側/両側	片側
	縦向き/横	横
	下向き	0
	200Mbps	200Mbps
	読み取り速度(書き込み)	100.0%
	読み取り速度(書き込み)	100.0%
	記録ヘッド方向	上向き
	記録ヘッド方向とし方向	自動
	読み込みサイズ	指定無し
	読み込み設定	しない
	読み込み設定	指定無し
	読み込み設定	指定無し
	読み込み設定	なし
	読み込み設定	なし
	読み込み設定	なし
	読み込み設定	なし
	読み込み設定	指定無し
	読み込み設定	指定無し
	読み込み設定	200Mbps/100Mbps/50Mbps
	読み込み設定	指定無し

No. 名称 短縮宛先

002 PROGRAM2 0002

項目 設定

	映像可能/4	OFF
	スプリング形式	レベル0
	ペーパー切	11FF
	片側/両側	片側
	縦向き/横	横
	下向き	0
	200Mbps	200Mbps
	読み取り速度(書き込み)	100.0%
	読み取り速度(書き込み)	100.0%
	記録ヘッド方向	上向き
	記録ヘッド方向とし方向	自動
	読み込みサイズ	指定無し
	読み込み設定	しない
	読み込み設定	指定無し
	読み込み設定	指定無し
	読み込み設定	なし
	読み込み設定	なし
	読み込み設定	なし
	読み込み設定	指定無し
	読み込み設定	指定無し
	読み込み設定	200Mbps/100Mbps/50Mbps
	読み込み設定	指定無し
	読み込み設定	しない
	読み込み設定	指定無し
	読み込み設定	指定無し
	読み込み設定	指定しない
	読み込み設定	しない

プリントされる項目

項目	説明
No.	プログラム宛先番号です。
名称	登録されているプログラム名です。
宛先	プログラムの宛先（短縮宛先 / グループ宛先 / 直接入力宛先）です。

項目	説明
結果	OK: 通信が正常に終了した場合に記載されます。 S-OK: 通信を中止した場合に記載されます。 PW-OFF: 通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。 TEL: 電話がかかってきた場合に記載されます。 NG: 通信エラーが発生した場合に記載されます。 継続: 送信エラーが発生して、リダイヤル待ちの状態（エラーページリダイヤル）に移った場合に記載されます。 無応答: 相手が応答しなかった場合に記載されます。 拒否: 着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。 話中: 相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。 メモリフル: 受信中にファクスファイルメモリが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。 LOVR: 受信ページ長が 1000mm を越えた場合に記載されます。(SIP ファクス /IP アドレスファクス / インターネットファクス) POVR: 受信ページオーバー。受信ページ数が 3000 ページを超えた場合に記載されます。(SIP ファクス /IP アドレスファクス / インターネットファクス) FIL: ファイルエラー。受信したファイルがサポートされていない場合に記載されます。(SIP ファクス /IP アドレスファクス / インターネットファクス) DC: デコードエラー。受信したファイルのデコードでエラーが発生した場合に記載されます。(SIP ファクス /IP アドレスファクス / インターネットファクス) MDN: MDN 応答がエラーの場合に記載されます。(インターネットファクス) DSN: DSN 応答がエラーの場合に記載されます。(インターネットファクス)
備考	次のいずれかが記載されます。 L1: 主回線 TMR: タイマー通信 ORG: 原稿サイズ指定 MIX: 混載モード送信 CSRC: 遠隔診断 PC: PC-FAX SP: 特殊原稿 RTX: 再送信 MBX: 親展 L2: 副回線 POL: ポーリング FME: 枠消し送信 CALL: 手動通信 FWD: 転送 BND: 原稿のとじしろ FCODE: F コード指定 RLY: 中継 BUL: 掲示板 SIP: SIP ファクス IPADR: IP アドレスファクス I-FAX: インターネットファクス

8.3.2 送信結果レポート

送信結果が自動的にプリントされます。設定メニューの管理者設定で、プリントするタイミングを、常時 / エラー時のみ / OFF から選択できます。

8.3.3 同報送信結果レポート

同報送信が終了したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの「順次通信結果レポート」で ON/OFF を設定できます。また、「同報結果レポート出力」でレポート出力タイミング（全宛先一括 / 1 宛先毎）を指定できます。

8.3.4 設定値リスト

本機で設定しているファクスの設定値リストをプリントできます。

■ プリントのしかた

管理者設定の「ファクス設定」－「設定値リスト」を選択し、出力する用紙トレイ、片面 / 両面を設定して「実行」を押します。

■ FAX 設定リスト

[illegible]

FX60設定リスト

P 2

2007/06/16 15:01

Serial No. A0CE1008100A

TC 36

項目	設定	項目	設定
アンバーディスプレイ機能 表示確認表示機能 主画面表示	OFF OFF OFF	Fコード連携機能 中継表示機能	ON ON

項目	設定
拡張条件 拡張先	OFF 先登録

項目	設定	項目	設定
ディスプレイ設定 画質優先	OFF 先登録	F60専用 PC/F60専用	先登録 先登録

項目	設定
リモート受信設定	OFF

項目	設定
無線メモリー受信設定	OFF

項目	設定
無線受信設定	OFF

項目	設定	項目	設定
PC/F60専用設定 受信設定項目	OFF xxx	受信能力 バーストチェック	xxx xxx

項目	設定	項目	設定
音声設定	OFF	ファイル保持時間	12時間

FAX設定リスト

2007/04/24 15:01
Serial No. 002010901004
TC: 000

項目	設定	項目	設定
ダイヤル方式	21000	番付印刷設定	2 回
回線モニタリング	OFF	PC-FAX送受信設定	指定なし
アンバーディスプレイ機能	OFF	複合回線使用設定	伝送専用
項目	設定		
ファクスID			

■ 中継一覧

FAX設定リスト

2007/04/24 15:01
Serial No. 002010901004
TC: 000

No.	元-宛	送信順
000000007	001	1234

■ 送信者別 (TSI) 受信ボックス

FAX設定リスト

2007/04/24 15:01
Serial No. 002010901004
TC: 000

No.	送信者(TSI)	番号(7桁)
001	123	00000001
002	124	00000001

備考: E: E-mail F: FTP S: SMD G: Group B: Box

■ 親展・揭示板一覧

FAX設定リスト

2007/04/24 15:01
Serial No. 00000000000000000000
10

No.	名前	送受信	種別
0000000000	301		親展板
0000000000	302		親展板
0000000000	303	1111	親展板

8.4 G3 ファクスで出力されるレポート

8.4.1 ポーリング送信結果レポート

ポーリング送信の結果が自動的にプリントされます。

設定メニューの「送信結果レポート」で常時 / エラー時のみ / OFF を設定できます。

ポーリング送信結果レポート					
			P 1 2007/04/24 15:44 Serial No. 002010001004 TC: 52		
宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
1	04-24 15:44	00:00:06	001/001	OK	L1 POL
備考 L1: 主回線 L2: 副回線 TMR: タイマー満了 POL: ポーリング OK: 送信サイズ指定 FME: 終了し送信 MIX: 送受信モード送信 CALL: 手動送信 CSRC: CSRC FMR: 転送 PC-PC-FAX DND: 留守としない SP: 特殊送信 FOD: フォード指定 KTR: 再送信 ALI: 中継 MEX: 複製 BUL: 標準形 SIP: SIPファクス MPX: IPアドレスファクス I-FAX: インターネットファクス					
結果 OK: 送信終了 S-OK: 送信中止 PWR-OFF: 電源OFF TEL: 電話からの受信 NG: その他のエラー 送信: 送信 無応答: 無応答 拒否: 拒否 途中: 途中 メモリアルメモリフル LAW: 送信オーバー PWR: 電源オフオーバー FILE: ファイルエラー DC: デコードエラー MEX: MEXエラー DSN: DSNエラー					

8.4.2 ポーリング受信結果レポート

ポーリング受信をしたときに自動的にプリントされます。

設定メニューの「送信結果レポート」で常時 / エラー時のみ / OFF を設定できます。

ポーリング受信結果レポート					
			P 1 2007/04/24 15:18 Serial No. 002010001004 TC: 47		
宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
1	04-24 15:17	00:00:39	000/000	NG	L1 POL
備考 L1: 主回線 L2: 副回線 TMR: タイマー満了 POL: ポーリング OK: 送信サイズ指定 FME: 終了し送信 MIX: 送受信モード送信 CALL: 手動送信 CSRC: CSRC FMR: 転送 PC-PC-FAX DND: 留守としない SP: 特殊送信 FOD: フォード指定 KTR: 再送信 ALI: 中継 MEX: 複製 BUL: 標準形 SIP: SIPファクス MPX: IPアドレスファクス I-FAX: インターネットファクス					
結果 OK: 送信終了 S-OK: 送信中止 PWR-OFF: 電源OFF TEL: 電話からの受信 NG: その他のエラー 送信: 送信 無応答: 無応答 拒否: 拒否 途中: 途中 メモリアルメモリフル LAW: 送信オーバー PWR: 電源オフオーバー FILE: ファイルエラー DC: デコードエラー MEX: MEXエラー DSN: DSNエラー					

8.4.3 順次ポーリング受信結果レポート

複数の宛先へのポーリングの結果が自動的にプリントされます。

設定メニューの「順次通信結果レポート」で ON/OFF を設定できます。

順次ポーリング受信結果レポート					
			P 1 2007/04/24 15:29 Serial No. 002010001004 TC: 48		
宛先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
Fax Tokyo	04-24 15:28	00:00:03	000/000	途中	L1 POL
1	04-24 15:28	00:00:05	000/000	NG	L1 POL
備考 L1: 主回線 L2: 副回線 TMR: タイマー満了 POL: ポーリング OK: 送信サイズ指定 FME: 終了し送信 MIX: 送受信モード送信 CALL: 手動送信 CSRC: CSRC FMR: 転送 PC-PC-FAX DND: 留守としない SP: 特殊送信 FOD: フォード指定 KTR: 再送信 ALI: 中継 MEX: 複製 BUL: 標準形 SIP: SIPファクス MPX: IPアドレスファクス I-FAX: インターネットファクス					
結果 OK: 送信終了 S-OK: 送信中止 PWR-OFF: 電源OFF TEL: 電話からの受信 NG: その他のエラー 送信: 送信 無応答: 無応答 拒否: 拒否 途中: 途中 メモリアルメモリフル LAW: 送信オーバー PWR: 電源オフオーバー FILE: ファイルエラー DC: デコードエラー MEX: MEXエラー DSN: DSNエラー					

8.4.4 通信予約レポート

タイマー通信を指定したときに自動的にプリントされます。
設定メニューの「予約レポート」で ON/OFF を設定できます。

通信予約レポート

P 1
2007/04/24 15:31
Serial No. 002701001004
TC: 49

宛先	予約時刻	予約時刻	枚数	備考
1	04-24 15:31	04-24 15:33	001	予約

備考: L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通話 PDL:ポーリング DNG:通話サイズ指定 FME:呼出し送信
HLC:通話モード指定 CML:手動通話 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
TMR:通話として呼 SP:特種通話 FZDR:フコード指定 RDT:再送信 RLY:中継 MGR:転送 BUL:表示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

8.4.5 ポーリング送信予約レポート

ポーリング送信予約をしたとき（本機のポーリング送信ボックスに文書が保存されたとき）に自動的にプリントされます。
設定メニューの「予約レポート」で ON/OFF を設定できます。

ポーリング送信予約レポート

P 1
2007/04/24 15:11
Serial No. 002701001004
TC: 44

宛先	予約時刻	予約時刻	枚数	備考
1	04-24 15:11	04-24 15:13	001	予約

備考: L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通話 PDL:ポーリング DNG:通話サイズ指定 FME:呼出し送信
HLC:通話モード指定 CML:手動通話 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
TMR:通話として呼 SP:特種通話 FZDR:フコード指定 RDT:再送信 RLY:中継 MGR:転送 BUL:表示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

8.4.6 同報送信予約レポート

同報送信を予約したときに自動的にプリントされます。
設定メニューの「予約レポート」で ON/OFF を設定することができます。

同報送信予約レポート

P 1
2007/04/24 16:02
Serial No. 002701001004
TC: 53

宛先	予約時刻	予約時刻	枚数	備考
fax_kokyo	04-24 16:01	04-24 16:03	001	予約
1	04-24 16:01	04-24 16:03	001	予約

備考: L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通話 PDL:ポーリング DNG:通話サイズ指定 FME:呼出し送信
HLC:通話モード指定 CML:手動通話 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
TMR:通話として呼 SP:特種通話 FZDR:フコード指定 RDT:再送信 RLY:中継 MGR:転送 BUL:表示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

8.4.7 1 宛先ポーリング受信予約レポート

1 宛先へのポーリング受信を予約したときに自動的にプリントされます。
設定メニューの「予約レポート」で ON/OFF を設定できます。

1 宛先ポーリング受信予約レポート

P 1
2007/04/26 16:10
Serial No. 8025010001004
TC: 06

宛先	作成時刻	開始時刻	状態	備考
1	04-24 16:10	04-24 16:12	OK	予約

備考 L1: 主回線 L2: 副回線 TMR: タイマー満了 POL: ポーリング ONG: 原稿サイズ指定 FME: 検出し送信
MIX: 送稿モード送信 CALL: 手動送信 CSRC: CSRC FWD: 転送 PC: PC-FAX
MDI: 原稿として送信 SP: 送信後検出 FCODE: Fコード指定 KTR: 再送信 転送 中継 MIX: 親展 BUL: 指示版
SIP: SIPファクス IPFAX: IPアドレスファクス I-FAX: インターネットファクス

8.4.8 順次ポーリング受信予約レポート

複数の宛先へのポーリング受信を予約したときに自動的にプリントされます。
設定メニューの「予約レポート」で ON/OFF を設定できます。

順次ポーリング受信予約レポート

P 1
2007/04/26 16:20
Serial No. 802510001004
TC: 09

宛先	作成時刻	開始時刻	状態	備考
FAX_TOKYO	04-24 16:20	04-24 16:22	OK	予約

備考 L1: 主回線 L2: 副回線 TMR: タイマー満了 POL: ポーリング ONG: 原稿サイズ指定 FME: 検出し送信
MIX: 送稿モード送信 CALL: 手動送信 CSRC: CSRC FWD: 転送 PC: PC-FAX
MDI: 原稿として送信 SP: 送信後検出 FCODE: Fコード指定 KTR: 再送信 転送 中継 MIX: 親展 BUL: 指示版
SIP: SIPファクス IPFAX: IPアドレスファクス I-FAX: インターネットファクス

8.4.9 親展受信レポート

親展受信をしたときに自動的にプリントされます。
設定メニューの「親展受信レポート」で ON/OFF を設定できます。

親展受信レポート

P 1
2007/04/26 16:17
Serial No. 802510001004
TC: 08

宛先	開始時刻	時間	状態	経費	備考
1	04-24 16:17	00:00:15	OK	1.1	MIX: Bando 5

備考 L1: 主回線 L2: 副回線 TMR: タイマー満了 POL: ポーリング ONG: 原稿サイズ指定 FME: 検出し送信
MIX: 送稿モード送信 CALL: 手動送信 CSRC: CSRC FWD: 転送 PC: PC-FAX
MDI: 原稿として送信 SP: 送信後検出 FCODE: Fコード指定 KTR: 再送信 転送 中継 MIX: 親展 BUL: 指示版
SIP: SIPファクス IPFAX: IPアドレスファクス I-FAX: インターネットファクス

結果 OK: 送信成功 S: OK 送信中止 P: OFF 電源OFF TEL: 電話からの受信 NG: その他のエラー
PERR: 停電 断電時 無応答 伝送 電報停電 送中途中 スキャンエラー
LERR: 送稿エラー PERR: 送稿エラー 送稿エラー 送稿エラー 送稿エラー
MERR: 親展エラー CSRC: CSRCエラー

8.4.10 掲示板送信結果レポート

掲示板に登録されている文書をポーリング送信したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの「掲示板送信結果レポート」で ON/OFF を設定できます。

ポーリング送信結果レポート					
			P: 1		
			2007/04/26 16:36		
			Serial No.: 00230100001004		
			TC: 00		
宛先	開始時刻	時刻	枚数	結果	備考
1	04-26-16:36	00:00:00	001/001	OK	11 掲示板 No. 3
備考: L1: 主回線 L2: 副回線 TMR: タイマー通信 PDL: ポーリング QRG: 確信サイズ指定 FMR: 伝送速度 ALX: 伝送モード通信 CALL: 手動通信 CSRC: CSRC FMR: 伝送速度 QMR: 伝送モード通信 SP: 伝送速度 TMR: タイマー通信 KTR: 伝送速度 KTR: 伝送速度 SIP: SIP ファクス BPR: IP アドレスファクス FMR: インターネットファクス					
結果: OK: 送信成功 S: OK: 送信中止 PW: 伝送速度 TEL: 電話からの発信 NG: その他のエラー NG: 伝送速度 NG: 伝送速度 NG: 伝送速度 NG: 伝送速度 NG: 伝送速度 NG: 伝送速度 LQNR: 伝送速度オーバー PQR: 伝送速度オーバー FMR: ファイルエラー QG: デコードエラー MNR: MNR エラー DNR: DNR エラー					

8.4.11 中継結果レポート

中継配信局として中継配信先に送信したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの「中継結果レポート」で ON/OFF を設定できます。

中継結果レポート					
			P: 1		
			2007/04/26 16:36		
			Serial No.: 00230100001004		
			TC: 00		
宛先	開始時刻	時刻	枚数	結果	備考
1	04-26-16:36	00:00:00	000/001	S-OK	
備考: TMR: タイマー通信 PDL: ポーリング QRG: 確信サイズ指定 FMR: 伝送速度 ALX: 伝送モード通信 CALL: 手動通信 CSRC: CSRC FMR: 伝送速度 QMR: 伝送モード通信 SP: 伝送速度 TMR: タイマー通信 KTR: 伝送速度 KTR: 伝送速度 SIP: SIP ファクス BPR: IP アドレスファクス FMR: インターネットファクス					
結果: OK: 送信成功 S: OK: 送信中止 PW: 伝送速度 TEL: 電話からの発信 NG: その他のエラー NG: 伝送速度 NG: 伝送速度 NG: 伝送速度 NG: 伝送速度 NG: 伝送速度 NG: 伝送速度 LQNR: 伝送速度オーバー PQR: 伝送速度オーバー FMR: ファイルエラー QG: デコードエラー MNR: MNR エラー DNR: DNR エラー					

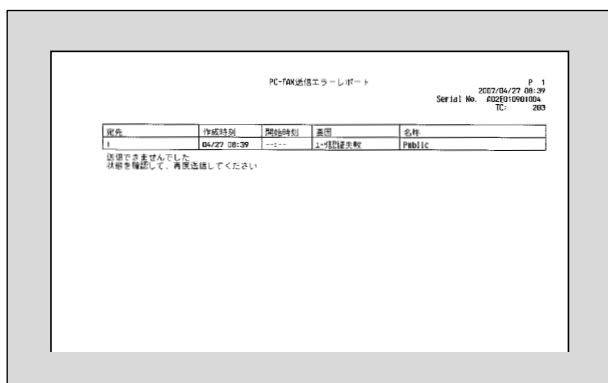
本機を中継配信局として使用しているとき、中継指示局から文書を受信したときに自動的にプリントされます。

項目	開始時刻	終了	稼働	結果	備考
3	06:29	16:29	00:00:10	OK	RLY B0060_6

備考
 TMR:7276-通信 PWR:14.07V HSG:0.045(17.0Hz) PWC:0.040(10.0Hz)
 MIX:送電機1-1動作 CH1:1-1動作 CH2:CS2C CS2C:1PWB 4.535V PC:1PWB
 B001:送電機2-1動作 SP:特高電機1-1動作 PC:1PWB 4.535V 電圧:特高電機 電圧:中継 MIX:既装 B001:既装車
 SGP:SP17371 PWB001:1PWB17371 1-PWB(17.0Hz)7371

結果
 OK: 送電機17371 5.0Hz 通信中止 PW-OFF:送電機 OFF TEL:電話からの警告 NG:その時のエラー
 電圧:既装車 電圧:既装車 電圧:既装車 送電機 送電機 送電機 送電機 送電機 送電機 送電機 送電機
 LGND:両側電源ケーブル F000:受電機ケーブルケーブル FUL:ファイルエラー DC:デコードエラー
 H001:既装車エラー D001:D001エラー

PC-FAX 送信でエラーがおきたときに自動的にプリントされます。
設定メニューの [PC-FAX 送信エラーレポート] で ON/OFF を設定できます。

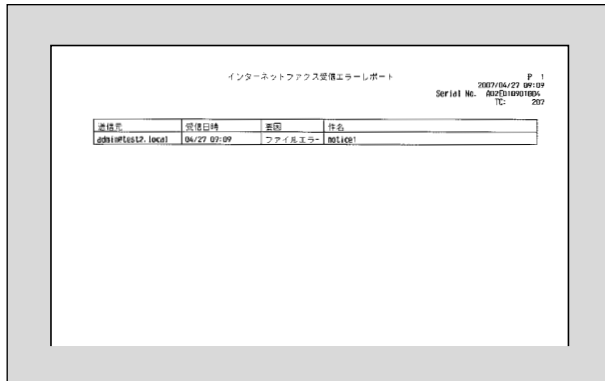


8.5 インターネットファクスで出力されるレポート

8.5.1 ネットワークファクス受信エラーレポート

インターネットファクス、SIP ファクス、IP アドレスファクスが正常に受信できなかったときにプリントされます。

設定メニューの「ネットワークファクス受信エラーレポート」で ON/OFF を設定できます。



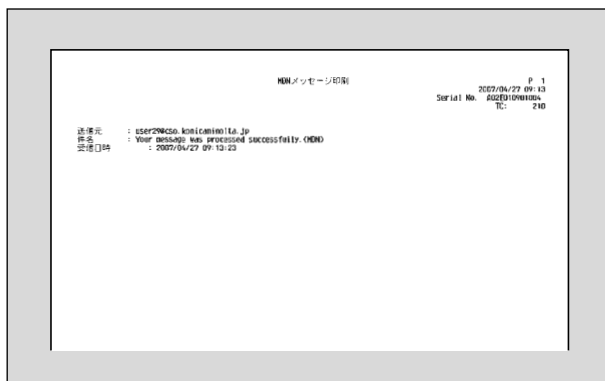
The screenshot shows a printed report titled "インターネットファクス受信エラーレポート" (Internet Fax Reception Error Report). It includes a header with "P: 1", a date "2007/04/27 09:09", and a serial number "Serial No.: 0027010010004". Below the header is a table with four columns: "送信元" (Sender), "受信日時" (Reception Date/Time), "原因" (Cause), and "件名" (Subject). The table contains one row of data: "0011001001001", "04/27 09:09", "ファイルエラー" (File Error), and "0011001".

送信元	受信日時	原因	件名
0011001001001	04/27 09:09	ファイルエラー	0011001

8.5.2 MDN メッセージ印刷

送信した開封確認に相手機が応答した場合に、相手機から受信した MDN メッセージが自動的にプリントされます。

設定メニューの「MDN メッセージ」で印刷するかどうかを設定できます。



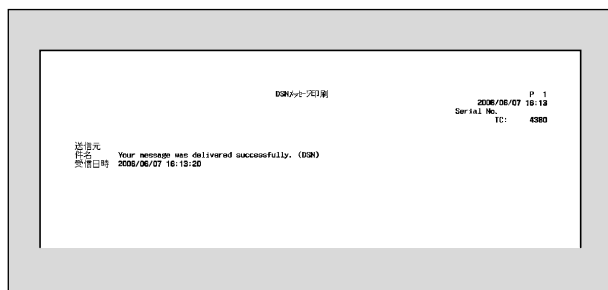
The screenshot shows a printed report titled "MDNメッセージ印刷" (MDN Message Print). It includes a header with "P: 1", a date "2007/04/27 09:13", and a serial number "Serial No.: 0027010010004". Below the header is a text block containing the following information: "送信元 : 0011001001001", "件名 : Your message has been received successfully. 0000", and "受信日時 : 2007/04/27 09:13:23".

送信元	件名	受信日時
0011001001001	Your message has been received successfully. 0000	2007/04/27 09:13:23

8.5.3 DSN メッセージ印刷

受信側のメールサーバーに電子メールが到着したときに送信側に送られる DSN を受信すると、メッセージが自動的にプリントされます。

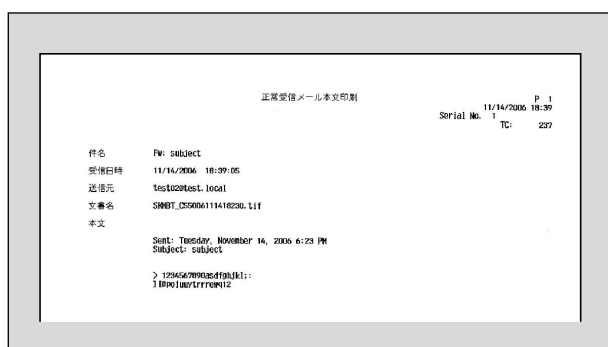
設定メニューの [DSN メッセージ] で印刷するかどうかを設定できます。



8.5.4 正常受信メール本文

受信した電子メールの本文を自動的にプリントするかどうかを設定します。

設定メニューの [正常受信メール本文印刷] で印刷するかどうかを設定できます。



詳しく説明します

- ・電子メール本文の印刷は、受信した電子メールのヘッダに「Content-XCIAJWNETFAX:IGNORE」が記述されている場合や、本文が無い場合は、[正常受信メール本文印刷] が [ON] に設定されていてもプリントしません。
- ・プリント不可の添付ファイルを受信した場合、[ネットワークファクス受信エラーレポート] の設定に従います。

8.5.5 件名 / 本文リスト

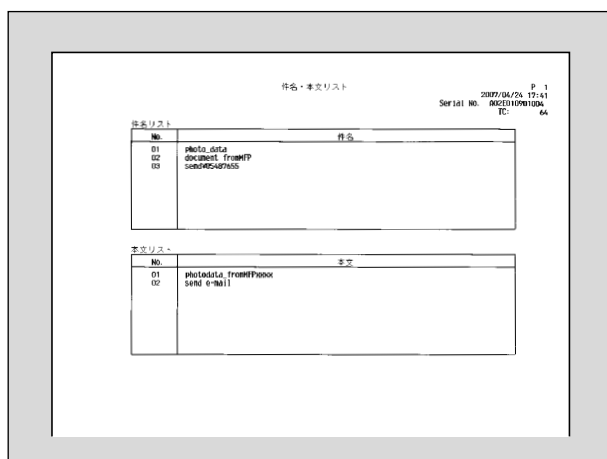
登録した E-mail の件名、本文のリストをプリントできます。

■ プリントのしかた

管理者設定の「宛先 / ボックス登録」－「宛先登録リスト」から「件名 / 本文リスト」を選択し、出力する用紙トレイ、片面 / 両面を設定して「実行」を押します。



■ 出力例



8.6 IP/SIP で出力されるレポート

8.6.1 ネットワークファクス受信エラーレポート

詳しくは、「[ネットワークファクス受信エラーレポート](#)」(p. 8-20) を
ごらんください。



第 9 章

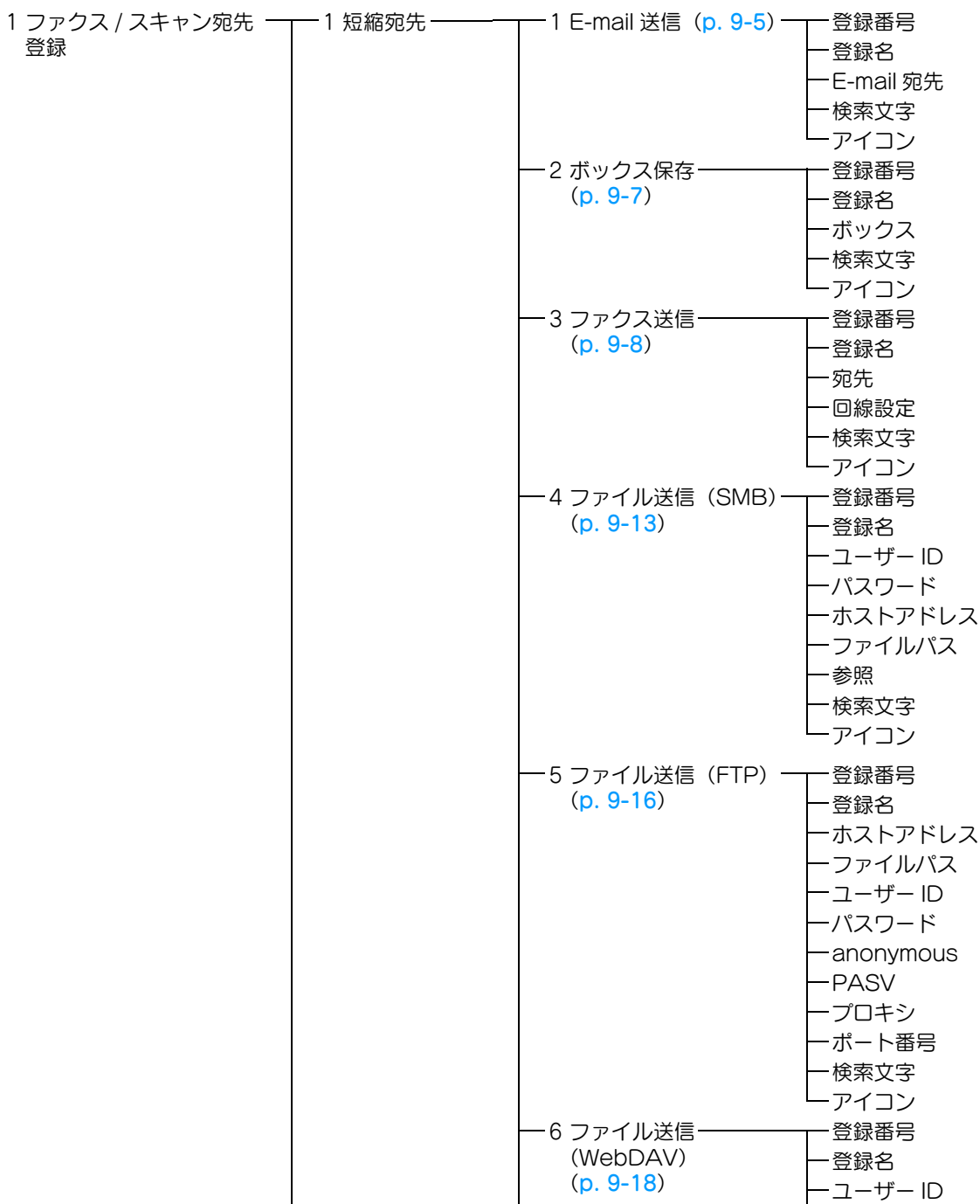
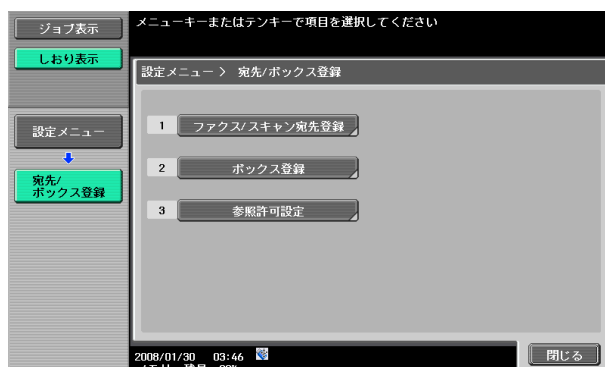
ユーザーモード設定

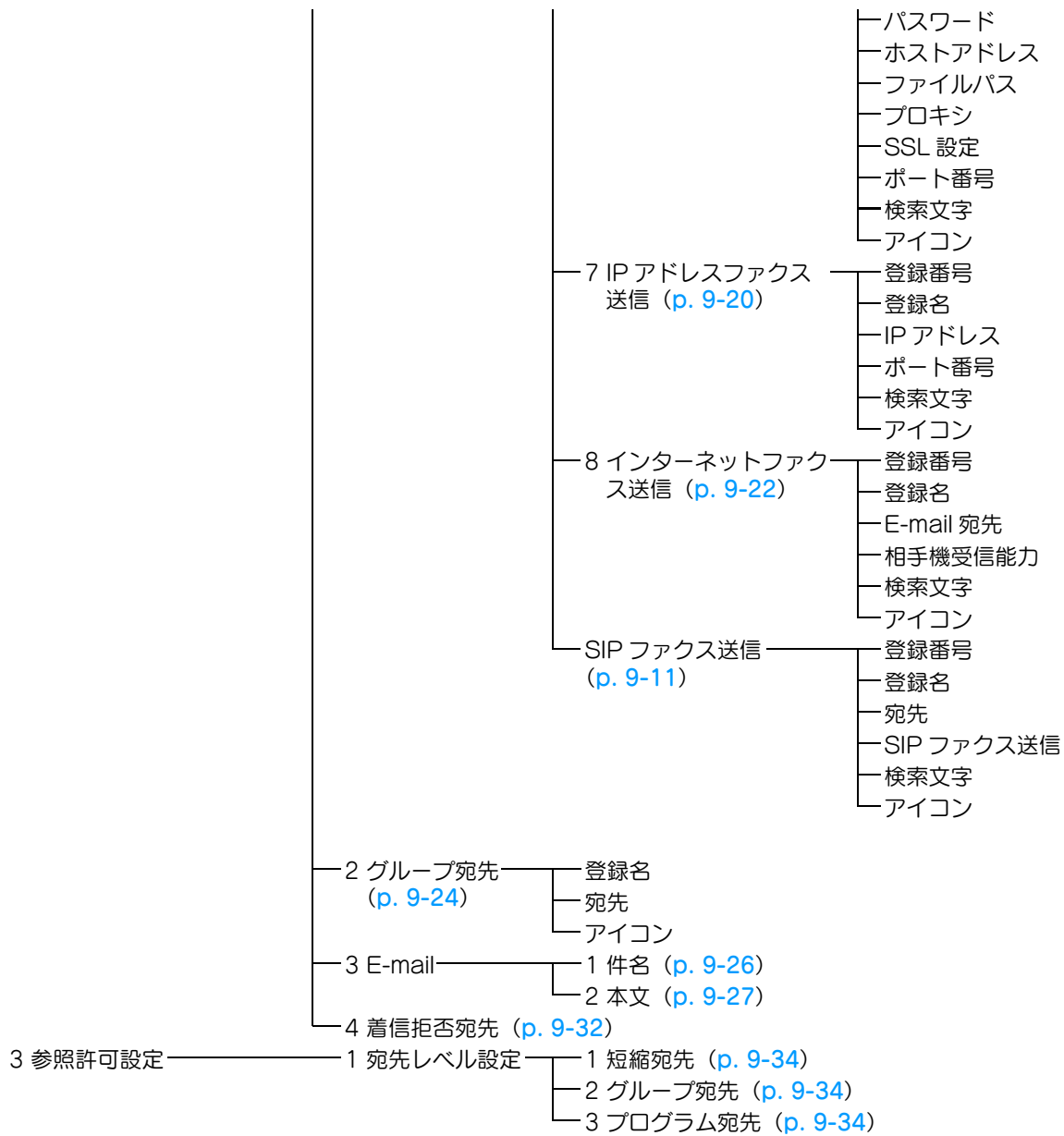
9.1	ユーザーモードのメニューツリー	9-2
9.2	宛先 / ボックス登録	9-5
9.3	ユーザー設定	9-35

9.1 ユーザーモードのメニューツリー

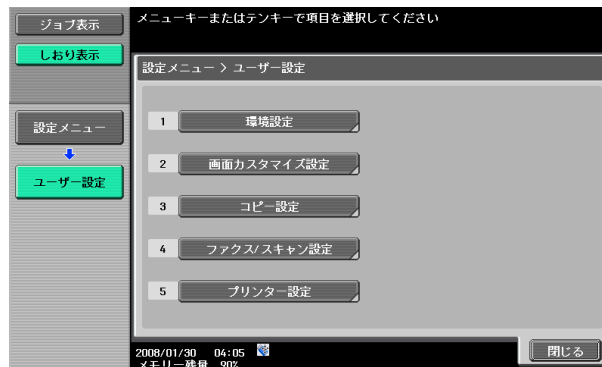
設定メニュー（ユーザーモード）で設定できる項目は以下のようになっています。このメニューツリーではネットワークスキャン、G3 ファクス、ネットワークファクスに関連する項目を記載しています。

9.1.1 宛先 / ボックス登録





9.1.2 ユーザー設定



- 2 画面カスタマイズ設定
 - 2 ファクス / スキャン設定
 - 基本画面表示 (p. 9-35)
 - プログラム初期表示 (p. 9-35)
 - アドレス帳初期表示 (p. 9-36)
 - ショートカットキー 1 (p. 9-36)
 - ショートカットキー 2 (p. 9-36)
 - 「登録宛先から」初期表示 (p. 9-36)
 - 宛先種類初期表示 (p. 9-37)
 - 4 ファクス動作中画面
 - 送信中画面表示 (p. 9-37)
 - 受信中画面表示 (p. 9-37)
 - 7 検索オプション設定 (p. 9-38)
- 4 ファクス / スキャン設定
 - 白黒 2 値圧縮方法 (p. 9-38)
 - ファクス / スキャン初期設定 (p. 9-38)
 - 拡大表示初期設定 (p. 9-39)

9.1.3 プログラム呼び出し / 登録



- プログラム登録
 - 登録名 (p. 9-28)
 - 宛先 (p. 9-28)
 - URL 通知先 (p. 9-29)
- 設定内容
 - 宛先確認 (p. 9-29)
 - 読み込み設定内容 (p. 9-30)
 - 原稿設定内容 (p. 9-30)
 - 通信設定内容 (p. 9-30)
 - E-mail 設定内容 (p. 9-31)
 - URL 通知先設定内容 (p. 9-31)
 - 相手機受信能力 (p. 9-31)
 - (インターネットファクス宛先の場合に表示されます)

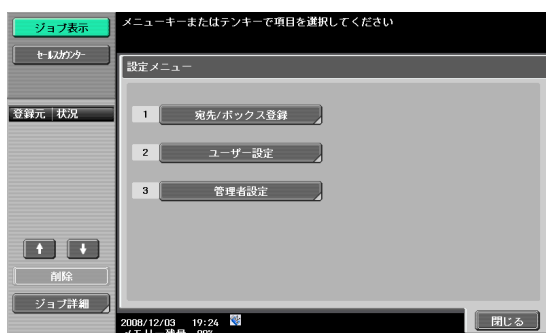
削除

9.2 宛先 / ボックス登録

短縮宛先では、オプションのハードディスク装着時は最大 2000 件、非装着時は最大 1000 件の宛先を登録できます。

9.2.1 宛先 / ボックス登録画面を表示させる

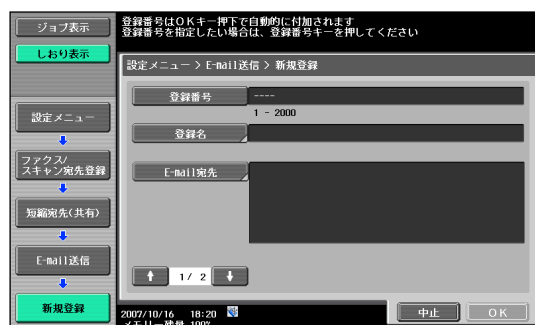
宛先 / ボックス登録画面を表示させるには、操作パネルの【設定メニュー / カウンター】を押し、表示された設定メニューから「宛先 / ボックス登録」を押します。



9.2.2 短縮宛先登録 - E-mail 送信

E-mail 宛先を登録できます。「新規登録」を押すと新しく宛先を登録できます。

1/2 画面



2/2 画面



ひとこと

管理者設定で「登録宛先変更」が禁止されている場合は、管理者設定の「宛先 / ボックス登録」で登録作業を行ってください。



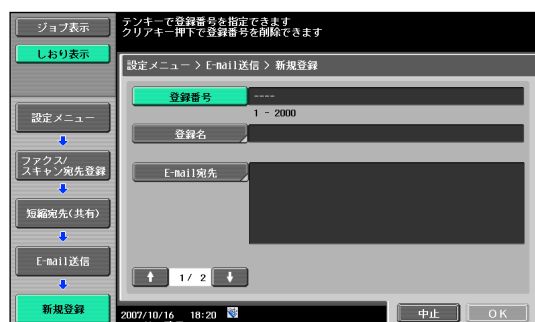
設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。[1 宛先 / ボックス登録] の場合はテンキーの【1】を押します。



- ・登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し「設定内容」を押します。
- ・登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し「編集」を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。
- ・登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し「削除」を押します。

■ 登録番号

〔登録番号〕を押し、短縮宛先の登録番号を入力します（ハードディスク装着時：1～2000、ハードディスク非装着時：1～1000）。入力せずに〔OK〕を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。



■ 登録名

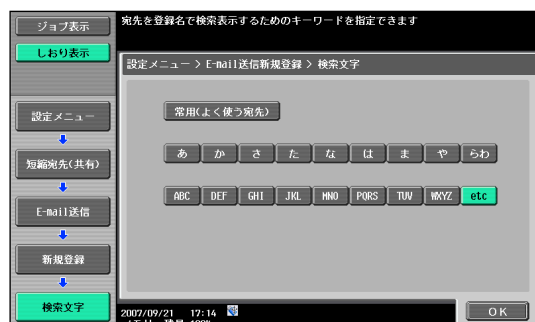
短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。

■ E-mail 宛先

パネルから送信先の E-mail アドレスを入力します。

■ 検索文字

検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は〔常用（よく使う宛先）〕を同時に指定すれば検索性がよくなります。



■ アイコン

アイコンを選択します。



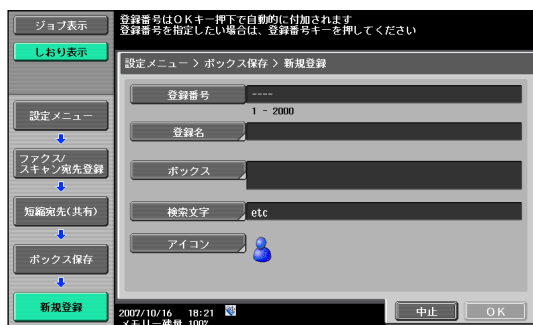
ひとこと

アイコンは、オプションの i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に操作できるイメージパネル機能で使えます。

9.2.3 短縮宛先登録－ボックス保存

ボックス保存の宛先を登録できます。[新規登録]を押すと新しく宛先を登録できます。

ボックス保存の宛先を登録するには、あらかじめボックス登録をしておく必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」を
ごらんください。



詳しく説明します

- ・登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し[設定内容]を押します。
- ・登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し[編集]を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。
- ・登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し[削除]を押します。

■ 登録番号

[登録番号]を押し、短縮宛先の登録番号を1～2000の範囲で入力します。入力せずに[OK]を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。



■ 登録名

短縮宛先の登録名をパネルから半角24文字（全角12文字）以内で入力します。

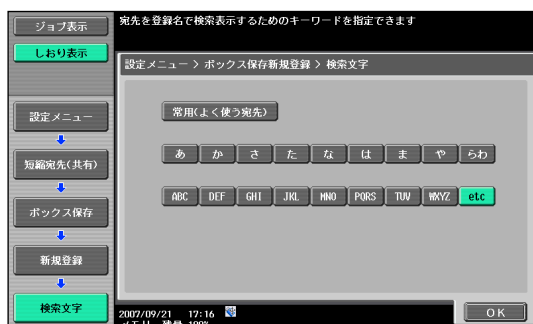
■ ボックス

保存先のボックスを1個選択します。



■ 検索文字

検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は「常用（よく使う宛先）」を同時に指定すれば検索性がよくなります。



■ アイコン

アイコンを選択します。



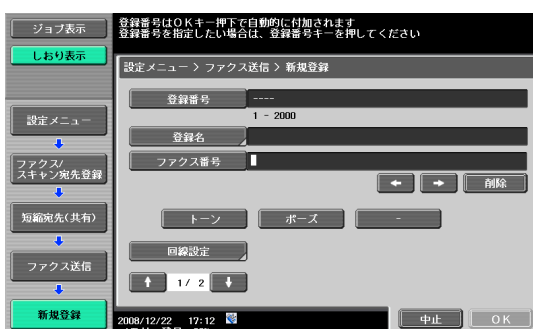
ひとこと

アイコンは、オプションの i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に操作できるイメージパネル機能で使用します。

9.2.4 短縮宛先登録ーファクス送信

ファクスの宛先を登録できます。「新規登録」を押すと新しく宛先を登録できます。

1/2 画面



詳しく説明します

- ・登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し「設定内容」を押します。
- ・登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し「編集」を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。
- ・登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し「削除」を押します。

2/2 画面



■ 登録番号

「登録番号」を押し、短縮宛先の登録番号を入力します（ハードディスク装着時：1 ～ 2000、ハードディスク非装着時：1 ～ 1000）。入力せずに「OK」を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。



■ 登録名

短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。

■ ファクス番号

相手先のファクス番号を 38 桁以内で入力します。ダイヤルはテンキーから入力します。



- PBX 接続設定が有効な場合、内線から外線に発信するときは、より確実にダイヤルするために、「0」などの外線番号のあとに「ポーズ」を押します。画面には「P」と表示されます。
- PBX 接続設定が有効な場合は、「外線」が表示されます。選択すると「E-」と表示されます。

「宛先 2 度入力機能（登録）」が設定されている場合は、[OK] を押したあとにもう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。ファクス番号を入力し、[OK] を押します。



■ 回線設定

送信時の回線について設定します。



項目	説明
海外通信モード	通信状態の悪いところへ通信する場合、確実に通信するために、情報を送る速さ（伝送速度）をゆっくりとしたスピードに設定して送信します。
ECM OFF	ECM モードを解除し、通信時間を短縮して送信します。ECM モードは、ITU-T（国際電気通信連合）で定められた誤り再送方式の通信です。ECM モードをもつファクス間の通信では、送信したデータに誤りがないことを確認しながら通信するため、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防止できます。
V34 OFF	V34 とは、スーパー G3 のファクス通信時に使われる通信方式です。相手機または本機が内線交換機経由で回線に接続されているなどの場合、回線の状況によってはスーパー G3 モードで通信できない場合があります。このような場合は V34 を OFF に設定して送信することをおすすめします。送信が完了すると本機は自動的に V34 モードに戻ります。
宛先確認送信	送信時に、指定したファクス番号と相手先のファクス番号情報（CSI）を比較して、一致した場合にだけ送信します。不一致の場合は通信エラーとなるため、誤送信を防止できます。
回線指定	回線拡張キットを装着している場合、[回線 1] または [回線 2] を指定して送信できます。送信する回線を指定してください。

ひとこと

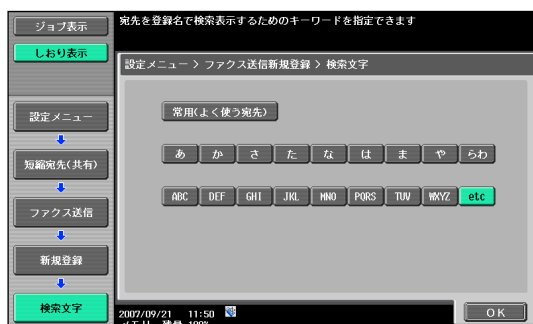
宛先 2 度入力機能については、「機能 ON/OFF 設定－宛先 2 度入力機能（登録）（G3/SIP）」（p. 10-27）をごらんください。

ひとこと

宛先確認送信は、相手先に自局のファクス番号の登録が必要です。

■ 検索文字

検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は「常用（よく使う宛先）」を同時に指定すれば検索性がよくなります。



■ アイコン

アイコンを選択します。



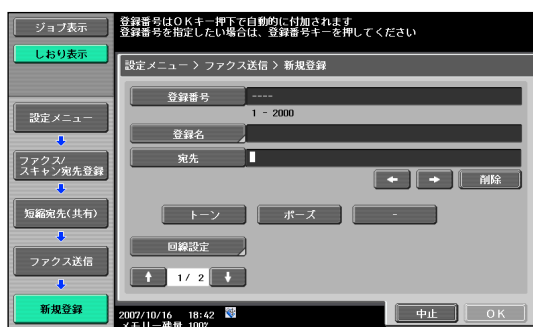
ひとこと

アイコンは、オプションの i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に操作できるイメージパネル機能で使用します。

9.2.5 短縮宛先登録－SIP ファクス送信

SIP ファクスの宛先を登録できます。「新規登録」を押すと新しく宛先を登録できます。

1/2 画面



詳しく説明します

- ・登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し「設定内容」を押します。
- ・登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し「編集」を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。
- ・登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し「削除」を押します。

2/2 画面



■ 登録番号

「登録番号」を押し、短縮宛先の登録番号を 1 ～ 2000 の範囲で入力します。入力せずに「OK」を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。



■ 登録名

短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。

■ 宛先

相手先の SIP ファクス番号を 38 桁以内で入力します。ダイヤルはテンキーから入力します。



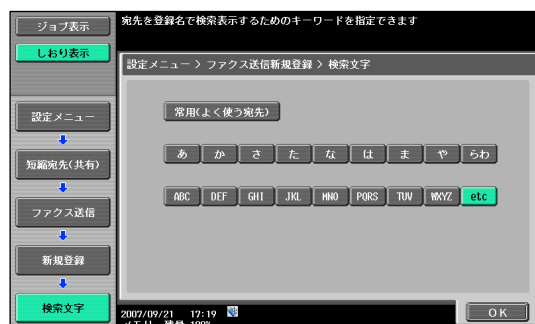
- SIP ファクス送信が「する」に設定されているときは、トーン、ポーズは使用できません。
- SIP ファクスの電話番号と、通常のファクスの電話番号は異なります。お間違えのないよう入力してください。

■ SIP ファクス送信

SIP ファクス送信をするときは「する」を選択します。

■ 検索文字

検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は「常用（よく使う宛先）」を同時に指定すれば検索性がよくなります。



■ アイコン

アイコンを選択します。



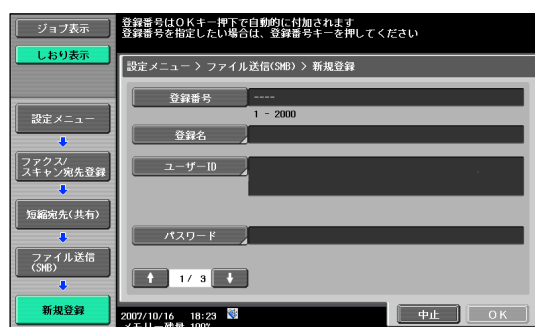
ひとこと

アイコンは、オプションの i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に操作できるイメージパネル機能で使用します。

9.2.6 短縮宛先登録－ファイル送信（SMB）

ファイル送信（SMB）の宛先を登録できます。「新規登録」を押すと新しく宛先を登録できます。

1/3 画面



詳しく説明します

- ・登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し「設定内容」を押します。
- ・登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し「編集」を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。
- ・登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し「削除」を押します。

2/3 画面

3/3 画面

■ 登録番号

「登録番号」を押し、短縮宛先の登録番号を入力します（ハードディスク装着時：1 ～ 2000、ハードディスク非装着時：1 ～ 1000）。入力せずに「OK」を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。

■ 登録名

短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。

■ ユーザー ID

送信先のコンピューターにログインするユーザー ID をパネルから半角 127 文字以内で入力します。

■ パスワード

送信先のコンピューターにログインするパスワードをパネルから半角 127 文字以内で入力します。

■ ホストアドレス

送信先のコンピューターのホストアドレスをホスト名 / IPv4 アドレス / IPv6 アドレスのいずれかの方式で入力します。

ホスト名の場合は半角 255 文字以内で入力します。



■ ファイルパス

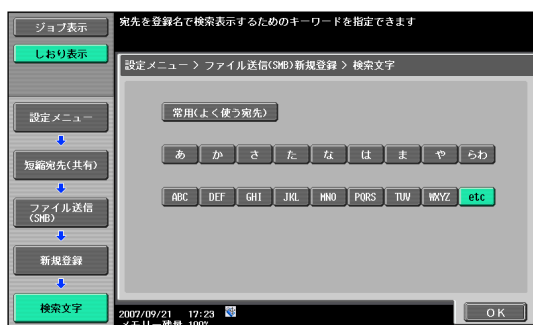
保存先のファイルパスをパネルから半角 85 文字（全角 42 文字）以内で入力します。

■ 参照

接続先のコンピューターのフォルダー構成を確認できます。送信先のフォルダーを直接確認することもできます。

■ 検索文字

検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は「常用（よく使う宛先）」を同時に指定すれば検索性がよくなります。



■ アイコン

アイコンを選択します。



- ・ホスト名を入力してから IP アドレス入力に切り替えると、ホスト名はクリアされます。
- ・IP アドレスを入力してから「ホスト名入力」を押すと、入力した IP アドレスはクリアされます。
- ・ホスト名、ファイルパスは大文字で入力します。
- ・IPv6 アドレスを使用して SMB 送信を行う場合は、ダイレクトホスティングを「使用する」に設定します。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



本機が所属しているネットワーク（サブネット）上に、以下の数を超えるワークグループおよびコンピューターが存在する場合、正しく参照できない可能性があります。

- ・ワークグループ：128
- ・コンピューター：128

また、IPv6 環境では参照できません。

ひとこと

アイコンは、オプションの i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に操作できるイメージパネル機能で使えます。

9.2.7 短縮宛先登録－ファイル送信（FTP）

ファイル送信（FTP）の宛先を登録できます。[新規登録] を押すと新しく宛先を登録できます。

1/3 画面

2/3 画面

3/3 画面

■ 登録番号

[登録番号] を押し、短縮宛先の登録番号を入力します（ハードディスク装着時：1 ～ 2000、ハードディスク非装着時：1 ～ 1000）。入力せずに [OK] を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。

詳しく説明します

- ・登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し [設定内容] を押します。
- ・登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し [編集] を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。
- ・登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し [削除] を押します。

■ 登録名

短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。

■ ホストアドレス

送信先のサーバーのホストアドレスをホスト名 /IPv4 アドレス /IPv6 アドレスのいずれかの方式で入力します。

ホスト名の場合は半角 63 文字以内で入力します。



詳しく説明します

- ・ホスト名を入力してから IP アドレス入力に切り替えると、ホスト名はクリアされます。
- ・IP アドレスを入力してから「ホスト名入力」を押すと、入力した IP アドレスは保持され、文字入力画面に表示されます。
- ・ホスト名入力を行うときは、事前に DNS 設定が正しく行われているか確認してください。詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をご覧ください。

■ ファイルパス

保存先のファイルパスをパネルから 96 文字以内で入力します。

■ ユーザー ID

送信先のコンピューターにログインするユーザー ID をパネルから半角 47 文字以内で入力します。

■ パスワード

送信先のコンピューターにログインするパスワードをパネルから半角 31 文字以内で入力します。

■ anonymous

ホスト名へのログイン時にユーザー ID を設定しないときは「ON」を押します。

■ PASV

PASV モードの ON/OFF を選択します。

■ プロキシ

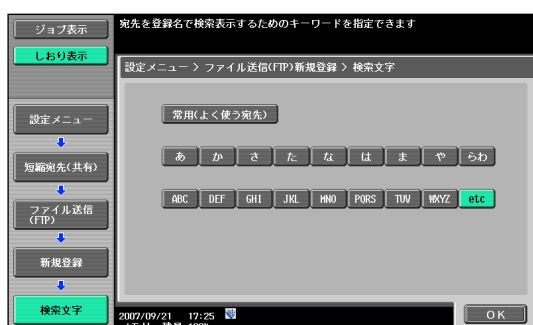
プロキシサーバー使用の ON/OFF を選択します。

■ ポート番号

ポート番号を入力します（入力範囲：1 ～ 65535）。

■ 検索文字

検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は「常用（よく使う宛先）」を同時に指定すれば検索性がよくなります。



■ アイコン

アイコンを選択します。



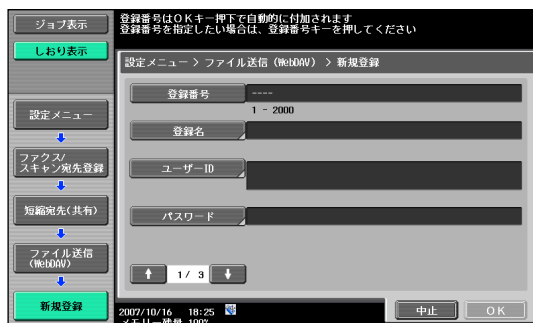
ひとこと

アイコンは、オプションのi-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に操作できるイメージパネル機能で使えます。

9.2.8 短縮宛先登録－ファイル送信 (WebDAV)

ファイル送信 (WebDAV) の宛先を登録できます。[新規登録] を押すと新しく宛先を登録できます。

1/3 画面



2/3 画面



3/3 画面

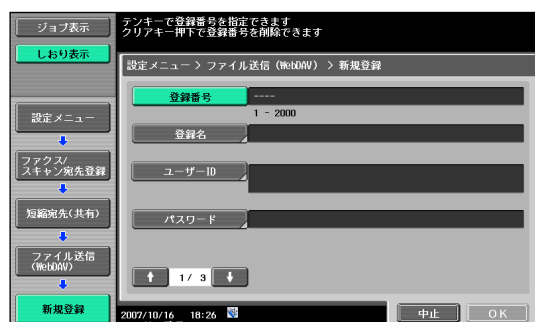


詳しく説明します

- ・登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し [設定内容] を押します。
- ・登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し [編集] を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。
- ・登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し [削除] を押します。

■ 登録番号

〔登録番号〕を押し、短縮宛先の登録番号を入力します（ハードディスク装着時：1～2000、ハードディスク非装着時：1～1000）。入力せずに〔OK〕を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。



■ 登録名

短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。

■ ユーザー ID

送信先のコンピューターにログインするユーザー ID をパネルから半角 21 文字（全角 10 文字）以内で入力します。

■ パスワード

送信先のコンピューターにログインするパスワードをパネルから半角 63 文字以内で入力します。

■ ホストアドレス

送信先のサーバーのホストアドレスをホスト名 /IPv4 アドレス /IPv6 アドレスのいずれかの方式で入力します。

ホスト名の場合は半角 255 文字以内で入力します。



詳しく説明します

- ・ホスト名を入力してから IP アドレス入力に切り替えると、ホスト名はクリアされます。
- ・IP アドレスを入力してから〔ホスト名入力〕を押すと、入力した IP アドレスは保持され、文字入力画面に表示されます。
- ・ホスト名入力を行うときは、事前に DNS 設定が正しく行われているか確認してください。詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

■ ファイルパス

保存先のファイルパスをパネルから 96 文字以内で入力します。

■ プロキシ

プロキシサーバー使用の ON/OFF を選択します。

■ SSL 設定

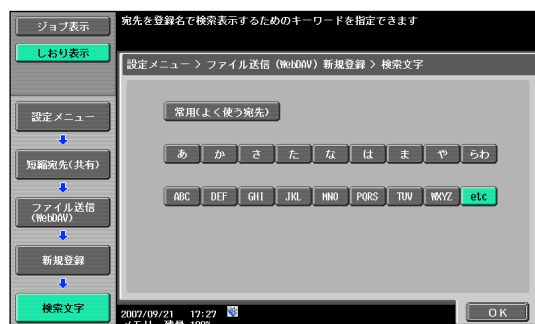
SSL 使用の ON/OFF を選択します。

■ ポート番号

ポート番号を入力します（入力範囲：1～65535）。

■ 検索文字

検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は「常用（よく使う宛先）」を同時に指定すれば検索性がよくなります。



■ アイコン

アイコンを選択します。



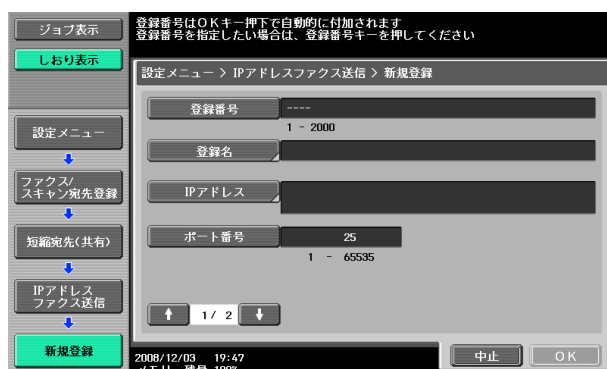
ひとこと

アイコンは、オプションの i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に操作できるイメージパネル機能で使用します。

9.2.9 短縮宛先登録－IP アドレスファクス送信

IP アドレスファクスの宛先を登録できます。「新規登録」を押すと新しく宛先を登録できます。

1/2 画面



詳しく説明します

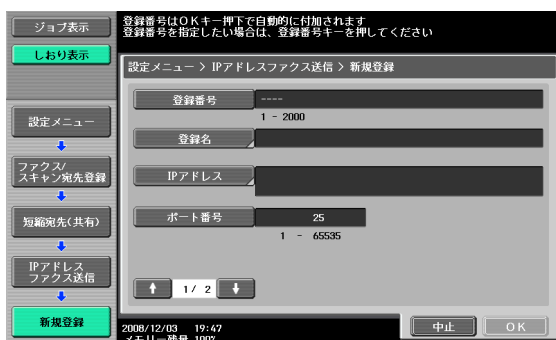
- ・登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し「設定内容」を押します。
- ・登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し「編集」を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。
- ・登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し「削除」を押します。

2/2 画面



■ 登録番号

「登録番号」を押し、短縮宛先の登録番号を 1 ～ 2000 の範囲で入力します。入力せずに「OK」を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。



■ 登録名

短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。

■ IP アドレス

送信先の機器のホストアドレスをホスト名 /IPv4 アドレス /IPv6 アドレスのいずれかの方式で入力します。

ホスト名の場合は半角 63 文字以内で入力します。



■ ポート番号

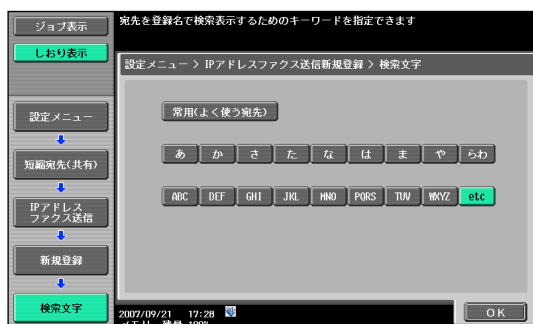
ポート番号を入力します（入力範囲：1 ～ 65535）。

詳しく説明します

- ・ホスト名を入力してから IP アドレス入力に切り替えると、ホスト名はクリアされます。
- ・IP アドレスを入力してから「ホスト名入力」を押すと、入力した IP アドレスは保持され、文字入力画面に表示されます。
- ・ホスト名入力を行うときは、事前に DNS 設定が正しく行われているか確認してください。詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

■ 検索文字

検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は「常用（よく使う宛先）」を同時に指定すれば検索性がよくなります。



■ アイコン

アイコンを選択します。



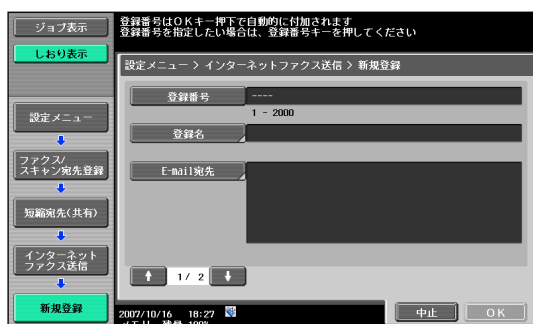
ひとこと

アイコンは、オプションの i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に操作できるイメージパネル機能で使用します。

9.2.10 短縮宛先登録—インターネットファクス送信

インターネットファクス宛先を登録できます。「新規登録」を押すと新しく宛先を登録できます。

1/2 画面



詳しく説明します

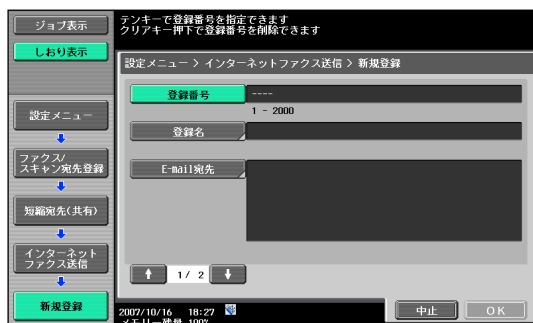
- ・登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し「設定内容」を押します。
- ・登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し「編集」を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。
- ・登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し「削除」を押します。

2/2 画面



■ 登録番号

「登録番号」を押し、短縮宛先の登録番号を 1 ～ 2000 の範囲で入力します。入力せずに「OK」を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。



■ 登録名

短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。

■ E-mail 宛先

パネルから送信先の E-mail アドレスを入力します。

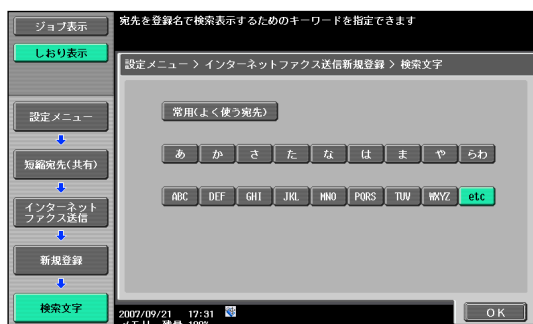
■ 相手機受信能力



圧縮形式、用紙サイズ、解像度について相手機が受信可能な項目を選択します。

■ 検索文字

検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は「常用（よく使う宛先）」を同時に指定すれば検索性がよくなります。



■ アイコン

アイコンを選択します。



ひとこと

アイコンは、オプションの i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に操作できるイメージパネル機能で使用します。

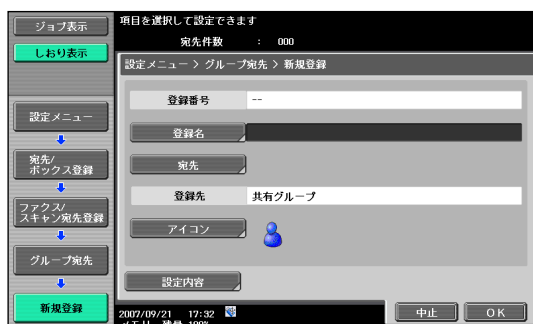
9.2.11 グループ宛先登録

複数の短縮宛先をグループ化して、グループ宛先に登録することができます。

グループ宛先は、ファクス / スキャン機能で 100 グループ (00 ~ 99) まで登録できます。

ひとつのグループ宛先には短縮宛先を 500 か所まで登録できます。

「新規登録」を押すとグループ宛先を登録できます。



■ 登録名

短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。

■ 宛先

宛先の種類を選択し、その中からグループに登録する宛先を選択します。



■ アイコン

アイコンを選択します。

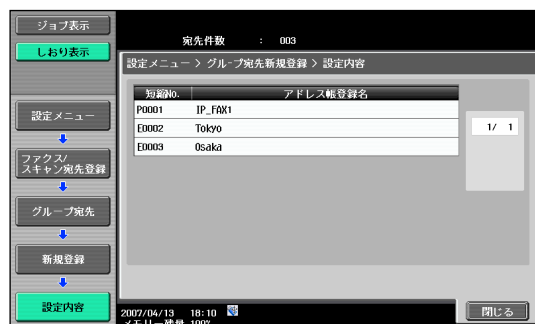


ひとこと

アイコンは、オプションの i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に操作できるイメージパネル機能で使用します。

■ 設定内容

グループに登録した短縮宛先の一覧を確認できます。



9.2.12 E-mail ー 件名 (E-mail/I-FAX)

E-mail 送信およびインターネットファックスの件名 (Subject) を 10 個まで登録できます。送信時に登録した内容から選択できます。[新規登録] を押すと新しく件名を登録できます。



詳しく説明します

- ・登録した件名を確認するときは、件名を選択し [設定内容] を押します。
- ・登録した件名の設定内容を変更するときは、件名を選択し [編集] を押します。
- ・登録した件名を削除するときは、件名を選択し [削除] を押します。
- ・初期値に設定したい件名は、件名を選択して [初期値設定] を押します。

■ 件名

件名を半角 64 文字 (全角 32 文字) 以内で入力します。



9.2.13 E-mail – 本文 (E-mail/I-FAX)

E-mail 送信およびインターネットファックスの本文 (Subject) を 10 個まで登録できます。送信時に登録した内容から選択できます。[新規登録] を押すと新しく本文を登録できます。



■ 本文

件名を半角 256 文字 (全角 128 文字) 以内で入力します。



ひとこと

- ・登録した本文を確認するときは、本文を選択し [設定内容] を押します。
- ・登録した本文の設定内容を変更するときは、本文を選択し [編集] を押します。
- ・登録した本文を削除するときは、本文を選択し [削除] を押します。
- ・初期値に設定したい本文は、本文を選択して [初期値設定] を押します。

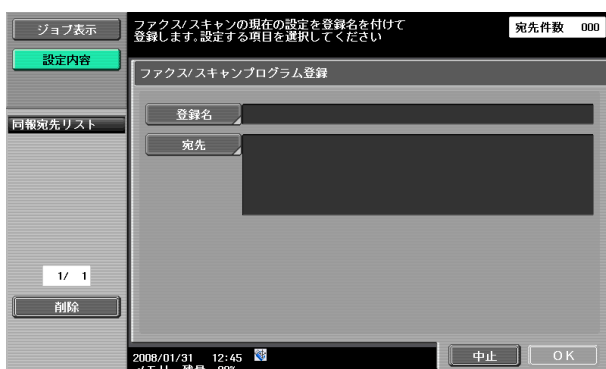
9.2.14 ファクス / スキャンプログラム

頻繁に送信する宛先と読み設定、原稿設定、通信設定を組み合わせるプログラム宛先に登録できます。プログラム宛先にこれらを登録しておくと、プログラムキーを押すだけで、登録されている宛先と読み設定、原稿設定、通信設定の機能呼び出して使うことができます。

プログラム宛先は、ファクス / スキャン機能で 400 個まで登録できます。(オプションのハードディスクを装着していない場合は、200 個まで登録できます。)

■ プログラム登録

- 1 操作パネルの【ファクス / スキャン】を押してからプログラム登録したい読み設定、原稿設定、通信設定を行います。
- 2 【プログラム】を押します。
- 3 登録されていないキーを選択して【プログラム登録】を押します。
プログラム登録画面が表示されます。



■ プログラム登録－登録名

プログラムの登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。

■ プログラム登録－宛先

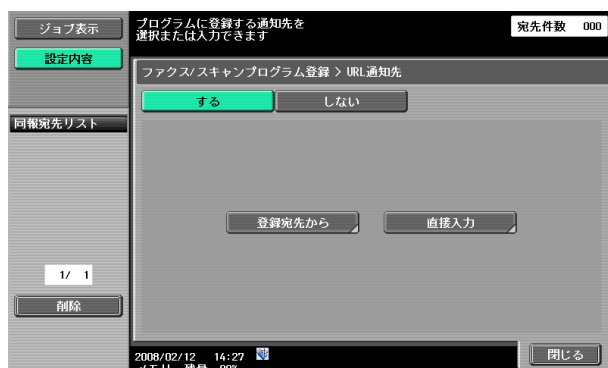
宛先を 1 か所選択できます。登録宛先または直接入力で宛先を選択してください。



プログラムが 400 件登録されている場合は、不要なプログラムを削除してから登録してください。

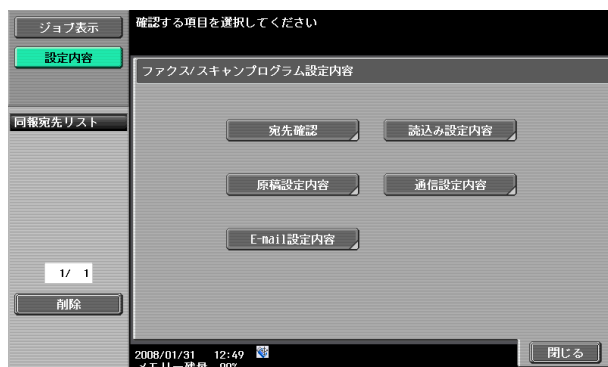
■ プログラム登録－URL 通知先

ファイル送信（FTP）、ファイル送信（SMB）、ファイル送信（WebDAV）、ボックス保存時のジョブの終了を E-mail で通知する場合に設定できます。登録宛先または直接入力で宛先を選択してください。



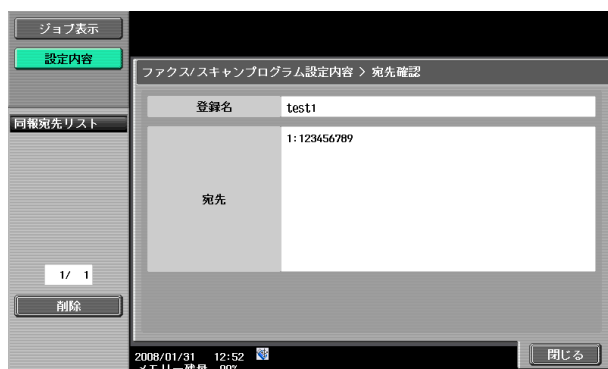
■ 設定内容

すでに登録したプログラムの内容を確認するときに押します。確認したら「閉じる」を押します。



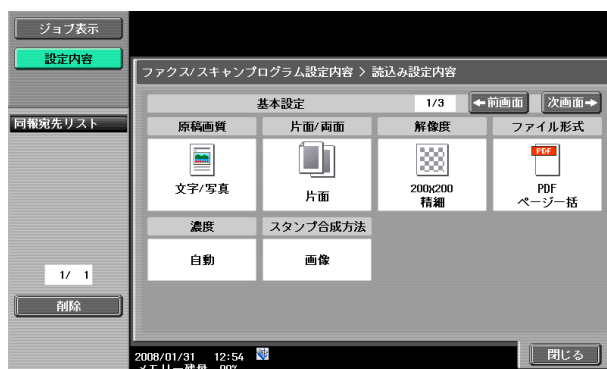
■ 設定内容－宛先確認

設定されている宛先を確認できます。



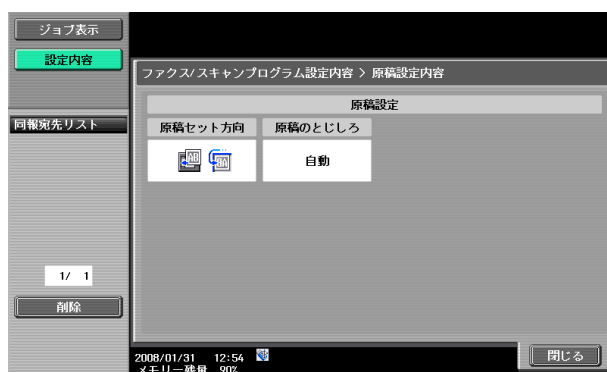
■ 設定内容－読み込み設定内容

設定されている読み込み設定内容を確認できます。



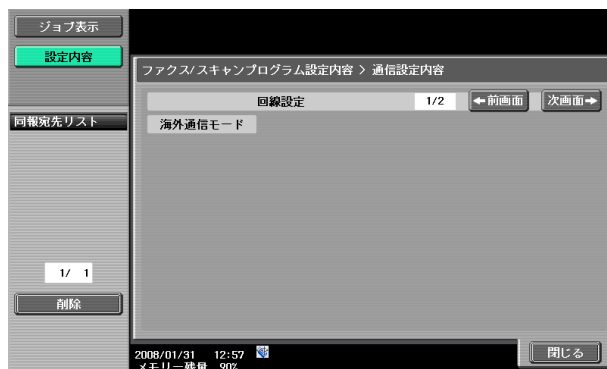
■ 設定内容－原稿設定内容

設定されている原稿設定内容を確認できます。



■ 設定内容－通信設定内容

設定されている通信設定内容を確認できます。



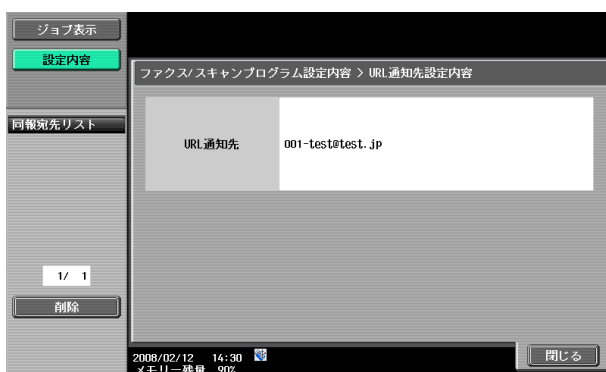
■ 設定内容－E-mail 設定内容

設定されている E-mail 設定内容を確認できます。



■ 設定内容－URL 通知先設定内容

設定されている URL 通知先設定内容を確認できます。



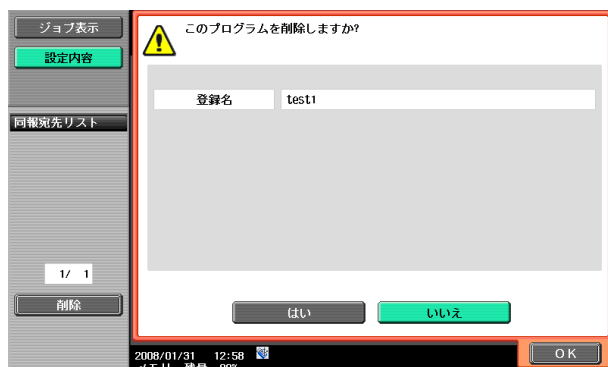
■ 設定内容－相手機受信能力

インターネットファクス宛先の場合は、設定されている相手機受信能力を確認できます。



■ 削除

すでに登録したプログラムを削除するときに押します。削除するときは[はい]を選択し、[OK]を押します。



9.2.15 着信拒否宛先登録 (G3)

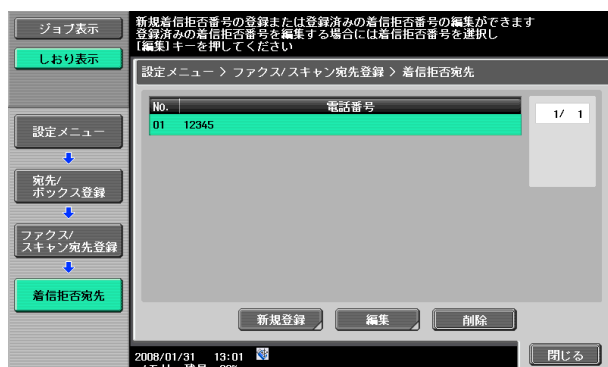
着信拒否したい相手先の番号をあらかじめ登録しておき、迷惑ファクスを受信しないように設定できます。

登録されている電話番号と着信電話番号が一致した場合は受信しません。NTT とナンバーディスプレイ機能の契約が必要になります。契約完了後に機能を設定してください。

詳しく説明します

着信拒否宛先を登録するには、設定メニューの[ナンバーディスプレイ機能]を[ON]に設定しておく必要があります。[ナンバーディスプレイ機能]については、「[機能 ON/OFF 設定 - ナンバーディスプレイ機能](#)」(p. 10-26)をごらんください。

[新規登録]を押すと着信拒否宛先を登録できます。



詳しく説明します

- 登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し[編集]を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し[削除]を押します。

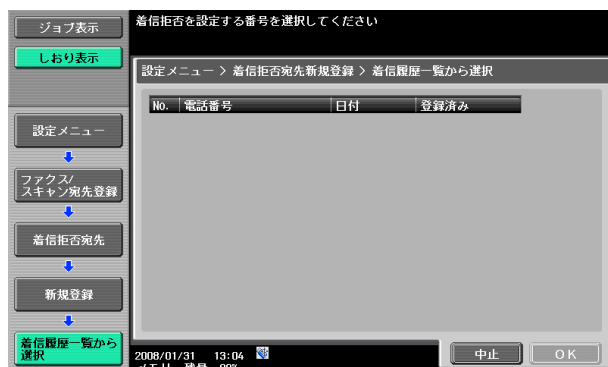
■ 電話番号

着信拒否したい電話番号を 38 桁以内で入力します。



■ 着信履歴一覧から選択

過去の着信履歴から選択する場合に押します。履歴から登録したい番号を選択し、[OK] を押します。



9.2.16 ボックス登録－親展ボックス（G3）

親展送信のためのボックスは、共有 / 個人ボックス登録時に親展送信の設定を行います。

詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

9.2.17 ボックス登録－掲示板ボックス（G3）

掲示板ボックス登録については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

9.2.18 ボックス登録－中継ボックス（G3）

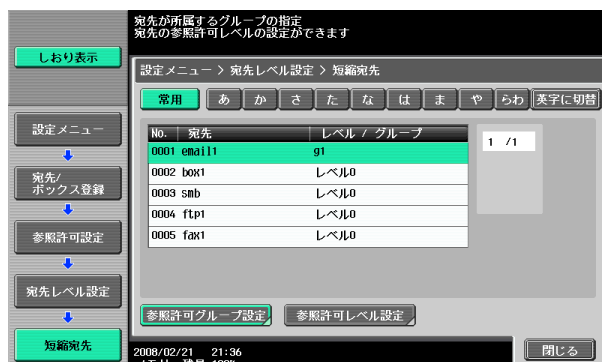
中継ボックス登録については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

9.2.19 参照許可設定－宛先レベル設定

短縮宛先の参照許可レベルを設定します。設定を行うレベルのユーザーとしてログインし、宛先のレベルを変更します。

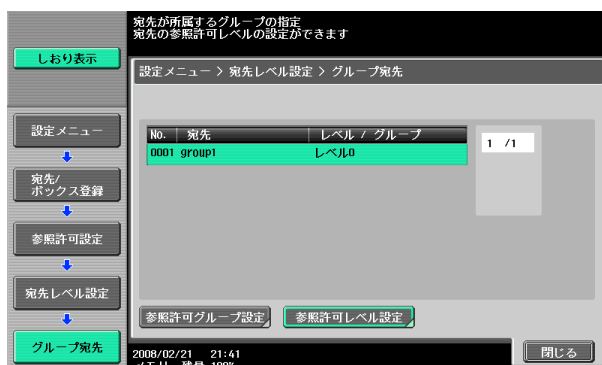
■ 短縮宛先

レベルを変更する宛先を選択し、「参照許可グループ設定」または「参照許可レベル設定」を押し、設定を行います。



■ グループ宛先

レベルを変更する宛先を選択し、「参照許可グループ設定」または「参照許可レベル設定」を押し、設定を行います。



■ プログラム宛先

レベルを変更する宛先を選択し、「参照許可グループ設定」または「参照許可レベル設定」を押し、設定を行います。



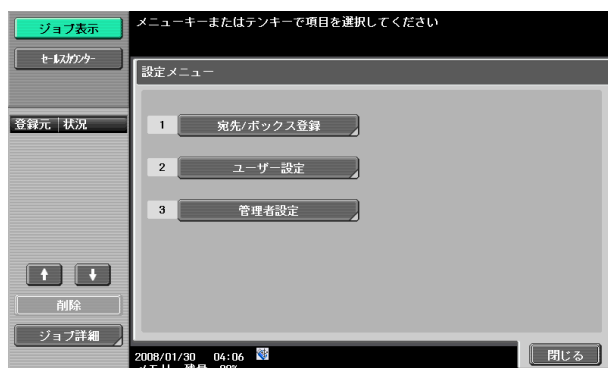
詳しく説明します

- ・登録された宛先レベルは「0」になっています。
- ・ログインしたユーザーレベルよりも高いレベルやグループを設定することはできません。
- ・宛先にグループを設定する場合は、あらかじめ管理者設定でグループの登録が必要です。参照許可グループについて詳しくは、「ユーザーズガイドコピー機能編」をごらんください。

9.3 ユーザー設定

9.3.1 ユーザー設定画面を表示させる

ユーザー画面を表示させるには、操作パネルの【設定メニュー / カウンター】を押し、表示された設定メニューから【ユーザー設定】を押します。



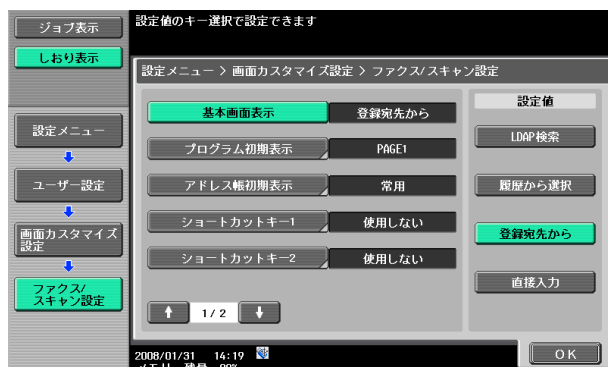
設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。[2 ユーザー設定] の場合はテンキーの【2】を押します。

9.3.2 画面カスタマイズ設定－ファクス / スキャン設定

ファクス / スキャン画面のカスタマイズを行います。

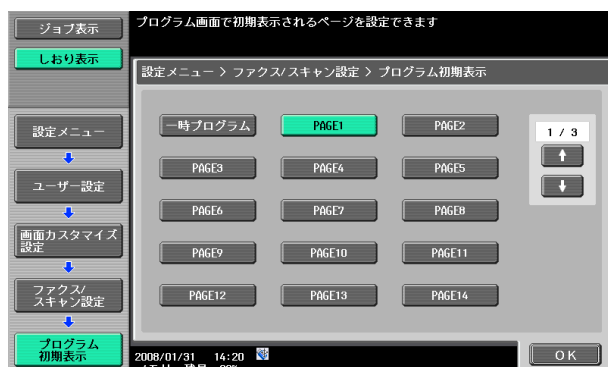
■ 基本画面表示

ファクス / スキャン画面の初期表示を設定します（初期値：登録宛先から）。



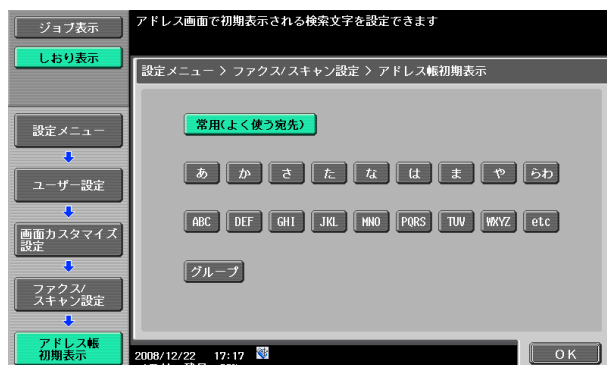
■ プログラム初期表示

ファクス / スキャンプログラム画面の初期表示を設定します（初期値：PAGE1）。



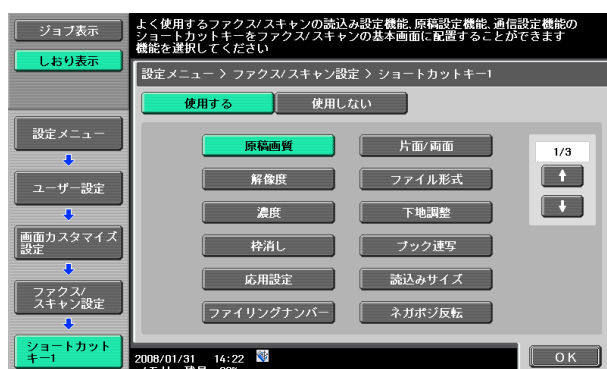
■ アドレス帳初期表示

「登録宛先から」に表示する検索文字の種類を選択します（初期値：常用）。



■ ショートカットキー 1/ ショートカットキー 2

画面の下のファクス / スキャンの読み込み設定、原稿設定、通信設定の各種機能へのショートカットキーを2個まで登録できます。

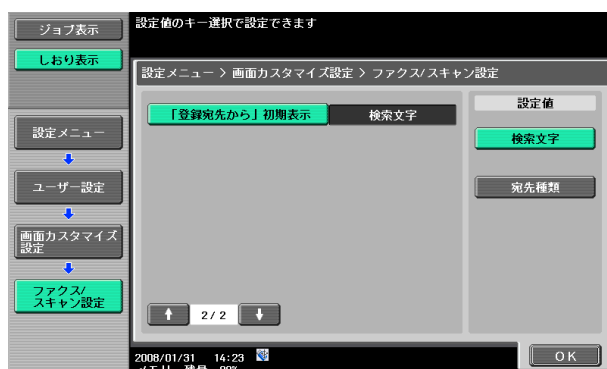


詳しく説明します

ショートカットキーを消去するときは「使用しない」を押します。

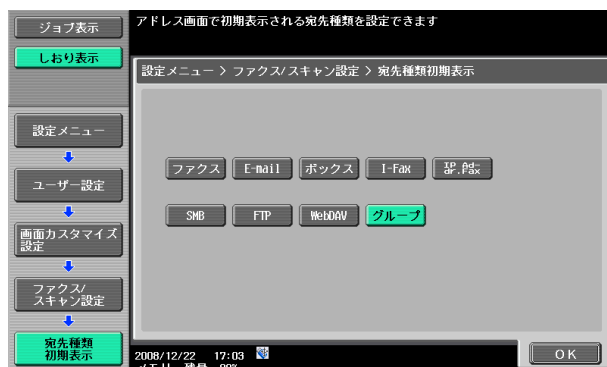
■ 「登録宛先から」初期表示

登録宛先の表示方法を検索文字 / 宛先種類から選択します。



■ 宛先種類初期表示

「登録宛先から」初期表示で「宛先種類」を選んだ場合に、「登録宛先から」で初期表示される宛先種類を選択します。

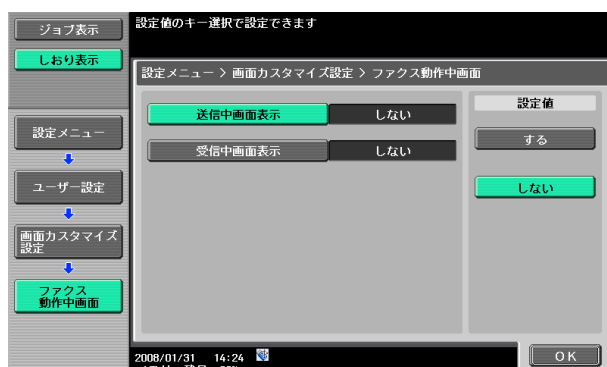


9.3.3 画面カスタマイズ設定－ファクス動作中画面 (G3/IP/SIP/I-FAX)

ファクス動作中画面のカスタマイズを行います。

■ 送信中画面表示

送信中のメッセージを表示する / しないを設定します（初期値：しない）。



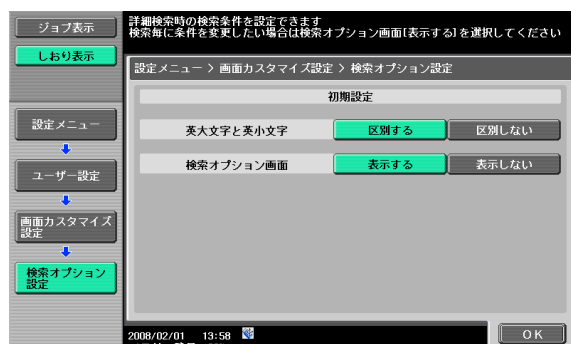
■ 受信中画面表示

受信中のメッセージを表示する / しないを設定します（初期値：しない）。



9.3.4 画面カスタマイズ設定－検索オプション設定 (E-mail/Box/SMB/FTP/WebDAV/G3/IP/SIP/I-FAX)

登録宛先の詳細検索を行うとき、検索オプション画面の表示内容を設定します。



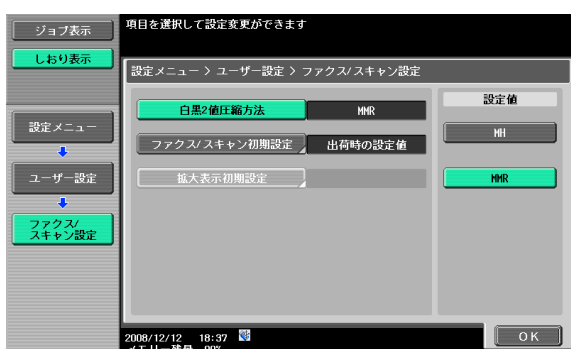
項目	説明
英大文字と英小文字	英大文字と小文字を検索時に区別する / 区別しないを選択します。
検索オプション画面	詳細検索時に検索オプション画面を表示する / 表示しないを選択します。「表示する」を選択すると、検索オプション画面が表示されます。

9.3.5 ファクス / スキャン設定

■ 白黒 2 値圧縮方法

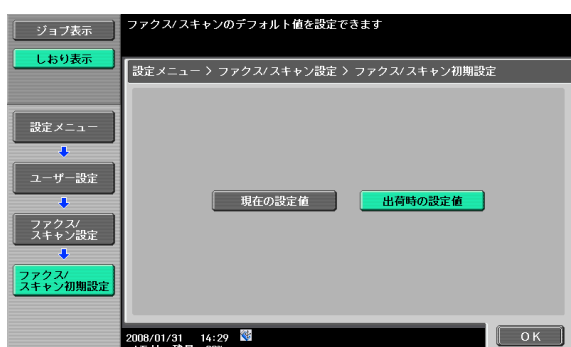
画像を白黒 2 値で送信するときの符号化方式の能力を設定します。

- MH：データサイズが大きくなります。
- MMR（初期値）：データサイズが小さくなります。



■ ファクス / スキャン初期設定

ファクス / スキャン画面の初期設定値（【リセット】を押したときの設定値）を設定します。

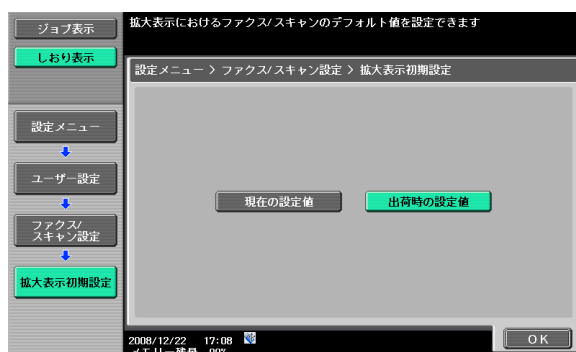


ひとこと

保存したデータをコンピューターで開くとき、アプリケーションによっては MMR 圧縮のデータを開けないことがあります。

■ 拡大表示初期設定

ファクス / スキャンの拡大表示画面の初期設定値（【リセット】を押したときの設定値）を設定します。





第 10 章

管理者モード設定

管理者モードでファクス / スキャン関連の設定を行います。

10.1	はじめに設定してください	10-2
10.2	管理者モードのメニューツリー	10-4
10.3	管理者設定 (E-mail/Box/SMB/FTP/WebDAV)	10-7
10.4	管理者設定 (G3)	10-11
10.5	管理者設定 (IP/SIP/I-FAX)	10-41

10.1 はじめに設定してください

10.1.1 E-mail

E-mail 送信やインターネットファクスを使用するときは、以下の項目をはじめに設定してください。ここでは基本的な項目を紹介していますが、詳しくは「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」もあわせてご覧ください。

- 管理者 E-mail アドレス
- TCP/IP 設定
- E-mail 送信 (SMTP)



詳しくは「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

10.1.2 ボックス

ボックス保存を行うときは、以下の項目をはじめに設定してください。ボックスへの保存方法は、「ユーザズガイド ボックス機能編」をごらんください。

- ボックス登録

設定手順は、「ユーザズガイド ボックス機能編」をごらんください。

10.1.3 SMB 送信

ファイル送信 (SMB) を行うときは、以下の項目をはじめに設定してください。ここでは基本的な項目を紹介していますが、詳しくは「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」もあわせてご覧ください。

- TCP/IP 設定
- SMB クライアント設定



詳しくは「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

10.1.4 FTP 送信

ファイル送信 (FTP) を行うときは、以下の項目をはじめに設定してください。ここでは基本的な項目を紹介していますが、詳しくは「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」もあわせてご覧ください。

- TCP/IP 設定
- FTP 設定



詳しくは「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

10.1.5 G3 ファクス

G3 ファクスを使用するときは、以下の項目をはじめに設定してください。

- 発信元 / ファクス ID 登録

「[ファクス設定-発信元 / ファクス ID 登録](#)」(p. 10-14) をごらんください。

- 回線パラメーター設定

「[ファクス設定-回線パラメーター設定](#)」(p. 10-17) をごらんください。

10.1.6 インターネットファクス

インターネットファクスを使用するときは、以下の項目をはじめに設定してください。

■ ネットワークファクス機能設定

■ 発信元 / ファクス ID 登録

「[ファクス設定-発信元 / ファクス ID 登録](#)」(p. 10-14) をごらんください。

■ 本体 E-mail アドレス

設定手順は、「[ユーザーズガイド コピー機能編](#)」をごらんください。

■ 本体登録

設定手順は、「[ユーザーズガイド コピー機能編](#)」をごらんください。

■ TCP/IP 設定

■ E-mail 設定



詳しくは「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をごらんください。

10.1.7 IP アドレスファクス

IP アドレスファクスを使用するときは、以下の項目をはじめに設定してください。

■ ネットワークファクス機能設定

■ 発信元 / ファクス ID 登録

「[ファクス設定-発信元 / ファクス ID 登録](#)」(p. 10-14) をごらんください。

■ TCP/IP 設定

■ SMTP 送受信設定



詳しくは「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をごらんください。

10.1.8 SIP ファクス

SIP ファクスを使用するときは、以下の項目をはじめに設定してください。

■ ネットワークファクス機能設定

■ 発信元 / ファクス ID 登録

「[ファクス設定-発信元 / ファクス ID 登録](#)」(p. 10-14) をごらんください。

■ 管理者 E-mail アドレス

■ TCP/IP 設定

■ SMTP 送受信設定

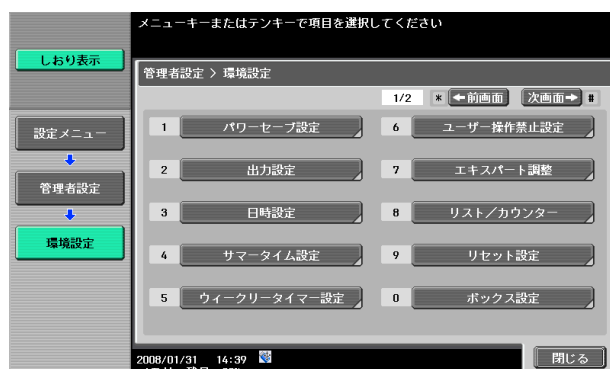


詳しくは「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をごらんください。

10.2 管理者モードのメニューツリー

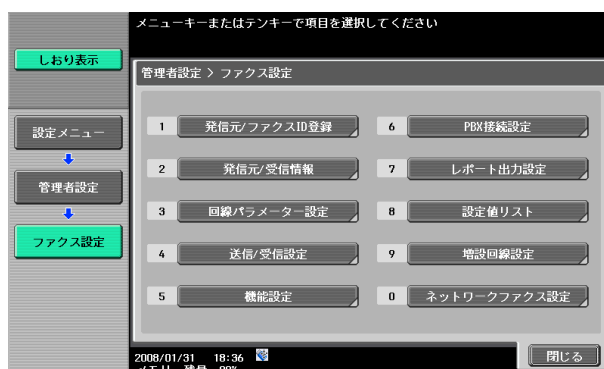
管理者設定で操作できる設定項目は以下のとおりです。このメニューツリーではネットワークスキャン、G3ファクス、ネットワークファクスに関連する項目を記載しています。

10.2.1 環境設定



- 1 パワーセーブ設定 ——— パワーセーブ移行 (p. 10-11)
- 2 出力設定 ——— 2 排紙トレイ設定 (p. 10-12)
 - 3 ジョブ毎の仕分け設定 (p. 10-11)
- 6 ユーザー操作禁止設定 ——— 3 変更禁止設定 ——— 登録宛先変更 (p. 10-7)
 - From アドレス変更 (p. 10-7)
 - 4 操作禁止設定 ——— 複数宛先禁止 (p. 10-8)
- 9 リセット設定 ——— 3 モードリセット ——— 次ジョブ ——— 送信後設定解除 (p. 10-8)
- 2 スタンプ設定 ——— 1 ヘッダー / フッター設定 (p. 10-8)
 - 2 ファクス送信設定 (p. 10-12)
- 5 ジョブ飛越し動作設定 ——— ファクス (p. 10-13)

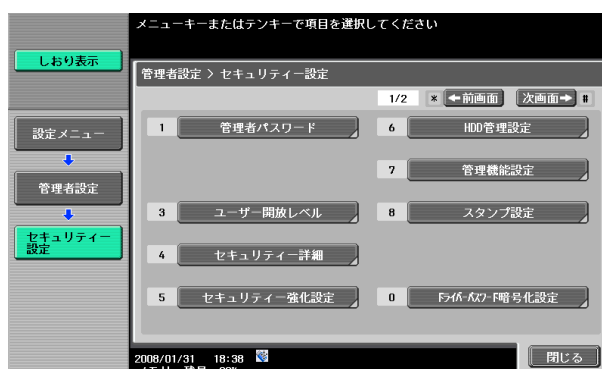
10.2.3 ファクス設定



- 1 発信元 / ファクス ID 登録
 - 発信元 (p. 10-14)
 - ファクス ID (p. 10-14)
- 2 発信元 / 受信情報
 - 発信元情報 (p. 10-15)
 - 相手先印字 (p. 10-16)
 - 受信情報 (p. 10-17)
- 3 回線パラメーター 設定
 - ダイヤル方式 (p. 10-17)
 - 受信方式 (p. 10-17)
 - 着信回数設定 (p. 10-18)
 - オートリダイヤル回数 (p. 10-18)
 - オートリダイヤル間隔 (p. 10-18)
 - TEL/FAX 自動切換え (p. 10-19)
 - 外部 TEL 呼出しモニター音 (p. 10-19)
 - 外部 TEL 呼出時間 (p. 10-20)
 - 留守番電話接続設定 (p. 10-20)
 - 回線モニター音 (p. 10-20)
 - 回線モニター音レベル (p. 10-21)
- 4 送信 / 受信設定
 - 受信原稿両面印刷 (p. 10-21)
 - インチ系用紙優先選択 (p. 10-21)
 - 記録用紙優先選択 (p. 10-22)
 - 記録用紙サイズ (p. 10-22)
 - ボックス番号エラー動作 (p. 10-22)
 - 着信拒否時の動作 (p. 10-23)
 - 給紙トレイ固定 (p. 10-23)
 - 縮小率 (p. 10-23)
 - ページ分割記録 (p. 10-24)
 - ボーリング送信後文書 (p. 10-24)
 - 受信印刷部数 (p. 10-24)
- 5 機能設定
 - 1 機能 ON/OFF 設定
 - F コード送信機能 (p. 10-25)
 - 中継受信機能 (p. 10-25)
 - 中継印刷 (p. 10-25)
 - 宛先確認表示機能 (p. 10-26)
 - ナンバーディスプレイ機能 (p. 10-26)
 - 宛先 2 度入力機能 (送信) (p. 10-26)
 - 宛先 2 度入力機能 (登録) (p. 10-27)
 - 2 ダイヤルイン設定 (p. 10-27)
 - 3 強制メモリー受信設定 (p. 10-27)
 - 4 閉域受信設定 (p. 10-28)
 - 5 転送ファクス設定 (p. 10-28)
 - 6 リモート受信設定 (p. 10-29)
 - 7 再送信設定 (p. 10-29)
 - 8 PC-FAX 受信設定 (p. 10-30)

- 9 TSI 受信振分け設定 (p. 10-30)
 - 該当ボックスなし設定
 - 受信後印刷
 - TSI 受信振分け先登録 (p. 10-31)
- 6 PBX 接続設定 (p. 10-31)
- 7 レポート出力設定
 - 通信管理レポート (p. 10-32)
 - 送信結果レポート (p. 10-32)
 - 順次通信結果レポート (p. 10-32)
 - 予約レポート (p. 10-33)
 - 親展受信レポート (p. 10-33)
 - 掲示板送信結果レポート (p. 10-33)
 - 中継結果レポート (p. 10-34)
 - 中継依頼受付レポート (p. 10-34)
 - PC-FAX 送信エラーレポート (p. 10-34)
 - 同報結果レポート出力 (p. 10-35)
 - 送信結果レポート画面 (p. 10-35)
 - ネットワークファクス受信エラーレポート (p. 10-42)
 - MDN メッセージ (p. 10-43)
 - DSN メッセージ (p. 10-43)
 - 正常受信メール本文印刷 (p. 10-43)
- 8 設定値リスト (p. 10-35)
- 9 増設回線設定
 - 1 回線パラメーター設定
 - ダイヤル方式 (p. 10-36)
 - 着信回数設定 (p. 10-36)
 - 回線モニター音 (p. 10-37)
 - 回線モニター音レベル (p. 10-37)
 - 2 機能設定
 - PC-FAX 送信設定 (p. 10-37)
 - ナンバーディスプレイ機能 (p. 10-38)
 - ネームディスプレイ機能
 - 着信中の発信者情報表示
 - 3 複数回線使用設定 (p. 10-38)
 - 4 ファクス ID (p. 10-38)
- 0 ネットワークファクス設定
 - 1 白黒 2 値圧縮方法 (p. 10-44)
 - 2 SIP アダプター接続確認 (p. 10-44)
 - 3 インターネットファクス自機受信能力 (p. 10-45)
 - 4 インターネットファクス拡張設定 (p. 10-45)

10.2.4 セキュリティー設定



- 4 セキュリティー詳細
 - 手動宛先入力 (p. 10-10)
 - FAX 送信禁止 (p. 10-39)
 - 個人情報非表示 (p. 10-39)
 - 通信履歴表示 (p. 10-39)
- 8 スタンプ設定
 - 1 スタンプ付加設定
 - 印字 (p. 10-40)
 - 送信 (p. 10-40)

10.3 管理者設定 (E-mail/Box/SMB/FTP/WebDAV)

E-mail 送信、ボックス保存、ファイル送信 (SMB)、ファイル送信 (FTP)、ファイル送信 (WebDAV) で行う管理者設定について説明します。

10.3.1 管理者設定画面を表示させる

管理者設定画面を表示させるには、操作パネルの【設定メニュー / カウンター】を押し、表示された設定メニューから【管理者設定】を押します。続けて管理者設定パスワードを入力し、[OK] を押します。



詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。[1 宛先 / ボックス登録] の場合はテンキーの【1】を押します。

10.3.2 環境設定－ユーザー操作禁止設定

ユーザーモードで操作を禁止する項目を設定します。

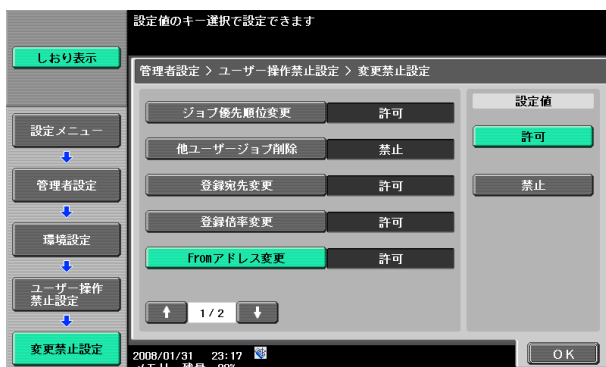
■ 変更禁止設定－登録宛先変更

宛先の登録や変更操作の許可 / 禁止を設定します。



■ 変更禁止設定－From アドレス変更 (E-mail)

From アドレスの変更操作の許可 / 禁止を設定します。



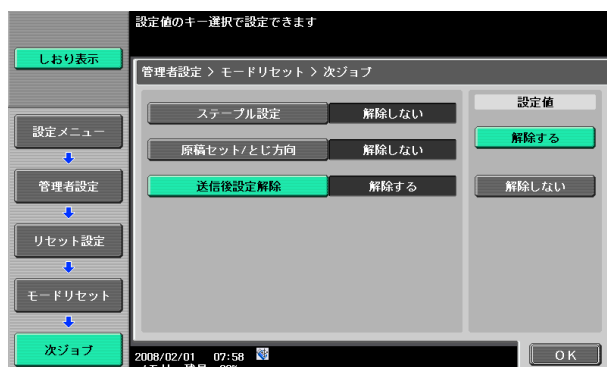
■ 操作禁止設定－複数宛先禁止

複数宛先の指定禁止をする / しないを設定します。



10.3.3 環境設定－リセット設定－モードリセット－次ジョブ－送信後設定解除

送信時に設定していた読み込み設定などの内容を、送信後に解除するかどうかを設定します。



10.3.4 環境設定－スタンプ設定－ヘッダー / フッター設定

すべてのページに挿入するヘッダー / フッターの設定を行います。ここで設定したヘッダー / フッターはファクス / スキャン、および印刷に使用できます。

ヘッダー / フッター設定画面で「登録」を押すと登録画面が表示され、新しいヘッダー / フッターを登録できます。

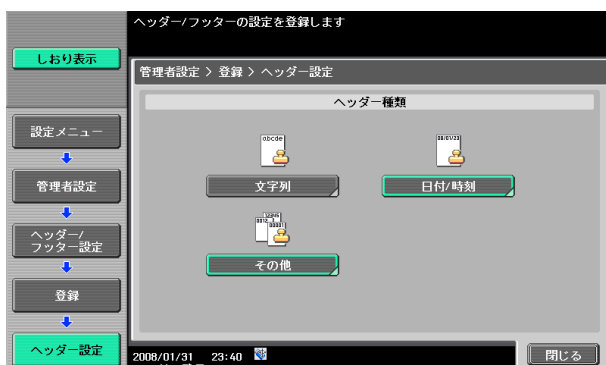


■ 登録名

ヘッダー / フッターの登録名称をパネルから半角 16 文字（全角 8 文字）以内で設定します。

■ ヘッダー設定、フッター設定

ヘッダー / フッターの印刷を行うかどうかを設定します。[印刷する]を押すと、文字列、日付 / 時刻、その他（部数管理番号、ジョブ番号、シリアル番号）の設定ができます。

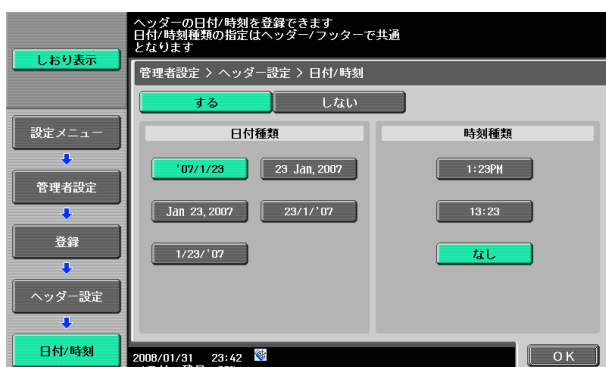


■ ヘッダー設定、フッター設定－文字列

パネルからヘッダー / フッターの文字列を設定します。

■ ヘッダー設定、フッター設定－日付 / 時刻

ヘッダー / フッターの日付 / 時刻の内容を設定します。



■ ヘッダー設定、フッター設定－その他

ヘッダー / フッターの部数管理番号、ジョブ番号、シリアル番号の内容を設定します。



■ 印字ページ

印字するページを全ページ / 先頭ページのみから選択します。

ひとこと

シリアル番号は本機につけられているシリアル番号を指しています。設定についてはサービス実施店にお問い合わせください。

■ 文字サイズ

印字する文字サイズを 6pt/8pt/10pt/12pt/14pt/18pt から選択します。



■ 印字位置指定

印字する位置を選択します。

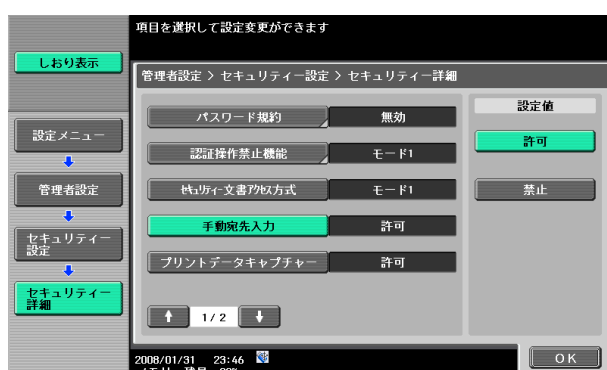
ヘッダーは左上 / 中央上 / 右上、フッターは左下 / 中央下 / 右下から選択します。



10.3.5 セキュリティ設定－セキュリティ詳細

■ 手動宛先入力

手動入力の許可 / 禁止を設定します。「禁止」を選択すると、直接入力タブが表示されなくなり、宛先を直接入力できなくなります。



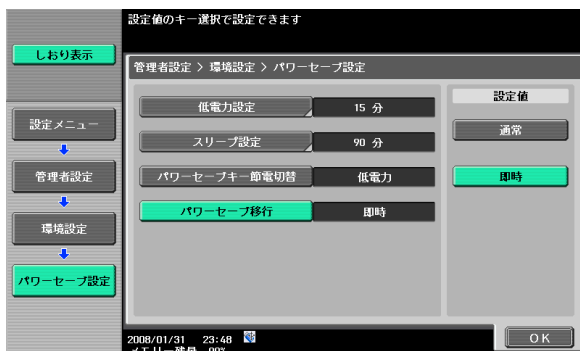
10.4 管理者設定 (G3)

G3 ファクス送信で行う管理者設定について説明します。ここで説明されている内容はネットワークファクスも共通です。

10.4.1 環境設定－パワーセーブ設定－パワーセーブ移行

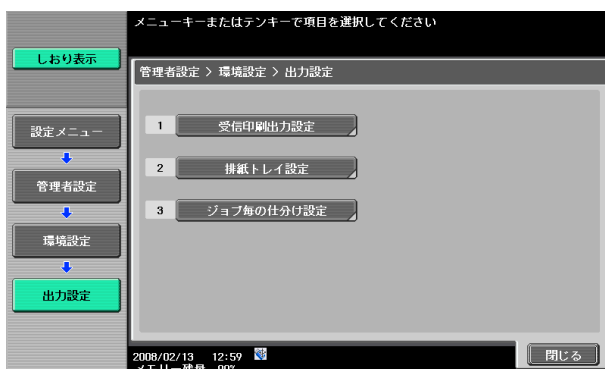
パワーセーブ状態への移行条件を設定します。

- 通常：パワーセーブ中に受信した場合、プリント完了後一定時間後にパワーセーブ状態に移行します。
- 即時（初期値）：パワーセーブ中に受信した場合、プリント完了後すぐにパワーセーブ状態に移行します。



10.4.2 環境設定－出力設定

出力設定でプリント時に関する項目を設定します。



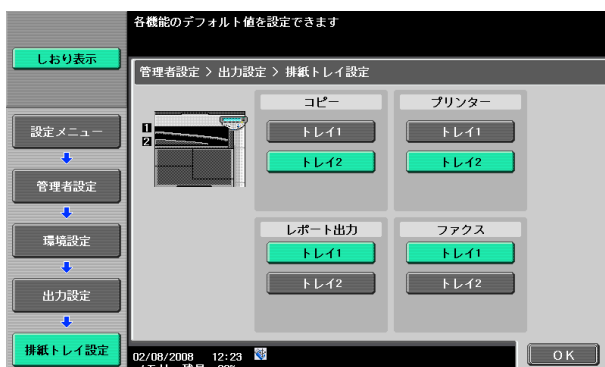
■ ジョブ毎の仕分け設定

ジョブ毎に排紙の仕分けをする / しないを設定します。



■ 排紙トレイ設定

各種プリント機能に応じて、排紙先トレイを設定します。



10.4.3 環境設定－ユーザー操作禁止設定

■ 変更禁止設定－登録宛先変更

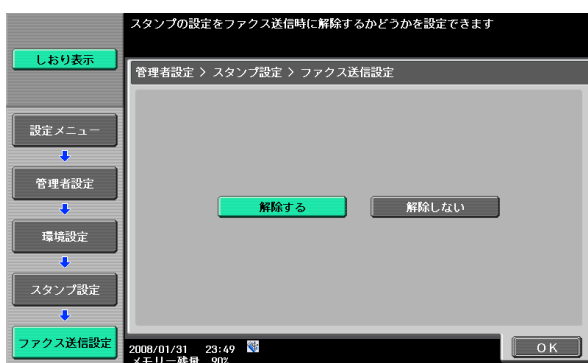
設定手順は、「[変更禁止設定－登録宛先変更](#)」(p. 10-7) をご覧ください。

■ 操作禁止設定－複数宛先禁止

設定手順は、「[操作禁止設定－複数宛先禁止](#)」(p. 10-8) をご覧ください。

10.4.4 環境設定－スタンプ設定－ファクス送信設定

読み込み時に設定したスタンプの設定をファクス送信時に解除するかどうかを設定します。



ひとこと

「解除する」を選択した場合は、ファクス送信原稿は、スタンプ設定が適用されずに送信されます。「解除しない」を選択した場合は、ファクス送信原稿にも、スタンプ設定が適用されて送信されます。

10.4.5 環境設定ーリセット設定ーモードリセットー次ジョブー送信後設定解除

設定手順は、「環境設定ーリセット設定ーモードリセットー次ジョブー送信後設定解除」(p. 10-8) をご覧ください。

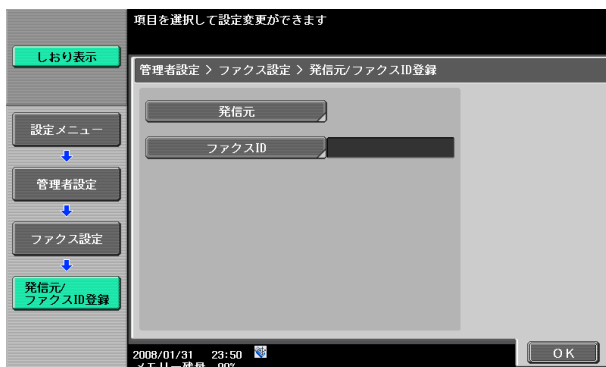
10.4.6 環境設定ージョブ飛越し動作設定ーファクス

受信文書を印刷する用紙がなくなったときや、排紙トレイの容量が最大積載量に達したときなどに、その受信ジョブの飛越しを許可するかどうかを設定します。



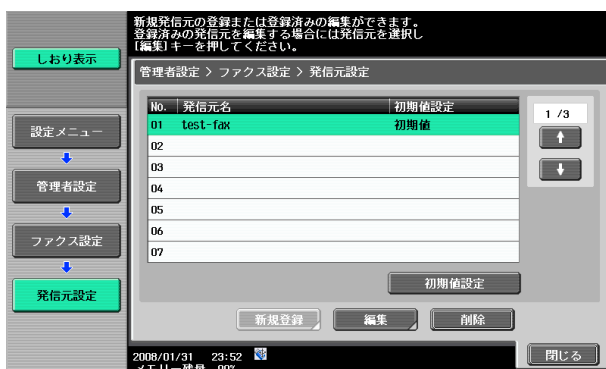
10.4.7 ファクス設定－発信元 / ファクス ID 登録

相手先の受信文書に記載される発信元およびファクス ID を登録します。



■ 発信元

相手先の受信文書に発信元情報として印字するための自局登録名称を複数登録することができます。半角 30 文字（全角 15 文字）以内で入力します。



■ ファクス ID

登録したファクス ID は相手先の受信文書に発信元情報として印字されます。テンキー、*、#、[+]、スペースを使用して 20 文字以内で入力します。



ひとこと

- ・新しく発信元を登録するときは、[新規登録] を押します。
- ・発信元の表示は 20 種類まで設定できます。
- ・登録した発信元の設定内容を変更するときは、発信元を選択し [編集] を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。
- ・登録した発信元を削除するときは、発信元を選択し [削除] を押します。
- ・初期値に設定したい発信元は、選択して [初期値設定] を押します。

ひとこと

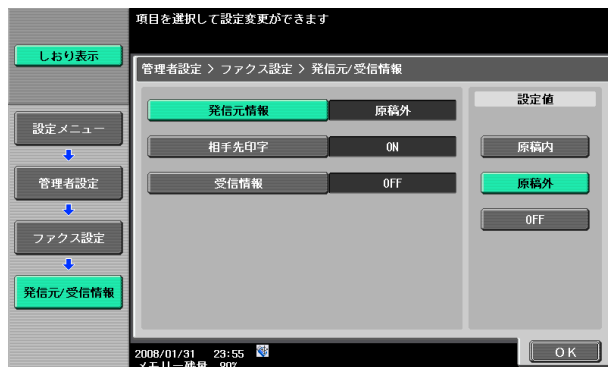
回線拡張キットを装着している場合は、それぞれの回線用にファクス ID を登録することができます。
[「ファクス ID」 \(p. 10-38\)](#) 参照

10.4.8 ファクス設定－発信元 / 受信情報

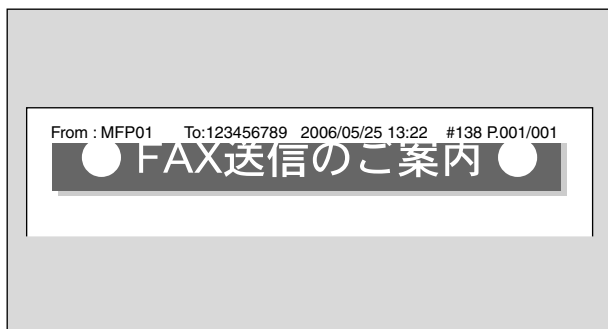
相手先の受信文書に印字される情報の位置を設定します。

■ 発信元情報

発信元情報を印字する位置を設定します。



- [原稿内]：画像の一部にかかるように発信元情報が付加されて送信されます。



- [原稿外]：画像の外側に発信元情報が付加されて送信されます。



- [OFF]：発信元情報が付加されません。



■ 相手先印字

発信元情報に相手先名称、または発信元ファクス ID のどちらを印字するかを設定します。



- [ON]：発信元情報に相手先名を付加して送信します。発信元ファクス ID は印字されません。



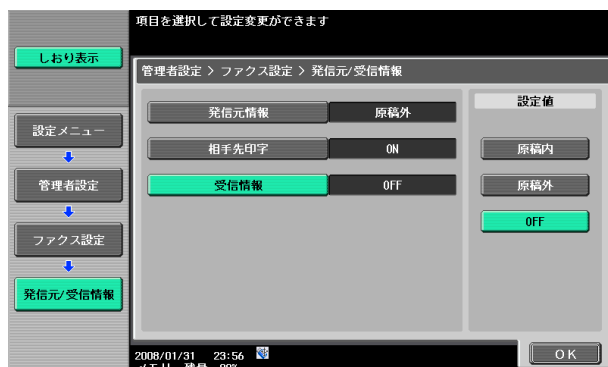
- [OFF]：発信元情報に相手先名を付加せず、発信元ファクス ID を印字します。



■ 受信情報

受信した時刻と受信番号を印字する位置を設定します。出力例は「[受信情報](#)」(p. 5-14) をご覧ください。

- [原稿内]：画像の一部にかかるように受信情報が印刷されます。
- [原稿外]：画像の外側に受信情報が印刷されます。
- [OFF]：受信情報は印刷されません。



10.4.9 ファクス設定—回線パラメーター設定

発信や着信に関する項目を設定します。

■ ダイヤル方式

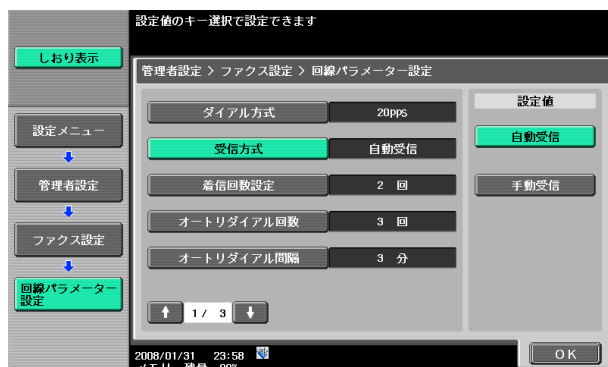
ダイヤル方式を PB/10pps/20pps から設定します。



■ 受信方式

受信方式を設定します。

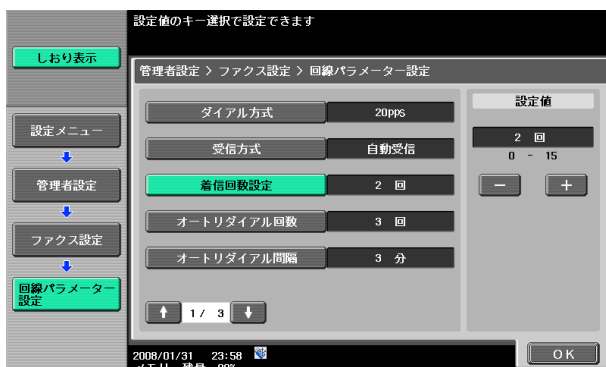
- [自動受信]：自動で受信します。
- [手動受信]：外部電話機を接続している場合など、電話がかかる機会が多い場合やリモート受信機能を使う場合に設定します。



- ・自動受信については、「[自動受信 \(ファクス専用\)](#)」(p. 5-2) をご覧ください。
- ・手動受信については、「[手動受信 \(電話専用\)](#)」(p. 5-4) をご覧ください。

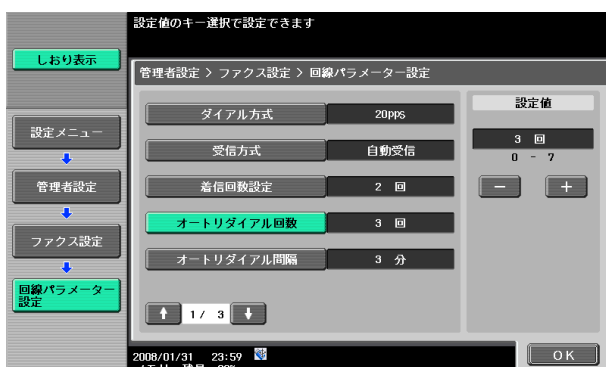
■ 着信回数設定

着信するまでの呼出し信号の回数を 0 ～ 15 回の範囲で設定します（初期値：2 回）。



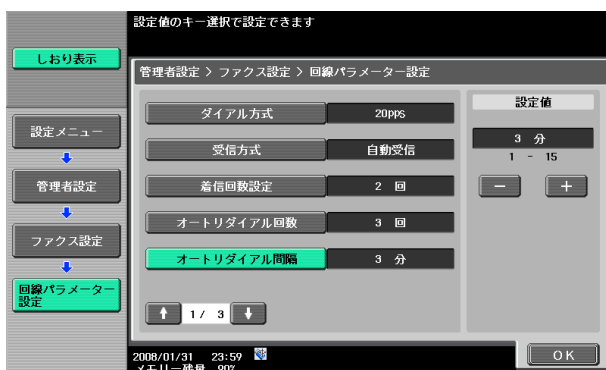
■ オートリダイヤル回数

相手が話し中などで応答できない場合にリダイヤルする回数を 0 ～ 7 回の範囲で設定します（初期値：3 回）。



■ オートリダイヤル間隔

リダイヤルの間隔を 1 ～ 15 分の範囲で設定します（初期値：3 分）。



■ TEL/FAX 自動切換え

外部電話機を接続している場合、電話とファクスの自動切り替えを行うかどうかを設定します。

- [ON]：ファクスを優先して使う場合に設定します。着信すると、相手が電話かファクスかを自動的に検知します。ファクスの場合は受信を開始し、電話の場合は接続している外部電話のベルが鳴ります。
- [OFF]：自動切換えを行いません。



TEL/FAX 自動切換えについては、「自動受信 (TEL/FAX 自動切換え)」(p. 5-3) をご覧ください。

■ 外部 TEL 呼出しモニター音

TEL/FAX 自動切換えを ON に設定しているときに表示されます。

- [ON]：相手が電話の場合に本機のスピーカーから疑似呼出し音が聞こえます。
- [OFF]：疑似呼出し音は聞こえません。



■ 外部 TEL 呼出時間

外部電話機を接続している場合、着信してから音声メッセージ 1 が流れたあとに外部電話機を呼出す時間を設定します。この時間を過ぎても受話器がとられない場合は、音声メッセージ 2 が流れ、自動的にファクスを受信します。

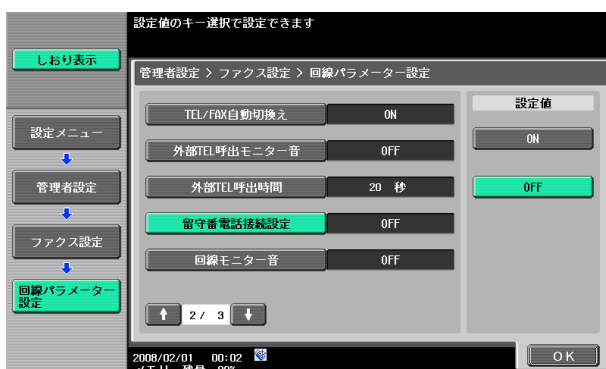
相手が電話機の場合、外部電話機を呼出す時間の長さを〔↑前候補〕〔↓次候補〕を押して設定します。



■ 留守番電話接続設定

外部電話機の留守番電話機能を設定する場合、ON に設定します。

- [ON]：留守番電話機が先に応答し、相手先がファクスの場合は自動的にファクス受信に切換わります。
- [OFF]：留守番電話機は応答しません。



■ 回線モニター音

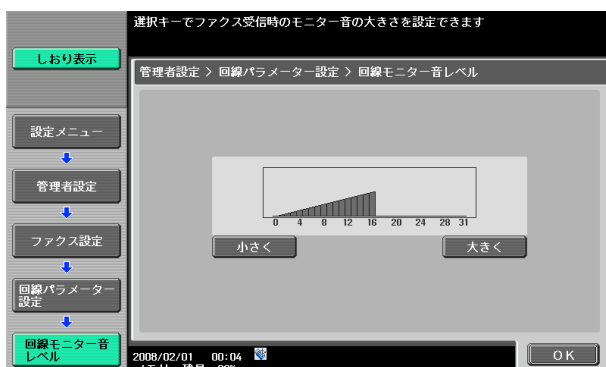
通信時に回線上の音をスピーカーから聞くとときに ON に設定します。



音声メッセージの内容は、「自動受信 (TEL/FAX 自動切換え)」(p. 5-3) をご覧ください。

■ 回線モニター音レベル

スピーカーの音量を 0 ～ 31 の範囲で設定します（初期値：16）。

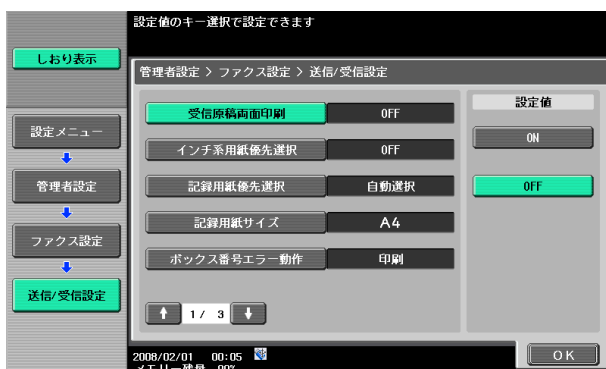


10.4.10 ファクス設定－送信 / 受信設定

ポーリング送信時のファイルの扱いや、受信時のプリント方法を設定します。

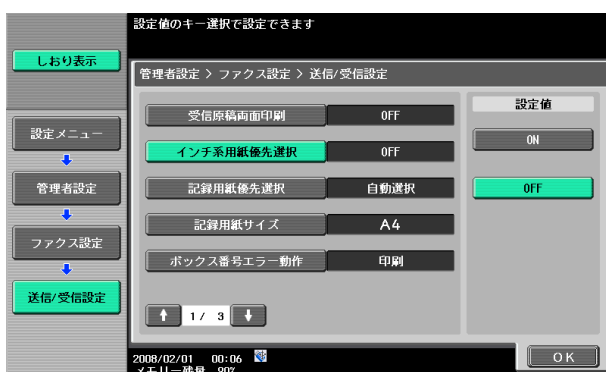
■ 受信原稿両面印刷

ON に設定すると、受信原稿が用紙の両面にプリントされます。



■ インチ系用紙優先選択

ON に設定すると受信原稿の記録用紙にインチ系用紙を優先的に選択します。

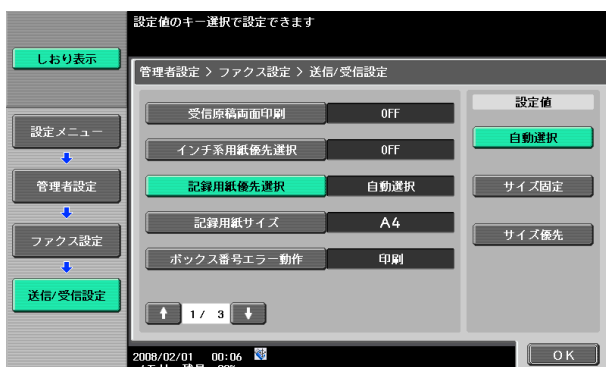


ひとこと

「ページ分割記録」が ON に設定されている場合は表示されません。

■ 記録用紙優先選択

- [自動選択]：自動的に記録紙を選択します。
- [サイズ固定]：設定したサイズを記録用紙として使用します。
- [サイズ優先]：優先サイズとして設定した記録用紙を使用します。
優先サイズが設定されていない場合はもっとも近いサイズに記録されます。



■ 記録用紙サイズ

受信文書を出力する用紙サイズを設定します。

初期設定は「インチ系用紙優先選択」の内容によって異なります。



■ ボックス番号エラー動作

オプションのハードディスクを装着している時に、ボックスを使用したファクス受信の場合、登録されていないボックス番号が指定された場合の動作を設定します。

- [印刷]：受信した文書を印刷します。
- [通信エラー]：通信エラーとして処理します。
- [ボックス自動生成]：指定された番号のボックスを自動的に作成し、文書を保存します。



ひとこと

記録用紙サイズの設定を有効にするには、「給紙トレイ固定」を「自動」に設定してください。

ひとこと

「パスワード規約」が ON に設定されているときは、自動生成を選択できません。

■ 着信拒否時の動作

着信拒否宛先に登録した番号から着信した場合の動作を設定します。



■ 給紙トレイ固定

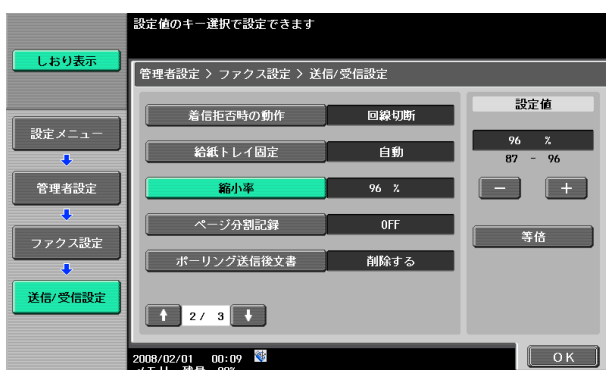
受信文書の出力に使用する用紙トレイを固定したい場合に、トレイを指定します。

トレイの種類は装着しているオプションによって異なります。



■ 縮小率

受信した原稿の出力倍率を等倍 / 87 ~ 96 % の範囲で設定します。



ひとこと

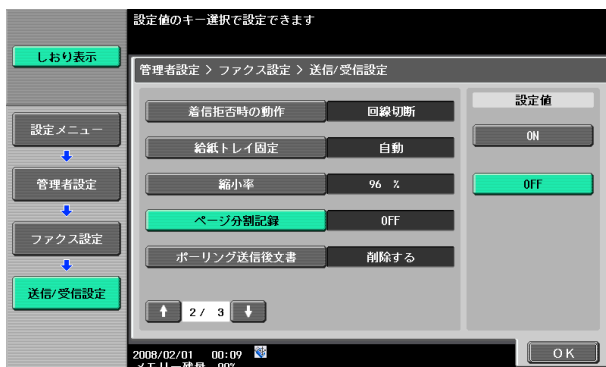
ナンバーディスプレイ機能を「ON」に設定している場合に設定できます。

ひとこと

記録時の縮小率を「等倍」に設定した場合は、「記録用紙優先選択」および「給紙トレイ固定」機能は「自動」に設定されます。または「ページ分割記録」は「OFF」に設定されます。

■ ページ分割記録

ON に設定すると、定形サイズよりも長い原稿を受信した場合に、ページを分割して記録します。

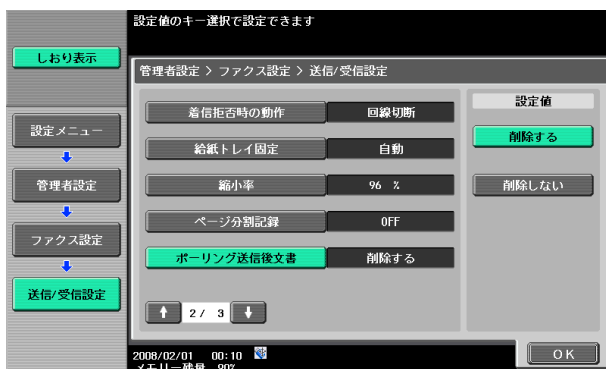


ひとこと

「ページ分割記録」は「受信原稿両面印刷」が ON に設定されていると表示されません。

■ ポーリング送信後文書

ポーリング送信が終了した原稿を削除するかどうかを設定します。



■ 受信印刷部数

受信した文書をプリントする部数を 1 ～ 10 の範囲で設定します（初期値：1）。



10.4.11 ファクス設定－機能設定

■ 機能 ON/OFF 設定－Fコード送信機能

Fコード送信機能を使用するかどうかを設定します。



- ・ Fコード送信機能を使用する送信方法には、親展送信と中継送信があります。
- ・ 親展送信については「[親展通信 \(G3\)](#)」(p. 7-5) をごらんください。
- ・ 中継送信については「[中継配信 \(G3\)](#)」(p. 7-6) をごらんください。

■ 機能 ON/OFF 設定－中継受信機能

ON に設定すると、中継配信局として、受信した文書の中継配信先に送信できるようになります。中継配信機能を利用するには、中継ボックスを登録する必要があります。



中継ボックスの登録方法については、「[ユーザーズガイド ボックス機能編](#)」をごらんください。

■ 機能 ON/OFF 設定－中継印刷

中継指示局から受信した文書をプリントする / しなないを設定します。



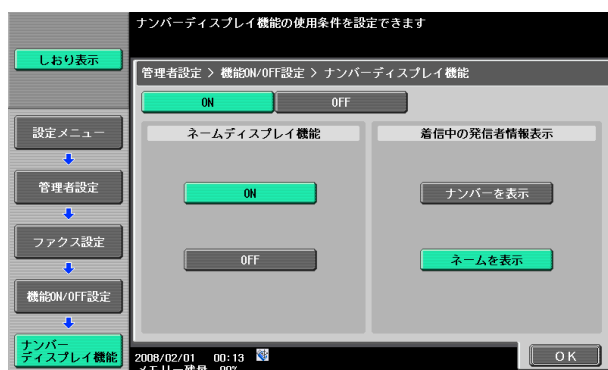
■ 機能 ON/OFF 設定－宛先確認表示機能

ファクス送信時に、指定した宛先一覧を表示するかどうかを設定します。



■ 機能 ON/OFF 設定－ナンバーディスプレイ機能

ナンバーディスプレイ機能、ネームディスプレイ機能を使用するかどうかを設定します。また、ネームディスプレイ機能を使用する場合は着信中の発信者情報としてナンバーを使用するかネームを使用するかも選択できます。



■ 機能 ON/OFF 設定－宛先2度入力機能（送信）（G3/SIP）

直接入力でファクス宛先を指定する場合、確認のため宛先をもう一度入力する画面が表示されます。2回入力することで、宛先間違いを防ぐことができます。



ひとこと

- ・ ナンバーディスプレイ機能、ネームディスプレイ機能を使用するには、事前に NTT への申し込みが必要です。
- ・ ナンバーディスプレイ機能を ON にしないと、ネームディスプレイ機能を設定することはできません。
- ・ 登録されているファクス番号が着信中の発信者番号と一致する場合、登録名またはファクス番号が表示されます。

ひとこと

宛先2度入力機能（送信）を設定すると、[オフフック] および [履歴から選択] で宛先を指定することができなくなります。

■ 機能 ON/OFF 設定－宛先 2 度入力機能(登録) (G3/SIP)

プログラム登録、転送ファクス設定や短縮宛先登録でファクス宛先を指定する場合、確認のため宛先をもう一度入力する画面が表示されます。2 回入力することで、宛先の登録間違いを防ぐことができます。

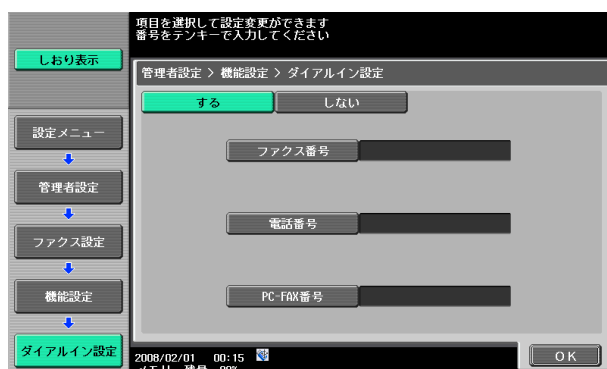


■ ダイヤルイン設定

ダイヤルイン機能を使用するかどうかを設定します。使用する場合は、ファクス番号、電話番号、PC-FAX 番号を設定します。

ダイヤルインとは、ファクス用の電話番号と電話用の電話番号を別につくことができる機能です。ファクス用の番号に着信するとファクスとして動作し、電話用の番号に着信するとファクスとしては動作しません。ダイヤルイン機能を使うためには、NTT にダイヤルイン機能（モデムダイヤルイン）の申し込みが必要です。

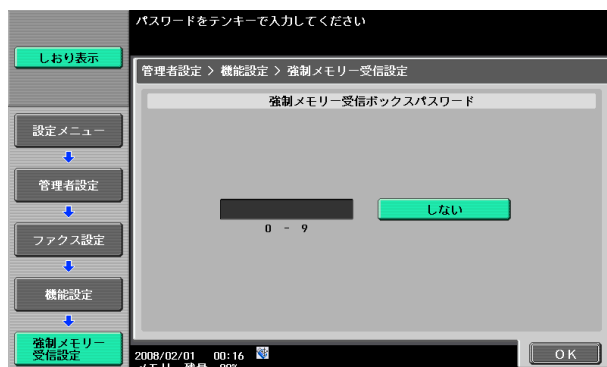
ファクス番号、電話番号、PC-FAX 番号を 11 桁以内で入力してください。



■ 強制メモリー受信設定

強制メモリー受信機能を使用するかどうかを設定します。使用する場合は、プリント時に使用するパスワードを設定します。

いったん「しない」を押して、入力可能な状態にしてから、テンキーでパスワードを設定します（8 桁以内）。



必ず守ってください

ダイヤルイン設定の変更を有効にするには、本機の主電源を OFF にしたあと、ON にしてください。主電源を OFF/ON にするときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。



詳しく説明します

- ・ 本機のダイヤルイン機能はモデムダイヤルインに限定されています。
- ・ 「PC-FAX 番号」は、「PC-FAX 受信設定」が ON に設定されているときに表示されます。

ひとこと

強制メモリー受信ボックスに保存された文書を印刷する方法については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

原則

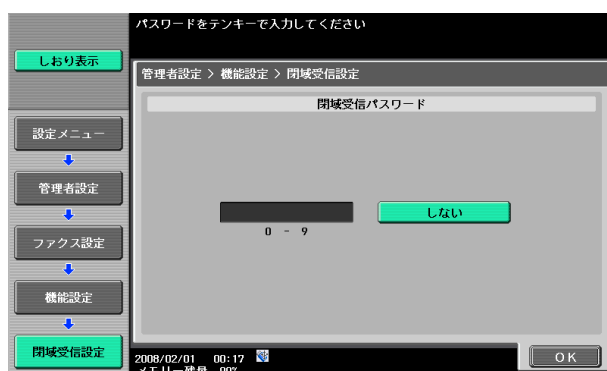
強制メモリー受信を設定すると、以下の項目は設定できません。

- ・ PC-FAX 受信設定
- ・ TSI 受信振分け設定
- ・ 転送ファクス設定

■ 閉域受信設定

閉域受信機能を使用するかどうかを設定します。使用する場合は、閉域受信に使用するパスワードを設定します。

いったん[しない]を押して、入力可能な状態にしてから、テンキーでパスワードを設定します（4 桁以内）。

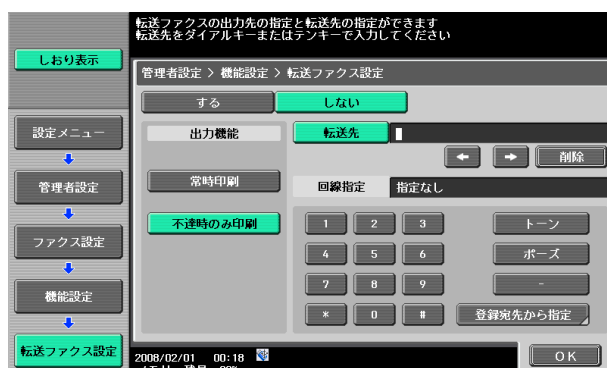


ひとこと

閉域受信は、相手機がパスワード送信機能をもつ機種の場合にだけ使用できます。

■ 転送ファクス設定

受信した文書を、あらかじめ設定しておいた相手に転送することができます。設定する項目は以下のとおりです。



項目	説明
出力機能	常時印刷：受信文書が転送され、本機でもプリントされます。 不達時のみ印刷：受信文書が転送され、転送できなかった場合に本機でプリントされます。
転送先	転送先のファクス番号を 38 桁以内で入力できます。登録宛先から選択することもできます。
回線指定	回線拡張キットを装着している場合は、転送を行う回線を指定することができます。

原則

転送ファクス設定を設定すると、以下の項目は設定できません。

- ・ PC-FAX 受信設定
- ・ TSI 受信振分け設定
- ・ 強制メモリー受信設定

■ リモート受信設定

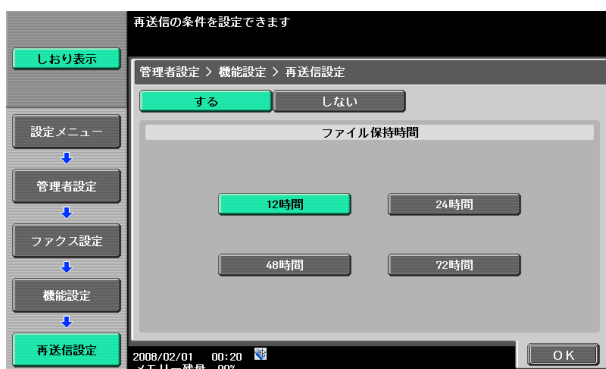
リモート受信機能を使用するかどうかを設定します。使用する場合は、受信に使用する番号を設定します。

いったん[しない]を押して、入力可能な状態にしてから、テンキーでリモート受信番号を設定します（2桁）。



■ 再送信設定

通信エラーや相手機が電話中などの理由で、オートリダイヤルでも送信できなかった文書を再送信ボックスに一時的に保存します。再送信機能を使用する場合は、ファイルを保存する時間を選択してください。



リモート受信については、「[リモート受信](#)」(p. 5-5) をごらんください。

ひとこと

再送信ボックスに保存された文書をファクス送信、印刷する方法については「[ユーザーズガイド ボックス機能編](#)」をごらんください。

■ PC-FAX 受信設定

オプションのハードディスクを装着している場合、PC-FAX 受信機能を使用するかどうかを設定します。使用する場合は、以下の内容を設定します。



詳しく説明します

- ・ダイヤルイン設定が ON になっていると、[許可する] のあとに [ダイヤルインのみ] が表示されます。ダイヤルインの番号で受信したときのみ PC-FAX 受信の設定を行うことができます。
- ・ファクス受信文書は TIFF 形式でボックスに保存されます。

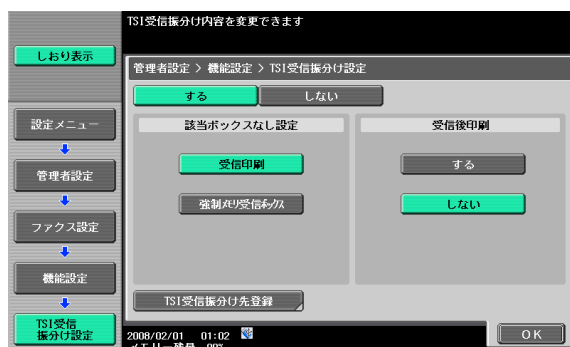
参照

PC-FAX 受信については、「[PC-FAX 受信 \(G3\)](#)」(p. 7-3) をご覧ください。

項目	説明
受信出力先	受信先を強制メモリ受信ボックスまたは指定ボックスに設定できます。「指定ボックス」を選択した場合は、F コードの SUB アドレスで指定した番号のボックスに保存されます。
受信後印刷	受信後にプリントを行うかどうかを設定します。
パスワードチェック	通信パスワード (8 桁以内) を設定できます。

■ TSI 受信振分け設定

オプションのハードディスクを装着している場合、TSI 受信振分け機能を使用するかどうかを設定します。使用する場合は以下の項目を設定します。



参照

TSI 受信振分け設定については、「[TSI 受信振分け \(G3\)](#)」(p. 7-4) をご覧ください。

項目	説明
該当ボックスなし設定	該当ボックスが存在しない場合の処置を設定します。 [受信印刷]：受信した文書を印刷します。 [強制メモリ受信ボックス]：強制メモリ受信ボックスに保存されます。
受信後印刷	受信後に印刷を行うかどうかを設定します。
TSI 受信振分け先登録	受信を振分ける相手先を登録します。

■ TSI 受信振分け設定－TSI 受信振分け先登録

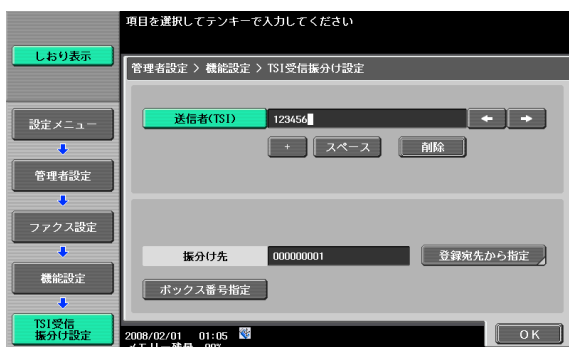
受信振分け先は 128 か所まで登録できます。設定したい番号を選択して、[編集] を押します。



■ TSI 受信振分け設定－TSI 受信振分け先登録－TSI 受信振分け設定

受信したファクスは、他の機器や本機のボックスに振り分けることができます。[送信者 (TSI)] では、送信者のファクス ID を入力します。

[振分け先] では、振分け先を指定します。他の機器に振り分ける場合、相手先は [登録宛先から指定] で指定します。本機のボックスに振り分ける場合は [ボックス番号指定] で指定します。



ひとこと

振分け先を削除する場合は、番号を選択して、[削除] を押します。



詳しく説明します

親展受信が設定されているボックス、中継ボックスは振分け先の対象とはなりません。

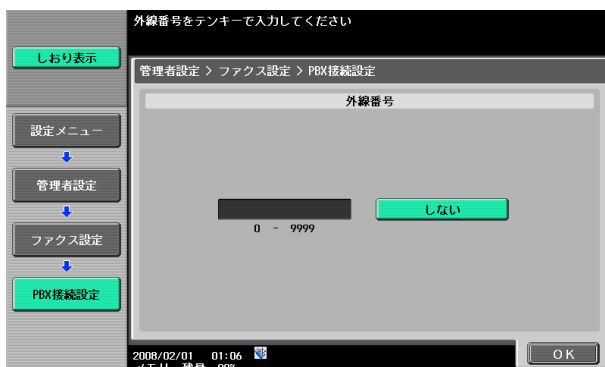
10.4.12 ファクス設定－PBX 接続設定

PBX 回線の接続方法を設定します。

PBX 接続モードが有効の場合に、外線へのアクセスコードを設定します。アクセスコードとは、0 発信の「0」のように外線に接続するための番号のことです。

短縮宛先やプログラム宛先に登録されているファクス番号の前に、ここで設定した外線番号がダイヤルされます。

いったん [しない] を押して、入力可能な状態にしてから、テンキーでアクセスコードを設定します (0 ~ 9999)。



ひとこと

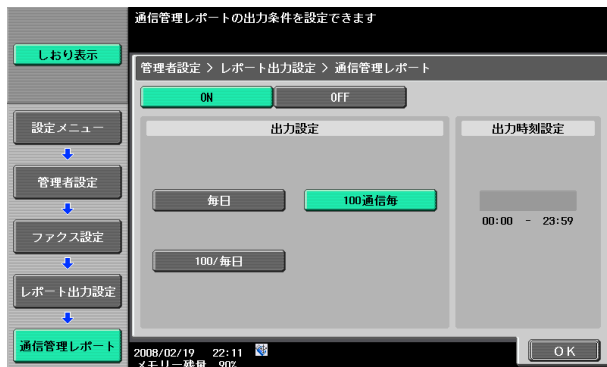
PBX 接続設定を行う場合は、ナンバーディスプレイ機能は OFF に設定してください。

10.4.13 ファクス設定－レポート出力設定

レポートの出力方法を設定します。

■ 通信管理レポート

通信管理レポートの出力設定を行います。出力する場合は以下の内容を設定します。



項目	説明
出力設定	出力するタイミングを設定します。 毎日：毎日決まった時刻に出力します。 100 通信毎：100 通信ごとに出力します。 100/ 毎日：毎日決まった時刻に最新の 100 通信を出力します。
出力時刻設定	出力設定で「毎日」または「100/ 毎日」を選択したときに設定できます。出力する時刻を指定します。

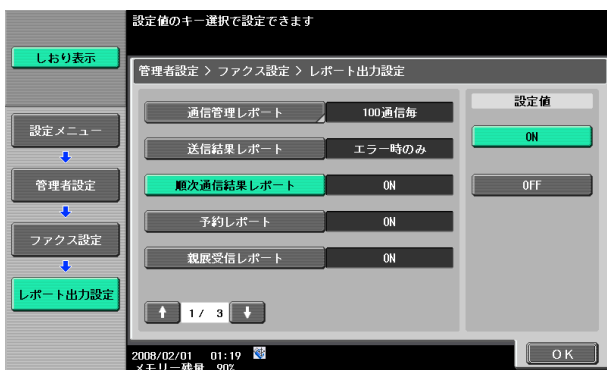
■ 送信結果レポート

送信結果レポートの出力設定を行います。出力する条件を選択します。



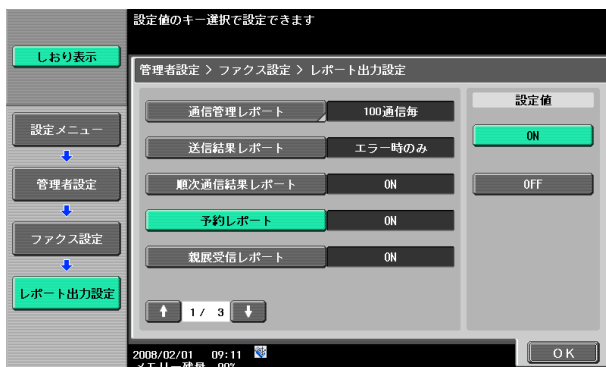
■ 順次通信結果レポート

順次通信結果レポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。



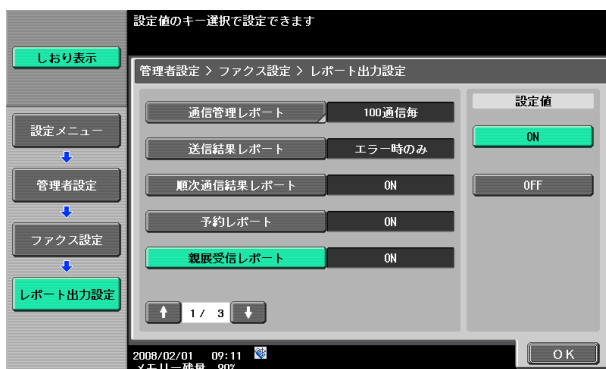
■ 予約レポート

予約レポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。



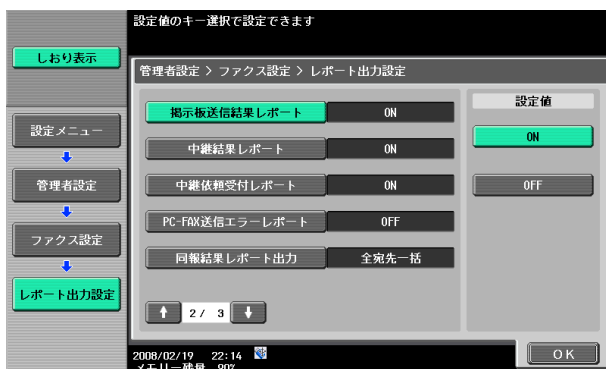
■ 親展受信レポート

親展受信レポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。



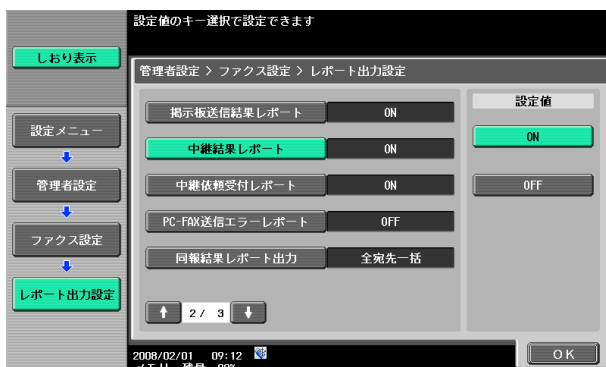
■ 掲示板送信結果レポート

掲示板送信結果レポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。



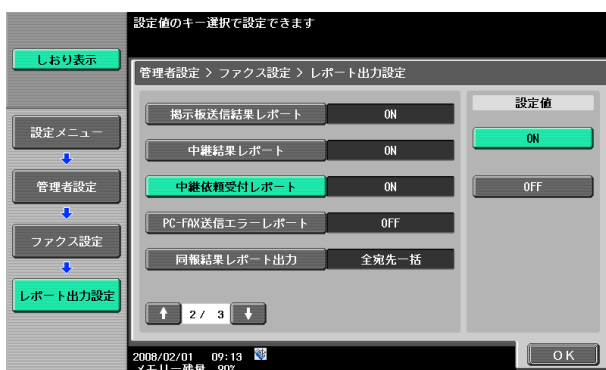
■ 中継結果レポート

中継結果レポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。



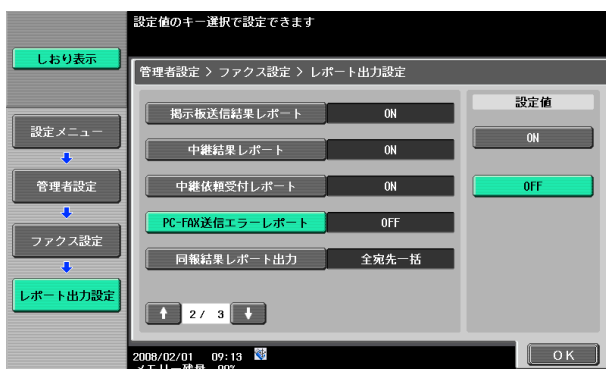
■ 中継依頼受付レポート

中継依頼受付レポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。



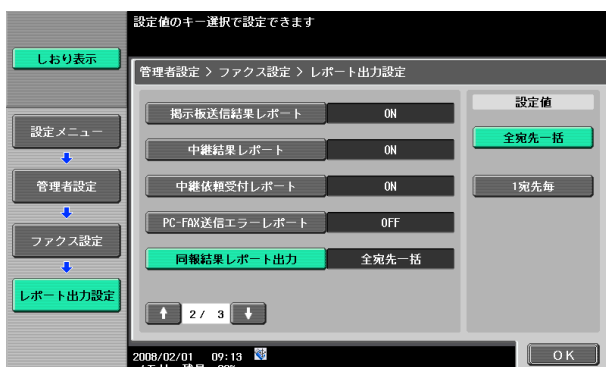
■ PC-FAX 送信エラーレポート

PC-FAX 送信エラーレポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。



■ 同報結果レポート出力

同報結果レポートの出力設定を行います。出力の方法を選択します。



■ 送信結果レポート画面

送信結果レポート画面の表示設定を行います。表示するかどうかを選択します。



10.4.14 ファクス設定—設定値リスト

ファクス関連の設定値リストを出力します。出力する用紙のトレイを選択し、[実行]を押します。



ひとこと

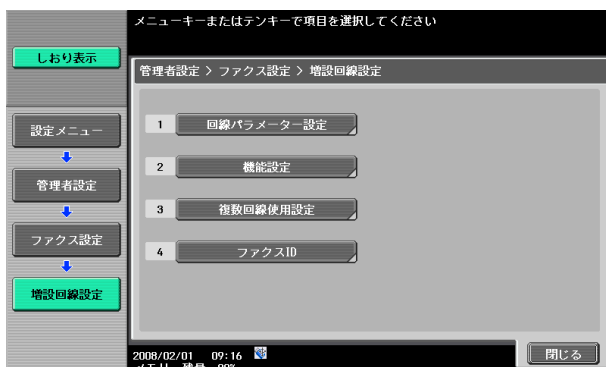
[1宛先毎] 選択時は、リダイヤルを行っても送信できない場合にのみ、同報送信結果レポートを出力します。送信が正常に終了した場合は出力しません。

ひとこと

設定値リストの出力例は「[設定値リスト](#)」(p. 8-11)をごらんください。

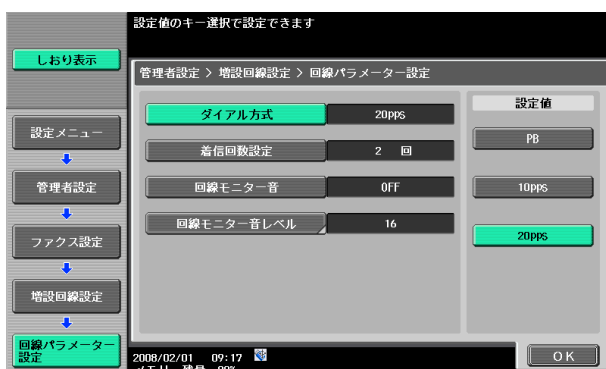
10.4.15 ファクス設定－増設回線設定

オプションの回線拡張キットを装着している場合、増設回線の各種設定を行います。



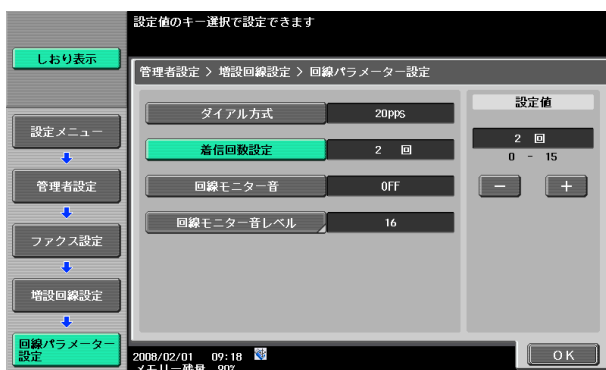
■ 回線パラメーター設定－ダイヤル方式

増設回線のダイヤル方式を PB/10pps/20pps から設定します。



■ 回線パラメーター設定－着信回数設定

着信するまでの呼出し信号の回数を 0 ～ 15 回の範囲で設定します（初期値：2 回）。



■ 回線パラメーター設定－回線モニター音

増設回線の通信時に回線上の音をスピーカーから聞くとときに ON に設定します。



■ 回線パラメーター設定－回線モニター音レベル

スピーカーの音量を 0 ～ 31 の範囲で設定します（初期値：16）



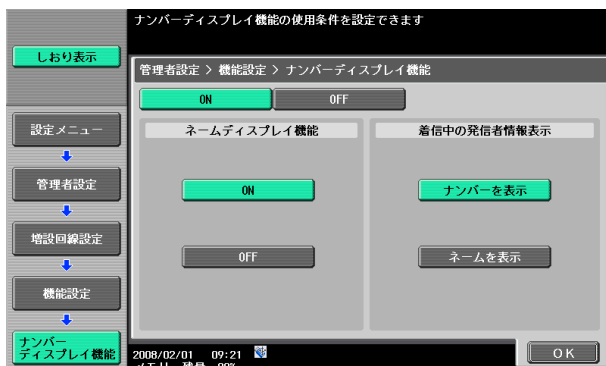
■ 機能設定－PC-FAX 送信設定

PC-FAX で送信する時にどの回線から送信するのかを設定します。



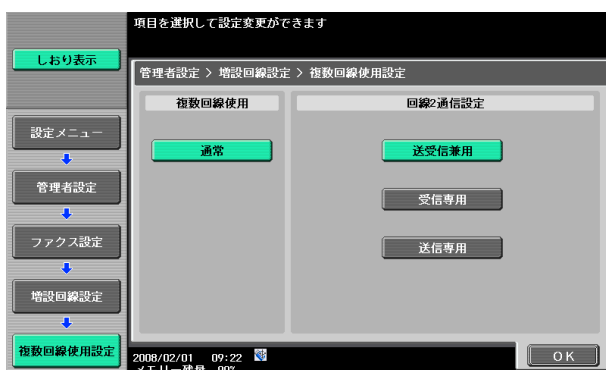
■ 機能設定－ナンバーディスプレイ機能

増設回線でナンバーディスプレイ機能、ネームディスプレイ機能を使用するかどうかを設定します。また、ネームディスプレイ機能を使用する場合は着信中の発信者情報としてナンバーを使用するかネームを使用するかも選択できます。



■ 複数回線使用設定

増設回線の通信方法を送受信兼用 / 受信専用 / 送信専用から選択します。



■ ファクス ID

増設回線のファクス ID を登録します。登録したファクス ID は相手先の受信文書に発信元情報として印字されます。テンキー、*、#、[+]、スペースを使用して 20 文字以内で入力します。



ひとこと

- ・ナンバーディスプレイ機能、ネームディスプレイ機能を使用するには、事前に NTT への申し込みが必要です。
- ・ナンバーディスプレイ機能を ON にしないと、ネームディスプレイ機能を設定することはできません。
- ・登録されているファクス番号が着信中の発信者番号と一致する場合、登録名またはファクス番号が表示されます。

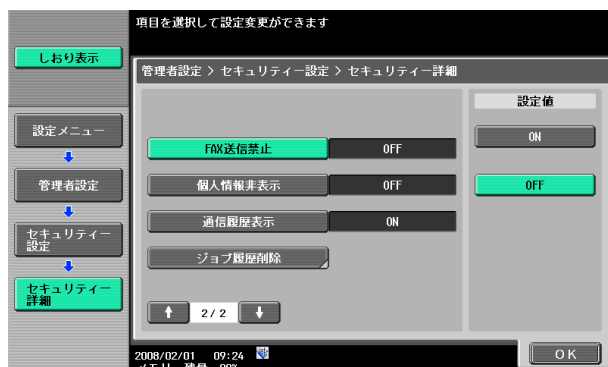
10.4.16 セキュリティー設定－セキュリティ詳細

■ 手動宛先入力

設定手順は、「[手動宛先入力](#)」(p. 10-10) をご覧ください。

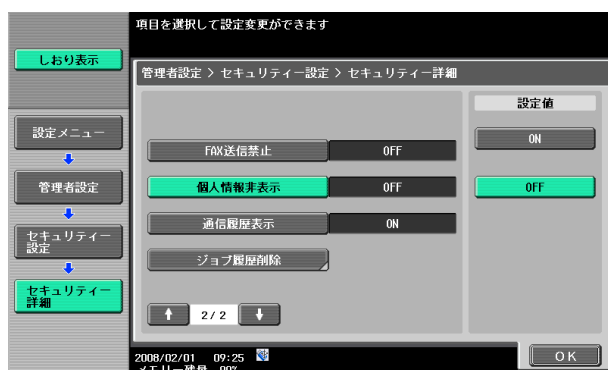
■ FAX 送信禁止

ファクス送信を禁止するかどうかを設定できます。[ON] を選択すると、ファクス / スキャン画面でファクス機能が表示されなくなります。



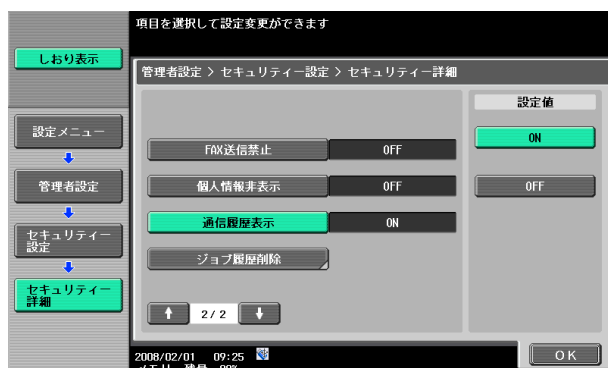
■ 個人情報非表示

ジョブ表示画面の履歴リストで、宛先を表示するかどうかを設定します。[ON] を選択すると、宛先が表示されなくなります。



■ 通信履歴非表示

通信履歴を表示するかどうかを設定します。[ON] を選択すると、履歴が表示されなくなります。



10.4.17 セキュリティー設定－スタンプ設定

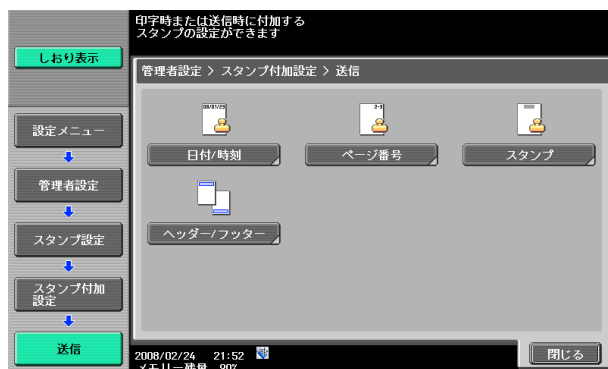
■ スタンプ付加設定－印字

印字時に付加するスタンプを設定します。



■ スタンプ付加設定－送信

送信時に付加するスタンプを設定します。



10.5 管理者設定 (IP/SIP/I-FAX)

インターネットファクス、IP アドレスファクス、SIP ファクスで行う管理者設定について説明します。

10.5.1 環境設定－パワーセーブ設定－パワーセーブ移行

設定手順は、「[環境設定－パワーセーブ設定－パワーセーブ移行](#)」(p. 10-11) をごらんください。

10.5.2 環境設定－ユーザー操作禁止設定

■ 変更禁止設定－登録宛先変更

設定手順は、「[変更禁止設定－登録宛先変更](#)」(p. 10-7) をごらんください。

■ 変更禁止設定－From アドレス変更

設定手順は、「[変更禁止設定－From アドレス変更 \(E-mail\)](#)」(p. 10-7) をごらんください。

■ 操作禁止設定－複数宛先禁止

設定手順は、「[操作禁止設定－複数宛先禁止](#)」(p. 10-8) をごらんください。

10.5.3 環境設定－スタンプ設定－ファクス送信設定

設定手順は、「[環境設定－スタンプ設定－ヘッダー / フッター設定](#)」(p. 10-8) をごらんください。

10.5.4 ネットワーク設定－ネットワークファクス設定

■ ネットワークファクス機能設定

ネットワークファクス機能設定については、「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をごらんください。

■ SMTP 送信設定

SMTP 送信設定については、「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をごらんください。

■ SMTP 受信設定

SMTP 受信設定については、「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をごらんください。

10.5.5 ファクス設定－発信元 / ファクス ID 登録

設定手順は、「[ファクス設定－発信元 / ファクス ID 登録](#)」(p. 10-14) をごらんください。

10.5.6 ファクス設定－発信元 / 受信情報

設定手順は、「[ファクス設定－発信元 / 受信情報](#)」(p. 10-15) をごらんください。

ひとこと

From アドレスは装置に設定したアドレスとなります。

ひとこと

発信元情報は、インターネットファクス / SIP ファクス / IP アドレスファクスでは、[原稿外] は使用できません。[原稿外] に設定されていても原稿内に付加されます。

10.5.7 ファクス設定－回線パラメーター設定 (IP/SIP)

■ オートリダイヤル回数

設定手順は、「オートリダイヤル回数」(p. 10-18) をごらんください。

■ オートリダイヤル間隔

設定手順は、「オートリダイヤル間隔」(p. 10-18) をごらんください。

10.5.8 ファクス設定－送信 / 受信設定

設定手順は、「ファクス設定－送信 / 受信設定」(p. 10-21) をごらんください。

ひとこと

- ・「記録用紙サイズ」の設定を有効にするには、「給紙トレイ固定」を「自動」に設定してください。
- ・トレイの種類は、装着しているオプションにより異なります。

10.5.9 ファクス設定－機能設定

■ 機能 ON/OFF 設定－宛先確認表示機能

設定手順は、「機能 ON/OFF 設定－宛先確認表示機能」(p. 10-26) をごらんください。

■ 強制メモリー受信設定

設定手順は、「強制メモリー受信設定」(p. 10-27) をごらんください。

10.5.10 ファクス設定－レポート出力設定

■ 通信管理レポート

設定手順は、「通信管理レポート」(p. 10-32) をごらんください。

■ 送信結果レポート

設定手順は、「送信結果レポート」(p. 10-32) をごらんください。

■ 順次通信結果レポート

設定手順は、「順次通信結果レポート」(p. 10-32) をごらんください。

■ 同報結果レポート出力

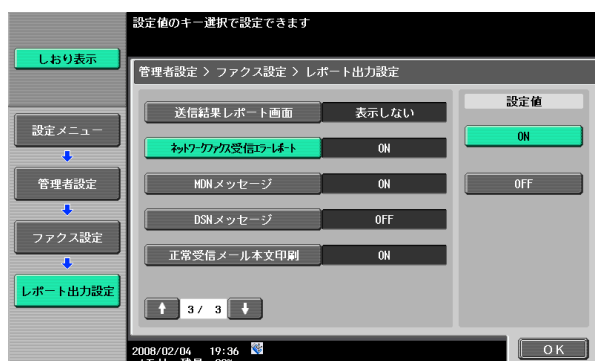
設定手順は、「同報結果レポート出力」(p. 10-35) をごらんください。

■ 送信結果レポート画面

設定手順は、「送信結果レポート画面」(p. 10-35) をごらんください。

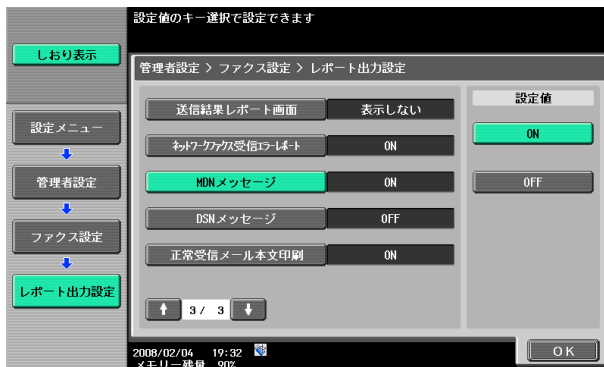
■ ネットワークファクス受信エラーレポート

ネットワークファクス受信エラーレポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。



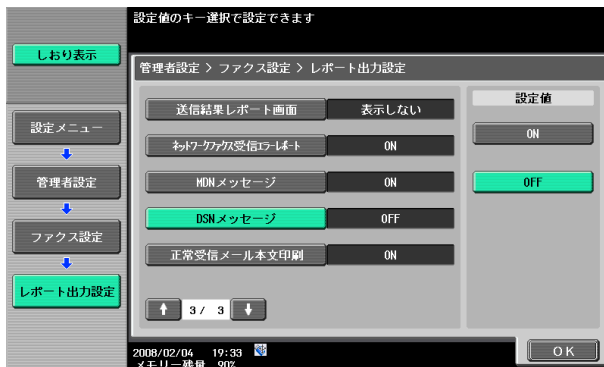
■ MDN メッセージ (I-FAX)

インターネットファックスの MDN メッセージの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。



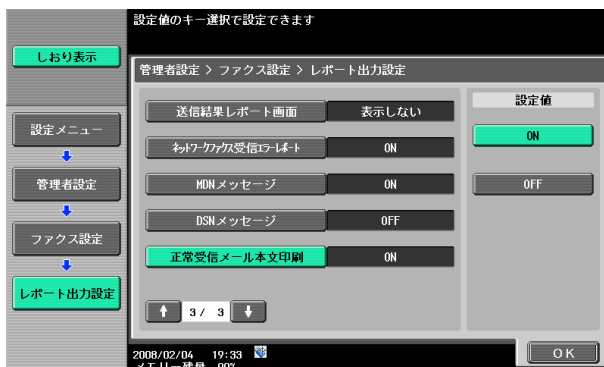
■ DSN メッセージ (I-FAX)

インターネットファックスの DSN メッセージの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。



■ 正常受信メール本文印刷 (I-FAX)

正常受信メールの本文の出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。



10.5.11 ファクス設定－設定値リスト

設定手順は、「ファクス設定－設定値リスト」(p. 10-35) をごらんください。

10.5.12 ファクス設定－ネットワークファクス設定

インターネットファクス、SIP ファクス、IP アドレスファクスの機能を設定します。

■ 白黒2値圧縮方法

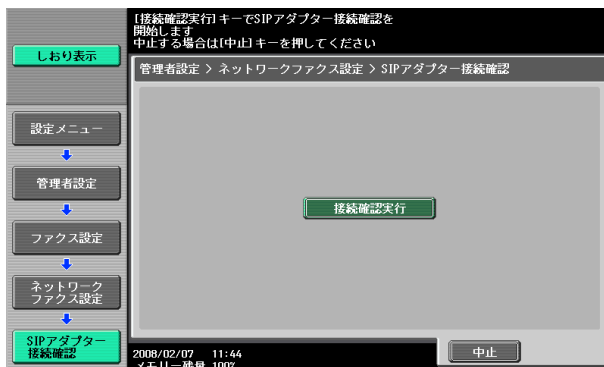
送信時の本機送信能力を設定します。

- MH：データサイズが大きくなります。
- MR：MMR と MH の中間のデータサイズになります。
- MMR（初期値）：データサイズが小さくなります。



■ SIP アダプター接続確認 (SIP)

SIP-FAX アダプターとの接続が正常かどうかを確認できます。[接続確認実行] を押して、SIP-FAX アダプタとの接続を確認します。



詳しく説明します

SIP-FAX アダプターとの接続確認が正常終了しなかった場合は、[SIP ファクス機能]にある SIP-FAX アダプターの IP アドレスとポート番号が正しいかどうか確認してください。

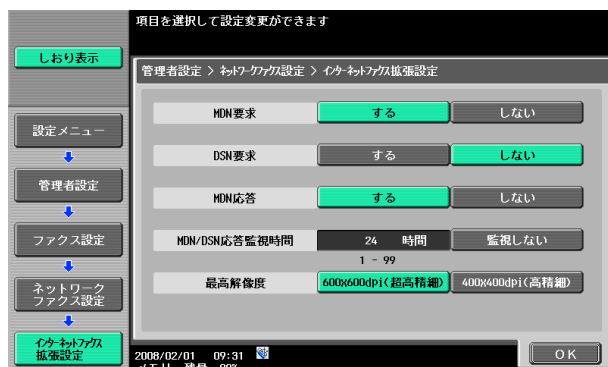
■ インターネットファクス自機受信能力 (I-FAX)

インターネットファクス機能が使用できる場合に表示されます。相手機からのMDN 要求時に、自機的能力として設定した内容が送信されます。圧縮形式、用紙サイズ、解像度の内容を設定してください。



■ インターネットファクス拡張設定 (I-FAX)

インターネットファクス機能が使用できる場合に表示されます。インターネットファクスの詳しい内容を設定できます。



項目	説明
MDN 要求	送信時に相手機に MDN の要求を行うかどうかを設定します。
DSN 要求	送信時に相手機に DSN の要求を行うかどうかを設定します。
MDN 応答	受信時に相手機からの MDN 要求に回答するかどうかを設定します。
MDN/DSN 応答監視時間	MDN、DSN の応答監視を行うかどうかを設定します。行う場合は時間数を入力します。
最高解像度	本機の最高解像度能力を設定します。

ひとこと

MDN 要求と DSN 要求を同時に「する」に設定した場合、MDN 要求の設定が優先されます。

10.5.13 セキュリティー設定ーセキュリティ詳細

■ 手動宛先入力

設定手順は、「[手動宛先入力](#)」(p. 10-10) をご覧ください。

■ FAX 送信禁止

設定手順は、「[FAX 送信禁止](#)」(p. 10-39) をご覧ください。

■ 個人情報非表示

設定手順は、「[個人情報非表示](#)」(p. 10-39) をご覧ください。

■ 通信履歴非表示

設定手順は、「[通信履歴非表示](#)」(p. 10-39) をご覧ください。



第 11 章

PageScope Web Connection

デバイス管理用ユーティリティ「PageScope Web Connection」の機能について説明します。

11.1	PageScope Web Connection の使いかた	11-2
11.2	ログインとログアウト	11-6
11.3	ユーザーモードの概要	11-11
11.4	管理者モードの概要	11-14

11.1 PageScope Web Connection の使いかた

PageScope Web Connection は、本機に内蔵されている HTTP サーバーが提供する、デバイス管理用ユーティリティです。ネットワーク上のコンピュータで Web ブラウザーを起動し、本機の設定変更や状態確認ができます。

本機の操作パネルで行う設定の一部を、手元のコンピュータから操作でき、漢字の入力もスムーズなので便利です。

11.1.1 動作環境

ネットワーク	Ethernet (TCP/IP)
コンピュータ側のアプリケーション	対応 Web ブラウザー： Microsoft Internet Explorer Ver.6 以降推奨 (JavaScript 有効・Cookie 有効) Internet Explorer Ver.5.5 の使用の場合、Microsoft XML parser MSXML3.X のインストールが必須 Netscape Navigator Ver.7.02 以降 (JavaScript 有効・Cookie 有効) Mozilla Firefox Ver.1.0 以降 (JavaScript 有効・Cookie 有効) Adobe® Flash® Player (表示形式で Flash を選択する場合、Ver.7.0 以降のプラグイン必須)

11.1.2 アクセス方法

PageScope Web Connection は、Web ブラウザーを起動して使用します。

1

Web ブラウザーを起動します。

2

URL フィールドに、本機の IP アドレスを入力して [Enter] キーを押します。

http:// <本機の IP アドレス> /

○ (例) 本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合

http://192.168.1.20/

IPv6 が「使用する」に設定されていて、Internet Explorer 以外のブラウザを使用している場合は、IPv6 アドレスを [] で囲んでアクセスします。

http://[本機の IPv6 アドレス]/

○ (例) 本機の IPv6 アドレスが fe80::220:6bff:fe10:2f16 の場合

http://[fe80::220:6bff:fe10:2f16]

○ IPv6 が「使用する」に設定されていて、Internet Explorer を使用している場合は、あらかじめ hosts ファイルに「fe80::220:6bff:fe10:2f16IPv6 IPv6_MFP_1」といった追記をする編集をし、ドメイン名による URL 指定を行います。

ユーザーとしてログインしたユーザーモードの画面が表示されます。

ひとこと

Windows NT 4.0、Mac OS 8/9 は、Flash Player 8 以降をサポートしていません。これらの OS をお使いの場合は、Adobe サイトより Flash Player 7 をダウンロードしてご使用いただくか、または PageScope Web Connection の表示形式で HTML を選択してください。

ひとこと

- ・ユーザー認証機能が有効の場合は、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。詳しくは、「[登録ユーザーとしてログイン](#)」(p. 11-9) をごらんください。
- ・本機の IP アドレスの設定については、「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をごらんください。
- ・PageScope Web Connection の表示形式には Flash と HTML があります。詳しくは、「[ログインとログアウト](#)」(p. 11-6) をごらんください。
- ・IPv6 アドレス指定でアクセスした場合は、Flash は表示できません。

11.1.3 Web ブラウザーのキャッシュ機能について

Web ブラウザーにキャッシュ機能があるため、PageScope Web Connection で画面を表示しても最新の情報が表示されない場合があります。また、キャッシュ機能を使用したときに問題が起こる場合があります。

PageScope Web Connection 使用時は、Web ブラウザーでキャッシュ機能を無効にしてください。

■ Internet Explorer の場合

- 1 「ツール」メニューから「インターネットオプション」を選択します。
- 2 「全般」タブで「インターネット一時ファイル」の「設定」をクリックします。
- 3 「ページを表示するごとに確認する」を選択し、[OK] をクリックします。

■ Netscape Navigator の場合

- 1 「編集」メニューから「設定」を選択します。
- 2 左側の「カテゴリ」で「詳細」－「キャッシュ」を選択します。
- 3 「キャッシュにあるページとネットワーク上のページの比較：」で「ページにアクセスするたび」を選択します。

■ Mozilla Firefox の場合

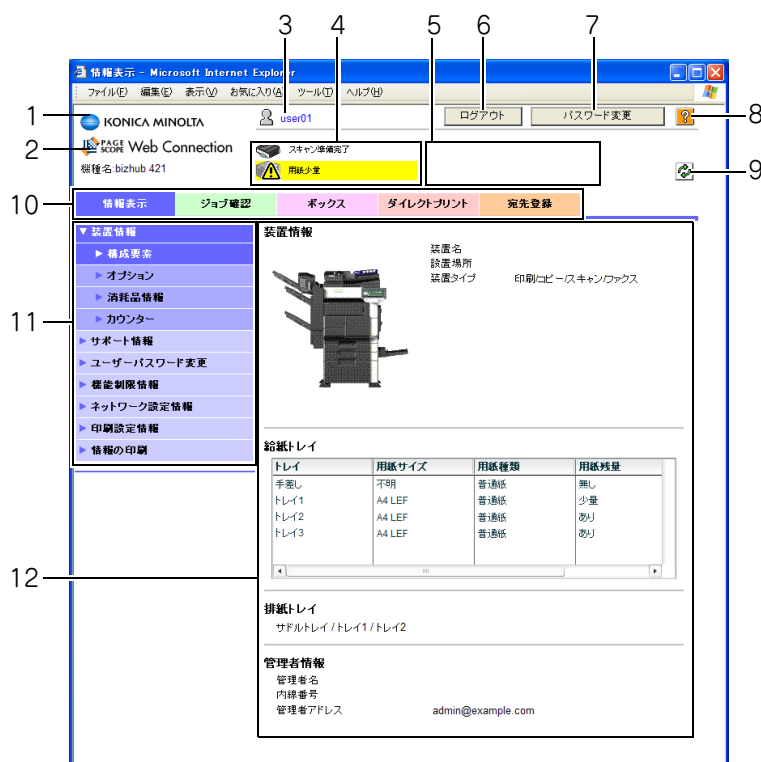
- 1 「ツール」メニューから「オプション」を選択します。
- 2 「プライバシー」をクリックし、[消去設定] をクリックします。
- 3 「消去するデータ」で「キャッシュ」にチェックを付け、「消去の設定」で「Firefox の終了時にプライバシー情報を消去する」にチェックを付け、[OK] をクリックします。

ひとこと

- ・ Web ブラウザーのバージョンによっては、メニューや項目名が異なる場合があります。詳しくは、Web ブラウザーのヘルプをご覧ください。
- ・ キャッシュ機能を有効にしたまま使用すると、管理者モードでタイムアウトになったあと、再度アクセスしてもタイムアウト表示になることがあります。この場合でも、本機の操作パネルがロックされ操作できなくなるため、主電源の再投入が必要になります。このような問題を避けるために、キャッシュ機能を無効にしてください。

11.1.4 画面の構成

PageScope Web Connection の画面は、以下のように構成されています。



No.	項目	説明
1	KONICA MINOLTA ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、以下のサイト (KONICA MINOLTA のサイト) ヘジャンプします。 http://konicaminolta.jp
2	PageScope WebConnection ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、PageScope Web Connection のバージョンが表示されます。
3	ログインユーザー名	現在ログインしているモードアイコンとユーザー名 (パブリック、管理者、ボックス管理者、登録ユーザー名、部門名) が表示されます。ユーザー名をクリックすると、ログインしているユーザー名が表示されます。
4	ステータス表示	本機プリンター部分と本機スキャナー部分の状態が、アイコンとメッセージで表示されます。エラーが発生している場合にアイコンをクリックすると、その状態に関連した情報 (消耗品情報画面、給紙トレイ画面、ユーザー登録情報画面) が表示され、状況を確認できます。
5	メッセージ表示	本機の動作状態が表示されます。
6	[ログアウト]	現在のモードからログアウトするときにクリックします。
7	[パスワード変更]	クリックすると、「 ユーザーパスワード変更 」(p. 11-11) ヘジャンプします。登録ユーザーでログインしたユーザーモード画面でのみ表示されます。
8	ヘルプ	オンラインマニュアルホームページに設定してあるページが表示されます。設定方法は、「 サポート情報 」(p. 11-11) をごらんください。

ひとこと

- ・ PageScope Web Connection でアクセス直後に表示される画面は「ユーザーモード」と呼ばれる画面で、ユーザーとしてログインした状態で表示されます。
- ・ ユーザー認証機能が有効の場合は、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。詳しくは、「[登録ユーザーとしてログイン](#)」(p. 11-9) をごらんください。
- ・ 本機に装着されているオプションや本機の設定によって、PageScope Web Connection の画面表示が異なります。別のユーザーや管理者としてログインする方法については「[ログインとログアウト](#)」(p. 11-6) をごらんください。

9	更新	クリックすると画面の表示を更新します。
10	タブ	表示する項目のカテゴリを選択します。ユーザーモードでは、以下のタブが表示されます。 ・情報表示 ・ジョブ確認 ・ボックス ・ダイレクトプリント ・宛先登録
11	メニュー	選択されたタブにおける情報および設定が表示されます。タブの選択により、ここに表示されるメニューが異なります。
12	情報、設定の表示	メニューで選択されている項目の内容が表示されます。

11.2 ログインとログアウト

11.2.1 ログインとログアウトのながれ

PageScope Web Connection でアクセスすると、本機でユーザー認証や部門管理を行っているときはログイン画面が表示され、ユーザー認証や部門管理を行っていないときはパブリックユーザーとしてログインした画面が表示されます。ログイン後、別のユーザーとしてログインするときや、管理者としてログインするためにはいったんログアウトし、ログインしなおす必要があります。

■ ユーザー認証、部門管理を行っていない場合

Public ユーザーとして自動的にログインします。



管理者としてログインするときは、いったんログアウトします。



管理者としてログインし直します。



■ ユーザー認証、部門管理を行っている場合

ユーザー認証、部門認証画面が表示されます。必要事項を入力してログインします。



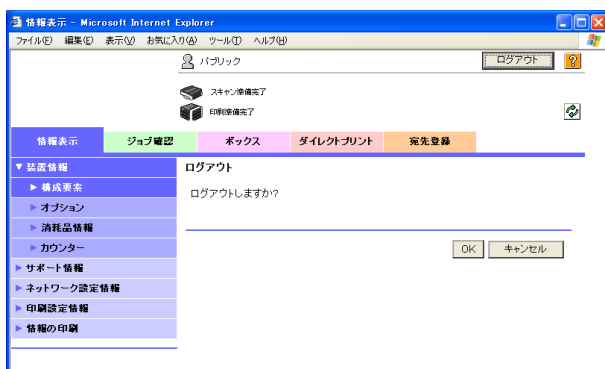
他のユーザーまたは管理者としてログインするときは、いったんログアウトします。



ログインし直します。

11.2.2 ログアウト

画面右上の「ログアウト」をクリックすると、ログアウトを確認する画面が表示されます。「OK」をクリックするとログイン画面に戻ります。



11.2.3 ログイン

PageScope Web Connection はログインのしかたによって、ユーザーモードと管理者モードがあります。ユーザー認証やボックス管理者の設定によって、管理者またはボックス管理者としてユーザーモードにログインすることもできます。

■ ログイン時の選択項目

- 必要に応じて言語や表示形式を選択します。
- 「警告時、ダイアログ表示する」にチェックを付けると、ログイン後の操作中、警告時にダイアログが表示されます。
- 表示形式で「Flash」を選択すると、以下の項目が Flash 機能を利用して表示されます。
 - ステータスのアイコンやメッセージ
 - 「情報表示タブ - 装置情報」の「給紙トレイ」の状態
 - 「ジョブ確認タブ」の状態
- 「Flash」機能を使用する場合は、Flash Player が必要です。
- 読み上げソフトを使用する場合は、HTML を選択することを推奨します。IPv6 環境においては、HTML を選択してください。

ひとこと

- ・ 本機の認証設定によって、表示されるログイン画面が異なります。
- ・ ログインした状態で操作が一定期間行われずにタイムアウトとなった場合や、ユーザーモードログイン中に本機の操作パネルで認証設定が変更された場合は、自動的にログアウトされます。
- ・ ユーザーモードおよび管理者モードのタイムアウトの時間設定については、「[自動ログアウト](#)」(p. 11-15) をご覧ください。

ひとこと

- ・ 操作パネルからの設定でボックス管理者がみとめられている場合に、ボックス管理者としてログインできます。ボックス管理者の設定や権限、パスワードの設定などについては、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をご覧ください。
- ・ 管理者としてユーザーモードにログインした場合は、管理者モードでは行えないジョブ削除を行うことができます。

■ パブリックユーザーとしてログイン

本機でユーザー認証を行っていない場合はパブリックユーザーとしてログインします。ログイン画面で「パブリックユーザー」を選択し、[ログイン] をクリックします。



■ 登録ユーザーとしてログイン

本機でユーザー認証を行っている場合は、登録ユーザー名とパスワードを利用してログインする必要があります。ログイン画面でユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

- 部門管理を行っている場合は、部門名と部門パスワードも入力します。
- [ユーザー一覧] をクリックすると、一覧からユーザー名を選択できます。
- 外部サーバー認証が設定されている場合は、サーバーを選択します。
- 管理者としてユーザーモードにログインする場合は、[管理者] - 「管理者（ユーザーモード）」を選択し、管理者パスワードを入力します。



ひとこと

- ・ 管理者設定の「認証操作禁止設定」でモード 2 が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、そのユーザーがロックされて使用できなくなります。操作禁止状態の解除については管理者にお問い合わせください。
- ・ [ユーザー一覧] は、「ユーザー名一覧」が「表示する」設定のときのみ利用できます。
- ・ ユーザー名一覧の設定について詳しくは「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

■ 管理者モードへログイン

システムやネットワークなどの設定を行うには、管理者モードにログインします。ログイン画面で「管理者」を選択し、管理者パスワードを入力して「ログイン」をクリックします。



■ ボックス管理者としてログイン

本機でユーザー認証を行っている場合は、管理者としてユーザーモードにログインし、ジョブ削除を行うことができます。また、操作パネルでボックス管理者がみとめられている場合に、ボックス管理者としてユーザーモードにログインすることができます。



ログイン画面で「管理者」を選択し、「ログイン」をクリックします。

- ボックス管理者としてユーザーモードにログインする場合は、「ボックス管理者」を選択し、ボックス管理者のパスワードを入力します。

ひとこと

- ・ 管理者モードにログインしているときは、本機の操作パネルがロックされ、操作できなくなります。
- ・ 本機の状態によっては、管理者モードにログインできない場合があります。
- ・ 管理者設定の「認証操作禁止設定」でモード2が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、管理者モードにログインできなくなります。認証操作設定について詳しくは「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
- ・ 本機の設定によって、表示されるパスワード入力の画面が異なります。

ひとこと

- ・ 管理者設定の「認証操作禁止設定」でモード2が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、管理者モードにログインできなくなります。認証操作設定について詳しくは「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
- ・ 本機の設定によって、表示されるパスワード入力の画面が異なります。

11.3 ユーザーモードの概要

ユーザーモードにログインすると、以下の機能を設定できます。

11.3.1 情報表示

PageScope Web Connection にアクセスしたときに、最初に表示されます。

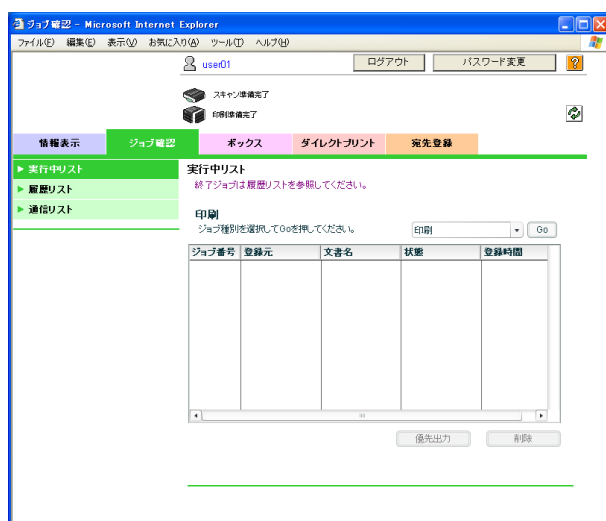


ひとこと

ユーザーモードに関するその他の情報は、PageScope Utilities CD-ROM の PageScope Web Connection のヘルプをごらんください。

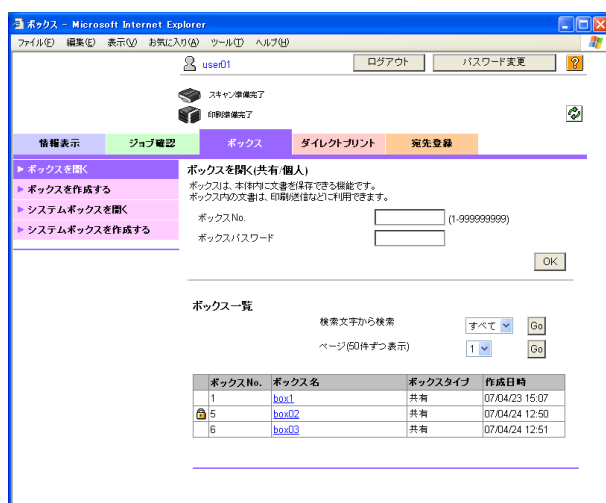
項目	説明
装置情報	本機の構成要素、オプション、消耗品情報、カウンターを確認できます。
サポート情報	製品に関するサポート情報を確認できます。
ユーザーパスワード変更	ログインしているユーザーのパスワードを変更できます。
機能制限情報	ユーザーや部門の操作制限情報を確認できます。
ネットワーク設定情報	本機のネットワーク設定を確認できます。
印刷設定情報	本機のイメージコントローラーに関連した設定情報を確認できます。 オプションのイメージコントローラ IC-207 を装着している時に表示されます。
情報の印刷	フォント情報や設定情報などを印刷できます。 オプションのイメージコントローラ IC-207 を装着している時に表示されます。

11.3.2 ジョブ確認



項目	説明
実行中リスト	実行中 / 実行待ちのジョブを確認できます。
履歴リスト	実行済みのジョブを確認できます。
通信リスト	完了した送受信のジョブを確認できます。

11.3.3 ボックス



項目	説明
ボックスを開く	現在作成されているボックス（共有 / 個人 / グループ）を開き、保存されている文書进行操作したり、ボックスの設定を変更できます。
ボックスを作成する	新しくボックスを作成できます。
システムボックスを開く	オプションのFAXキットが装着されている場合に表示されます。システムボックス（掲示板ボックス / ポーリング送信ボックス / 強制メモリー受信ボックス / 中継ボックス）を開き、保存されている文書进行操作したり、ボックスの設定を変更できます。
システムボックスを作成する	オプションのFAXキットが装着されている場合に表示されます。新しく掲示板ボックスと中継ボックスを作成できます。

11.3.4 ダイレクトプリント



項目	説明
ダイレクトプリント	コンピュータに保存されているファイルを指定して、本機で印刷を行うことができます

11.3.5 宛先登録



項目	説明
短縮宛先	本機に登録されている短縮宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
グループ宛先	本機に登録されているグループ宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
プログラム宛先	本機に登録されているプログラム宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
一時プログラム	本機に登録されている一時プログラム宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
E-mail 件名	E-mail 送信時に利用する件名を 10 件まで登録できます。
E-mail 本文	E-mail 送信時に利用する本文を 10 件まで登録できます。

ひとこと

ダイレクトプリント機能を利用するには、オプションのイメージコントローラ IC-207 が必要です。

ひとこと

ダイレクトプリントでは、以下のファイルを印刷できます。
ハードディスク装着時：XPS, PDF, TIFF, PS, PCL, Text (1 バイト文字のみ)
ハードディスク非装着時：PS, PCL, Text (1 バイト文字のみ)

ひとこと

管理者モードでの設定によっては表示されない場合があります。

11.4 管理者モードの概要

管理者モードにログインすると、以下の機能を設定できます。

11.4.1 メンテナンス

トータルカウンター		
トータル	458	
両面トータル	17	
原稿枚数	421	
使用用紙枚数	402	

コピーカウンター		
トータル	406	
大サイズ	19	

印刷カウンター		
トータル	43	
大サイズ	0	

スキャン/ファクスカウンター		
印刷	送取	
トータル	9	56
大サイズ	0	0

ファクス送信枚数		
ファクス送信枚数	0	
ファクス受信枚数	0	

用紙サイズ/種類カウンター		
用紙サイズ	用紙種類	カウント値
A3	指定なし	0
B4	指定なし	0
A4	指定なし	13
B5	指定なし	0
A5	指定なし	0
B6	指定なし	0
8 1/2" x 14"	指定なし	0
8 1/2" x 11"	指定なし	0
はがき	指定なし	0
不明	指定なし	0

ひとこと

管理者モードの詳細は「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

項目	説明
カウンター	本機で管理されているカウンターを確認できます。
ROMバージョン	ROMバージョンを確認できます。
インポート / エクスポート	本機の設定情報をファイルとして保存（エクスポート）またはファイルから本機に書き込み（インポート）できます。
状態通知設定	本機でエラーが発生した場合に登録者に通知する機能の設定を行います。エラーの通知先と通知する項目を設定できます。
トータルカウンター通知設定	トータルカウンターを E-mail で通知する設定と通知先のメールアドレスを登録します。
本体登録	装置の登録情報を変更します。
サポート情報	本機のサポート情報を設定します。この内容はユーザーモードの「情報表示」タブ「サポート情報」で表示されます。
日時設定	本機に表示される日時の設定を行います。
タイマー設定	本機のパワーセーブ、ウィークリータイマー機能の設定を行います。
初期化	ネットワーク設定、コントローラーのリセットや宛先の一括消去を行います。
外部メモリー機能設定	文書保存および文書印刷に外部メモリーを使用する設定を行います。
ヘッダー / フッター登録	ヘッダー / フッターの一覧が表示され、登録や編集ができます。
ライセンス管理設定	リクエストコードの発行を行います。ライセンスコードを取得し、機能を有効化することができます。ライセンス管理設定は、オプションのハードディスクが装着されている場合に表示されます。

ひとこと

外部メモリーから文書を印刷するには、オプションのハードディスクとイメージコントローラーを装着する必要があります。

11.4.2 セキュリティー



項目	説明
認証設定	本機のユーザー認証、部門管理の設定を行います。認証を行う場合は使用する外部サーバーの設定、初期機能制限の設定もできます。
ユーザー登録	ユーザー認証が設定されている場合に、ユーザーの登録や設定変更ができます。
部門登録	部門登録が設定されている場合に、部門の登録や設定変更ができます。
SSL/TLS 設定	SSL/TLS の設定を行います。SSL/TLS を有効にすると、本機とクライアントコンピューター間の通信を暗号化し、パスワードや通信内容の漏洩を防止します。
CA 証明書のインストール	CA 証明書をインストールします。
宛先参照許可設定	宛先参照許可を行う場合、参照許可グループの設定や、パブリックユーザーの参照設定を行います。
宛先登録変更許可	ユーザーによる宛先登録を許可するかどうかを設定します。
自動ログアウト	管理者モード、ユーザーモードの自動ログアウト時間を設定します。
管理者パスワード設定	管理者モードにログインするためのパスワードを設定します。

ひとこと

「管理者パスワード設定」は以下の場合は表示されません。

- ・SSL 証明書がインストールされていない
- ・セキュリティ強化モードが「ON」に設定されている

11.4.3 ボックス

管理者モードでログインしている場合は、ボックスを開くときのパスワード入力をせずに操作できます。

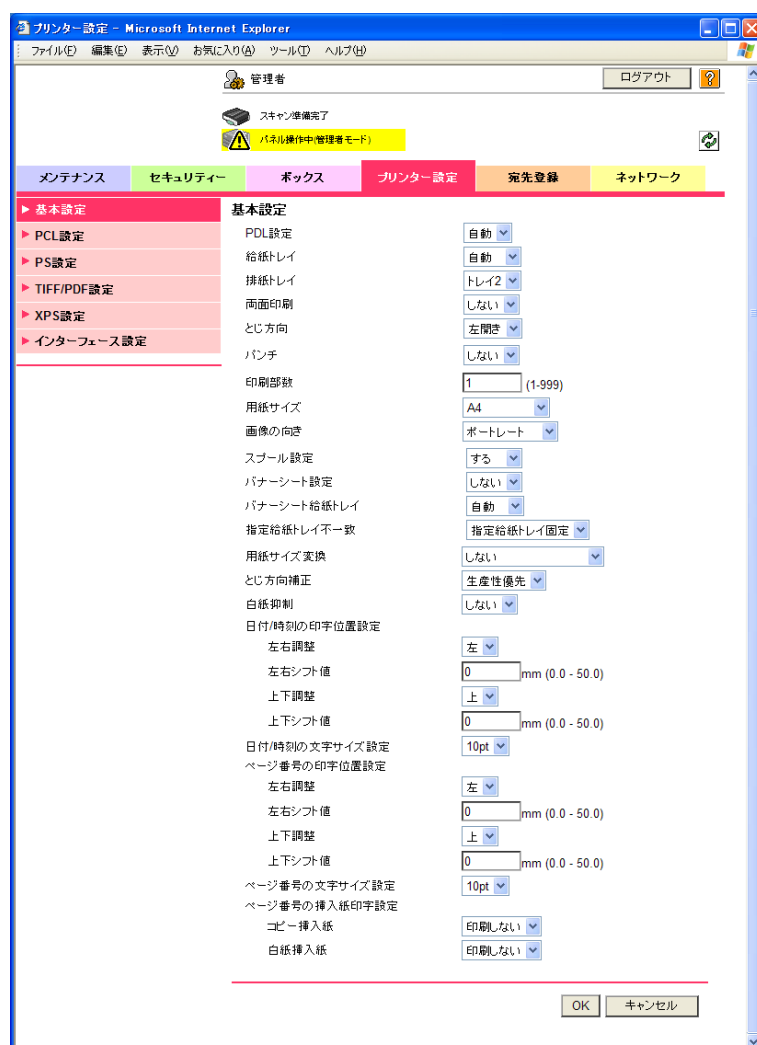


項目	説明
ボックスを開く	現在作成されているボックス（共有 / 個人 / グループ）を開き、保存されている文書进行操作したり、ボックスの設定を変更できます。
ボックスを作成する	新しくボックスを作成できます。
システムボックスを開く	システムボックス（掲示板ボックス / 中継ボックス / ファイリングナンバーボックス）を開き、保存されている文書进行操作したり、ボックスの設定を変更できます。
システムボックスを作成する	新しくファイリングナンバーボックス、掲示板ボックス、中継ボックスを作成できます。

ひとこと

掲示板ボックス、中継ボックスはオプションのFAX キットが装着されている場合に操作できます。ファイリングナンバーボックスは、オプションのハードディスクが装着されている場合に操作できます。

11.4.4 プリンター設定



ひとこと

プリンター設定は、オプションのイメージコントローラ IC-207 装着時に表示されます。

項目	説明
基本設定	プリンターの初期設定値を設定できます。
PCL 設定	PCL モードの初期設定値を設定できます。
PS 設定	PS モードの初期設定値を設定できます。
TIFF/PDF 設定	TIFF/PDF ダイレクトプリントに関する設定ができます。
XPS 設定	XPS プリントに関する設定ができます。 オプションのハードディスクを装着しているときに表示されます。
インターフェース設定	インターフェースのタイムアウト時間を設定できます。

11.4.5 宛先登録



項目	説明
短縮宛先	本機に登録されている短縮宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
グループ宛先	本機に登録されているグループ宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
プログラム宛先	本機に登録されているプログラム宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
一時プログラム	本機に登録されている一時プログラム宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
E-mail 件名	E-mail 送信時に利用する件名を 10 件まで登録できます。
E-mail 本文	E-mail 送信時に利用する本文を 10 件まで登録できます。
アプリケーション登録	RightFax Server など、外部サーバーに登録されたアプリケーションを使用するとき、アプリケーションの内容やサーバーアドレスなどを登録します。アプリケーションとサーバーを登録することで、選択したアプリケーションのサーバーへ自動的に接続して使用することができます。
Prefix/Suffix	メール送信時に、送信先の情報として付与する Prefix/Suffix を登録できます。
発信元 / ファクスの ID 登録	送信時の発信元情報を登録します。

ひとこと

「アプリケーション登録」は FAX キット装着時は表示されません。

11.4.6 ネットワーク

Microsoft Internet Explorer

管理者 ログアウト

スキャン/準備完了

パネル操作(管理モード)

メンテナンス セキュリティー ボックス プリンター設定 宛先登録 ネットワーク

▼ TCP/IP設定

▶ TCP/IP設定

▶ IPフィルタリング

▶ IPsec

▶ E-mail設定

▶ LDAP設定

▶ IPP設定

▶ FTP設定

▶ SNMP設定

▶ SMB設定

▶ Webサービス設定

▶ Bonjour設定

▶ NetWare設定

▶ AppleTalk設定

▶ ネットワークファクス設定

▶ WebDAV設定

▶ OpenAPI設定

▶ TCP Socket設定

▶ BMLinkS設定

▶ SSDP設定

▶ IEEE802.1X認証設定

TCP/IP設定

*項目は、リセット後に反映されます。

TCP/IP*

(設定変更時は本体の主電源を入れなおしてください。)

ネットワーク速度

IP確定方法*

☐ DHCP*

☐ BootP*

☒ ARP/PING*

☒ AutoIP*

IPアドレス

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

IPv6

IPv6自動設定*

IPv6リンクローカルアドレス

IPv6グローバルアドレス

IPv6グローバルアドレスプレフィックスレンジ

IPv6ゲートウェイアドレス

RAWポート番号

☒ ポート1 (1-65535)

☒ ポート2 (1-65535)

☒ ポート3 (1-65535)

☒ ポート4 (1-65535)

☒ ポート5 (1-65535)

☒ ポート6 (1-65535)

Dynamic DNS設定

ホスト名

DNSドメイン名設定

DNSドメイン名自動取得

DNSデフォルトドメイン名

DNS検索ドメイン名1

DNS検索ドメイン名2

DNS検索ドメイン名3

DNSサーバー設定

DNSサーバー自動取得

優先DNSサーバー

代替DNSサーバー1

代替DNSサーバー2

SLP設定

SLP

LPD設定

LPD

OK キャンセル

項目	説明
TCP/IP 設定	本機をネットワーク接続する場合の TCP/IP の設定ができます。
E-mail 設定	E-mail 送受信や I-Fax の拡張機能の設定ができます。
LDAP 設定	LDAP サーバーを使用するとき、サーバーの登録ができます。
IPP 設定	IPP 印刷の設定をします。 オプションのイメージコントローラ IC-207 を装着時に表示されます。
FTP 設定	本機を FTP クライアントまたはサーバーとして使用する ための設定ができます。
SNMP 設定	SNMP の設定ができます。

項目	説明
SMB 設定	SMB クライアント、WINS、SMB 印刷の設定ができます。
Web サービス設定	Web サービスによるスキャン、プリントに関する設定ができます。
Bonjour 設定	Bonjour の設定ができます。
NetWare 設定	NetWare の設定ができます。
AppleTalk 設定	AppleTalk の設定ができます。 オプションのイメージコントローラ IC-207 を装着時に表示されます。
ネットワークファックス設定	ダイレクト SMTP 送信 / ダイレクト SMTP 受信の設定ができます。
WebDAV 設定	WebDAV クライアント、WebDAV サーバーに関する設定ができます。
OpenAPI 設定	OpenAPI の設定ができます。
TCP Socket 設定	コンピューターのアプリケーションソフトと本機のデータ通信に使用される TCP Socket の設定ができます。
BMLinkS 設定	BMLinkS 機能の設定ができます。
SSDP 設定	SSDP 設定ができます。
IEEE802.1X 認証設定	IEEE802.1X 認証の設定ができます。



第 12 章

ファクス / スキャン機能で困ったとき

ここでは、ファクス / スキャンを使用しているときに起きる現象や対処方法について説明しています。ここに記載されていない現象が起きたときや、問題が解決しないときはサービス管理店にお問合わせください。

12.1	送信できない	12-2
12.2	受信できない	12-4
12.3	エラーメッセージが表示された	12-6
12.4	「サービスに連絡してください」と表示されたら（サービスコール）	12-10

12.1 送信できない

送信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に送信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。



- ・送信できなかった場合は、送信結果レポートが出力されます。詳しくは、「[送信結果レポート](#)」(p. 8-11) をご覧ください。(送信結果レポートをプリントするように設定している場合)
- ・エラーメッセージについては、「[エラーメッセージが表示された](#)」(p. 12-6) をご覧ください。
- ・原稿づまり、用紙づまり、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては「[ユーザーズガイド コピー機能編](#)」をご覧ください。

12.1.1 G3 ファクス

チェックポイント	処置
送信の手順は正しいですか？	送信手順を確認して、もう一度送信してください。
相手のファクス番号は正しいですか？短縮宛先やプログラム宛先は、正しく登録されていますか？	短縮宛先やプログラム宛先を使用している場合は、ファクス番号の登録に誤りがある場合があります。短縮宛先リストをプリントするなどして、正しく登録されているかを確認してください。誤りがある場合は修正してください。
電話回線の設定は正しいですか？	設定メニューの「ダイヤル方式」はお使いの電話回線に合っていますか？設定を確認して、誤りがある場合は修正してください。
電話線の接続は正しいですか？	電話線が外れていませんか？電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
受信側にトラブルはありませんか？	受信側のファクスの電源が切れている、用紙がないなどのトラブルはありませんか？受信側に電話をかけて確認してください。

12.1.2 インターネットファクス / SIP ファクス / IP アドレスファクス / ネットワークスキャン送信 (E-mail/SMB/FTP/WebDAV/Web サービス)

チェックポイント	処置
送信しようとしている電子メール容量がSMTPサーバー容量を超えていませんか？	SMTPサーバー容量が設定されている場合、設定されているサイズを超えると、エラーとなり送信できません。SMTPサーバー容量の設定については、「 ユーザーズガイド ネットワーク管理者編 」をご覧ください。
送信の手順は正しいですか？	送信手順を確認してもう一度送信してください。送信の手順については「 操作の流れ 」(p. 4-2) をご覧ください。
ネットワークの設定や接続は正しいですか？	ネットワークの設定や接続を確認してください。ネットワークの設定については「 ユーザーズガイド ネットワーク管理者編 」をご覧ください。
本機のメールアドレスは設定されていますか？	本機のE-mailアドレスを確認し、設定してください。E-mailアドレスの設定については「 ユーザーズガイド ネットワーク管理者編 」をご覧ください。また、SIP-FAXアダプターのIPアドレスと、SIP-FAXアダプターとの通信用ポート番号が正しいかどうか確認してください。
ケーブル類が正しく接続されていますか？	ネットワークケーブル、モジュラーケーブル、SIP-FAXアダプターなどの接続が正しいか確認してください。
相手のファクス番号やアドレスは正しいですか？短縮宛先やプログラム宛先は正しく登録されていますか？	短縮宛先やプログラム宛先を使用している場合は、ファクス番号の登録に誤りがある場合があります。短縮宛先リストをプリントするなどして、正しく登録されているか確認してください。
SIPファクスの番号は正しいですか？	SIPファクスの場合は、G3ファクスと宛先のファクス番号が違いますのでご注意ください。
SIP-FAXアダプターは正しく接続されていますか？	接続を確認してください。
受信側にトラブルはありませんか？	受信側のファクスの電源がOFFになっている、用紙がないなどのトラブルはありませんか？受信側に電話をかけるなどして確認してください。



詳しく説明します

送信結果画面や通信管理レポートの結果欄に「----」と表示されても、インターネット網の途中経路の問題により、受信側に電子メールが到着しない場合があります。送信結果画面や通信管理レポートに表示される「----」は、サーバーまで正常に送信できたことを示すものです。受信確認（MDN）を受信すると送信結果画面や通信管理レポートの結果欄に「OK」が表示されます。重要な内容を受信する場合は、G3 ファックスを使用してください。

12.2 受信できない

受信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に受信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。



- ・送信できなかった場合は、送信結果レポートが出力されます。詳しくは、「[送信結果レポート](#)」(p. 8-11) をご覧ください。(送信結果レポートをプリントするように設定している場合)
- ・エラーメッセージについては、「[エラーメッセージが表示された](#)」(p. 12-6) をご覧ください。
- ・原稿づまり、用紙づまり、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては「[ユーザーズガイド コピー機能編](#)」をご覧ください。

12.2.1 G3 ファクス

トラブルの内容	チェックポイント	処置
受信できない	用紙はセットされていますか？	用紙補給アイコンが点灯している場合は、用紙がなくなり、メモリーに受信原稿が蓄積されています。用紙を補給してください。用紙補給の操作については、「 ユーザーズガイド コピー機能編 」をご覧ください。
	紙がつまっていませんか？	紙づまりが発生している場合は、メモリーに受信原稿が蓄積されています。つまっている用紙を取り除いてください。紙づまりの処置については、「 ユーザーズガイド コピー機能編 」をご覧ください。
	トナーがなくなっていますか？	トナーがなくなると、受信できません。すぐにトナーカートリッジを交換してください。トナーカートリッジの交換操作については、「 ユーザーズガイド コピー機能編 」をご覧ください。
	手動受信に設定されていませんか？	設定メニューの「受信方式」が「手動受信」に設定されている場合は、受信の操作が必要です。「 手動受信（電話専用） 」(p. 5-4) を参照して受信の操作をしてください。
	電話線の接続は正しいですか？	電話線が外れていませんか？電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	「閉域受信設定」が有効になっていませんか？	「閉域受信設定」が有効になっている場合は、特定の相手からのファクスだけを受信します。管理者にお問い合わせください。
	送信側から F コードで正しくない SUB アドレスが送信されていませんか？	親展ボックスや中継ボックスが設定されている場合、正しくない SUB アドレスを受信すると、通信エラーが発生し、受信できない場合があります。送信側に SUB アドレスの設定を確認してください。
	ナンバーディスプレイ・ダイヤルインなどの設定が、接続している通信回線と合っていますか？	合っていないと受信できないことがあります。接続している通信回線については管理者に確認し、設定を合わせてください。
	ダイヤルインの着信番号は正しいですか？	ダイヤルインを利用している場合、FAX、電話、PC-FAX として着信させる番号は正しく設定されているか、確認してください。
	着信拒否に登録している番号から受信していませんか？	受信している番号が誤って着信拒否に登録されている場合は、受信できません。着信拒否の登録内容を確認してください。
	特殊な内線交換機を使用していませんか？	呼び出しベルの鳴り方が NTT の回線での鳴り方と違う内線交換機を使用している場合は、着信できないことがあります。「 着信回数設定 」(p. 10-18) を参照し、着信回数を 0 回に設定しなおしてください。

トラブルの内容	チェックポイント	処置
プリントされない	PC-FAX 受信が設定されていませんか？	PC-FAX 受信で保存されたボックスを確認してください。
	TSI 受信振分けが設定されていませんか？	TSI 受信振分けで保存されたボックスを確認してください。
	強制メモリー受信が設定されていませんか？	強制メモリー受信が設定されている場合は、次の手順で受信文書をプリントします。 1. 【ボックス】を押します。 2. [文書利用]を押します。 3. [システム]を押します。 4. [強制メモリー受信ボックス]を押し、[OK]を押します。 5. パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力して[OK]を押します。 6. プリントしたい文書を選択し、[印刷]を押します。 または、[強制メモリー受信設定]を[しない]に設定します。

12.2.2 インターネットファクス /SIP ファクス /IP アドレスファクス

トラブルの内容	チェックポイント	処置
受信できない	用紙はセットされていますか？	用紙補給アイコンが点灯している場合は、用紙がなくなり、メモリーに受信原稿が蓄積されています。用紙を補給してください。用紙補給の操作については、「ユーザズガイド コピー機能編」をごらんください。
	用紙がつかまっていませんか？	紙づまりが発生している場合は、メモリーに受信原稿が蓄積されています。つかまっている用紙を取り除いてください。紙づまりの処置については、「ユーザズガイド コピー機能編」をごらんください。
	トナーがなくなっていますか？	トナーがなくなると受信できません。すぐにトナーカートリッジを交換してください。トナーカートリッジの交換操作については、「ユーザズガイド コピー機能編」をごらんください。
	ネットワークケーブルの接続は正しいですか？	ネットワークケーブルの接続を確認し、外れている場合は接続してください。
	メモリー不足、ハードディスクの容量不足ではありませんか？	メモリー残量、ハードディスクの残量を確認してください。残量が不足しているときは、受信できない、または受信しても印刷できなくなります。
プリントされない	強制メモリー受信が設定されていませんか？	強制メモリー受信が設定されている場合は、次の手順で受信文書をプリントします。 1. 【ボックス】を押します。 2. [文書利用]を押します。 3. [システム]を押します。 4. [強制メモリー受信ボックス]を押し、[OK]を押します。 5. パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力して[OK]を押します。 6. プリントしたい文書を選択し、[印刷]を押します。 強制メモリー受信をしないよう設定を変更することもできます。詳しくは「 強制メモリー受信設定 」(p. 10-27)をごらんください。

12.3 エラーメッセージが表示された

本機にトラブルが発生するとエラー画面が表示され、次のエラーメッセージが表示されます。次の表を参照して処置をしてください。

処置をしても正常に通信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

12.3.1 G3 ファクス

エラーメッセージ	処置
ダイヤル中にエラーが発生したため、送信できませんでした	設定されている回数分のリダイヤルをしましたが、相手が話し中などで送信できませんでした。 受信側の状態を確認して、もう一度送信してください。
相手機を確認できませんでした	相手先確認送信を「する」にして送信したときに、相手機確認ができませんでした。 相手先のファクス番号を確認してもう一度送信してください。
メモリー残量不足のため、読み込みの継続ができません	原稿読み中に、メモリーが一杯になりました。 読み込みが終わった原稿を送信する場合は、【スタート】を、中止する場合は【ストップ】を押してください。
ジョブが正常終了しませんでした 回線の接続を確認してください	電話線が抜けている可能性があります。 電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
ネットワークに接続できませんでした	ネットワークに接続できませんでした。ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、管理者設定の「ネットワーク設定」が正しく行われているか確認してください。
同報可能件数オーバーのため、指定された通信方式の宛先は選択できません	同報可能件数をこえて宛先を指定しています。同報宛先の数減らし、数回に分けて指定してください。
HDD の容量オーバーのため、ボックスに画像を保存できませんでした。履歴を確認してください	HDD がいっぱいになりました。不要なデータを削除してから保存しなおしてください。
ボックスの登録数が上限値です	登録できるボックスの上限をこえています。不要なボックスがあれば削除してから登録しなおしてください。
ボックスに登録されているドキュメント数が上限値です	ひとつのボックスに登録できるドキュメントの上限をこえています。不要なドキュメントがあれば削除してから登録しなおしてください。
ジョブの登録が上限値です。登録中のジョブが終了するまでしばらくお待ちください	登録されているジョブの上限をこえています。終了するまで待つか、現在のジョブを削除してください。

12.3.2 HDD Ready 表示が HDD 異常の場合

- サービス管理店にお問い合わせください。

12.3.3 ネットワークファクスエラーコード表

ネットワークファクスを送受信時にトラブルが発生するとエラー画面が表示され、Nxx 形式のエラーコードが表示されます。以下の表を参照して処置をしてください。

■ 送信系エラーコード

コード	分類	エラー内容	リダイヤル有無	処置
N00	接続エラー	宛先エラー	無	・宛先に誤りがないか確認してください。 ・相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N01	相手ビジー	相手機ビジー	有	・相手機の状態を確認してください。 ・しばらく待ってからもう一度送信してください。
N02	サーバー	サーバーエラー	無	SIP サーバーが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。
N03	サーバー	グローバルエラー	無	・SIP サーバーが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。 ・相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N04	LAN 接続	接続タイムアウト	無	・宛先に誤りがないか確認してください。 ・ケーブル抜け等、ネットワーク異常が発生していないか確認してください。
N05	プロトコル	プロトコルエラー	無	本機または SIP-FAX アダプターの設定を確認してください。
N06	プロトコル	ステータスコードエラー	無	・SIP サーバーが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。 ・相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N10	接続エラー	相手機接続エラー	無	・相手機の状態を確認してください。 ・本機のネットワーク設定を確認してください。 ・ネットワークが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。 ・SIP サーバーの設定が正しいかを、ネットワーク管理者に確認してください。
N11	接続エラー	相手機接続拒否	無	受信が拒否されています。相手機の状態を確認してください。
N12	接続エラー	回線切断	有	ケーブル抜け等、ネットワーク異常が発生していないか確認してください。
N13	接続エラー	ネットワーク応答なし	無	・相手機の状態を確認してください。 ・本機のネットワーク設定を確認してください。 ・ネットワークが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。 ・SIP サーバーの設定が正しいかを、ネットワーク管理者に確認してください。
N14	プロトコルエラー	メール配信エラー	無	相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N15	プロトコルエラー	相手機接続リセット	有	相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N16	プロトコルエラー	自機ネットワークビジー	有	相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N17	プロトコルエラー	通信タイムアウト	無	相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。

コード	分類	エラー内容	リダイヤル有無	処置
N18	その他エラー	その他エラー	無	- 各設定が正しいかを確認してください。 - ケーブル抜け等、ネットワーク異常が発生していないか確認してください。 - 主電源を OFF/ON した後、もう一度送信してください。
N20	メモリーエラー	メモリーオーバーフロー	無	- メモリーがいっぱいです。 - 他の処理中のジョブがないことを確認してください。 - 送信枚数を減らしたり、読み込み解像度を下げて、もう一度送信してください。
N21	HDD エラー	HDD エラー	無	- HDD がいっぱいです。 - 不要なファイルを削除してください。 - 送信枚数を減らしたり、読み込み解像度を下げて、もう一度送信してください。
N22	変換エラー	変換エラー	無	主電源を OFF/ON した後、もう一度送信してください。
N25	メモリーオーバーフロー	メモリーオーバーフロー	無	- メモリーがいっぱいです。 - 他の処理中のジョブがないことを確認してください。 - 送信枚数を減らしたり、読み込み解像度を下げて、もう一度送信してください。
N30	シーケンスエラー	LAN 切断中に上位から送信起動要求が来た	無	- 送信ジョブを削除し、主電源を OFF/ON してください。 - 宛先に誤りがないか、ケーブル抜け等のネットワーク異常が発生していないかを確認し、もう一度送信してください。
N31	シーケンスエラー	SDK 初期化未完了で上位から送信起動要求が来た	無	しばらく待ってから、もう一度送信してください。
N32	シーケンスエラー	SDK 初期化未完了で上位から接続確認要求が来た	無	- SIP-FAX アダプターとの接続を確認してください。 - 本機や SIP-FAX アダプターの設定を確認し、しばらく待ってからもう一度送信してください。
N33	設定不良	アダプター設定不良	無	SIP-FAX アダプターとの接続や設定を確認してください。
N34	シーケンスエラー	切断応答待ち中に送信起動要求が来た	無	本機や SIP-FAX アダプターとの接続や設定を確認し、しばらくたってからもう一度送信してください。

■ 受信系エラーコード

コード	分類	エラー内容	処置
N50	SMTP 受信	SMTP 受信エラー	着信の呼接続後、60 分間 SMTP 受信が始まらない場合、本エラーとなります。送信側に再送を依頼してください。
N51	デコード	受信長オーバー	送信側に、送信原稿長を短くして再送するよう依頼してください。
N52	デコード	受信頁オーバー	送信側に、送信原稿枚数を少なくして再送するよう依頼してください。
N53	デコード	ファイル・エラー	送信側に、以下の正しいファイル形式で再送するよう依頼してください。 インターネットファクス：TIFF SIP ファクス / IP アドレスファクス：PDF または TIFF
N54	デコード	デコード・エラー	不正な形式のデータを受信しました。送信側に正しい形式での再送を依頼してください。

■ SIP-FAX アダプターの確認と再起動

N00 ～ N06 のエラーコードが頻発する場合は、SIP-FAX アダプター側にトラブルが発生している可能性があります。以下の点を確認し、必要な場合は手順にしたがって再起動を行ってください。

SIP-FAX アダプターについて、以下の点を確認します。

- ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？
- ハブなどを経由している場合は、使用中のポートの通信ランプは点滅していますか？
- SIP-FAX アダプターの LED 表示は正常ですか？
- SIP サーバーは利用可能な状態ですか？

確認しても、状況が改善されない場合は SIP-FAX アダプターを再起動してください。

1

SIP-FAX アダプターの電源を OFF にして、約 10 秒間待ちます。

2

SIP-FAX アダプターの電源を ON にして、約 1 分間待ちます。

3

本機の電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にします。

4

SIP-FAX アダプターとの接続確認を行います。詳しくは、「[SIP アダプター接続確認 \(SIP\)](#)」(p. 10-44) をご覧ください。

5

約 5 分待ってから、送信テストを行います。

12.4 「サービスに連絡してください」と表示されたら（サービスコール）

お客様では処置できないトラブルが起こったとき、「サービスに連絡してください」というメッセージが画面上に表示されます。（サービスコール画面）

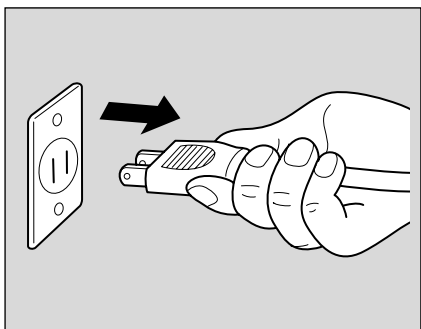
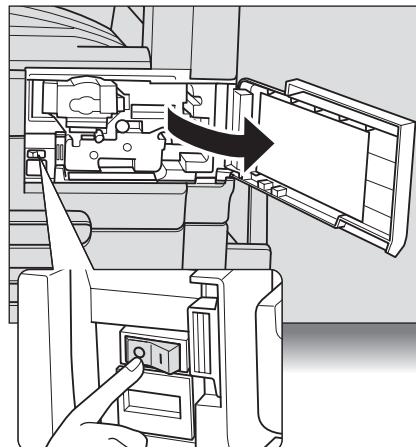
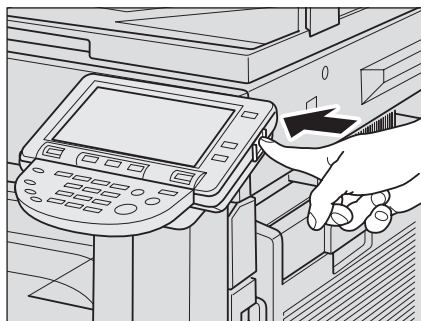
サービスコール画面中央には、通常、お客様のサービス実施店の電話番号とファクス番号が表示されます。ここでは、サービス実施店に電話でトラブルを知らせる手順を説明します。

TEL	0123456789
FAX	9876543210
トラブルコード	C- B003

⚠ 注意

思わぬ事故になる恐れがありますので、サービスコール画面が表示され通信できなくなった場合は、次の処置をしてください。

1. トラブルコード番号を書き留めます。
2. 【副電源スイッチ】、【主電源スイッチ】を OFF にします。
3. 電源プラグをコンセントから抜きます。
4. サービス実施店に連絡し、トラブルコード番号をお知らせください。





第 13 章

付録

ここでは、ファクス / スキャン機能の製品仕様や、入力文字の一覧などの情報を記載しています。

13.1	製品仕様	13-2
13.2	こんなときには	13-3
13.3	文字を入力するには	13-6
13.4	入力文字一覧	13-11
13.5	スキャン用語集	13-18
13.6	インターネットファクス用語集	13-23
13.7	ファクス用語集	13-24

13.1 製品仕様

13.1.1 スキャナー機能

項目	仕様
スキャン速度	70 枚 / 分 (200dpi、A4 時)
スキャン可能範囲	コピー機と同じ (最大 A3)
機能	E-mail 送信 ファイル送信 (FTP) ファイル送信 (SMB) ボックス保存 WebDAV Web サービス
スキャナー解像度	200/300/400/600dpi
読込可能な用紙サイズ	A3/A4 □/A4/A5/A5 □/B4/B5 □/B5/B6 □/8.5 × 11 □/ 8.5 × 11/5.5 × 8.5/5.5 × 8.5 □/8.5 × 14/11 × 17/ はがき
特殊機能	混載原稿、Z 折れ原稿、長尺原稿、両面と同じ方向、枠消し、ブック連写、原稿 セット方向、スタンプ/ページ印字

13.1.2 ファクス機能

項目	仕様
画像メモリー容量	1 GB (標準)
蓄積枚数	ハードディスク装着時：10000 枚 * ハードディスク非装着時：最大 3000 枚 (A4 サイズ 700 文字程度 of 原稿を、解像度「精細」で蓄積した場合)
適応回線	加入電話回線 (ファクス通信網を含む) PBX 回線
走査線密度	超高精細： 600 dpi × 600 dpi 高精細： 16 dot/mm × 15.4 line/mm、 400 dpi × 400 dpi 精細： 8 dot/mm × 7.7 line/mm、 200 dpi × 200 dpi 普通： 8 dot/mm × 3.85 line/mm 相手機の能力に応じて、上記のいずれかの走査線密度で通信されます。
伝送速度 (G3)	2400 / 4800 / 7200 / 9600 / 12000 / 14400 / 16800 / 19200 / 21600 / 24000 / 26400 / 28800 / 31200 / 33600 bps
最大読み取りサイズ	原稿ガラス：420 × 297 mm (A3 サイズ) ADF：297 mm × 1000 mm
最大記録サイズ	420 × 297 mm (A3 サイズ) 1000 mm を超える原稿は受信できません (受信解像度が 600dpi の場合は、 460mm を超える原稿は受信できません)。 セットされている用紙サイズより長い原稿を受信した場合は、ページ分割設定に したがってプリントされます。

* コピー、スキャン、プリンタ、ボックスの各機能とハードディスクを共通使用。

13.2 こんなときには

13.2.1 ファクス情報サービスを利用する

ファクス情報サービスを利用するときの基本的な操作を説明します。

1

ファクス / スキャン画面の【オフフック】を押し、ファクス情報サービスの電話番号を指定します。

サービスに接続するとアナウンスが聞こえます。

2

サービスの案内に従って、必要なサービスコードを指定します。

3

【受信】を押し、サービスの案内に従って【実行】または【スタート】を押します。

受信が開始されます。

○【スタート】を押した場合は、確認画面が表示されます。【はい】を押し、【OK】を押すと受信が開始されます。

詳しく説明します

- ・ 契約内容や詳しい操作方法については、ご利用になるファクス情報サービスの提供元にお問い合わせください。
- ・ 必要に応じ、回線モニター音レベルを調整しておきます。回線モニター音レベルは、0 ～ 31 の範囲で調整できます（工場出荷時は 16 に設定されています）。ファクス情報サービスの音声ガイダンスを聞き取りやすくするため、大きめに設定しておくことをお勧めします。

詳しく説明します

ダイヤル（パルス）回線をお使いの場合は、パルスをトーンに切り替える必要があります。サービスコードを入力する前に、【トーン】または【*】を押し、トーンを送出できる状態にしてください。

詳しく説明します

ADF、または原稿ガラスに原稿がセットされている場合は、着信しても【受信】は反転表示しません。この場合は、【受信】を押して反転表示させてください。

13.2.2 メモリーへの蓄積枚数について

本機にはオプションで 60 GB のハードディスクが用意されています。

オプションのハードディスクをインストールすると、ハードディスク中の 40 GB の領域に画像を保存することができます。

ハードディスクには、各機能（コピー、プリント、スキャン、ボックス、ファクス）から保存 / 受信した原稿を A4 判 700 文字程度の当社標準原稿を、10000 枚程度蓄積することができます（解像度「精細」で蓄積した場合）。

ハードディスクが装着されていない場合、画像メモリ容量は 32 MB で、蓄積枚数は約 3000 枚です。オプションのハードディスクについては、サービス管理店にお問い合わせください。

詳しく説明します

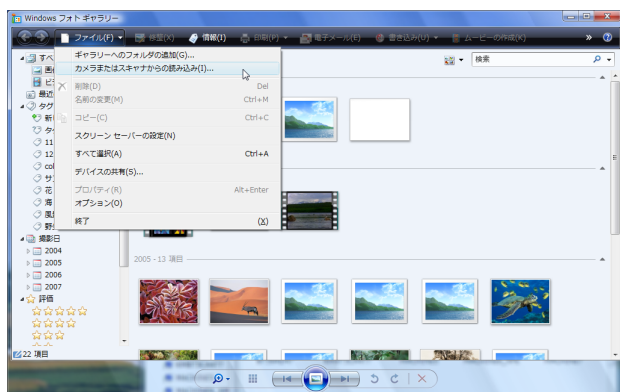
原稿の読み込み中に、メモリーがいっぱいになりオーバーフローすることがあります。この場合は、途中まで読み込んだ原稿を送信するか、もう一度最初から送信するかを選択することができます。

13.2.3 コンピューターからスキャンの指示をする (Web サービス)

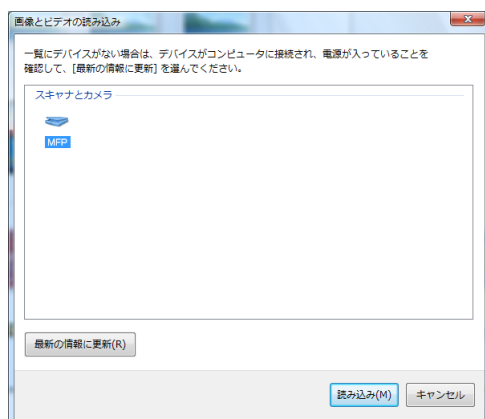
ネットワーク上のコンピューターに本機がインストールされていると、コンピューターからスキャンの指示を本機に行い、スキャンしたデータを受信できます。

ここでは、Windows フォトギャラリーからスキャンする手順を例に説明します。

- 1 スキャンを行うことのできるアプリケーションソフトを起動します。
- 2 [ファイル] メニューから [カメラまたはスキャナからの読み込み] を選択します。



- 3 [スキャナとカメラ] の一覧から本機を選択し、[読み込み] をクリックします。



[新しいスキャン] ウィンドウが起動します。

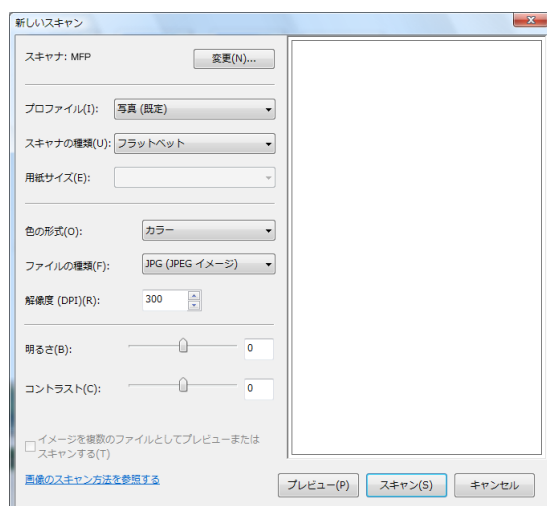
- 4 本機に原稿をセットします。



- ・ 事前に必要な設定については、[「Web サービスを使用する場合」\(p. 3-6\)](#) をご覧ください。
- ・ 本機からスキャンを指示して、データを保存することもできます。詳しい手順は[「直接入力 Web サービス」\(p. 4-27\)](#) をご覧ください。

5

スキヤンの内容を設定し、[スキヤン] をクリックします。



6

[これらの画像をマーク] に保存するファイル名を入力し、[読み込み] をクリックします。

スキヤンが行われ、画像の一覧にスキヤンしたデータが追加されます。

13.3 文字を入力するには

ユーザー登録や不定形紙の登録などで名前を入力するときに表示される、文字入力画面の操作について手順を説明します。数字を入力するときはテンキーから直接入力もできます。

文字入力画面には以下のような種類があります。

例

ユーザー名入力画面：



不定形紙名称変更画面：



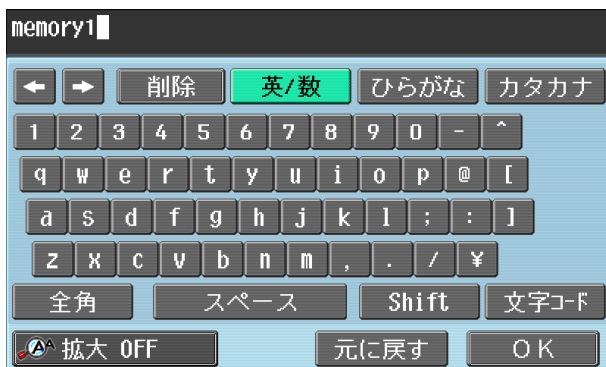
13.3.1 キーボードの拡大表示

キーボードを拡大して見やすく表示することができます。

1

キーボードの表示中に、[拡大 ON] を押します。

キーボードが拡大表示されます。



2

拡大表示中に [拡大 OFF] を押すと、拡大表示を解除して通常の表示に戻ります。

ひとこと

ユーザー名、プログラム名、ボックス名、グループ名、アドレス帳に「¥」や「～」を使用した場合、コンピューターから参照すると文字化けをおこすことがあります。

ひとこと

拡大表示した状態でも、キーボードの操作方法は同じです。

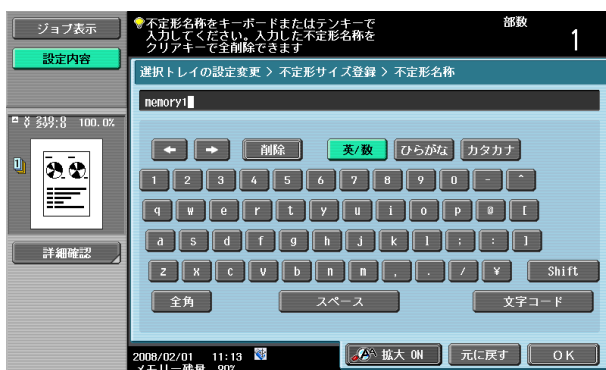
13.3.2 英数字を入力する



表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- 大文字、記号を入力する場合は、[Shift] を押します。
- 全角の英数字を入力する場合は[全角]を押します。
- 半角数字はテンキーからでも入力できます。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。



- ・入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- ・入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。

ひとこと

- ・[元に戻す] を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
- ・一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

13.3.3 ひらがなを入力する

1

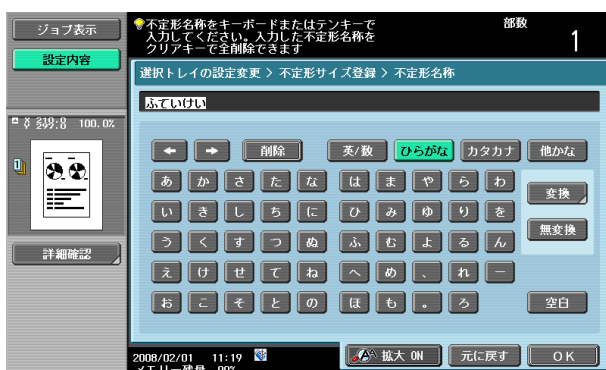
[ひらがな] を押します。

2

表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- 濁音（「がぎぐげご」など）や半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力する場合は、[他かな] を押します。

文字ボックスに入力した文字が反転表示されます。



3

[無変換] を押します。

文字ボックスに確定した文字が表示されます。



- ・入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- ・入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。

ひとこと

一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

ひとこと

[元に戻す] を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。

13.3.4 カタカナを入力する

1

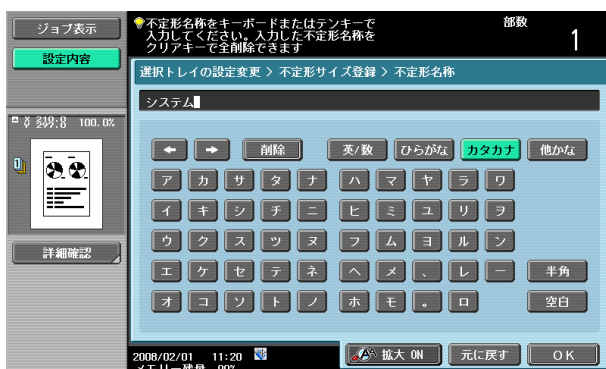
「カタカナ」を押します。

2

表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- 濁音（「ガギグゲゴ」など）や半濁音（「パピプペポ」）、拗音（「キャキュキョ」など）を入力する場合は、「他かな」を押します。
- 半角のカタカナを入力する場合は「半角」を押します。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。



詳しく説明します

- ・ 入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- ・ 入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。

ひとこと

- ・ [元に戻す] を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
- ・ 一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

13.3.5 漢字を入力する

1

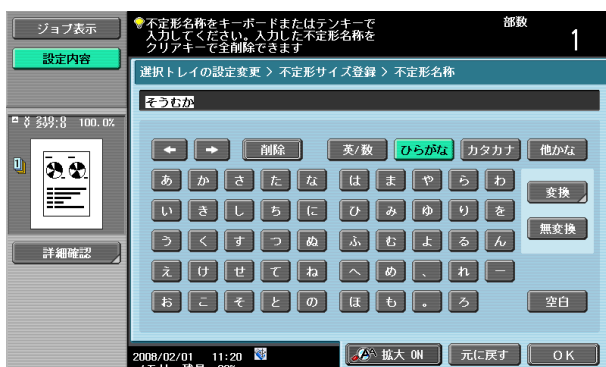
「ひらがな」を押します。

2

表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- 濁音（「がぎぐげご」など）や半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力する場合は、「他かな」を押します。

文字ボックスに入力した文字が反転表示されます。



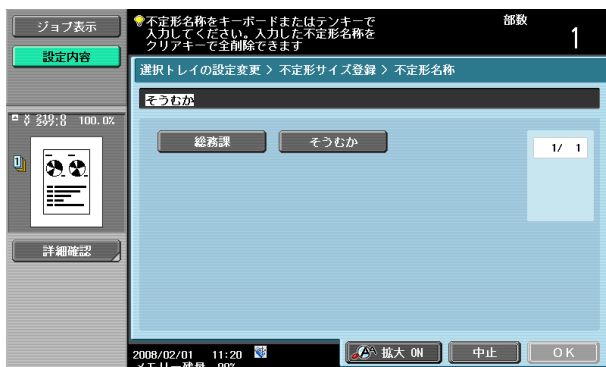
3

〔変換〕を押します。

変換候補選択画面が表示されます。

4

表示された候補の中から入力したい漢字のキーを押します。



5

〔OK〕を押します。

文字ボックスに確定した文字が表示されます。

詳しく説明します

- ・熟語単位で変換できます。
- ・入力した文字が、変換の対象になります。
- ・変換を中止するときは、〔中止〕を押します。

詳しく説明します

候補が 18 個以上ある場合に、〔↑〕または〔↓〕のキーが現れます。

- ・〔↑〕を押すと前候補が表示されます。
- ・〔↓〕を押すと次候補が表示されます。

詳しく説明します

- ・入力した文字や数字を修正する場合は、〔←〕、〔→〕で修正する文字にカーソルを合わせ、〔削除〕を押し、文字や数字を入力します。
- ・入力した文字を全て取消す場合は、〔C〕を押します。

ひとこと

- ・〔元に戻す〕を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
- ・一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

13.3.6 文字コードで入力する

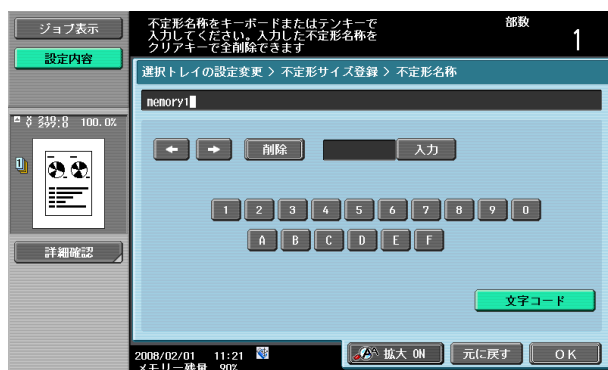
16進数（1～0、A～Fの組合わせ）の文字コードで、文字や記号を入力します。

1

「文字コード」を押します。

2

表示されているキーボードから、文字コードを入力し、「入力」を押します。



文字コードにしたがって、文字ボックスに文字が表示されます。

詳しく説明します

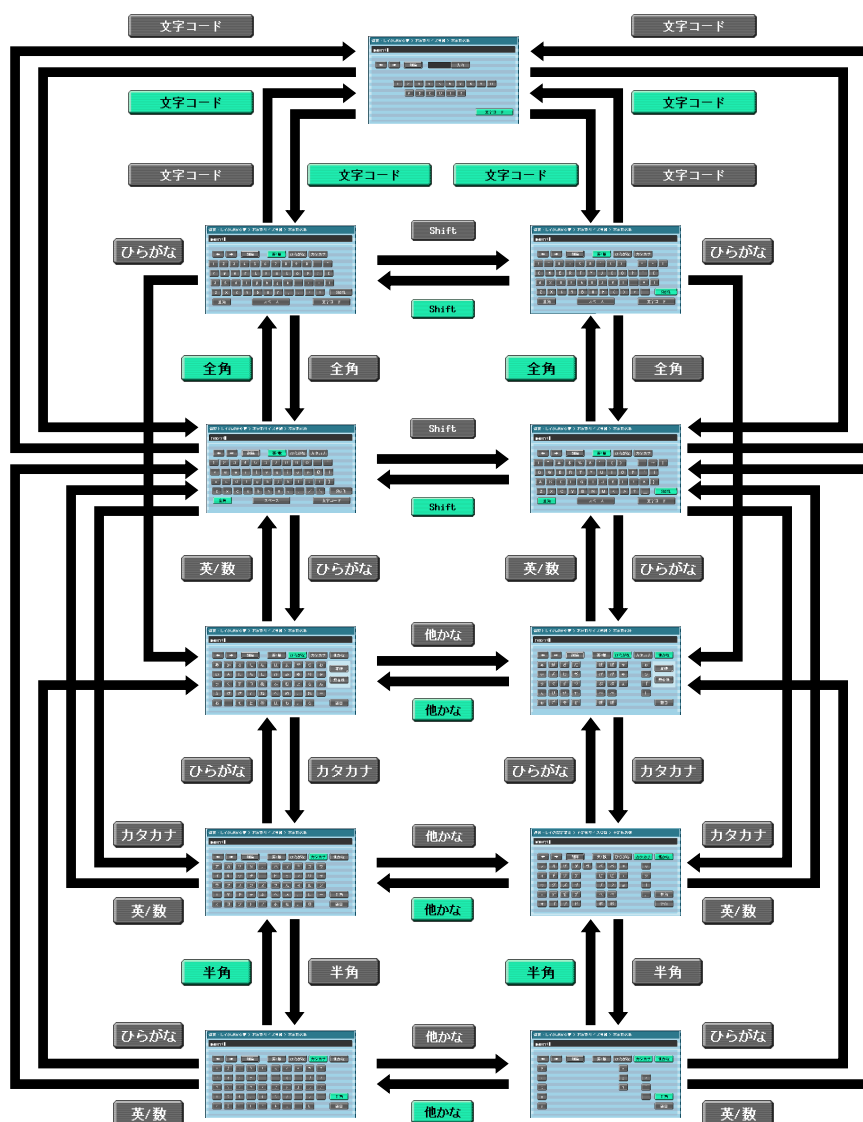
- ・本機の文字コードは Shift-JIS コードです。文字コードと文字の対応については、Shift-JIS コード表 (p. 13-12 ~) をご覧ください。
- ・入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- ・入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。
- ・設定する項目によって、使用できない文字コードがあります。

ひとこと

- ・[元に戻す] を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
- ・一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

13.4 入力文字一覧

入力画面



ひらがな	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみむめも やゆよりるれろわんがぎくげごさじずせそだちづでどばひぶべほ ばひぶべほ あいうえおやゆよわっ ー、。
カタカナ(全角)	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミム メモヤユヨラリルレロワランガギグゲゴザジズゼゾダヂツデバビブベボ バビブベボウ アイウエオヤユヨワツ ー、。
カタカナ(半角)	アイエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワ アイイオヤヨツ -°°
英数字／記号 (全角)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz ！"#\$%&'()*+,-./\ : ; <=>?@[] ^ _ ` { } ~ * 0123456789
英数字／記号	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz ！"#\$%&'()*+,-./\ : ; <=>?@[] ^ _ ` { } ~ * 0123456789

(一部入力できないものもあります)

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
82B0	げこさざしじすずせぜそそたち
82C0	ちつつてでとどなにぬねのはば
82D0	びびびふぶぶへべほほまみむめ
82E0	もやゆゆよよりるれろわわゐゑ
82F0	ん
8340	アアイウエエオカガキギクグ
8350	クゲコゴサザシジスズセソソタ
8360	チッツツツテトドナニヌノハバ
8370	パヒビピフブヘベホボボミ
8380	ムモマヤユヨヨラリルレロツ
8390	ヰヱヰヱヰヱ ヌ
83A0	Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ
83B0	Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω α
83C0	β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ
83D0	σ τ υ φ χ ψ ω
83E0	
83F0	
8440	А В Г Д Е Ё Ж З И Й К Л М Н О
8450	П Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю
8460	Я

	0123456789 ABCDEF
8690	
86A0	
86B0	
86C0	
86D0	
86E0	
86F0	
8740	
8750	
8760	
8780	
8790	
87A0	
87B0	
87C0	
87D0	
87E0	
87F0	
8840	
8850	
8860	
8870	
8880	
8890	

五

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
88A0	嘩娃阿哀愛挨始逢葵菴懣懣握握旭葦
88B0	芦蓼梓庄鈞扱宛姐蛇鮑綫鮎或粟裕
88C0	安庵按暗案闇鞍杏以伊位依偉困夷委
88D0	威尉惟意慰易椅為畏異移維緯胃萎衣
88E0	謂違遺医并亥域育郁磯一杏溢逸稻茨
88F0	芋鰐允印咽員因咽引飲淫胤蔭
8940	院陰隱韻吋右宇烏羽迂雨卯鵠窺丑碓
8950	臼渦墟唄蔚蔚鱧姥厥浦瓜閑罇云運雲
8960	茈餌齏嘗嬰影映曳采永泳洩瑛盈賴賴
8970	英衛詠銳液疫益駢悅謁越閱樓廡円
8980	園堰奄宴延怨掩援沿演炎焰煙燕猿緣
8990	艷苑園遠鉛篇塩於汚甥凹央央往応押
89A0	旺橫欧殴王翁嶺鸛鸛黃岡冲狄億屋億
89B0	臚桶牡乙掩卸恩溫穩蒼下化飯何伽伽
89C0	佳加可嘉夏嫁家寡科暇果架歌河火珂
89D0	禍禾稼箇花苛茄荷華嶼嶼譁嘩貨迦過
89E0	霞蚊俄峨我牙面臥芽蛾贅雅餓駕介会
89F0	解回塊壞迴快怪悔恢懷戒拐改
8A40	魁晦械海灰灰界皆給芥蟹閑陪貝凱効外
8A50	咳害崖慨慨涯碍蓋街該鎧骸淫贅蛙垣
8A60	柿斂鈎劇嚇各鄺鄺攬格核殼獲獲獲覺

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8A70	角赫較郭闊隔革学岳桑額額掛笠檉
8A80	檣梔鰲鰲割喝恰括活渴渴葛渴轄日鯉
8A90	叶杞樺鞣株兜毫蒲釜鎌啗鴨枯茅萱粥
8AA0	刈効瓦乾侃冠寒刊勸勸卷喚堪姦完官
8AB0	寬干幹患感憤憾換敢柑柜棺款歎汗漢
8AC0	澗淮環甘監看竿管簡緩迂翕肝騰莞觀
8AD0	諫賁還遙間閑閑閑陷轄館館丸含岸巖玩
8AE0	癌眼岩斷廣雁頑顏願企伎危喜器畢奇
8AF0	孺寄岐希幾忌揮机旗既期棋棄
8B40	機沸殺氣汽畿祈季稀紀微規記貫起軌
8B50	輝飢騎鬼龜偽儀妓宜戲技擬欺機疑祇
8B60	義蟻誼議擲菊鞠古吃喫枯橘詰詰杵黍
8B70	却客腳虐逆丘久仇休及吸宮弓急救
8B80	朽求汲汲灸球究窮及級糾糾旧牛去屠
8B90	巨拒拋拳渠虛許距鋸漁禦魚亨享京供
8BA0	俠僑兇競共凶協匡卿叫肴境峽強疆怯
8BB0	恐恭挾教馮況狂狹狹胸脅齊羞鄉鏡響
8BC0	囊驚仰凝堯曉業局曲極玉桐杆僅勤均
8BD0	巾錦斤欣歛琴禁离筋繁斤菌矜襟謹近
8BE0	金吟銀九俱句区狗玖矩苦軀駟駟駒具
8BF0	愚虞喰空偶寓遇隅串櫛削屑屈

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8C40	掘屈沓靴鬱窪熊隈桑栗繰桑繳勲君薰
8C50	訓群軍郡卦袞袞係傾刑兄啓圭珪型契
8C60	形徑患慶慧想揭携敬景桂溪畦稽系經
8C70	繼繫罪莖荊蚩計詣警輕頸鷄芸迎鯨
8C80	劇就擊激隙桁傑欠決潔穴結血訣月件
8C90	俟倦健兼券劓咄圈堅嫌建憲懸拳捲揆
8CA0	權牽犬猷研硯絹渠肩見謙賢軒遣鍵險
8CB0	顛驗驗元原嚴幻弦減源玄現絃絃言諺
8CC0	限乎個古呼固姑孤己庫孤戶故枯湖狐
8CD0	糊袴股胡孤虎誇踏鈞雇顧鼓五互伍午
8CE0	吳吾娛後御悟梧檣瑚暮語誤護餉乞鯉
8CF0	交佼侯候倖光公功効勾厚口向
8D40	后喉坑垢好孔孝宏工巧巷幸広庚康弘
8D50	恒慌抗拘控攻昂晃更杭校梗構江洪浩
8D60	港溝甲皇硬槁槁紅絃絃綱耕耆肱腔
8D70	膏航荒行衡講貢購郊鉞鉞鉞鋼閭降
8D80	頃香高鴻剛劫弓合壕拷濠豪轟趨克刻
8D90	告国穀酷鵠黑獄滌腰腰忽惚骨拍込込
8DA0	頃今困坤壘婚恨懇昏昆棍棍混痕紺艮

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8DB0	魂些佐又峻嶮左差查沙瑳砂詐鎖坐
8DC0	座挫債催再最哉妻妻宰彩才採裁歲濟
8DD0	災采屋碎些祭齋細菜裁裁際劑在材罪
8DE0	財牙坂阪堺榑肴咲崎崎崎驚作削咋搾
8DF0	昨朔欄窄策策錯校銑銑苞匙冊刷
8E40	察捌撮擦札殺薩雜韋鯖捌鎗鮫血晒三
8E50	傘參山慘撒散棧棧珊瑚產簞簞蚕誼誼酸
8E60	贅斬暫殘仕仔伺使刺司史嗣四士始姉
8E70	姿子屍市師志思指支攷斯施旨校止
8E80	死氏獅祉私糸紙紫肢脂至視詞詩試誌
8E90	詔資賜雌飼齒事似侍兒寺慈持時次
8EA0	滋治爾璽痔磁示而耳自蔣薛汐鹿式識
8EB0	鷗竺軸穴零七叱執失嫉至悉濕漆疾質
8EC0	実部篠僂柴芝屢蕊縞舍写射捨敎斜煮
8ED0	社紗者謝車遲蛇邪借勺尺杓灼酌枳
8EE0	錫若寂弱惹主取守手朱殊狩珠種腫趣
8EF0	酒首儒受呪寿授樹綴需囚収周
8F40	宗就州修愁拾洲秀秋終繕習臬丹菟衆
8F50	襲襲蹴輯遇酉醜集醜什住充十從戎柔

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8F60	汁洪獸縱重銃叔夙宿淑祝縮肅塾熟出
8F70	術述俊駿春瞬姿舜駿淮循句樞殉淳
8F80	準潤盾純巡漣醇順処初所暑曙渚庶緒
8F90	署書著蓍諸助叙女序徐恕鋤除傷償勝
8FA0	匠升召哨商唱嘗獎娵娵宵將小少尚庄
8FB0	床廠彰承抄招掌捷昇昌昭崑松梢樟樵
8FC0	沼消涉湘燒焦照症省硝確祥称章笑粧
8FD0	紹尚嘗蔣蕉衝裳訟証詔詳象賞醬鉦鍾
8FE0	鍾鐃鞘上丈丞乘冗刺城場壤娘常情擾
8FF0	条杖淨狀暈撰蒸讓錠錠囑囑飾
9040	拭植殖燭織職色蝕食蝕辱尻伸信侵唇
9050	娠寢審心慎振新晉森榛浸深申疹真神
9060	秦紳臣芯薪親診身辛進針震人仁刃塵
9070	壬尋晷辰腎訊迅陣鞞苛譴須訃凶厨
9080	逗吹垂帥推水炊睡粹翠袁遂酌錐鍾隨
9090	瑞髓崇膏敷枢趨難据杉柑菅頤峯裾澄
90A0	摺寸世瀨畝是凄制勢姓征性成政整星
90B0	晴棲栖正清性生盛精聖声製西誠誓請
90C0	逝醒青靜齊稅脆焦席借戚斥昔析石積
90D0	籍績脊責赤跡蹟碩切拙接撰折設劓劓
90E0	說雪絕舌蟬仙先千占專專尖川戰弱撰

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
90F0	栓柗泉浅洗染潜煎燭旋穿箭線
9140	纖羨腺舛舛船齏註賤踐選選錢銑閃鮮前
9150	善漸然全禪繕膳嚙嚙塑咀措曾曾楚狙
9160	疏疎礎祖粗粗素組蘇訴阻遜鼠儼創双
9170	叢倉喪壯奏爽宋屠匪惣惣搜掃掃搔
9180	操早曹巢槍槽漕漕爭瘦相恣槽綜綜聰
9190	草莊蒼蒼藻裝走送遭鎗鎗像憎憎臟
91A0	蔵贈造促側則則息捉束測測定速俗厲賊
91B0	族統統袖具擱存孫尊損村遜他多太汰
91C0	訖唾墮妥僂打舵舵僂陀駝駝堆堆对耐
91D0	岱帶待怠態戴替泰滯胎腿苔袋貸退逮
91E0	隊黛鯛代台大第醍題鷹淹淹卓啄宅托
91F0	挾拓沃濯琢託鐸濁諾萑萑銷只
9240	叩但達達奪駭龔龔豎迦棚谷狸鱗鱗誰丹
9250	半嘆坦担探旦歎淡湛炭炭端端綻綻耽胆
9260	蛋誕鍛回墮彈斷暖檀段男談談知地弛
9270	恥智池痴稚置致鋤遲馳馳築畜竹筑畜
9280	逐株壑茶嬌着中仲田忠拙拙柱注虫衷
9290	註耐鑄駐樗樗猪著著貯丁兆涸涸寵帖
92A0	帳厅帛張彫微慙挑朝朝潮燥眈眈聽脹
92B0	腸蝶調諫超跳跳長頂鳥動抄直朕沈珍

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
92C0	賃鎮陳津墜椎椎迫鎚痛通塚相捆機佃
92D0	漬柘辻蕪綴鏗樗樗坪壺壺絀八吊釣鶴
92E0	亭低停偵剝貞呈堤定帝底庭廷弟悌抵
92F0	挺提梯汀碇禎程絳艇訂諦蹄通
9340	鄧鄭釘鼎泥摘擢敵滴的笛適鐫溺哲徹
9350	撤徹迭鉄典填天展店添繕甜貼軋軋点
9360	佗般般田電兎吐堵塗妬屠徒斗杜渡登
9370	免賂途都鑑砥砺努度土奴怒倒党冬
9380	凍刀唐塔塘套宕宕島嶋悼投搭東桃榜棟
9390	盜淘湯燙灯燈当痘禱等答箇糖統到董
93A0	鴻蕩討膳豆踏逃透鐙陶頭騰鬪鬪動同
93B0	堂導懂擢洞瞳董胸荀道銅峠鴉鴉得德
93C0	洩特髻禿禿毒獨詆禱禱像凸突楸屈窩舌
93D0	寅酉潯嶮屯倅敦沌豚遁頓吞墨鈍奈那
93E0	内乍厠雍謎灘捺錫櫛錫繩繩南楠軟難
93F0	汝二尼式迹勾脈肉虹廿日乳入
9440	如尿菲任妊忍認濡襦祢寧惹猫熟年念
9450	撓撓燃粘乃迺之莖囊惱濃納能腦膿農
9460	覗蛭巴把播霸杷波派琶破婆芭芭馬俳
9470	庖排排敗杯盃牌背肺輩配倍培媒梅
9480	樑煤猥猥壳壳陪陪這蠅秤矧矧剥剥博拍

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9490	柏泊白箔粕舶薄迫曝曝爆縛縛莫駭麦函
94A0	箱谿谿筆筆櫛幅肌畑晶八鉢洩洩醜髮
94B0	伐罰拔伐閱鳩鳩嗚鳩蛤隼伴判半反叛帆
94C0	搬斑板汜汎版犯班畔繁般藩販範範煩
94D0	頒飯挽挽晚番盤盤蕃番匪匪卑妃庇彼悲
94E0	扉批披斐斐必疲疲碑秘秘罷罷肥肥誹費
94F0	避非飛馱馱備備尾微批毘毘眉美
9540	鼻柸稗匹疋毳彥彥麥肘溺必畢畢逼檜
9550	姬媛紐百繆繆彪標冰漂瓢票表評豹廟
9560	描病秒苗錫錫蒜蛭鱗品彬斌浜瀕貧實
9570	頻敏瓶不付埠夫婦當當富布府佈扶敷
9580	芹菩浮父符腐腐芙譜負賦赴阜附侮撫
9590	武舞葡葡部封楓楓葦葦落伏副復幅服福
95A0	腹複覆淵弗弘拂仏物鮪分吻噴噴墳份
95B0	焚奮粉糞紛雰文聞丙併兵嵬幣平弊柄
95C0	並蔽閉陞米貢僻壁癖碧別營蔑蔑偏妾
95D0	片篇編辺返遍便勉婉弁鞭保鋪鋪圃捕
95E0	步甫補輔穗募募募戍畧母簿菩倣倣包
95F0	呆報奉宝峰峯崩抱抱擇放方朋
9640	法泡烹咆縫胞芳萌蓬蜂衰訪豐邦鋒飽
9650	鳳鵬乏亡傍剖坊妨帽忘忙房暴望某棒

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9660	冒紡肪膨謀貿貿鉞防伏類北僕卜墨撲
9670	朴牧睦穆鉤勃沒殆堀幌奔本翻凡盆
9680	摩磨魔麻埋妹昧枚每哩模幕膜枕鮪枉
9690	鱗樹亦僕又抹沫沫迄尽繭磨万慢滿漫
96A0	曼昧未魅已質岬密蜜湊湊稔脈妙耗民
96B0	眠務夢無牟矛霧鷄棕嬌娘冥名命明盟
96C0	迷銘鳴姪牝滅免綿綿緬面麵摸模茂妄
96D0	孟毛猛盲網耗蒙儲木默目至勿餅尤戾
96E0	粉糞悶悶紋門刃也冶夜爺耶野弥矢厄
96F0	役約葉訊躍靖柳藝鏽偷愈油癒
9740	諭輸唯佑優勇友有幽悠憂損有柚湧涌
9750	猶猷由祐裕誘遊邑郵雄融夕予余与營
9760	輿預傭幼妖容庸揚搖擁穉楊樣洋溶熔
9770	用葉羊耀葉蓉蓉詔踊遙陽蕘慾抑欲
9780	沃沃翌翌淀羅裸裸來萊賴雷洛洛酪酪
9790	乱卵嵐欄濫藍蘭覽利吏厘李梨理璃痢
97A0	裏裡里離陸律率立律掠略劉流溜琉留
97B0	疏粒隆竜龍侶慮旅虜了亮僚兩凌寮料
97C0	梁梁琳療療療權權良諒還量嶠嶺力綠倫
97D0	厘林淋淋琳臨輪麟麟璫璫璽璽累類令
97E0	伶例冷勵頤伶玲玲苓鈴鈴零靈麗齡曆

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
97F0	歷列劣烈裂廉戀憐漣煉煉練聯
9840	連連鍊呂魯櫓炉路露勞婁廊弄朗樓
9850	榔浪漏牢狼輦老聾蜃郎六麓祿肋錄論
9860	倭和話歪賄脇惑粹驚互巨驚託藁藁槐
9870	灣碗腕
9880	
9890	式
98A0	丐丕个丕、井ノ又乖乘亂」豫爭舒式
98B0	于亞亟一亢京毫量从仍仄仆仍仗仍仍
98C0	仟价伉伉估佛佻佻佻佻佻佻佻佻佻
98D0	侑佻來侑僂僂俟俟俟俟俟俟俟俟俟
98E0	僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂
98F0	會僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂
9940	僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂
9950	僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂
9960	僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂
9970	僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂
9980	鳳口口口口口口口口口口口口口口口
9990	劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓
99A0	劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓劓
99B0	勿勿勿勿勿勿勿勿勿勿勿勿勿勿勿

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
99C0	卅卅卅卅卅卅卅卅卅卅卅卅卅卅卅卅
99D0	廠廠參參雙雙雙雙叮叮叭叭叭叭叭叭
99E0	叭叭叭叭叭叭叭叭叭叭叭叭叭叭叭叭
99F0	叭叭叭叭叭叭叭叭叭叭叭叭叭叭叭叭
9A40	咫咫咫咫咫咫咫咫咫咫咫咫咫咫咫
9A50	咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄
9A60	咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄
9A70	咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄
9A80	咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄咄
9A90	囹囹囹囹囹囹囹囹囹囹囹囹囹囹囹
9AA0	囹囹囹囹囹囹囹囹囹囹囹囹囹囹囹
9AB0	垚垚垚垚垚垚垚垚垚垚垚垚垚垚垚垚
9AC0	垚垚垚垚垚垚垚垚垚垚垚垚垚垚垚垚
9AD0	壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘
9AE0	壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘壘
9AF0	奘奘奘奘奘奘奘奘奘奘奘奘奘奘奘奘
9B40	姘姘姘姘姘姘姘姘姘姘姘姘姘姘姘姘
9B50	娜娜娜娜娜娜娜娜娜娜娜娜娜娜娜
9B60	媽媽媽媽媽媽媽媽媽媽媽媽媽媽媽
9B70	嬖嬖嬖嬖嬖嬖嬖嬖嬖嬖嬖嬖嬖嬖嬖嬖
9B80	它它宸宸冠冠冠冠寢寢寢寢寢寢寢寢

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9B90	寢寢寢寢寢寢寢寢寢寢寢寢寢寢寢寢
9BA0	屏屏屏屏屏屏屏屏屏屏屏屏屏屏屏
9BB0	岼岼岼岼岼岼岼岼岼岼岼岼岼岼岼岼
9BC0	崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑崑
9BD0	嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢
9BE0	厖厖厖厖厖厖厖厖厖厖厖厖厖厖厖厖
9BF0	幣幣幣幣幣幣幣幣幣幣幣幣幣幣幣
9C40	廖廖廖廖廖廖廖廖廖廖廖廖廖廖廖
9C50	弃弃弃弃弃弃弃弃弃弃弃弃弃弃弃
9C60	冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢冢
9C70	俳俳俳俳俳俳俳俳俳俳俳俳俳俳俳
9C80	估估估估估估估估估估估估估估估
9C90	協協協協協協協協協協協協協協協
9CA0	倭倭倭倭倭倭倭倭倭倭倭倭倭倭倭倭
9CB0	慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍
9CC0	慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍
9CD0	慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍慍
9CE0	憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫憫
9CF0	懺懺懺懺懺懺懺懺懺懺懺懺懺懺懺懺
9D40	曼曼曼曼曼曼曼曼曼曼曼曼曼曼曼
9D50	抉抉抉抉抉抉抉抉抉抉抉抉抉抉抉

[illegible]

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9EF0	槩櫟槿槿槿槿槿櫟槿櫟槿櫟
9F40	檣櫟槿櫟檣檣檣櫟櫟檣櫟檣
9F50	藥櫟櫟櫟櫟櫟櫟櫟櫟櫟櫟櫟櫟
9F60	欵欵欵欵歸夕殳殳殳殳殳殳殳
9F70	殳殳殳殳殳殳殳殳殳殳殳殳殳
9F80	麼氍氍氍氍氍氍氣氣汕汕汴汴汴汴
9F90	汴汴汴汴汴汴汴汴汴汴汴汴汴汴汴
9FA0	汴汴汴汴汴汴汴汴汴汴汴汴汴汴汴
9FB0	涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓
9FC0	涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓
9FD0	涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓
9FE0	涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓
9FF0	涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓
E040	淒涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓
E050	涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓
E060	涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓
E070	涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓涓
E080	焰焔焔焔焔焔焔焔焔焔焔焔焔
E090	焔焔焔焔焔焔焔焔焔焔焔焔焔焔
E0A0	焔焔焔焔焔焔焔焔焔焔焔焔焔焔
E0B0	牴犂犂犂犂犂犂犂犂犂犂犂犂犂犂犂

[illegible]

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
E290	娑婁婁笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E2A0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E2B0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E2C0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E2D0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E2E0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E2F0	笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄笄
E340	綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦
E350	綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦
E360	綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦
E370	綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦
E380	綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦
E390	綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦
E3A0	綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦
E3B0	綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦
E3C0	綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦
E3D0	綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦
E3E0	綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦
E3F0	綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦綦
E440	腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓
E450	腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓腓

[illegible]

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
E990	體騰體體綽彤髻髻髻髻髻髻髻髻髻髻髻髻髻髻髻
EA9A	鬆臺髻髻髻髻髻髻髻髻髻髻髻髻髻髻髻髻髻髻髻
E9B0	魏翹翹翹魔筋鮎鮎鮎鮎鮎鮎鮎鮎鮎鮎鮎鮎鮎鮎
E9C0	鯊鮎鮎鮎鮎鮎鮎鮎鮎鮎鮎鮎鮎鮎鮎鮎鮎鮎鮎鮎
E9D0	鯀鯀鯀鯀鮎鮎鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀
E9E0	鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀鯀
E9F0	鴛鴦鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛
EA40	鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛
EA50	鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛鴛
EA60	鸛鸛鸛鸛鸛鸛鸛鸛鸛鸛鸛鸛鸛鸛鸛鸛鸛鸛鸛鸛鸛
EA70	麤麤麤麤麤麤麤麤麤麤麤麤麤麤麤麤麤麤
EA80	微麤麤帶微麤匪麤麤波髮半饒軒齊齒
EA90	齒齒齒齒齒齒齒齒齒齒齒齒齒齒齒齒齒齒齒齒
EEA0	槓瑤瑤瑤熙
EB00	
EAC0	
EAD0	
EAE0	
EAFO	
EB40	
EB50	

13.5 スキャン用語集

	用語	説明
アルファベット	10BASE-T/ 100BASE-TX/ 1000BASE-T	Ethernet の規格における仕様の一種。銅でできた線材を 2 本ずつより合わせたケーブルを使っている。通信速度は 10Base-T が 10Mbps、100Base-TX が 100Mbps、1000Base-T は 1000Mbps である。
	Active Directory	Microsoft が提供するネットワーク上に存在するサーバー、クライアント、プリンターなどのハードウェア資源や、それらを使用するユーザーの属性、アクセス権などの情報を一元管理することができるサービスのこと。
	Adobe® Flash®	Adobe Systems 社（旧 Macromedia 社）の開発した、ベクターグラフィックのアニメーションや音声を組み合わせたコンテンツを作成するソフト、またはそのファイル形式。キーボードやマウスからの入力により、双方向性を持たせたコンテンツを扱える。ファイル容量を比較的小さく抑えることができ、ウェブブラウザに専用のプラグインを導入して閲覧できる。
	anonymous FTP	通常は、アカウントとパスワードによって保護される FTP サイトを、アカウント名に anonymous（匿名）と入力することでパスワードが不要になり、誰でも利用できるようになる FTP サイトのこと。
	APOP	Authenticated Post Office Protocol の略。通常の POP が電子メールの受信に使われるパスワードを暗号化しないのに対して、パスワードを暗号化することで安全性が向上した認証方法のこと。
	AppleTalk	Apple 社が開発したネットワーク機能を実現するプロトコル群の総称。
	Auto IP	自動で IP アドレスを取得する機能。DHCP による IP アドレス取得に失敗した場合、「169.254.0.0」のアドレス空間から任意の IP アドレスを取得する。
	bit	Binary Digit の略。コンピューターやプリンターなどが扱う情報（データ量）の最小単位。0 か 1 かでデータを表す。
	BMLinkS	Business Machine Linkage Service の略。社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMA) が策定した統合的なネットワーク OA 機器インターフェースのこと。
	BMP	Bitmap の略。画像データを保存するファイル形式の 1 つ（拡張子は .bmp）。Windows 上で一般的に使用されている。白黒（2 値）の画像からフルカラー（1677 万 7216 色）までの色数を指定できる。基本的には圧縮せずに画像を保存する。
	Bonjour	ネットワーク上に接続しているデバイスを自動的に検出し、設定を行う、Macintosh のネットワーク技術。以前は Rendezvous と呼ばれていたが、Mac OS X v10.4 から Bonjour と名称変更された。
	Byte	コンピューターやプリンターなどが扱う情報（データ量）の単位。1Byte=8bit で構成される。
	CSV	Comma Separated Values の略。データベースソフトや表計算ソフトのデータをテキストファイルとして保存する形式の 1 つ（拡張子は .csv）。データをカンマ（区切り符号）で仕切ることで、異なるアプリケーション間でのデータの共有を図ることができる。
	Default Gateway	同一 LAN 上に存在しないコンピューターへアクセスする際に使用する「出入り口」の代表となるコンピューターやルータなどの機器のこと。
	DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバーからネットワークに関する設定を自動的に読みこむプロトコル。DHCP サーバーで DHCP クライアント用に IP アドレスを一括管理するだけで、アドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。
	DNS	Domain Name System の略。ネットワーク環境において、ホスト名から対応する IP アドレスを取得できるようにするシステムのこと。これによりユーザーは、憶えにくく、分かりにくい IP アドレスではなく、ホストの名前を指定してネットワーク上の他のコンピューターにアクセスできるようになる。
	DPI (dpi)	Dots Per Inch の略。プリンターやスキャナーなどで使われる解像度の単位。1 インチを何個の点の集まりとして表現するかを表す。この値が高いほど、より精細な表現が可能となる。
	Dynamic 認証 (LDAP 設定)	MFP から LDAP サーバーに接続する際の、認証方法オプションのひとつ。宛先情報を LDAP サーバーから参照するとき、LDAP サーバーへのログイン名とパスワードをユーザーに毎回入力させたい場合、このオプションを選択する。

	用語	説明
	FTP	File Transfer Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルのこと。
	GSS-SPNEGO/ Simple/Digest MD5	LDAP サーバーへのログオン時の認証形式。LDAP サーバーは使用するサーバーやサーバーの設定により認証形式が異なり、GSS-SPNEGO/Simple/Digest MD5 という認証形式がある。
	HTTP	HyperText Transfer Protocol の略。Web サーバーとクライアント (Web ブラウザーなど) がデータを送受信するのに使われるプロトコル。文書に関連付けられている画像、音声、動画などのファイルを、表現形式などの情報を含めてやり取りできる。
	IEEE802.1X	有線 LAN や無線 LAN で、ネットワークにアクセスする端末を認証するための規格。 IEEE802.1X に対応した LAN スイッチは、接続されたパソコンを認証し、正しい利用者であることを確認してから LAN への接続を許可する。
	ICM	Image Color Management の略。Windows で使用されているカラーマネジメントシステムのこと。ディスプレイ・スキャナー・プリンターなどの入出力デバイスによる色の違いを調節し、どのデバイスでも同じ色に近づけるよう再現する。
	IMAP	Internet Message Access Protocol の略。サーバー上のメールボックスの管理機能を持つ電子メール受信用のプロトコルのこと。現在は IMAP のバージョン 4 である IMAP4 が主に使われている。
	IPP	Internet Printing Protocol の略。インターネットなどの TCP/IP ネットワークを通じて、印刷データの送受信や印刷機器の制御を行なうプロトコルのこと。インターネットを通じて遠隔地のプリンターにデータを送って印刷することもできる。
	IPsec	TCP/IP で使用されているセキュリティ技術の名称。送信するパケットの暗号化や認証に関するプロトコルを決めることによって、セキュリティを強化したサービス提供が可能となる。
	IPv6	Internet Protocol version 6 の略。 インターネットを使用する機器の増加に伴い、現在使用されている IPv4 に代わるものとして準備が進められてきたプロトコルの名称。IP アドレスの 128 ビット化、セキュリティ機能の追加などが追加されている。
	IPX	NetWare で利用されるプロトコルのひとつ。OSI 参照モデルのネットワーク層で動作する。
	IP アドレス	インターネット上で個々のネットワーク機器を識別する符号 (アドレス)。192.168.1.10 のように最大 3 桁の数字 4 つで表される。コンピューターを始めとしてインターネットに接続した機器には、全て IP アドレスが割り振られる。
	Java	Sun Microsystems 社が開発したプログラミング言語。ハードウェアや OS に依存せずに動作する。ただし、Java アプリケーションを動作させるためには、Java Virtual Machine (Java VM) と呼ばれる動作環境が必要である。
	Kerberos	Windows2000 以降で使用されているネットワーク認証システムのひとつ。Active Directory の認証に使用される。ネットワーク内に信頼できるサイトを配置し、このサイトでユーザーのログオンと各種ネットワーク・リソース利用という 2 段階のフェーズで認証を行うことにより、ユーザーを安全かつ効率的に認証することができる。
	LAN	Local Area Network の略。同一フロア、同一のビルないしは近隣のビル内などにあるコンピューター同士を接続したネットワークのこと。
	LPD	Line Printer Daemon の略。TCP/IP 上で動作する、プラットフォームに依存しない印刷プロトコル。もともと BSD UNIX 用に開発されたが、一般のコンピューターでも使用されるようになり、今では標準的な印刷プロトコルとなっている。
	LPR/LPD	Line Printer Request/Line Printer Daemon の略。WindowsNT 系、UNIX 系におけるネットワーク経由印刷の 1 種。TCP/IP を使って、Windows、UNIX からの印刷データをネットワーク上にあるプリンターに出力させることができる。

	用語	説明
	LDAP	Lightweight Directory Access Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークで、ネットワークを利用するユーザーのメールアドレスや、環境に関する情報を管理できるデータベースにアクセスするためのプロトコルのこと。
	MAC Address	Media Access Control address の略。各 Ethernet カード固有の ID 番号で、これを元にカード間のデータの送受信が行われる。48 ビットの数字で表現されており、前半の 24 ビットは IEEE が管理・割り当てをしている各メーカーごとに固有な番号で、後半の 24 ビットはメーカーが一意にカードに割り当てる番号である。
	MH	Modified Huffman の略。ファクス用のデータ圧縮符号方式の 1 つ。文字を中心とした原稿の場合、10 分の 1 程度に圧縮される。
	MIB	Management Information Base の略。TCP/IP 通信において、SNMP を用いて収集されるネットワーク機器の管理情報フォーマットを定義したもの。メーカー独自のプライベート MIB と、標準化されたスタンダード MIB の 2 種がある。
	MMR	Modified Modified Read の略。ファクス用のデータ圧縮符号方式の 1 つ。文字を中心とした原稿の場合、20 分の 1 程度に圧縮される。
	NetBEUI	NetBIOS Extended User Interface の略。IBM 社が開発したネットワークプロトコル。コンピューター名を設定するだけで、小規模なネットワークを構築できる。
	NetWare	ノベル社が開発したネットワーク OS。通信プロトコルに NetWare IPX/SPX を使用している。
	NTLM	NT LAN Manager の略。Windows NT 以降で共通して使用されるユーザー認証方式。MD4 または MD5 という暗号方法でパスワードを暗号化する。
	NTP	Network Time Protocol の略。コンピューターの内部時計を、ネットワークを介して正しく調整するプロトコルのこと。階層構造を持ち、最上位のサーバーが GPS 等を利用して正しい時刻を得、下位のホストはそれを参照する事で時刻を合わせる。
	OCR	Optical Character Reader の略。手書き文字や印字された文字を光学的に読み取り、前もって記憶されたパターンとの照合によって文字を特定し、文字データに変換する装置またはソフトウェアのこと。
	OS (オーエス)	Operating System の略。コンピューターのシステムを管理する基本ソフトウェア。Windows/MacOS/Unix もその中の 1 つ。
	PASV	PASsiVe の略。ファイアウォール内部から FTP サーバーに接続するモード。このモードに設定していないとファイアウォールが不正アクセスと見なし、接続を遮断してしまうため、ファイル転送をすることができなくなる。
	PDF	Portable Document Format の略。電子形式書類の 1 つ (拡張子は .pdf)。PostScript をベースとしたフォーマットで、Adobe Acrobat Reader という無料ソフトを使用して閲覧できる。
	POP	Post Office Protocol の略。メールサーバーから電子メール受信を行うためのプロトコルのこと。現在は POP のバージョン 3 である POP3 が主に使われている。
	POP Before SMTP	電子メールを送信する際の、ユーザー認証方法のひとつ。まず受信動作を行い、POP サーバーにてユーザー認証を行う。その後、POP サーバーにユーザー認証を通過した IP アドレスに対して、SMTP サーバーの利用を許可する。メールサーバーの利用権のない第三者が、不正にメールを送信するのを防ぐ。
	Proxy Server	Internet との接続において、各クライアントの代わりに外部との接続窓口となり、組織全体で効率的にセキュリティを確保するために設置されるサーバーのこと。
	Raw ポート番号	Windows 等の TCP 印刷で Raw プロトコルを選択した場合に使う TCP ポート番号のこと。通常の番号は 9100。
	Samba	SMB (Server Message Block) を利用して、UNIX システムの資源を Windows 環境から利用できるようにする、UNIX のサーバーソフトウェア。
	realm (IPP 設定)	セキュリティ機能を実現するための領域。ユーザー名とパスワードなどの認証情報を組織化し、領域内のセキュリティ原則を定義する。

	用語	説明
	referral 設定 (LDAP 設定)	宛先を検索した LDAP サーバーに該当するデータが無かった場合、次にどの LDAP サーバーを検索するべきか、LDAP サーバーが指示を行う。この指示された LDAP サーバーを、MFP が検索するかどうかの設定。
	SLP	Service Location Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のサービスや、クライアントの自動検索を行う。
	S/MIME	Secure/Multipurpose Internet Mail Extensions の略。 MIME (E-mail の操作) に暗号化や電子署名などの機能を追加するプロトコル。 暗号化には、暗号化と復号化で異なる鍵を使う公開鍵方式が利用されている。
	SMB	Server Message Block の略。主に Windows 間でネットワークを通じてファイル共有やプリンター共有を実現するプロトコルのこと。
	SMTP	Simple Mail Transfer Protocol の略。電子メールを送信／転送するためのプロトコルのこと。
	SNMP	Simple Network Management Protocol の略。TCP/IP を使ったネットワーク環境での管理プロトコルのこと。
	SSDP	Simple Service Discovery Protocol の略。 ネットワーク上の UPnP デバイスを検出するためのプロトコルのこと。
	SSL/TLS	Secure Socket Layer/Transport Layer Security の略。Web サーバーとブラウザ間で安全にデータ通信するための暗号化方式のこと。
	TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。インターネットにて使用されている事実上標準的なプロトコルのこと。個々のネットワーク機器を識別するために、IP アドレスを使用する。
	TCP Socket	TCP/IP において利用するネットワーク用 API のことを指す。このソケットを使って通信路を開いて、通常のファイル入出力を行う。
	TIFF	Tagged Image File Format の略。画像データを保存するファイル形式の 1 つ (拡張子は .tif)。データの型を表す「タグ」によって、1 つの画像データの中にさまざまな種類の画像形式の情報を保存できる。
	TWAIN	スキャナーやデジタルカメラなどの画像入力機器と、グラフィックソフトなどのアプリケーションとの間のインターフェースに関する規格のこと。 TWAIN 対応機器を使用するためには、TWAIN ドライバが必要である。
	USB	Universal Serial Bus の略。コンピューターとマウスやプリンター等を接続するための汎用インターフェース規格のこと。
	WINS	Windows Internet Name Service の略。Windows 環境で、コンピューター名と IP アドレス変換を行うネームサーバーを呼び出すためのサービス。
	Zone	AppleTalk ネットワークに付ける名前。AppleTalk ネットワーク上の複数の機器をグループ分けするために使用する。
あ行	アンインストール	インストールされているソフトウェアを削除すること。
	イーサネット (Ethernet)	LAN の伝送路に関する規格のこと。
	インストール	ハードウェア、OS、アプリケーション、プリンタードライバー等を、コンピューターのシステムに組み込むこと。
	ウェブブラウザ	Web ページを閲覧するためのソフトウェアのこと。Internet Explorer や、Netscape Navigator などがある。

	用語	説明
か行	画素	画像を構成する最小単位のこと。
	解像度	画像や印刷物の細部を、どれだけ正確に再現できるかを表したものの。
	階調	画像の濃淡の段階のこと。数が大きいほど、滑らかな濃度変化を再現できる。
	拡張子	ファイルの保存形式を見分けるために、ファイル名につけられる文字列のこと。ピリオドに続けて表記される。「.bmp」や「.jpg」など。
	クライアント	ネットワークを介して、サーバーが提供するサービスを利用する側のコンピュータのこと。
	グレースケール	黒から白への階調情報を使用して表現したモノクロ画像の表現形式のこと。
	ゲートウェイ	ネットワークとネットワークを接続するポイントとなるハードウェアやソフトウェアのこと。単に接続するだけでなく、接続先のネットワークに合わせて、データのフォーマット、アドレス、プロトコルなどを変換する。
	コントラスト	画像の明るい部分と暗い部分の差（明暗の差）のこと。明暗の差が少ない画像を「コントラストが低い画像」、明暗の差が大きい画像を「コントラストが高い画像」という。
さ行	サブネットマスク	TCP/IP ネットワークをいくつかの小さなネットワーク（サブネット）に区切るために用いる値。IP アドレスの上位何ビットがネットワークアドレスであるかを識別するために使用する。
	サムネイル	画像ファイルや文書ファイルの内容（ファイルを開いたときのイメージ）を小さく表示する機能のこと。
	シングルページ TIFF	1つのファイルが1ページだけのTIFFファイルのこと。
	線数	画像を形成する網点が、どれだけ密度で使われるかを示した数のこと。
	走査（scan）	スキャナーの読み取り動作で、一列に並んだイメージセンサを少しずつ移動させながら画像を読み取っていくこと。イメージセンサを移動させる方向を主走査方向といい、イメージセンサが一列に並んでいる方向を副走査方向という。
た行	デフォルト	初期設定値のこと。電源ボタンをオンにしたときに、あらかじめ選択されている設定。または、ある機能をオンにしたときにあらかじめ選択されている設定。
	ドライバ	コンピュータと周辺機器の橋渡しをするソフトウェアのこと。
な行	濃度	画像の濃さを表す量のこと。
は行	ハードディスク	データを保存するための大容量記憶装置。電源を OFF しても、データが保持される。
	ハーフトーン	画像の各部分の濃淡を、黒または白の点の大小で表現する方法のこと。
	ピア・ツー・ピア	専用のサーバーを使うことなく、接続された機器同士が、相互に通信可能なネットワーク形態のこと。
	ピクセル	画素のこと。画像を構成する最小単位。
	プリンタードライバ	コンピュータとプリンターの橋渡しをするソフトウェアのこと。
	プレビュー	印刷／スキャン処理前に、あらかじめ処理後のイメージを表示する機能のこと。
	プロトコル	コンピュータが他のコンピュータや周辺機器と互いに通信するための規約のこと。
	プロパティ	属性情報のこと。プリンタードライバを使用する際は、プロパティから様々な機能の設定を行う事ができる。またファイルのプロパティでは、そのファイルの属性情報を確認する事ができる。
	ホスト名	ネットワーク上の機器を表す名前のこと。
	ポート番号	ネットワーク上のコンピュータ内で動いている複数の処理のそれぞれの通信口を識別する番号のこと。同一のポートを複数の処理で使用することはできない。
ま行	メモリー	データを一時保存するための記憶装置のこと。電源を OFF した時にデータが消去されるものと、消去されないものがある。

13.6 インターネットファクス用語集

インターネットファクス通信で一般に使われる用語について説明します。

	用語	説明
アルファベット	DSN	DSN =Delivery Status Notifications の略。受信側のメールサーバーに電子メールが到着した時に送信側に送られる配送状態通知メッセージのことです。
	MDN	MDN=Message Disposition Notifications の略。 送信側が開封確認を要求している場合に送られる開封確認メッセージのことです。
	POP3	Post Office Protocol - Version 3 の略。 電子メールの送受信で、一般的に使われている通信プロトコル（通信の約束ごと）のひとつです。メールボックスの認証、電子メールのダウンロードや一覧情報の確認、電子メールの削除などの機能を持ちます。
	SMTP	Simple Mail Transfer Protocol の略。 電子メールの送受信で、一般的に使われている通信プロトコル（通信の約束ごと）のひとつです。
あ行	インターネットファクス	イントラネット（企業内ネットワーク）やインターネットを經由し、読込んだ原稿をインターネットファクスやコンピューターとのあいだで電子メールの添付文書（TIFF 形式）として送受信する通信形態のことです。

13.7 ファクス用語集

ファクス通信で一般に使われる用語について説明します。

本機で搭載されていない機能の用語についても説明されている場合があります。

	用語	説明
アルファベット	bps	bit per second の略です。 データ伝送の単位で、1 秒間に送るデータ量を表します。
	ECM	(Error Correction Mode: 誤り訂正方式) G3 通信の誤り再送方式です。相手に正しくデータが送られたかどうかを確認し、正しく送られていない場合はそのデータを再送しながら通信します。相手側が ECM モードをもっていれば、本機では ECM オフを指定しない限り、ECM で通信されます。
	F コード	ITU-T (国際電気通信連合) で標準化された T.30 * のサブアドレスの使い方について、CIAJ (情報通信ネットワーク産業協会) が定めた通信手順のことです。F コード機能をもつファクス間の通信では、メーカーが異なる場合も、F コードを使用したいろいろな機能を利用することができます。本機では、掲示板、中継依頼、親展通信、パスワード送信で F コードを使っています。(* 通信の規格のことです)
	G3	ITU-T (国際電気通信連合) が標準化したファクスの通信モードのひとつです。通信モードには、G3、G4 があります。G3 は、現在最も多く使われているモードです。
	LDAP	Lightweight Directory Access Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークで、ネットワークを利用するユーザーのメールアドレスや、環境に関する情報を管理できるデータベースにアクセスするためのプロトコルのこと。
	PB	プッシュ回線のことです。
	PC-FAX	紙を使用せずに、コンピューターから直接ファクス送信できる機能のことです。
	Super G3 (SG3)	ITU-T V.34 に準拠した G3 通信のモードです。通常の G3 通信より高速 (最高 33,600bps) で通信することができます。
	TSI	Transmitting Subscriber Identification の略で、送信 (発信) ファクス端末の ID のことです。
	V34	スーパー G3 のファクス通信時に使われる通信方式のことです。相手機又は自社機が内線交換機経由で回線に接続されているなどの場合、回線の状況によっては、スーパー G3 モードで通信できない場合があります。このような場合は、V34 OFF を選択することによって、スーパー G3 モードをオフにして送信することをおすすめします。
	Z 折れ原稿	折り目がついているために原稿サイズを正しく検知できない原稿の場合に、いったん原稿サイズを確定してから原稿を読み込み送信する機能のことです。この機能は、原稿を ADF で読み込む場合にだけ使用できます。
あ行	宛先確認送信	送信時に、指定したファクス番号と相手機のファクス番号情報 (CSI) を比較して、一致した場合のみ送信する機能のことです。不一致の場合は通信エラーとなるため、誤送信を防止することができます。
	宛先レベル	情報のセキュリティのため、特定の宛先情報を特定の人だけに閲覧できるように設定する機能のことです。ユーザー認証と連動して使用し、設定したユーザーレベルと一致した宛先レベルの情報だけを閲覧できます。
か行	海外通信	国外の相手と通信をすることです。海外通信モードに設定すると、ゆっくりとしたスピードで通信します。国内でも、通信状態の悪いところへ通信するときは、海外通信モードに設定しておく、確実に通信することができます。
	解像度	原稿を読み取る細かさのことです。解像度の数値が大きいほど、画質は細くなり、送信にかかる時間 (電送時間) が長くなります。必要に応じた解像度を選択してください。
	加入回線	日本電信電話株式会社 (NTT) グループが提供している公衆電話回線のことです。
	強制メモリー受信	受信した文書をメモリーに蓄積し、必要に応じてプリントする機能のことです。

	用語	説明
	グループ	複数の短縮番号をグループ化しておくことです。同じ宛先に同報や順次ポーリング受信をすることが多い場合に便利です。
	掲示板	閲覧したい文書を掲示したり、ポーリング送信したい文書を蓄積しておく機能のことです。
	原稿のとじしろ	ADF を使って両面原稿を送信する場合に原稿のとじ位置を設定する機能です。両面原稿のとじ位置には、原稿の上側（または下側）にとじ位置がある上下とじと、原稿の左（または右側）にとじ位置がある左右とじがあり、原稿の裏面の上下関係が異なります。
	混載原稿	サイズの異なる原稿をセットし、それぞれの原稿サイズを検知して送信する機能のことです。
さ行	再送信	メモリーに保存されている送信できなかった文書を選択して、送信できなかった宛先か、または宛先を変更してもう一度送信する機能のことです。
	下地調整	原稿の背景色の濃さを調整して送信する機能のことです。
	主走査	原稿を読み取るときの横方向のことです。
	初期値	工場出荷時に、あらかじめ設定されている値のことをいいます。初期値のいくつかは、設定メニューで変更することができます。お使いの状況に合わせ、よく使う値を初期値に設定しておくくと便利です。
	親展通信	特定の人にだけ見せたい原稿を送受信する機能です。親展送信した原稿は、受信側の親展ボックスに蓄積され、受信時には印刷されません。親展ボックスの暗証番号を入力するなどの操作をすると、受信した文書が印刷されます。
	手動送信	相手側の状態を確認しながら送信する場合の操作です。
	送信予約	送信中やプリント中に、次の送信を予約する機能のことです。
た行	ダイアルイン	ファクス用の電話番号と、電話用の電話番号を別にもつことができる機能のことです。 ダイアルイン機能を使用するためには、NTT にダイアルイン機能（モデムダイアルイン）の申し込みが必要です。
	ダイアル方式	PB（プッシュ式回線）、10PPS（ダイアル式回線 / 10PPS）、20PPS（ダイアル式回線 / 20PPS）の 3 種類があります。
	代行転送	操作パネルの設定確認ボタンを使い、出力待ちの受信原稿を手動で転送する機能のことです。代行転送は、ファクス / スキャン画面が表示されているとき、紙なし、または紙つまりで動作が中断しているときに設定します。
	タイマー通信	指定した時刻に通信する機能のことです。深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。
	短縮宛先	頻繁に送信する宛先のファクス番号を登録しておく機能のひとつです。短縮宛先を登録するときに、宛先名と検索文字を登録しておく、短縮選択の検索文字を利用して宛先を指定することもできます。
	着信	ファクスに電話がかかってきた状態をさします。
	着信拒否宛先	着信拒否したい相手の電話番号をあらかじめ登録し、迷惑ファクスを受信しないようにする機能のことです。登録されている電話番号と着信電話番号が一致した場合、[着信拒否] とメッセージを表示し受信されません。
	中継配信局	中継指示局からの中継依頼を受けて、中継配信先に送信するファクスのことです。
	中継指示局	中継同報の指示をするファクスのことです。
	中継同報	他のファクス（中継配信局と呼びます）を経由して、同報送信をする機能のことです。同報先が遠隔地に複数ある場合、同報先のひとつを中継局に設定し、中継局から同報送信をすることで、全体の通信料金を削減することができます。
	長尺原稿	A3 サイズ（420 mm）より長い、長尺サイズ of 原稿を送信する機能のことです。長い原稿を送信したい場合は、長尺原稿を指定することにより送信することができます。
	電送時間	ファクスを送る時間のことです。解像度が高く、用紙サイズが大きいほど、電送時間が長くなります。
	伝送速度	ファクスではモデムの伝送速度のことをいいます。 本機では、33,600bps などの高速な伝送速度で通信できます。海外通信モードに設定しておく、7200bps や 4800bps のノイズに強い伝送速度で通信します。

	用語	説明
	同報	ひとつの原稿を1回の操作で複数の相手に送信することです。
は行	パスワード送信	パスワードをつけて送信する機能のことです。相手機が閉域受信を設定している場合、送信側からは閉域受信パスワードと同じパスワードを送る必要があります。
	発信	電話をかけることをさします。ファクスでは、原稿を送信したり、ポーリングをするためにダイヤルすることです。
	発信元名	漢字、英数カナで表す自局の名称のことです。受信側で、送信原稿の先端に発信元印字の一部として記録されます。
	発信元記録	ファクス送信をしたときに、受信側の記録紙の先端に印刷される、送信日時、名前、電話番号、ページ番号などのことです。
	ファクス ID	ファクス通信をするときに、お互いを確認するための識別コードのことです。通常は、ファクスの電話番号を登録します。
	副走査	原稿を読み取るときの縦方向のことです。
	ブック連写	本やカタログなどをファクス送信する場合に、表力バー、裏力バー、左右のページが分割され、それぞれ1ページとして送信できる機能のことです。
	プログラム宛先	頻繁に送受信する宛先のファクス番号や、定型で使う送信の操作手順などを登録しておく機能のことです。プログラムキーを押すだけで、宛先を指定したり、自動的に機能を設定して通信することができます。
	閉域受信	パスワードが一致する相手機からの通信のみを受け付ける機能のことです。
	ポーズ	間隔をあけてダイヤルすることです。本機ではポーズを1回押すと、1秒の間隔をあけることができます。
	ポーリング	相手側にセットされているか、またはメモリーに蓄積されている原稿を、受信側からの操作で送信させる機能です。
ま行	メモリー	データをいったん蓄積しておく場所です。通信の指示をするときや、代行文書を蓄積するときに使われます。
	メモリーオーバーフロー	読込んだ原稿や代行文書を蓄積しているときに、ファクス画像メモリーが一杯になった状態をいいます。
	メモリー送信	原稿を読み取り、メモリーに蓄積してからファクス送信を始める方法のことです。メモリー送信を使用すると、発信元記録のページ数に自動的に総ページ数が付けられ、送信結果レポートに送信文書の1ページ目の画像が記載されます。ただし、原稿のページ数が多い場合や、原稿の画質が細密なために情報量が多い場合はメモリーオーバーすることがあります。
	メモリー代行受信	用紙切れなどで、受信文書をプリントできない状態のとき、自動的に受信文書をメモリーに蓄積する機能です。用紙補給などの処置をすると、代行蓄積文書が印刷されます。
や行	読み込み	原稿を光学的に走査して、画像データに変換して取り込むことです。
	読み込みサイズ	原稿を読み込むサイズを指定して送信する機能のことです。受信側の用紙幅が送信原稿より小さい場合、通常は縮小して記録されます。縮小したくない場合に、原稿サイズを受信側の用紙サイズに指定すると、原寸で送信することができます。
ら行	リダイヤル	相手機が、話中のときなどに、時間をあけて再びダイヤルすることです。手動でリダイヤルする方法と、自動的にリダイヤルされる自動リダイヤルがあります。
	リモート受信	外部電話からリモート受信番号を使って受信の指示をする機能のことです。
わ行	枠消し	ADFを開いたまま原稿を読み取ったり、冊子になっている原稿を読み込むときに、上下左右に写る黒い影を消して送信する機能のことです。



第 14 章

索引

14.1 使用別索引	14-2
14.2 項目別索引	14-4

■ G

G3 ファクス

PBX 回線の接続方法を設定する	10-31
PC-FAX を受信する	7-3
TSI 受信振分けを行う	7-4
オンフックを使う	4-29
外部電話機から電話する	6-2
外部電話機で電話を受ける	6-3
外部電話機を付けて手動受信する	5-4
外部電話機を付けて電話とファクスを自動的に切替える	5-3
過去の送信履歴から宛先を選択する	4-27
強制メモリー受信する	7-2
掲示板からポーリング受信をする	7-9
掲示板にポーリング送信をする	7-9
受信時の縮小率について調べる	5-9
親展通信を行う	7-5
スタンプ設定をファクス送信時に解除するかどうかを設定する	10-12
送受信時のファイルの扱いやプリント方法について設定する（送信 / 受信設定）	10-21
増設回線の設定をする	10-36
増設回線を使う	7-10
着信拒否宛先を登録する	9-32
中継配信を行う	7-6
ナンバーディスプレイなどの機能を使用するかどうかを設定する（機能 ON/OFF 設定）	10-25
発信元 / 受信情報の印字位置を設定する	10-15
発信元 / ファクス ID を登録する	10-14
発信や回線に関する項目を設定する（回線パラメーター設定）	10-17
パワーセーブ移行条件を設定する	10-11
ファクス情報サービスを利用する	13-3
ファクス専用機として使う（自動受信）	5-2
ファクス送信の宛先を直接指定する	4-21
ファクス送信の宛先を登録する	9-8
ポーリング受信をする	7-8
ポーリング送信をする	7-8
メモリー代行受信する	5-8
リダイヤルする	4-58
リモート受信する	5-5

■ か行

共通

E-mail 件名を設定する	9-26
E-mail 本文を設定する	9-27
宛先に参照許可設定を行う	9-34
宛先の直接入力ができないように設定する（手動宛先入力）	10-10
宛先を LDAP サーバーから検索する	4-27
宛先を検索する	4-19
画面のカスタマイズを行う	9-35, 9-37
グループ宛先を登録する	9-24
原稿設定をする	4-47
通信設定をする	4-49
左エリアからジョブを操作する	2-6
左エリアから設定内容を確認する	2-11
ファクス / スキャンのデータの設定を行う	9-38
プログラム宛先を登録する	9-28
ヘッダー / フッターを設定する	10-8
ユーザーが操作できない機能を設定する（ユーザー操作禁止設定）	10-7, 10-11
読み込み設定をする（ユーザー操作禁止設定）	4-30
レポートの出力方法を設定する	10-32, 10-42

■ な行

ネットワークスキャン

E-mail 宛先を直接指定する	4-22
E-mail 宛先を登録する	9-5
FTP 送信先を直接指定する	4-24
FTP 送信先を登録する	9-16
SMB 送信先を直接指定する	4-24
SMB 送信先を登録する	9-13
WebDAV 送信先を直接指定する	4-26
WebDAV 送信先を登録する	9-18
Web サービスで宛先を直接指定する	4-27
Web サービスを使うための準備をする	3-6
Web サービスを使ってコンピューターからスキャン指示する	13-4
ボックス宛先を直接指定する	4-22
ボックス宛先を登録する	9-7

ネットワークファクス

IP アドレスファクス宛先を直接指定する	4-23
IP アドレスファクス宛先を登録する	9-20
SIP ファクス宛先を直接指定する	4-22
SIP ファクス宛先を登録する	9-11
インターネットファクス宛先を直接指定する	4-23
インターネットファクス宛先を登録する	9-22
インターネットファクスを受信する	4-23, 5-6
ネットワークファクスの設定をする	10-44
リダイヤルする	4-58

14.2 項目別索引

D

DSN メッセージ 10-43

E

ECM OFF 4-49
E-mail 10-2
E-mail 設定 4-50
E-mail 送信 1-6
E-mail 一件名 (E-mail/I-FAX) 9-26
E-mail 本文 (E-mail/I-FAX) 9-27

F

FAX 送信禁止 10-39, 10-40, 10-45
From 4-51
FTP 送信 1-6, 10-2
F コード送信 4-54
F コード送信機能 10-25

G

G3 ファクス 1-9, 10-2

I

IP アドレスファクス 1-11, 10-3

L

LDAP 検索 - 単検索 4-27
LDAP 検索 - 複合検索 4-28

M

MDN メッセージ 10-43

P

PageScope Web Connection 11-2
PBX 接続設定 10-31
PC-FAX 受信 7-3
PC-FAX 受信設定 10-30
PC-FAX 送信エラーレポート 8-19, 10-34
PC-FAX 送信設定 10-37

S

SIP アダプター接続確認 10-44
SIP ファクス 1-10, 10-3
SMB 送信 1-7, 10-2

T

TEL/FAX 自動切換え 5-3, 10-19
TSI 受信振分け 7-4
TSI 受信振分け先登録 10-31

TSI 受信振分け設定 10-30

U

URL 通知先設定 4-17, 4-52

V

V34 OFF 4-17, 4-50

W

WebDAV 送信 1-8
Web サービス 1-8, 3-6, 13-4

Z

Z 折れ原稿 4-47

あ行

アイコン 9-6
相手機受信能力 4-23
相手先印字 10-16
宛先 / ボックス登録 9-5
宛先 2 度入力機能 (送信) 10-26
宛先 2 度入力機能 (登録) 10-27
宛先確認送信 4-50
宛先確認表示機能 10-26
宛先登録 11-13, 11-18
宛先レベル設定 9-34
アドレス帳初期表示 9-36
暗号化 4-32
インターネットファクス 1-10, 10-3
インターネットファクス拡張設定 10-45
インターネットファクス自機受信能力 10-45
インターネットファクス受信レポート (DSN) 8-21
インターネットファクス受信レポート (MDN) 8-20
インチ系用紙優先選択 10-21
エラーメッセージ 12-6
オートリダイヤル 4-58
オートリダイヤル回数 10-18
オートリダイヤル間隔 10-18
オンフック 4-29

か行

海外通信モード 4-49
回線指定 4-50
回線設定 4-49
回線パラメーター設定 10-17, 10-36
回線モニター音 10-20, 10-37
回線モニター音レベル 10-21, 10-37
解像度 4-31
外部 TEL 呼出時間 10-20
外部 TEL 呼出しモニター音 10-19

外部電話機	5-4
片面／両面	4-30
画面カスタマイズ設定	9-35
管理者	11-10
管理者設定	10-7
機能 ON/OFF 設定	10-25
機能設定	10-37
基本画面表示	9-35
給紙トレイ固定	10-23
強制メモリー受信	7-2
強制メモリー受信設定	10-27
記録用紙サイズ	10-22
記録用紙優先選択	10-22
グループ宛先	3-4
グループ宛先登録	9-24
グループ宛先リスト	8-6
掲示板	7-9
掲示板送信結果レポート	8-18, 10-33
掲示板ボックス	9-33
原稿外	5-14
原稿画質	4-30
原稿設定	4-47
原稿セット方向	4-47
原稿内	5-14
原稿のとじしろ	4-48
検索オプション設定	9-38
件名	4-51
件名 / 本文リスト	8-22
個人情報非表示	10-39, 10-40, 10-45
混載原稿	4-47

さ行

サービスコール	12-10
再送信	4-58
再送信設定	10-29
参照	4-24
参照許可設定	9-34
仕上りプレビュー	4-10
次宛先	4-24, 4-25
下地調整	4-34
自動受信	5-2, 5-3
縮小率	10-23
受信印刷部数	10-24
受信原稿両面印刷	10-21
受信情報	5-14, 10-17
受信中画面表示	9-37
受信方式	10-17
手動宛先入力	10-10, 10-39, 10-45
手動受信	5-4
手動送信	4-29
手動リダイヤル	4-58
順次通信結果レポート	10-32
順次ボーリング受信結果レポート	8-15
順次ボーリング受信予約レポート	8-17
消去	4-35

詳細検索	4-19, 4-20, 4-52
詳細指定	4-25, 4-26
情報表示	11-11
ショートカットキー	9-36
ジョブ確認	11-12
ジョブ飛越し動作設定	10-13
ジョブ表示	2-6
白黒 2 値圧縮方法	9-38, 10-44
親展受信レポート	8-17, 10-33
親展通信	7-5
親展ボックス	9-33
スタンプ	4-40
スタンプ合成方法	4-33
スタンプ／ページ印字	4-37
済みスタンプ	4-45
正常受信メール本文	8-21
正常受信メール本文印刷	10-43
セキュリティ	11-15
セキュリティ詳細	10-10
設定値リスト	8-11, 10-35, 10-44
設定内容－詳細確認 / 登録	2-11
操作禁止設定－複数宛先禁止	10-8, 10-12
操作パネル	2-2
送受信方法設定	4-53
送信 / 受信設定	10-21
送信結果レポート	8-11, 10-32
送信結果レポート画面	10-35
送信後設定解除	10-8
送信中画面表示	9-37
増設回線	7-10
増設回線設定	10-36

た行

ダイアルイン設定	10-27
ダイアル方式	10-17, 10-36
タイマー通信	4-53
ダイレクトプリント	11-13
タッチパネル	2-4
短縮宛先	3-4
短縮宛先登録－E-mail 送信	9-5
短縮宛先登録－IP アドレスファクス送信	9-20
短縮宛先登録－SIP ファクス送信	9-11
短縮宛先登録－インターネットファクス送信	9-22
短縮宛先登録－ファイル送信 (FTP)	9-16
短縮宛先登録－ファイル送信 (SMB)	9-13
短縮宛先登録－ファイル送信 (WebDAV)	9-18
短縮宛先登録－ファクス送信	9-8
短縮宛先登録－ボックス保存	9-7
短縮宛先リスト	8-4
着信回数設定	10-18, 10-36
着信拒否宛先登録	9-32
着信拒否時の動作	10-23
中継依頼受付レポート	8-19, 10-34
中継印刷	10-25
中継結果レポート	8-18, 10-34

中継受信機能	10-25
中継配信	7-6
中継ボックス	9-33
長尺原稿	4-47
直接入力	4-52
直接入力ー E-mail	4-22
直接入力ー IP アドレスファクス	4-23
直接入力ー SIP ファクス	4-22
直接入力ー Web サービス	4-27
直接入力ーインターネットファクス	4-23
直接入力ーファイル送信 (FTP)	4-24
直接入力ーファイル送信 (SMB)	4-24
直接入力ーファイル送信 (WebDAV)	4-26
直接入力ーファクス	4-21
直接入力ーボックス	4-22
通信管理レポート	8-9, 10-32
通信設定	4-49
通信予約レポート	8-16
通信履歴非表示	10-39, 10-45
デジタル署名の追加	4-56
転送ファクス設定	10-28
電話を受ける	6-3
電話をかける	6-2
同時印刷	4-44
同報結果レポート出力	10-35
同報送信結果レポート	8-11
同報送信予約レポート	8-16
登録宛先から	4-19
「登録宛先から」初期表示	9-36, 9-37
登録ユーザー	11-9
登録ー E-mail 設定内容	2-12
登録ー原稿設定内容	2-12
登録ー通信設定内容	2-12
登録ー読み込み設定内容	2-11

な行

ナンバーディスプレイ機能	10-26, 10-38
ネガポジ反転	4-46
ネットワーク	11-19
ネットワークファクス受信エラーレポート	8-20, 8-23, 10-42
ネットワークファクス設定	10-44
濃度	4-34

は行

パスワード	4-24, 4-25, 4-26
パスワード送信	4-55
発信元	10-14
発信元 / 受信情報	10-15
発信元 / ファクス ID 登録	10-14
発信元情報	10-15
パブリックユーザー	11-9
パワーセーブ移行	10-11
左エリア	2-6

日付／時刻	4-37
ファイリングナンバー	4-37
ファイル形式	4-31
ファイルパス	4-24, 4-26
ファクス	10-4
ファクス / スキャン初期設定	9-38, 9-39
ファクス / スキャン設定	9-35, 9-38
ファクス / スキャンプログラム	9-28
ファクス ID	10-14, 10-38
ファクス情報サービス	13-3
ファクス送信設定	10-12
ファクス転送	7-11
ファクス動作中画面	9-37
ファクス発信元設定	4-57
複数回線使用設定	10-38
ブック連写	4-35
プリンター設定	11-17
プレビュー詳細ー確認表示	4-11
プレビュー詳細ー状態表示	4-11
プログラム宛先リスト	8-7
プログラム初期表示	9-35
文書名	4-46, 4-50
閉域受信設定	10-28
ページ設定	4-31
ページ番号	4-39
ページ分割記録	10-24
ヘッダー / フッター	4-41
ヘッダー / フッター設定	10-8
変更禁止設定ー From アドレス変更	10-7
変更禁止設定ー登録宛先変更	10-7, 10-11, 10-12
ポーリング	1-9
ポーリング受信	7-8
ポーリング受信結果レポート	8-15
ポーリング受信ー掲示板	4-54
ポーリング受信ー通常	4-53
ポーリング送信	7-8
ポーリング送信結果レポート	8-15
ポーリング送信後文書	10-24
ポーリング送信予約レポート	8-16
ポーリング送信ー掲示板	4-56
ポーリング送信ー通常	4-55
ホスト名	4-24, 4-26
ボックス	11-12, 11-16
ボックス管理者	11-10
ボックス番号エラー動作	10-22
ボックス保存	1-7
本文	4-51

ま行

メールの暗号化	4-56
メニューツリー	4-14, 9-2, 10-4
メモリー代行受信	5-8
メンテナンス	11-14

や行

ユーザー設定	9-35
ユーザー操作禁止設定	10-7, 10-11, 10-12
ユーザー名	4-24, 4-25, 4-26
読み込みサイズ	4-36
読み込み設定	4-30
読み込み設定内容	9-4
予約レポート	10-33

ら行

リスト	8-3
リダイヤル	4-58
リモート受信	5-5
リモート受信設定	10-29
履歴から選択	4-27
留守番電話機能	5-4
留守番電話接続設定	10-20
レポート	8-2
レポート出力設定	10-32
連続読み込み設定	4-34
ログアウト	11-8
ログイン	11-8

わ行

枠消し	4-35
-----------	------

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》
販売店名
電話番号
担当部門
担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》
TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング